

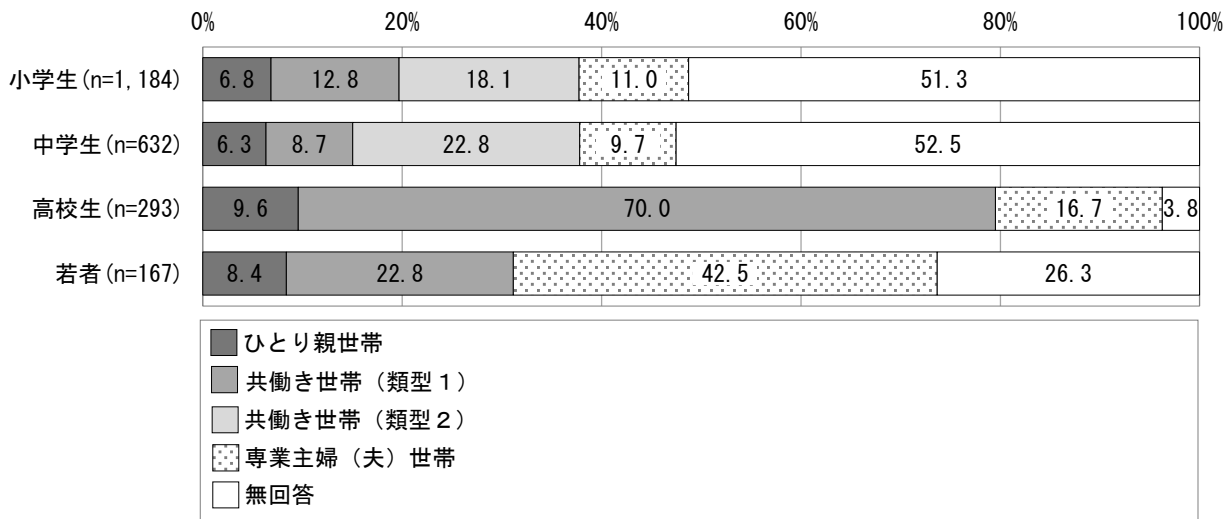
第3章 調査の結果②

＜小学生・中学生・高校生・若者＞

第1節 属性

(1)世帯類型

小学生保護者 問2・問4、中学生保護者 問2・問3、高校生 問25・問26、若者 問4・問5 から分類
同居しているご家族をお答えください。(複数回答)
宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業を含む)についてお答えください。(単数回答)

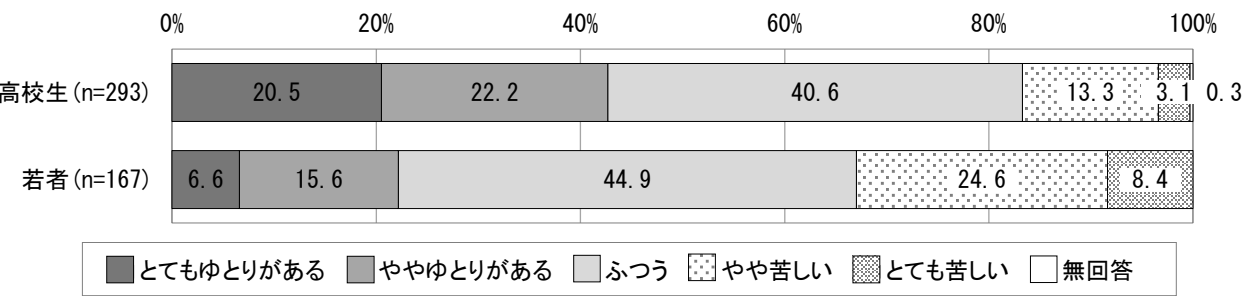


※小学生・中学生の無回答には、保護者の回答がなくマッチングできなかったものを含む。
※高校生においては、保護者の就労にフルタイム・パートタイムの区別をしていないため、「共働き世帯(類型1)」のみ。

(2)主観的経済状況

高校生 問27、若者 問6
現在の家庭の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(単数回答)

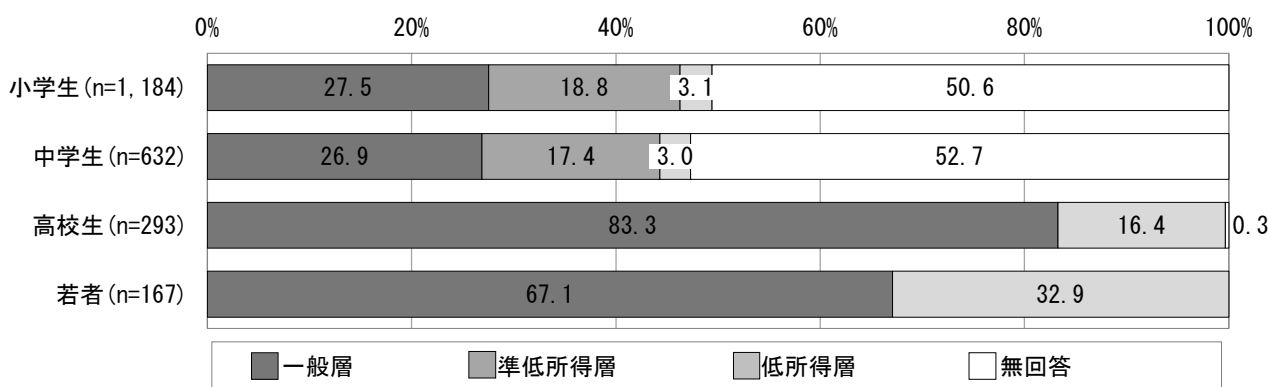
高校生では、「ふつう」が 40.6%と最も高く、「ややゆとりがある」が 22.2%、「とてもゆとりがある」が 20.5%と続いている。若者では、「ふつう」が 44.9%と最も高く、「やや苦しい」が 24.6%、「ややゆとりがある」が 15.6%と続いている。



(3)経済状況

小学生保護者 問2・問6、中学生保護者 問2・問5、高校生 問27、若者 問6 から分類
同居しているご家族をお答えください。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(複数回答)
世帯の年収をお答えください。(単数回答)

小学生では、「一般層」が27.5%、「準低所得層」が18.8%、「低所得層」が3.1%となっている。
中学生では、「一般層」が26.9%、「準低所得層」が17.4%、「低所得層」が3.0%となっている。
高校生では、「一般層」が83.3%、「低所得層」が16.4%となっている。
若者では、「一般層」が67.1%、「低所得層」が32.9%となっている。



用語の定義

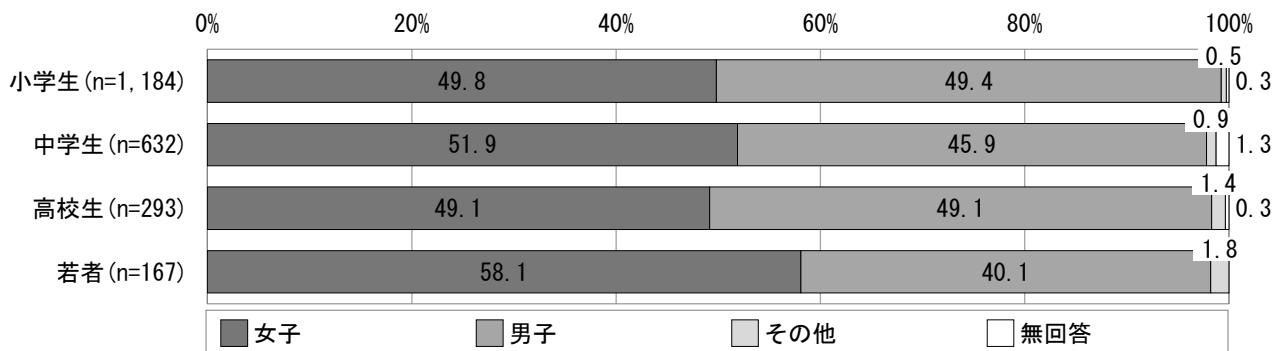
高校生・若者については、主観的経済状況から2区分に分類した。

一般層:「とてもゆとりがある」、「ややゆとりがある」、「ふつう」を回答した人。

低所得層:「やや苦しい」、「とても苦しい」を回答した人。

(4)性別

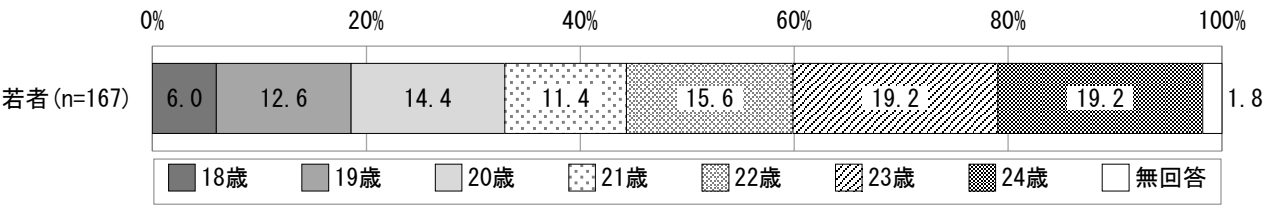
小学生 問24、中学生 問24、高校生 問24、若者 問1
あなたの性別を教えてください。(単数回答)



(5)年齢

若者 問 2

あなたの年齢をお答えください。※令和5年4月1日現在(数値回答)

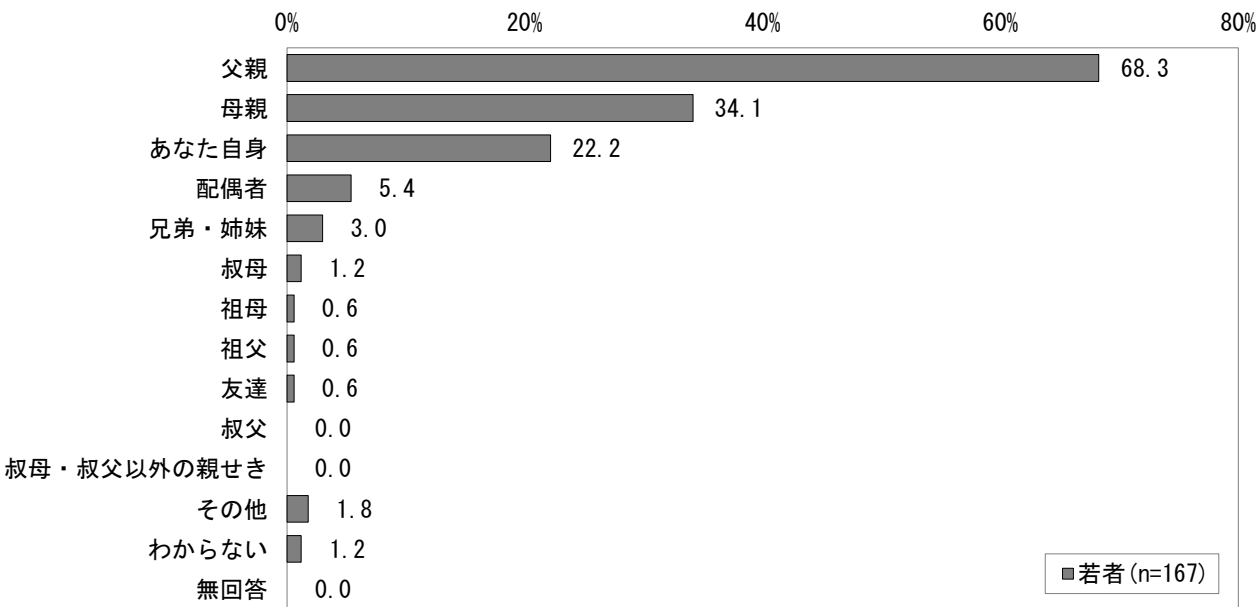


(6)生計を支えている人

若者 問 5-1

生計を支えている方は主にどなたですか。また、仕送りで生計を立てている方は、その仕送りを主にして
くれている人をお答えください。(複数回答)

「父親」が 68.3%と最も高く、「母親」が 34.1%、「あなた自身」(若者本人)が 22.2%と続いている。

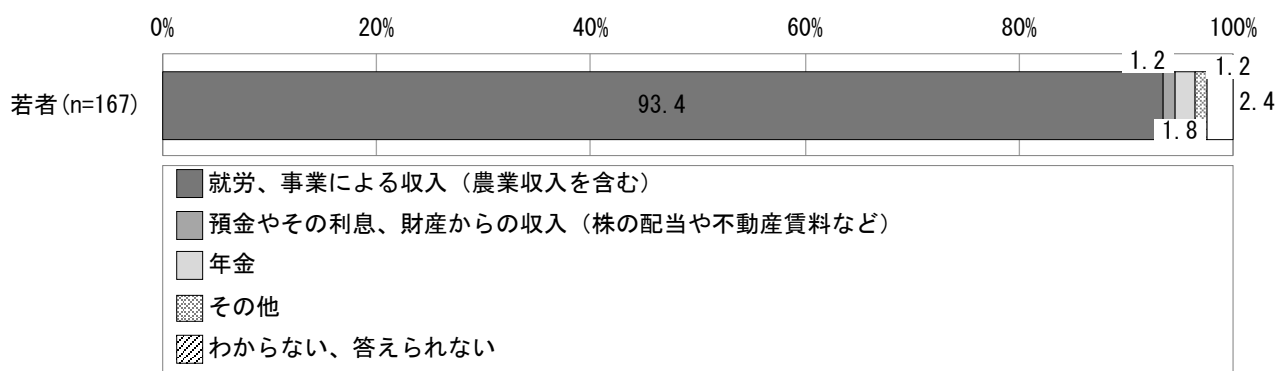


(7)世帯の収入源

若者 問 5-2

主に生計を支えている方の主な収入源は何ですか。(単数回答)

「就労、事業による収入(農業収入を含む)」が93.4%と多くを占めているが、「年金」が1.8%、「預金やその利息、財産からの収入(株の配当や不動産賃料など)」が1.2%となっている。

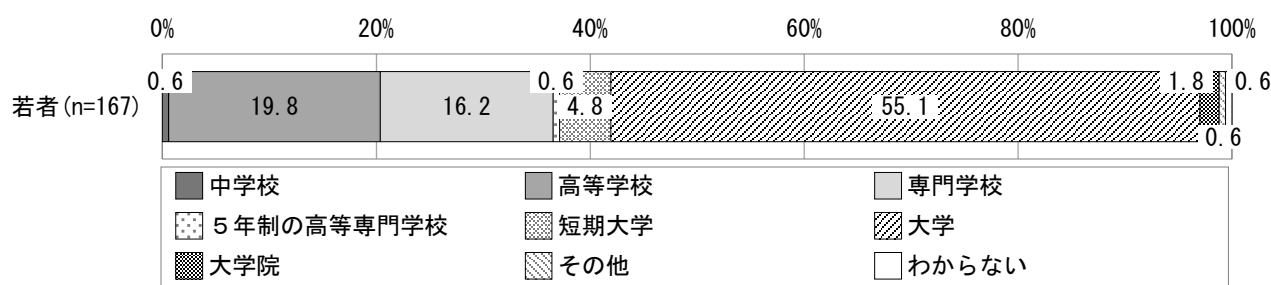


(8)最終学歴

若者 問 7

あなたが最後に卒業(中退を含む)した学校をお答えください。在学中の方は、現在在学している学校をお答えください。(単数回答)

「大学」が55.1%と最も高く、「高等学校」が19.8%、「専門学校」が16.2%と続いている。

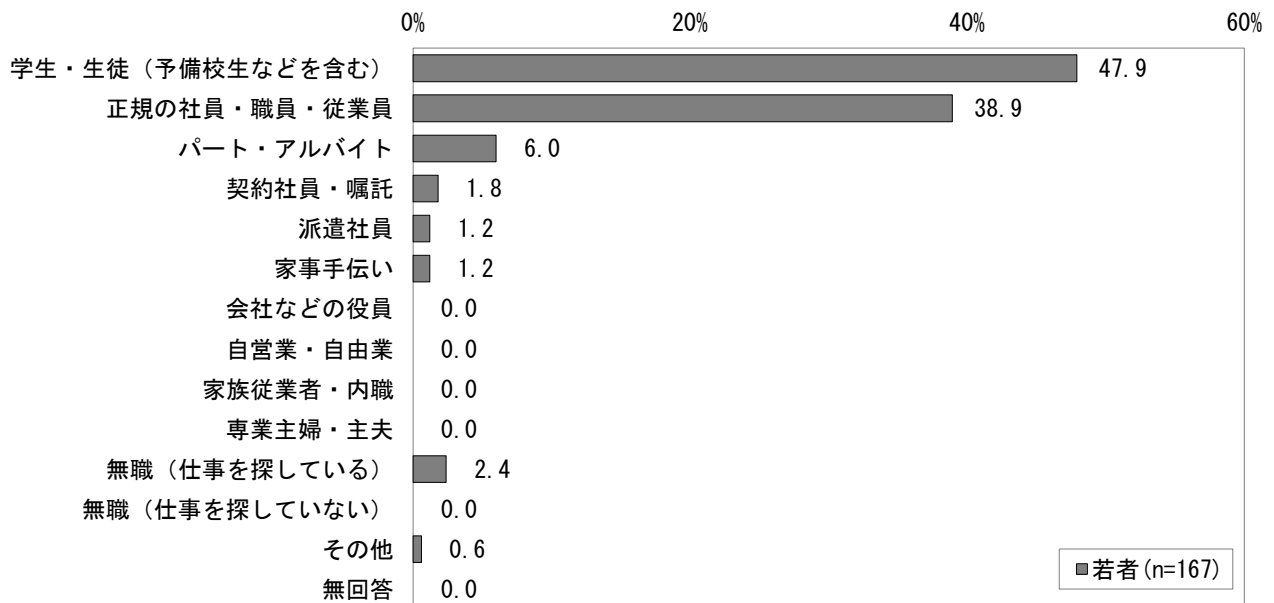


(9)現在の仕事

若者 問8

あなたの現在の仕事をお答えください。(単数回答)

「学生・生徒(予備校生などを含む)」が 47.9%と最も高く、「正規の社員・職員・従業員」が 38.9%、「パート・アルバイト」が 6.0%と続いている。



第2節 学習実態

■結果の概要

【勉強の習慣】

- ・1日あたりの勉強時間は、高校生が小学生・中学生と比べて「まったくしない」割合が高くなっている。いずれの調査でも、ひとり親世帯において短い傾向がみられる。経済状況別にみると、高校生において、低所得層で勉強を「まったくしない」割合が高くなっている。
- ・高校生において、低所得層は一般層よりも早い時期に授業がわからなくなっている。

【進学希望】

- ・高校生の進学希望において、一般層の約7割が大学進学を希望しているのに対し、低所得層は約4割となっている。
- ・進学希望の理由においては、経済的な理由はほとんどみられず、自らの進学希望を回答したとする割合が高くなっている。

(1) 普段の勉強の仕方

小学生 問1、中学生 問1、高校生 問1

あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。※勉強には学校の宿題もふくみます。(複数回答)

小学生

「自分で勉強する」が 71.4%と最も高く、「家の人に教えてもらう」が 50.7%、「塾で勉強する」が 30.7%と続いている。

世帯類型別では、専業主婦(夫)世帯において、「自分で勉強する」や「家の人に教えてもらう」の割合が他の世帯類型よりも高くなっている。

経済状況別では、低所得層は一般層・準低所得層よりも「自分で勉強する」割合が低く、「家の人に教えてもらう」割合が高くなっている。

	(%)	自分で勉強する	家の人に教えてもらう	塾で勉強する	友だちと勉強する	学校の補習を受ける	家庭教師に教えてもらう	近所の人などが行う無料の勉強会に参加する	その他	学校の授業以外で勉強はしない	無回答
小学生 (n=1, 184)	71. 4	50. 7	30. 7	16. 7	2. 9	0. 7	0. 5	7. 9	4. 7	0. 0	
【世帯類型別】											
ひとり親世帯 (n=81)	72. 8	44. 4	25. 9	17. 3	0. 0	1. 2	0. 0	9. 9	4. 9	0. 0	
共働き世帯（類型 1） (n=152)	73. 0	44. 7	42. 8	15. 8	3. 3	0. 0	0. 7	9. 9	3. 9	0. 0	
共働き世帯（類型 2） (n=214)	76. 2	51. 9	27. 6	10. 7	1. 9	0. 5	0. 5	3. 7	4. 7	0. 0	
専業主婦（夫）世帯 (n=130)	80. 8	61. 5	25. 4	14. 6	0. 0	1. 5	1. 5	5. 4	3. 1	0. 0	
【経済状況別】											
一般層 (n=326)	77. 0	50. 0	37. 1	15. 0	1. 8	0. 6	0. 9	5. 2	4. 0	0. 0	
準低所得層 (n=222)	75. 7	50. 5	26. 6	12. 2	1. 4	0. 9	0. 5	8. 6	4. 1	0. 0	
低所得層 (n=37)	59. 5	59. 5	13. 5	10. 8	0. 0	0. 0	0. 0	8. 1	10. 8	0. 0	

中学生

「自分で勉強する」が 71.7%と最も高く、「塾で勉強する」が 56.2%、「家の人に教えてもらう」が 29.4%と続いている。小学生よりも、「塾で勉強する」割合が増加している。

世帯類型別では、共働き世帯(類型1)において「塾で勉強する」割合が他の世帯類型より高く、共働き世帯(類型2)において「家の人に教えてもらう」割合が他の世帯類型より高くなっている。

経済状況別では、低所得層は一般層・準低所得層よりも「自分で勉強する」や「友達と勉強する」割合が高く、「塾で勉強する」割合が低くなっている。

	(%)	自分で勉強する	塾で勉強する	家の人に教えてもらう	友達と勉強する	家庭教師に教えてもらう	学校の補習を受ける	地域の人などが行う無料の勉強会に参加する	その他	学校の授業以外で勉強はしない	無回答
中学生 (n=632)		71.7	56.2	29.4	21.8	1.6	0.6	0.6	1.4	4.9	0.0
【世帯類型別】											
ひとり親世帯 (n=40)		77.5	47.5	20.0	22.5	0.0	0.0	0.0	7.5	2.5	0.0
共働き世帯(類型1) (n=55)		70.9	63.6	25.5	20.0	3.6	1.8	0.0	0.0	3.6	0.0
共働き世帯(類型2) (n=144)		74.3	53.5	44.4	26.4	1.4	0.7	0.0	1.4	3.5	0.0
専業主婦(夫)世帯 (n=61)		77.0	49.2	31.1	16.4	3.3	0.0	0.0	1.6	1.6	0.0
【経済状況別】											
一般層 (n=170)		77.6	58.2	37.1	23.5	2.4	1.2	0.0	0.6	2.4	0.0
準低所得層 (n=110)		66.4	48.2	31.8	21.8	1.8	0.0	0.0	5.5	3.6	0.0
低所得層 (n=19)		89.5	47.4	31.6	31.6	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0

高校生

「自分で勉強する」が 76.1%と最も高く、「友達と勉強する」が 30.4%、「塾・予備校で勉強する」が 25.9%と続いている。

世帯類型別では、専業主婦(夫)世帯で「自分で勉強する」割合が、他の世帯類型よりも高くなっている。

経済状況別では、低所得層は一般層よりも「自分で勉強する」や「塾・予備校で勉強する」割合が低くなっている。

	(%)	自分で勉強する	友達と勉強する	塾・予備校で勉強する	学校の補習を受ける	家の人に教えてもらう	家庭教師に教えてもらう	地域の人などが行う無料の勉強会に参加する	その他	学校の授業以外で勉強はしない	無回答
高校生 (n=293)		76.1	30.4	25.9	9.9	9.9	1.4	0.0	2.7	10.2	1.0
【世帯類型別】											
ひとり親世帯 (n=28)		64.3	35.7	17.9	7.1	10.7	3.6	0.0	3.6	7.1	0.0
共働き世帯 (類型1) (n=205)		77.1	32.2	26.8	11.2	9.3	1.0	0.0	2.9	11.2	0.5
専業主婦 (夫) 世帯 (n=49)		83.7	22.4	30.6	8.2	12.2	2.0	0.0	2.0	4.1	2.0
【経済状況別】											
一般層 (n=244)		78.3	29.1	28.7	9.4	10.7	1.6	0.0	2.5	8.6	0.4
低所得層 (n=48)		66.7	37.5	12.5	12.5	6.3	0.0	0.0	4.2	18.8	2.1

(2)1日あたりの勉強時間

小学生 問2、中学生 問2、高校生 問2

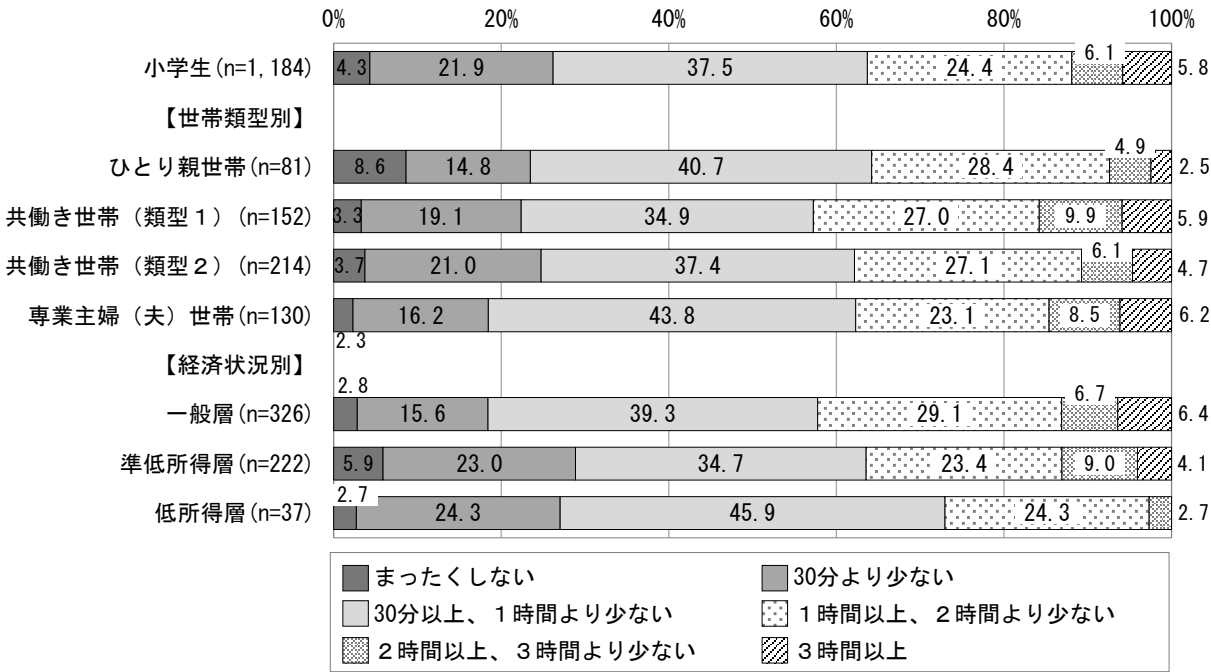
あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。※学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間もふくみます。(単数回答)

小学生

①学校がある日(月～金曜日)

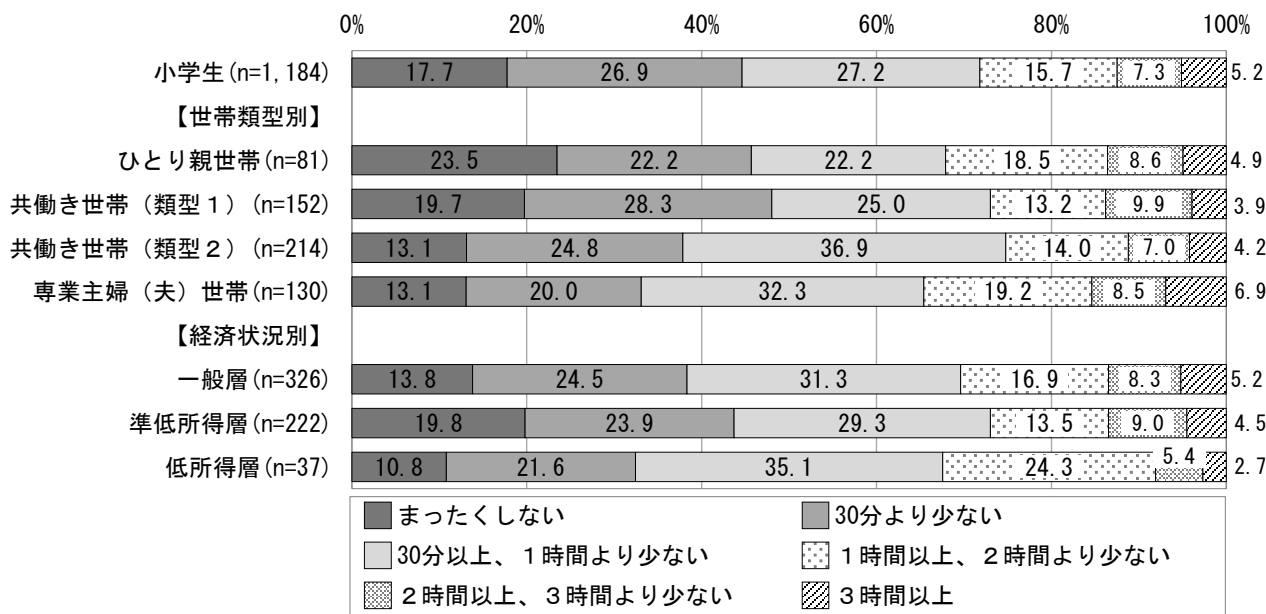
「30分以上、1時間より少ない」が37.5%と最も高く、「1時間以上、2時間より少ない」が24.4%と続いている。

世帯類型別では、ひとり親世帯において「まったくしない」割合が、他の世帯類型よりも高くなっている。
経済状況別では、一般層が準低所得層・低所得層よりも、1時間以上勉強している割合が高くなっている。



②学校がない日(土・日曜日・祝日)

「30分以上、1時間より少ない」が27.2%と最も高く、「30分より少ない」が26.9%と続いている。
世帯類型別では、ひとり親世帯において「まったくしない」割合が、他の世帯類型よりも高くなっている。
経済状況別では、準低所得層において「まったくしない」割合が、一般層・低所得層よりも高くなっている。



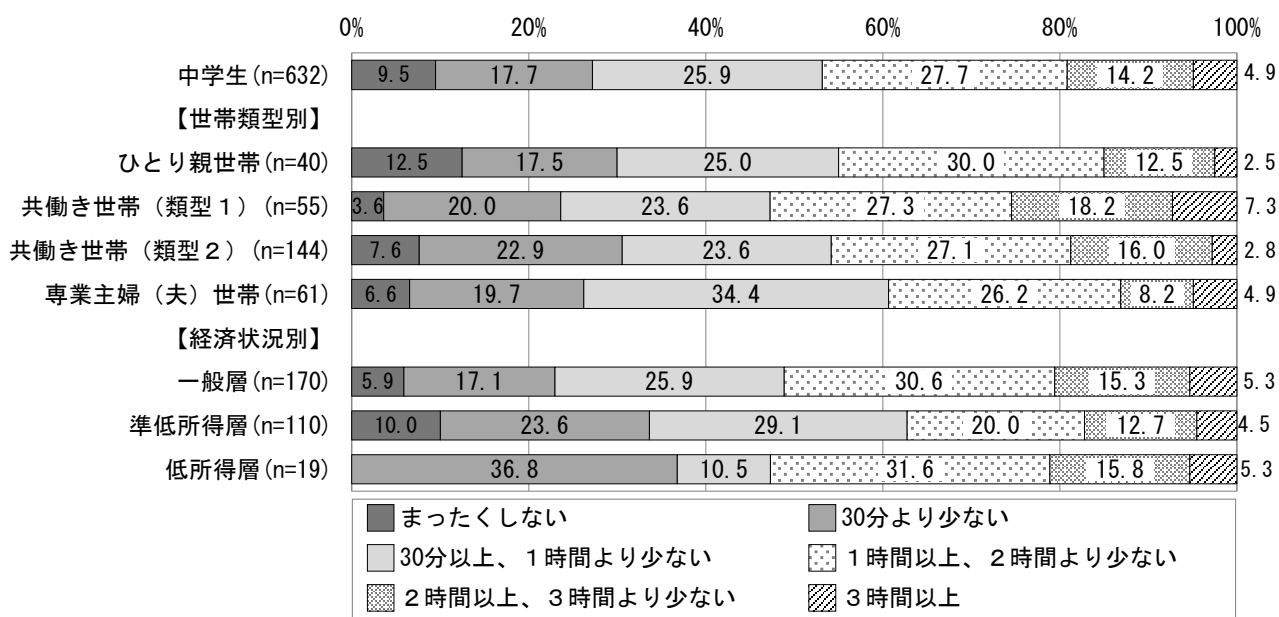
中学生

①学校がある日(月～金曜日)

「1時間以上、2時間より少ない」が27.7%と最も高く、「30分以上、1時間より少ない」が25.9%と続いている。

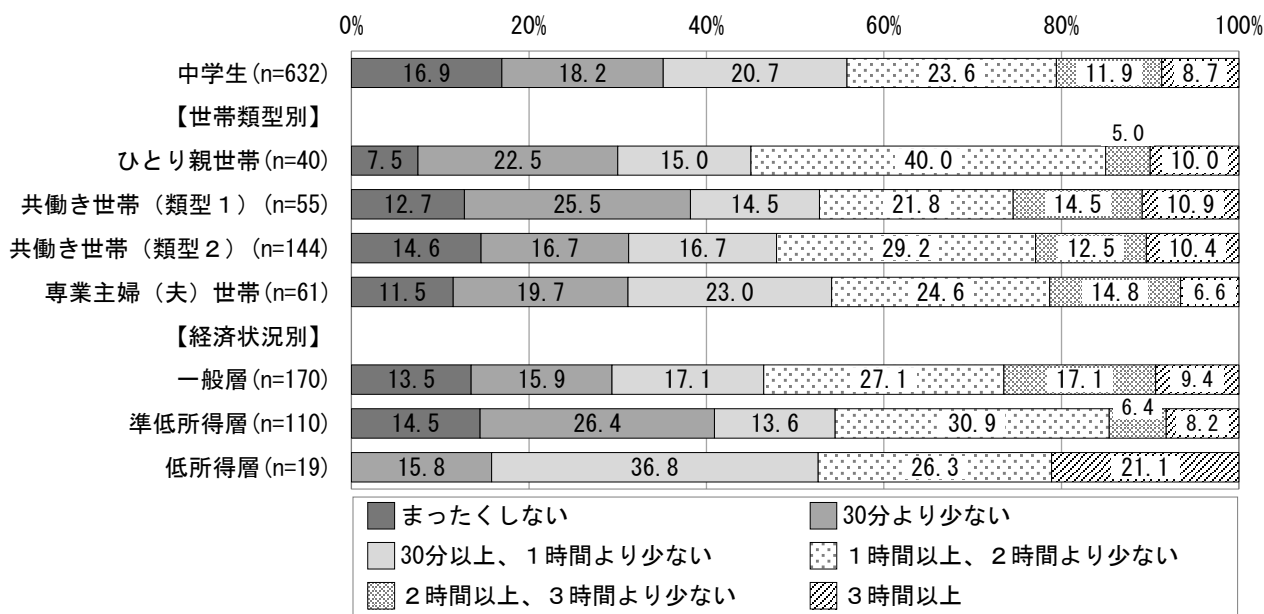
世帯類型別では、ひとり親世帯において「まったくしない」割合が、他の世帯類型よりも高くなっている。

経済状況別にみると、一般層は準低所得層・低所得層と比べて30分以上勉強している割合が高くなっている。



②学校がない日(土・日曜日・祝日)

「1時間以上、2時間より少ない」が23.6%と最も高く、「30分以上、1時間より少ない」が20.7%と続いている。世帯類型別では、ひとり親世帯において1時間以上の勉強時間の割合が他の世帯類型よりも高くなっているが、2時間以上の勉強時間になると、共働き世帯(類型1)の割合が他の世帯類型よりも高くなっている。経済状況別にみると、準低所得層において「30分より少ない」勉強時間の割合が、一般層・準低所得層よりも高くなっている。

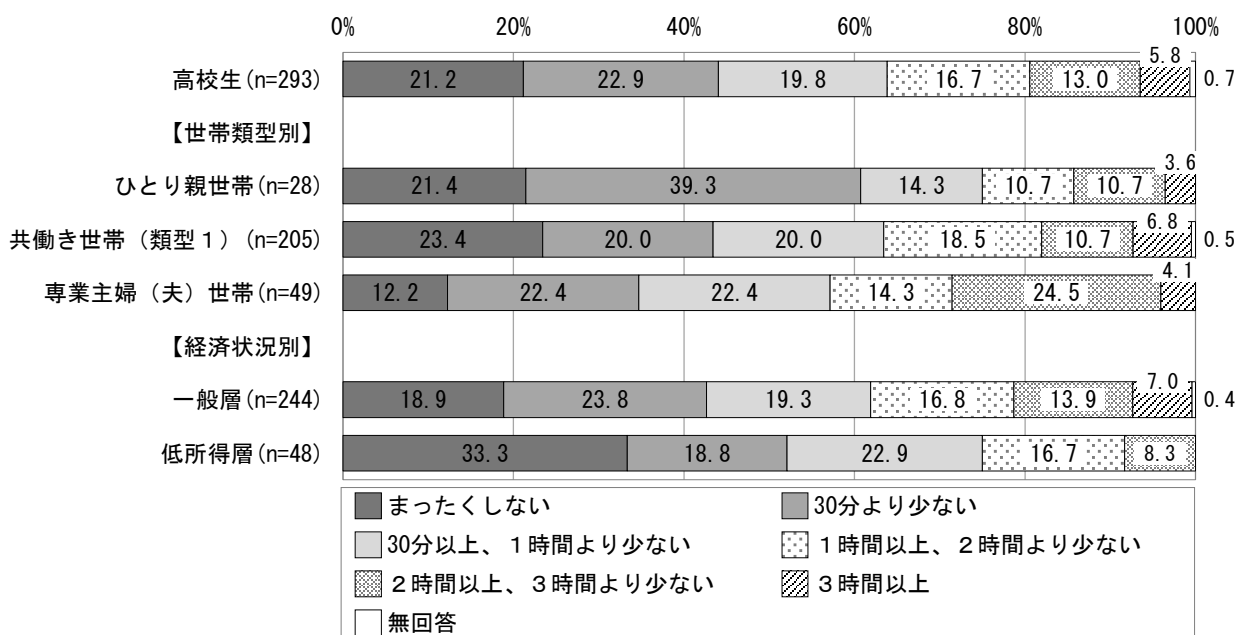


高校生

①学校がある日(月～金曜日)

「30分より少ない」が22.9%と最も高く、「まったくしない」が21.2%と続いている。小学生・中学生と比べて、「まったくしない」の割合が高くなっている。

世帯類型別では、全体的にひとり親世帯の勉強時間が短い傾向にある。経済状況別では、低所得層において「まったくしない」割合が、一般層よりも高くなっている。

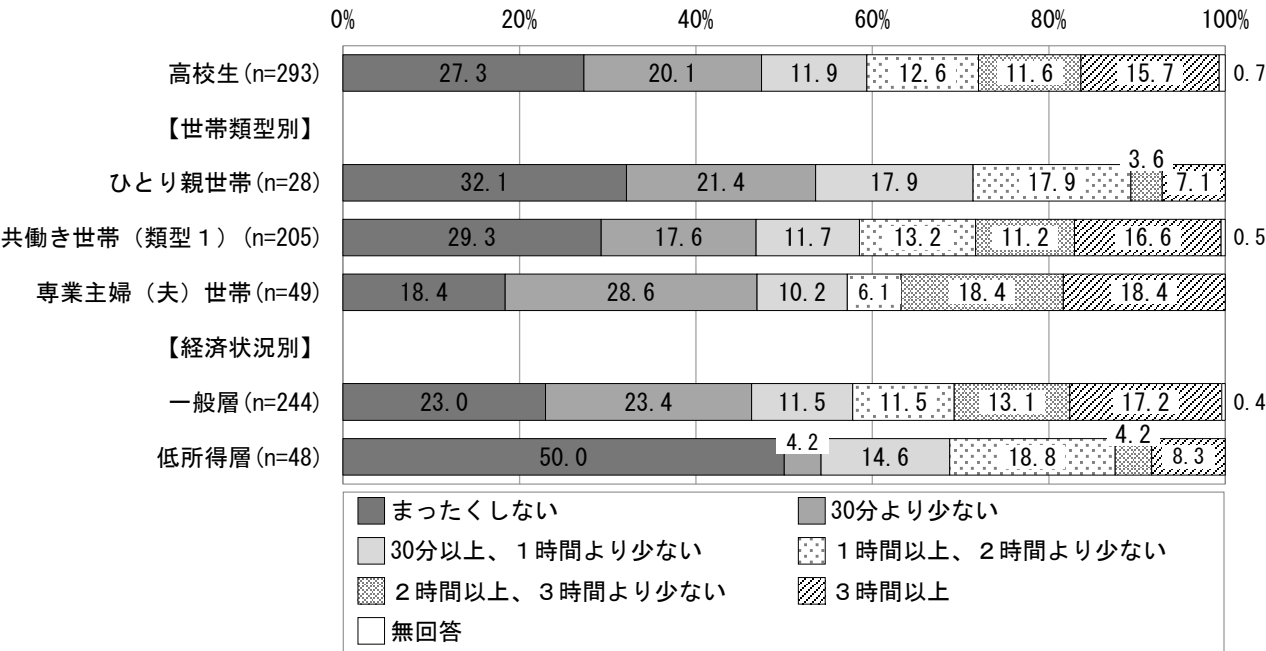


②学校がない日(土・日曜日・祝日)

「まったくしない」が27.3%と最も高く、「30分より少ない」が20.1%と続いている。

世帯類型別では、全体的にひとり親世帯の勉強時間が短い傾向にある。

経済状況別では、低所得層において「まったくしない」割合が高くなっている。



(3)クラスの中での成績

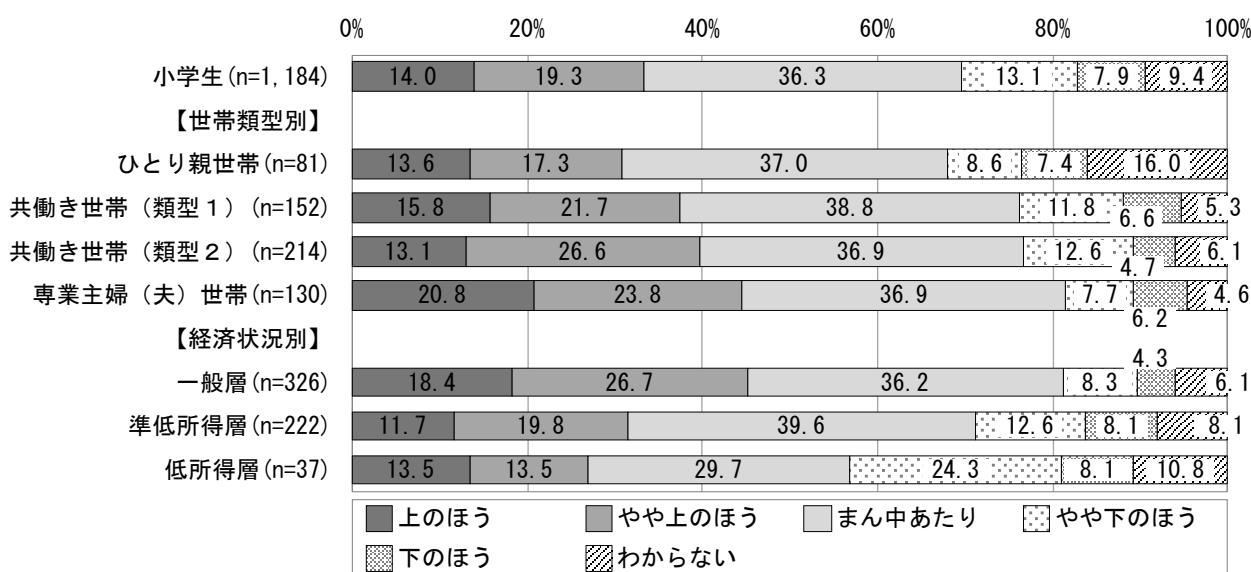
小学生 問3、中学生 問3、高校生 問3

あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。(単数回答)

小学生

世帯類型別にみると、専業主婦(夫)世帯において成績がよいと思っている(「上のほう」と「やや上のほう」の合計が多い)傾向がみられ、ひとり親世帯において成績がよくないと思っている傾向がみられる。

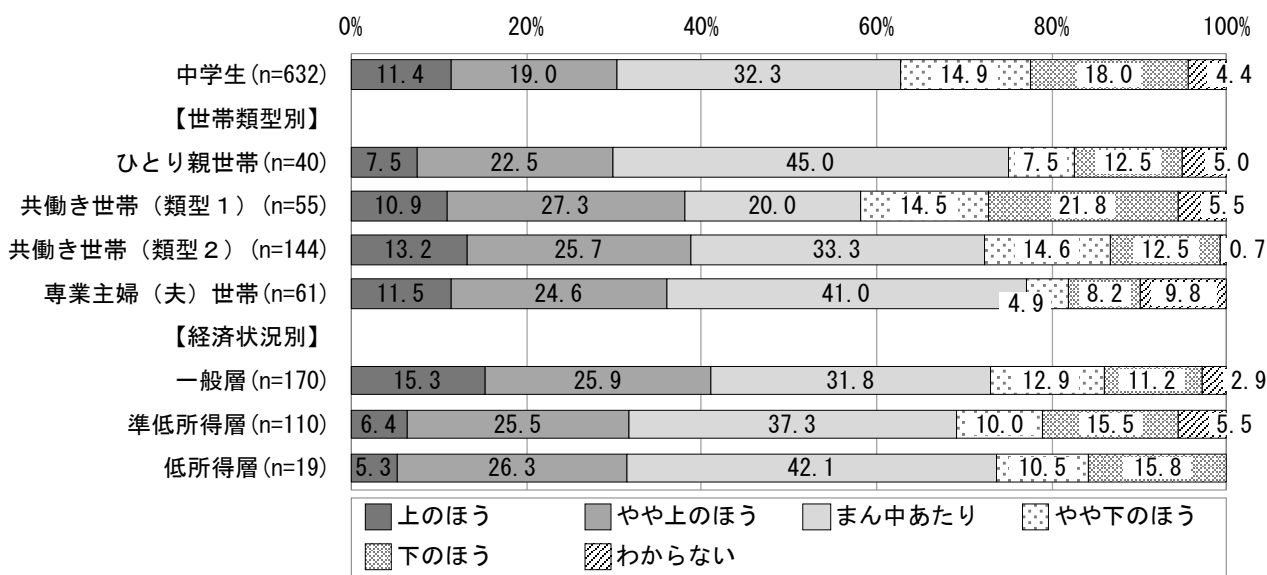
経済状況別にみると、準低所得層・低所得層は一般層よりも成績がよくないと思っている傾向がみられる。



中学生

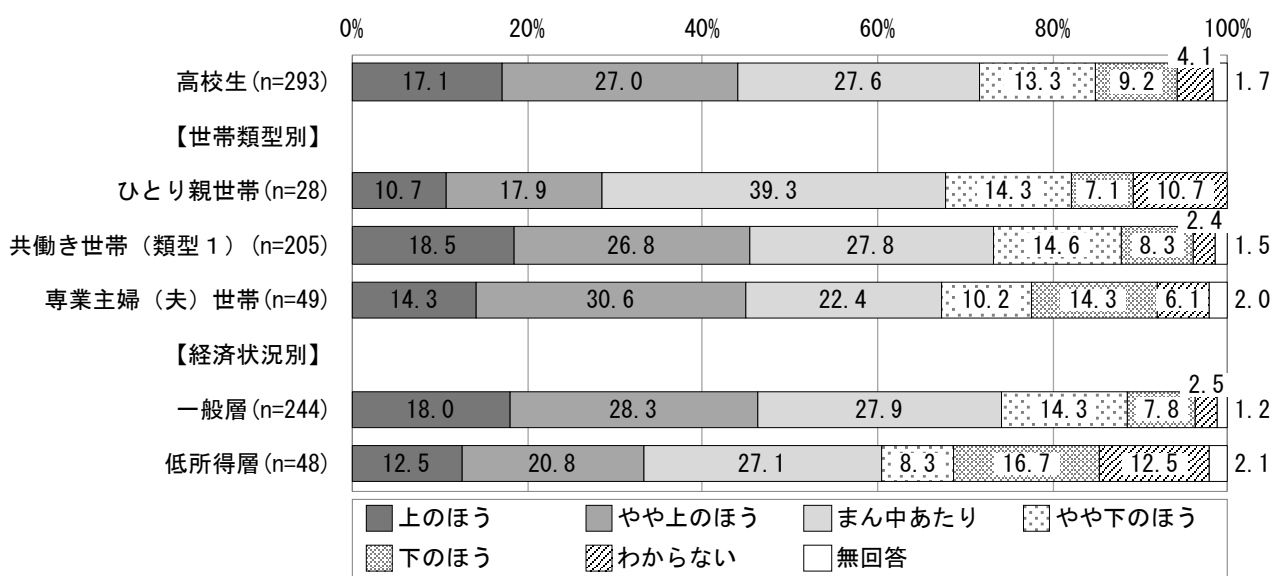
世帯類型別にみると、共働き世帯（類型1）の「下のほう」の割合が高くなっている。また、ひとり親世帯において成績がよくないと思っている傾向がみられる。

経済状況別にみると、一般層が準低所得層・低所得層と比べて、成績がよいと思っている傾向がみられる。



高校生

世帯類型別にみると、ひとり親世帯で成績がよくないと思っている傾向がみられる。経済状況別にみると、低所得層は一般層よりも成績がよくないと思っている傾向がみられる。



(4)授業の理解状況

小学生 問4、中学生 問4、高校生 問4

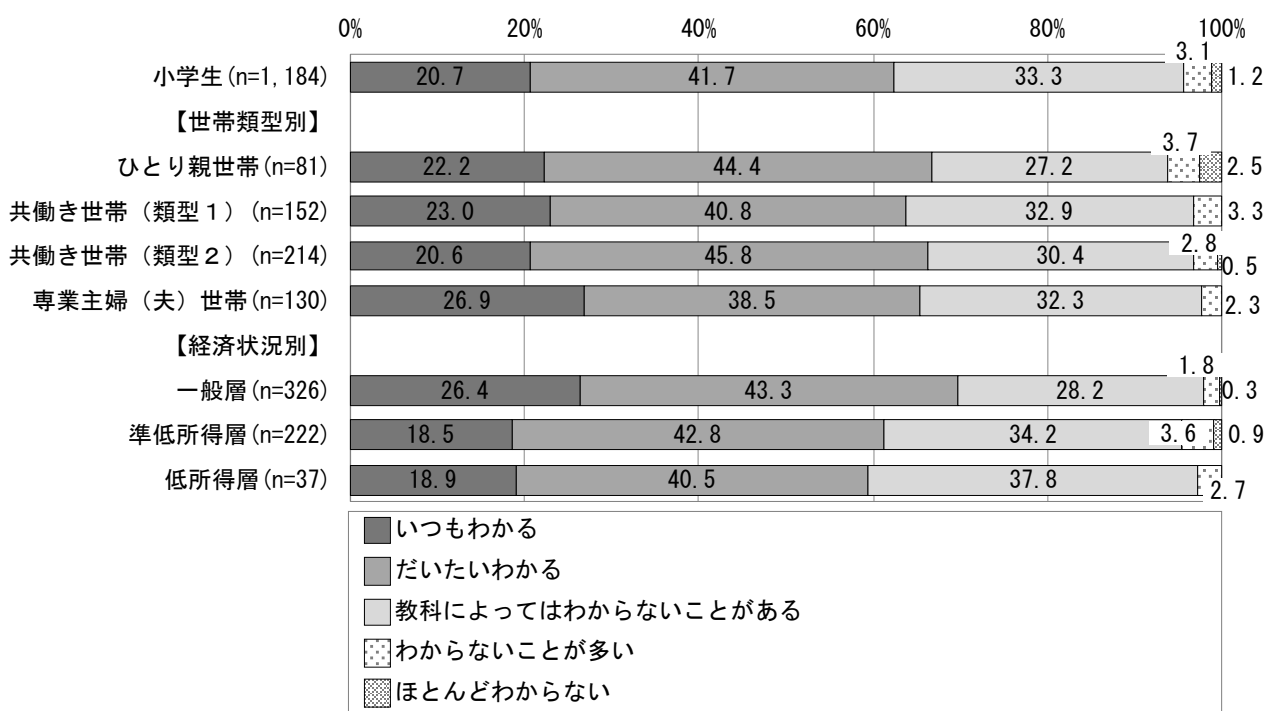
あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(単数回答)

小学生

「だいたいわかる」が41.7%と最も高く、「教科によってはわからないことがある」が33.3%と続く。

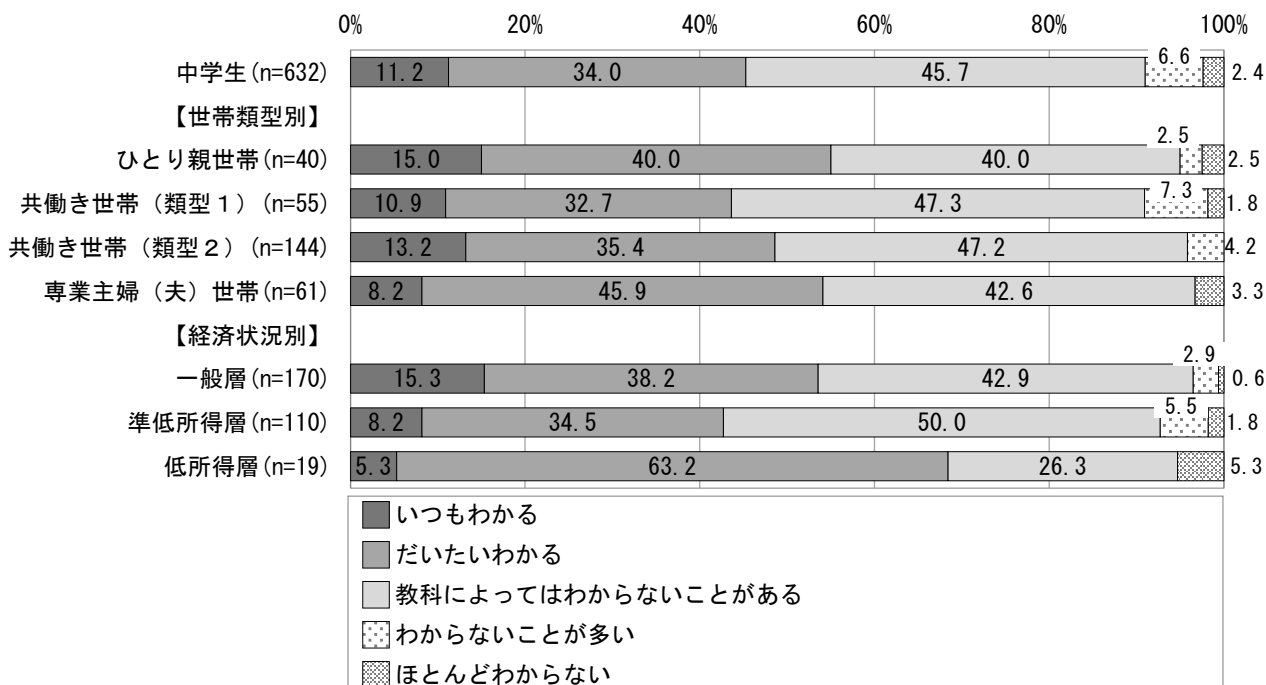
世帯類型別にみると、専業主婦(夫)世帯において「いつもわかる」の割合が高くなっている。

経済状況別にみると、一般層は準低所得層・低所得層と比べて、授業の理解度(「いつもわかる」と「だいたいわかる」の合計)が高くなっている。



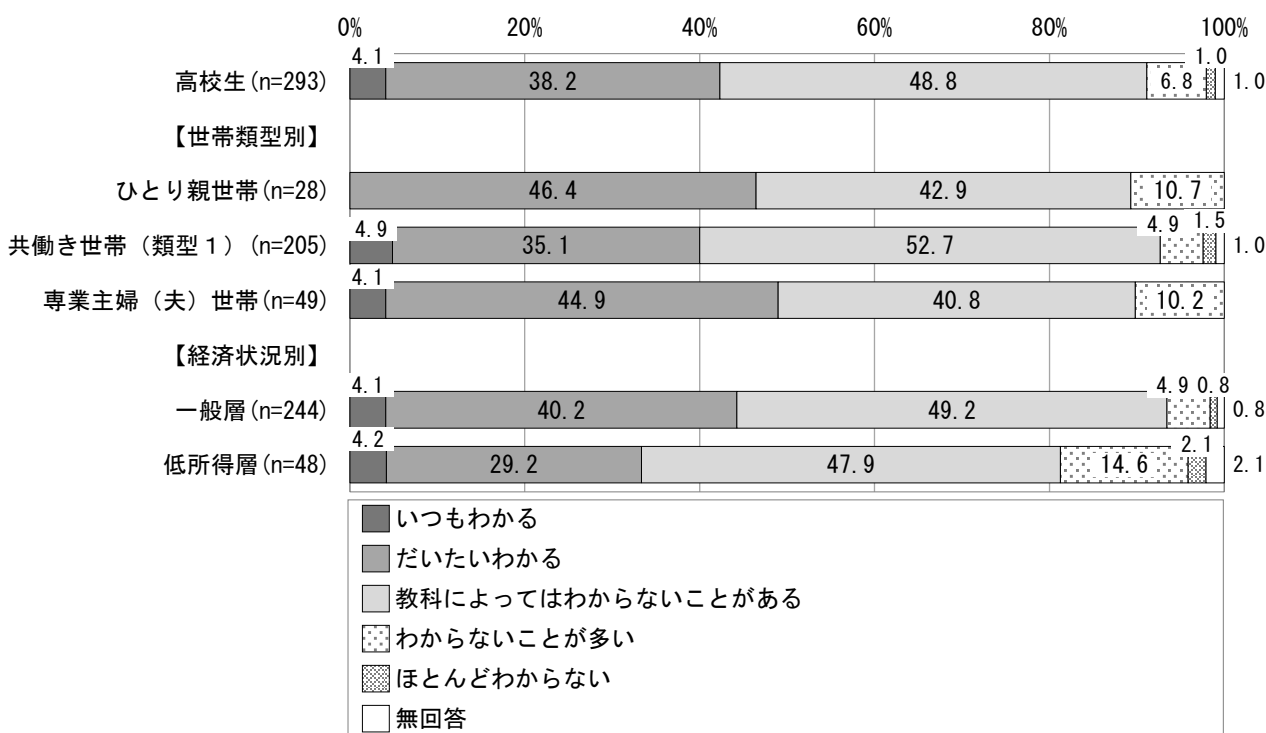
中学生

「教科によってはわからないことがある」が45.7%と最も高く、「だいたいわかる」が34.0%と続く。
世帯類型別にみると、共働き世帯(類型1)において授業の理解度が低い傾向がみられる。
経済状況別にみると、準低所得層は一般層と比べて授業の理解度が低い傾向がみられる。



高校生

「教科によってはわからないことがある」が48.8%と最も高く、「だいたいわかる」が38.2%と続く。
世帯類型別にみると、共働き世帯(類型1)の授業の理解度は低い傾向がみられる。
経済状況別にみると、低所得層は一般層よりも授業の理解度は低い傾向がみられる。



(5)授業がわからなくなった時期

小学生 問 4-1、中学生 問 4-1、高校生 問 4-1

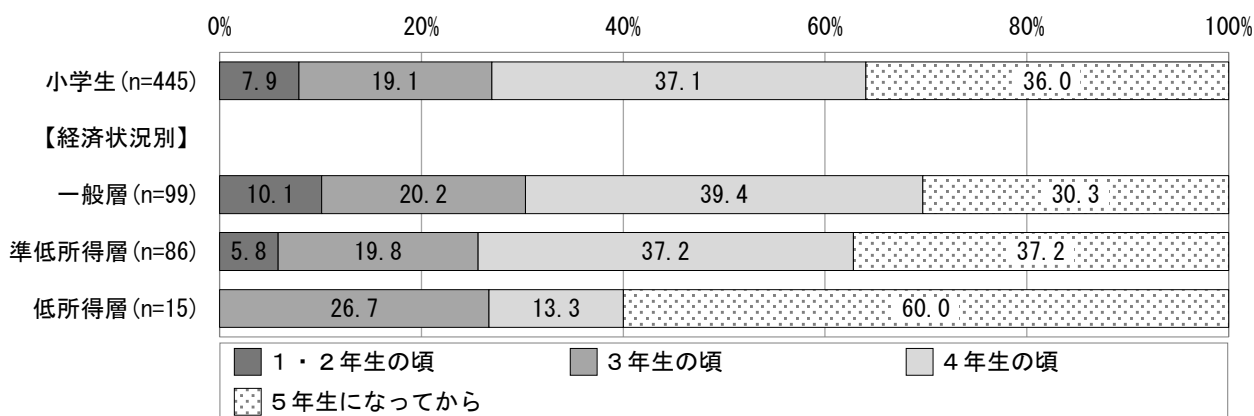
【「授業の理解状況」で「教科によってはわからないことがある」～「ほとんどわからない」を選択した方のみ】

いつ頃から、授業がわからないことがあるようになりましたか。(単数回答)

小学生

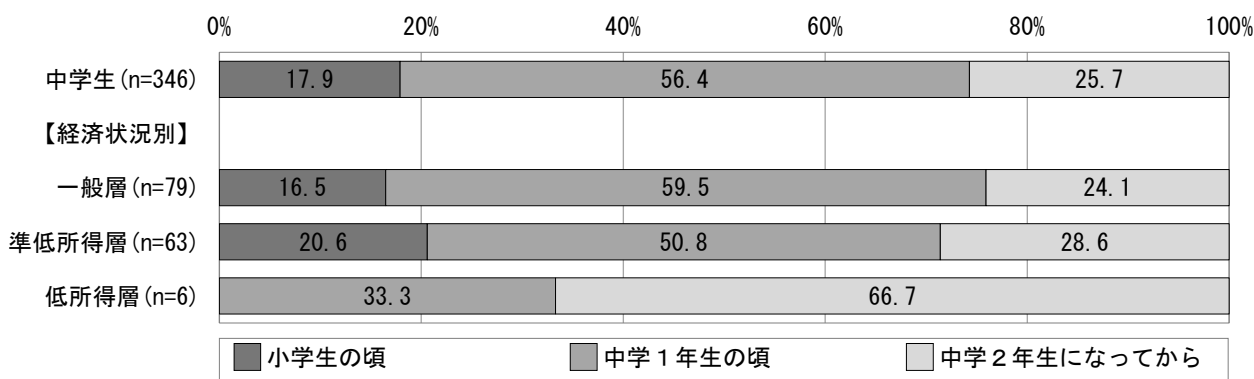
「4年生の頃」が37.1%と最も高く、「5年生になってから」が36.0%と続いている。

経済状況別にみると、一般層は準低所得層・低所得層よりも早い時期に授業がわからなくなっている傾向がみられる。



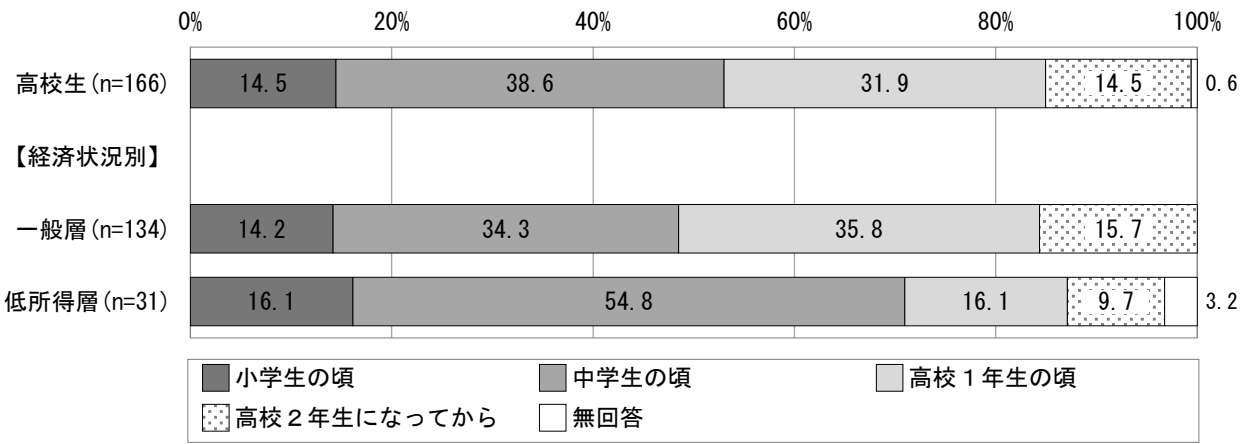
中学生

「中学1年生の頃」が56.4%と最も高く、「中学2年生になってから」が25.7%と続いている。経済状況別にみると、一般層において「中学1年生の頃」が高くなっている。



高校生

「中学生の頃」が38.6%と最も高く、「高校1年生の頃」が31.9%が続いている。
経済状況別にみると、低所得層は一般層よりも早い時期に授業がわからなくなっている傾向がみられる。

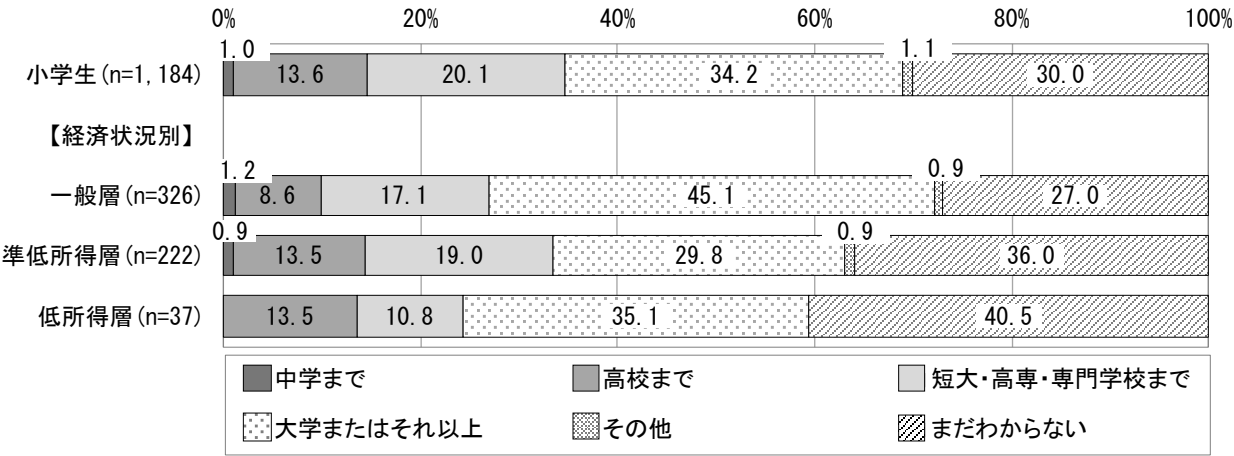


(6)進学希望

小学生 問5、中学生 問5、高校生 問5
あなたは、将来どの学校まで進学したいですか。(単数回答)

小学生

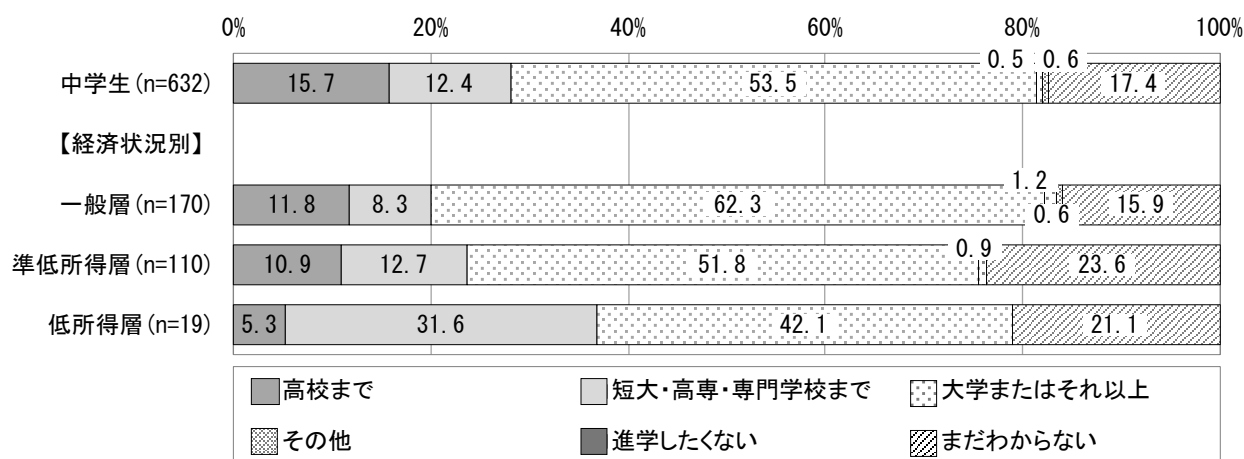
「大学またはそれ以上」が34.2%と最も高く、「短大・高専・専門学校まで」が20.1%が続いている。
経済状況別にみると、一般層は「大学またはそれ以上」に進学を希望する割合が高くなっている。



中学生

「大学またはそれ以上」が53.5%と最も高く、「高校まで」が15.7%と続いている。

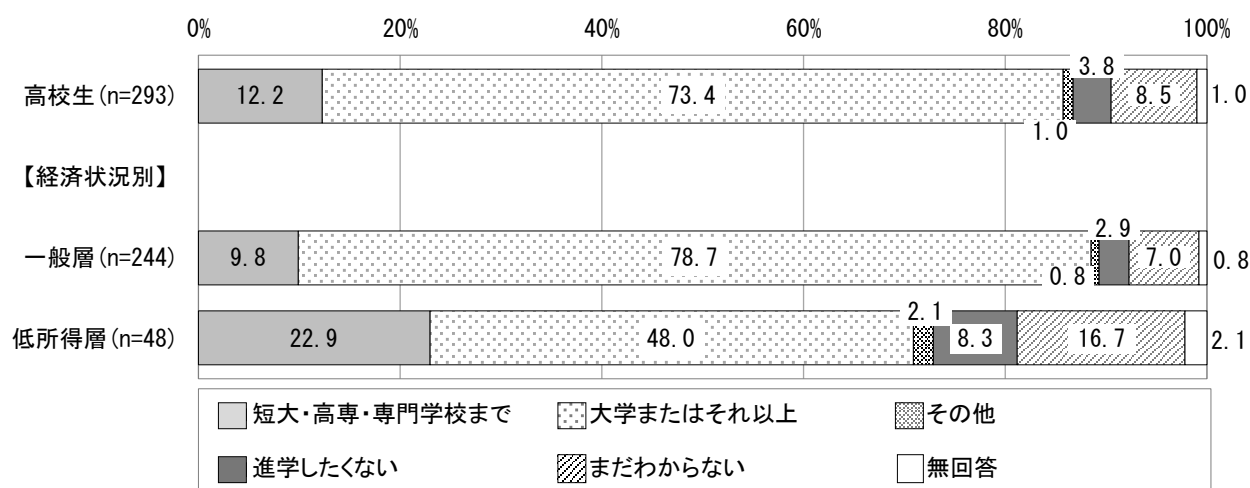
経済状況別にみると、一般層は「大学またはそれ以上」に進学を希望する割合が高くなっている。



高校生

「大学またはそれ以上」が73.4%と最も高く、「短大・高専・専門学校まで」が12.2%と続いている。

経済状況別にみると、一般層は低所得層と比べて「大学またはそれ以上」に進学を希望する割合が高くなっている。



(7)進学希望の理由

小学生 問 5-1、中学生 問 5-1、高校生 問 5-1

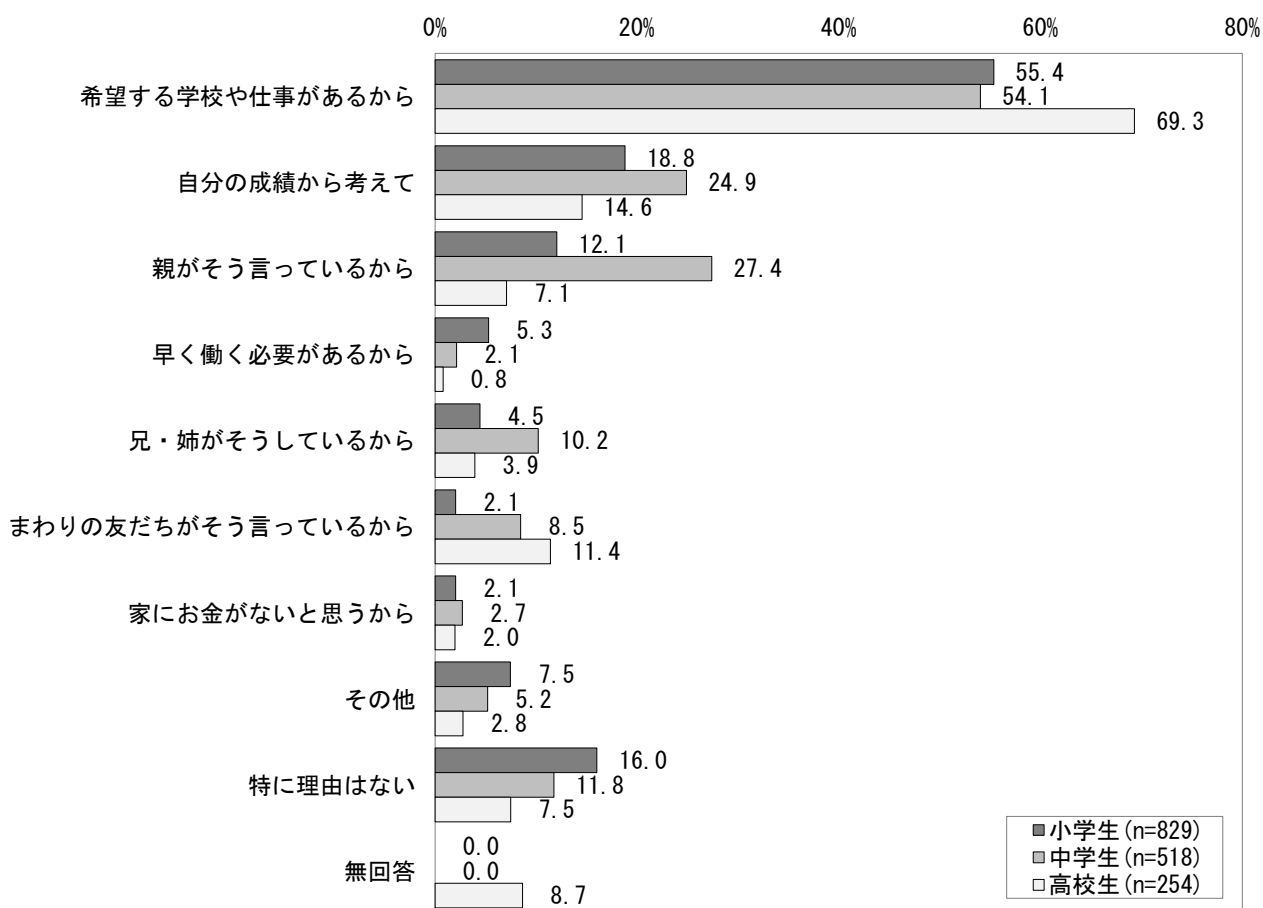
【「進学希望」で進学を選択した方のみ】

その理由を教えてください。(複数回答)

小学生では、「希望する学校や仕事があるから」が 55.4%と最も高く、「自分の成績から考えて」が 18.8%、「親がそう言っているから」が 12.1%と続いている。

中学生では、「希望する学校や仕事があるから」が 54.1%と最も高く、「親がそう言っているから」が 27.4%、「自分の成績から考えて」が 24.9%と続いている。

高校生では、「希望する学校や仕事があるから」が 69.3%と最も高く、「自分の成績から考えて」が 14.6%、「まわりの友だちがそう言っているから」が 11.4%と続いている。



第3節 生活実態

■結果の概要

【部活動】

- ・部活動に参加している割合は、小学生は約7割、中学生は約8割、高校生は約7割となっている。経済状況別にみると、低所得層は一般層に比べて参加率が低い傾向がみられる。
- ・部活動に参加しない理由としては、いずれの調査でも「学校や地域に入りたいクラブ・部活動がないから」の割合が最も高くなっている。小学生においては「塾や習い事が忙しいから」の割合が、中学生・高校生よりも高くなっている。

【食事】

- ・朝食を毎日食べる割合は、小学生が約9割、中学生・高校生が約8割となっている。経済状況別にみると、低所得層に欠食傾向がみられる。
- ・食事を楽しいと感じる割合は、小学生が約8割、中学生・高校生が約7割となっている。小学生では、ひとり親世帯、低所得層において、食事を楽しいと感じる割合が低くなっている。

【悩み相談の相手】

- ・悩み相談の相手は、小学生においては「親」の割合が最も高く、中学生・高校生においては「学校の友達」の割合が最も高くなっている。若者になると、「親」の割合が最も高くなっている。「だれにも相談できない、相談したくない」割合は、いずれの調査でも10%未満だった。

【世話をしている家族の有無】

- ・家族の世話をしている割合は、小学生が約3割、中学生・高校生が約1割となっている。
- ・高校生において、家族の世話のために「進路の変更を考えざるを得ない、もしくは進路を変更した」割合が5.6%となっており、深刻な事例も含まれている。

【生活への満足度】

- ・年齢があがるにつれ、生活への満足度の平均点が減少する傾向がみられる。高校生・若者の低所得層は、特に平均点が低くなっている。

(1)部活動等への参加状況

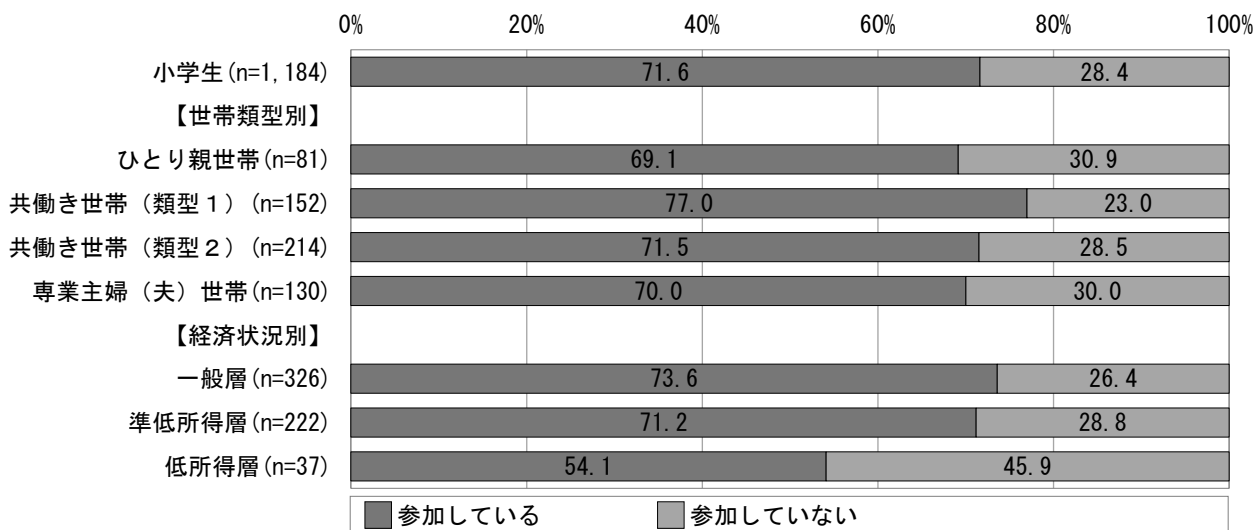
小学生 問6、中学生 問6、高校生 問6

あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していますか。(単数回答)

小学生

「参加している」が71.6%、「参加していない」が28.4%となっている。

経済状況別にみると、低所得層は一般層・準低所得層よりも参加率が低い傾向がみられる。

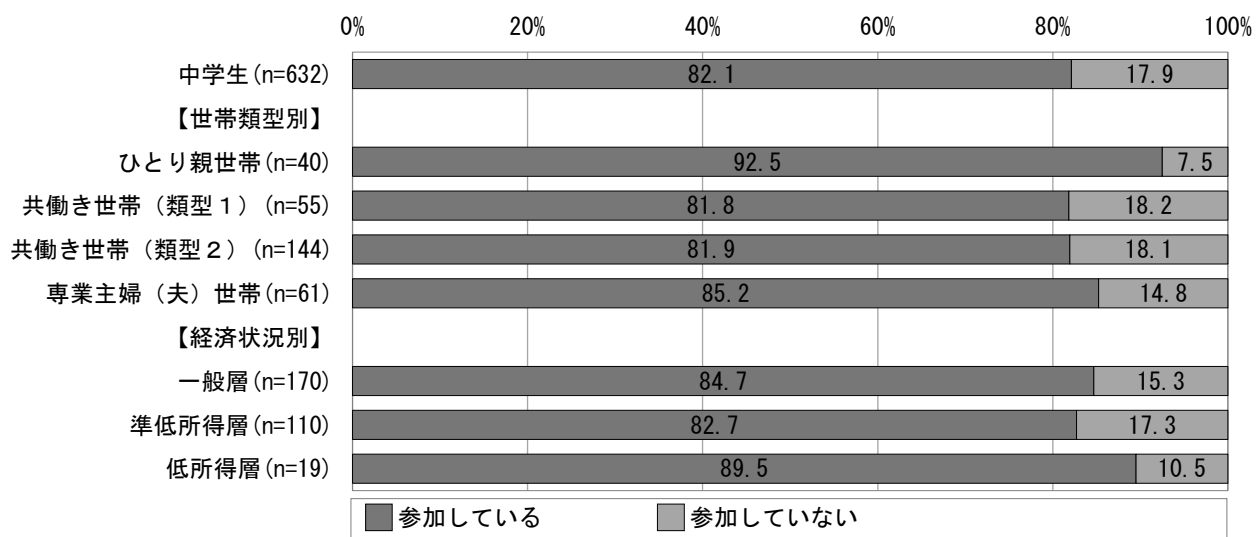


中学生

「参加している」が82.1%、「参加していない」が17.9%となっている。

世帯類型別にみると、ひとり親世帯の「参加している」割合が高くなっている。

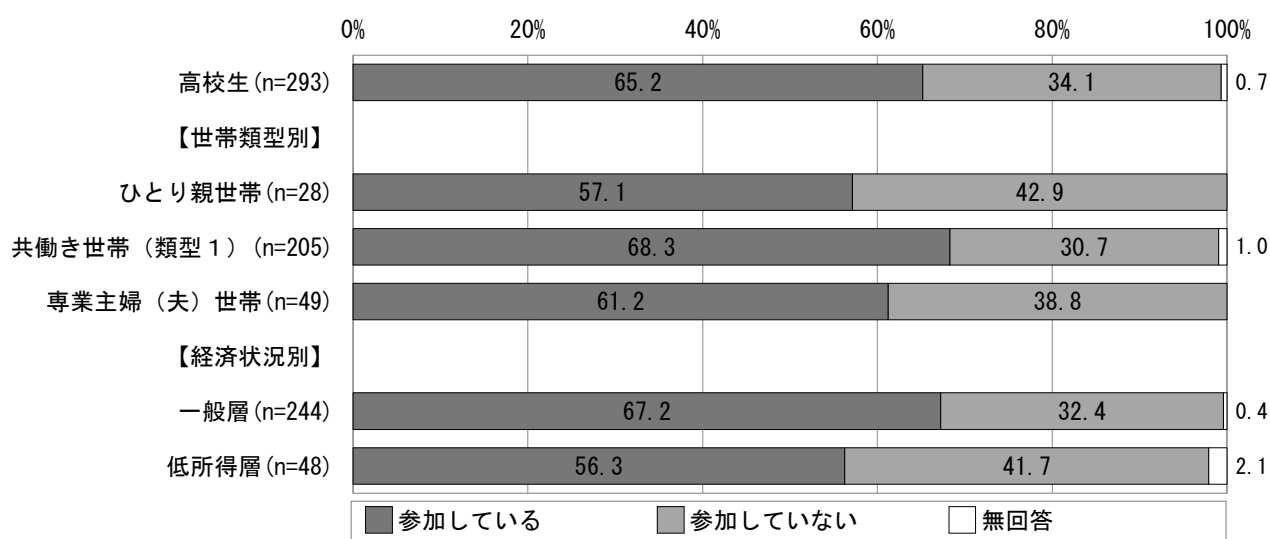
経済状況別にみると、低所得層の「参加している」割合が高くなっている。



高校生

「参加している」が65.2%、「参加していない」が34.1%となっている。

経済状況別では、低所得層は一般層よりも参加率が低い傾向がみられる。



(2)部活動等に参加していない理由

小学生 問 6-1、中学生 問 6-1、高校生 問 6-1

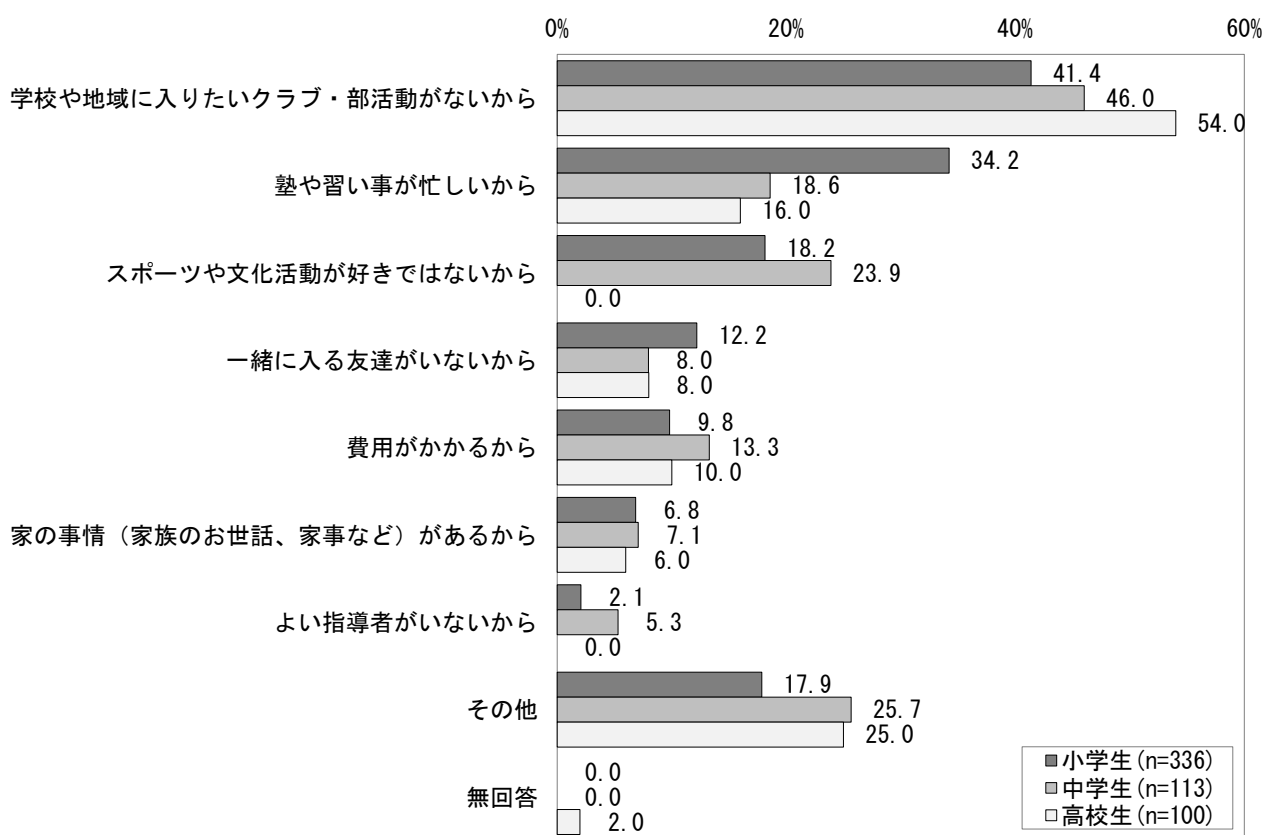
【「部活動等への参加状況」で「参加していない」を選択した方のみ】

参加していない理由は何ですか。（複数回答）

小学生では、「学校や地域に入りたいクラブ・部活動がないから」が 41.4%と最も高く、「塾や習い事が忙しいから」が 34.2%、「スポーツや文化活動が好きではないから」が 18.2%と続いている。

中学生では、「学校や地域に入りたいクラブ・部活動がないから」が 46.0%と最も高く、「スポーツや文化活動が好きではないから」が 23.9%、「塾や習い事が忙しいから」が 18.6%と続いている。

高校生では、「学校や地域に入りたいクラブ・部活動がないから」が 54.0%と最も高く、「塾や習い事が忙しいから」が 16.0%、「費用がかかるから」が 10.0%と続いている。



(3)食事の状況

小学生 問7、中学生 問7、高校生 問7

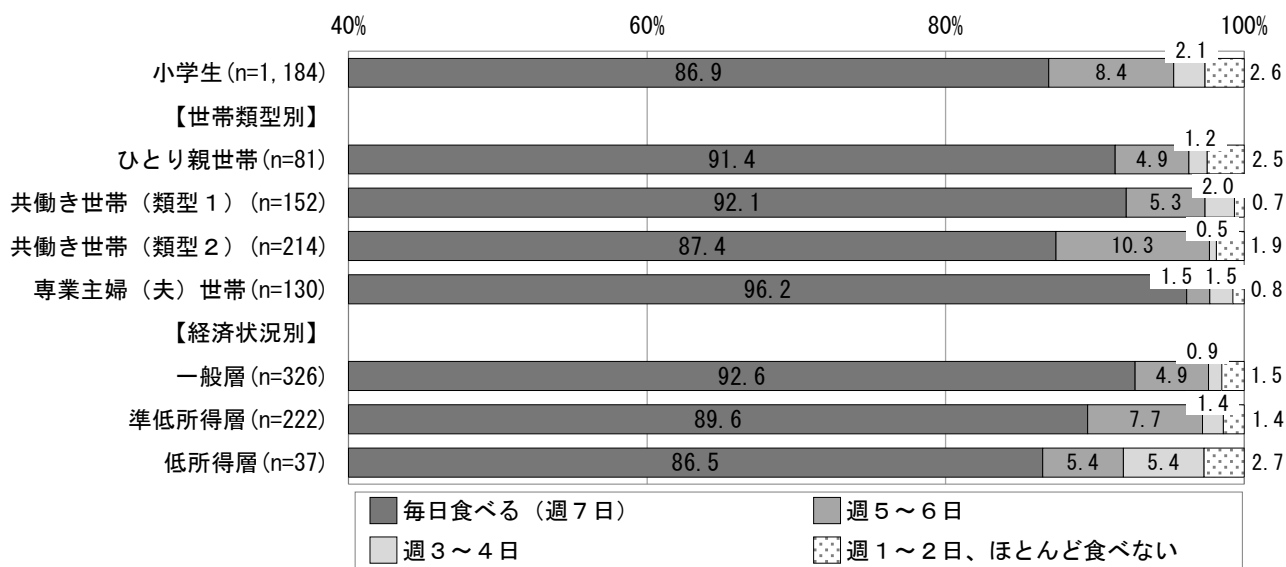
あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。(単数回答)

小学生

①朝食

「毎日食べる(週7日)」が86.9%となっている。

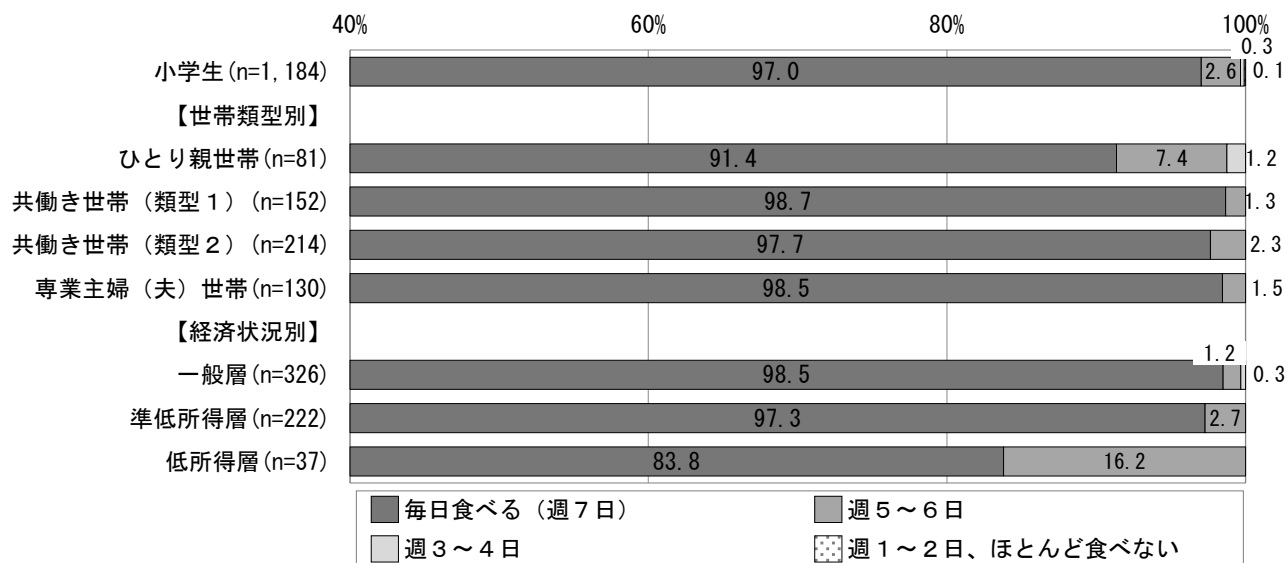
世帯類型別では、共働き世帯(類型2)の「毎日食べる(週7日)」割合が他の類型よりも低くなっている。
 経済状況別では、低所得層が一般層・準低所得層に比べて「毎日食べる(週7日)」割合が低くなっている。



②夕食

「毎日食べる(週7日)」が97.0%となっている。

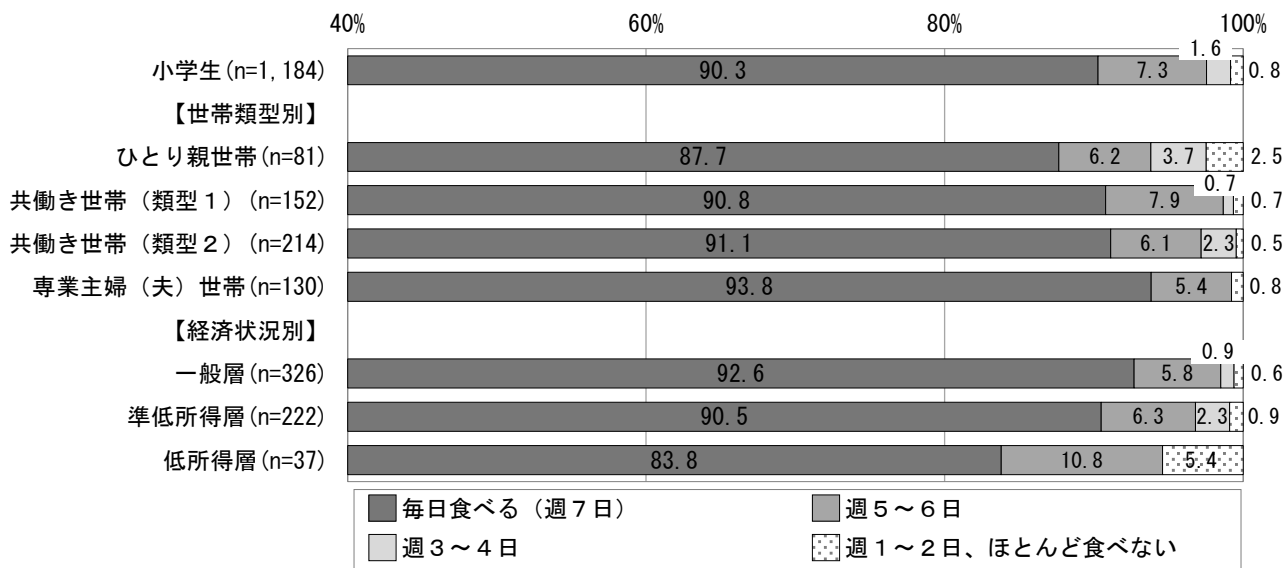
世帯類型別では、ひとり親世帯の「毎日食べる(週7日)」割合が他の類型よりも低くなっている。経済状況別では、低所得層が一般層・準低所得層に比べて「毎日食べる(週7日)」割合が低くなっている。



③夏休みや冬休みなどの期間の昼食

「毎日食べる(週7日)」が90.3%となっている。

世帯類型別では、ひとり親世帯の「毎日食べる(週7日)」割合が他の類型よりも低くなっている。経済状況別では、低所得層が一般層・準低所得層に比べて「毎日食べる(週7日)」割合が低くなっている。



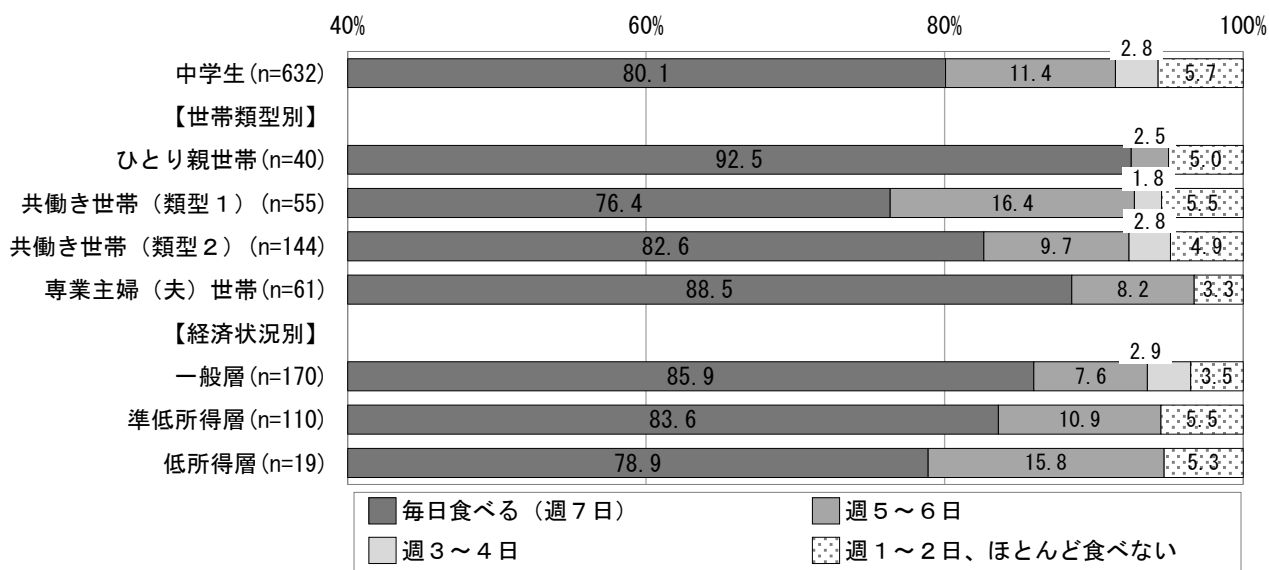
中学生

①朝食

「毎日食べる(週7日)」が80.1%となっている。小学生と比べると、朝食を食べる頻度は低くなっている。

世帯類型別では、共働き世帯(類型1)の「毎日食べる(週7日)」割合が他の類型よりも低くなっている。

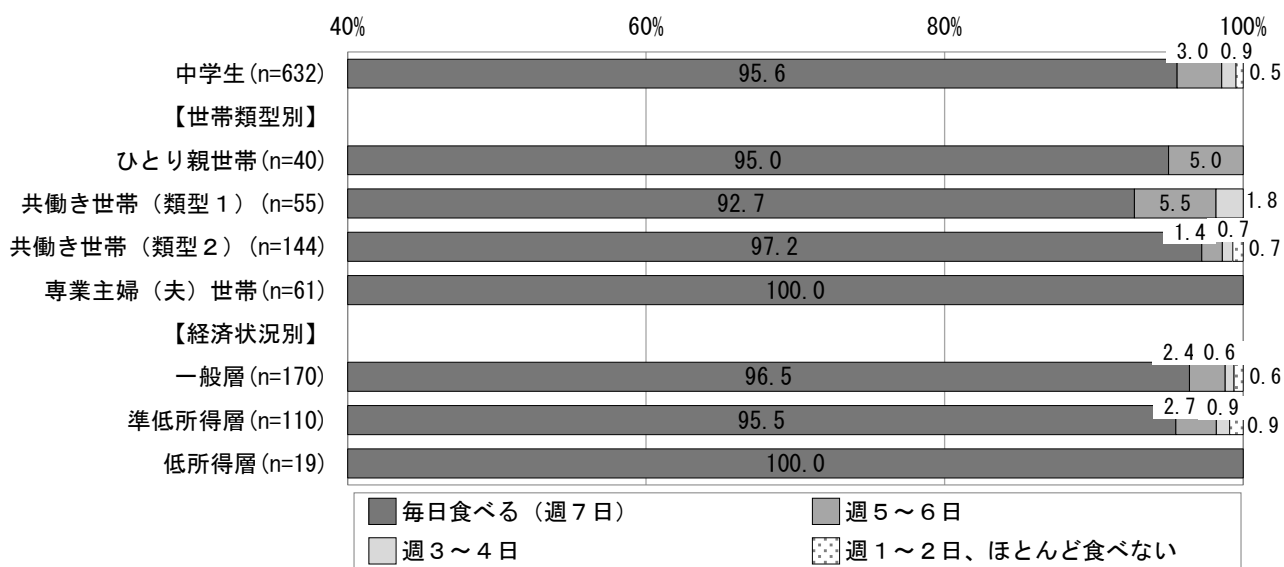
経済状況別では、低所得層が一般層・準低所得層に比べて「毎日食べる(週7日)」割合が低くなっている。



②夕食

「毎日食べる(週7日)」が95.6%となっている。

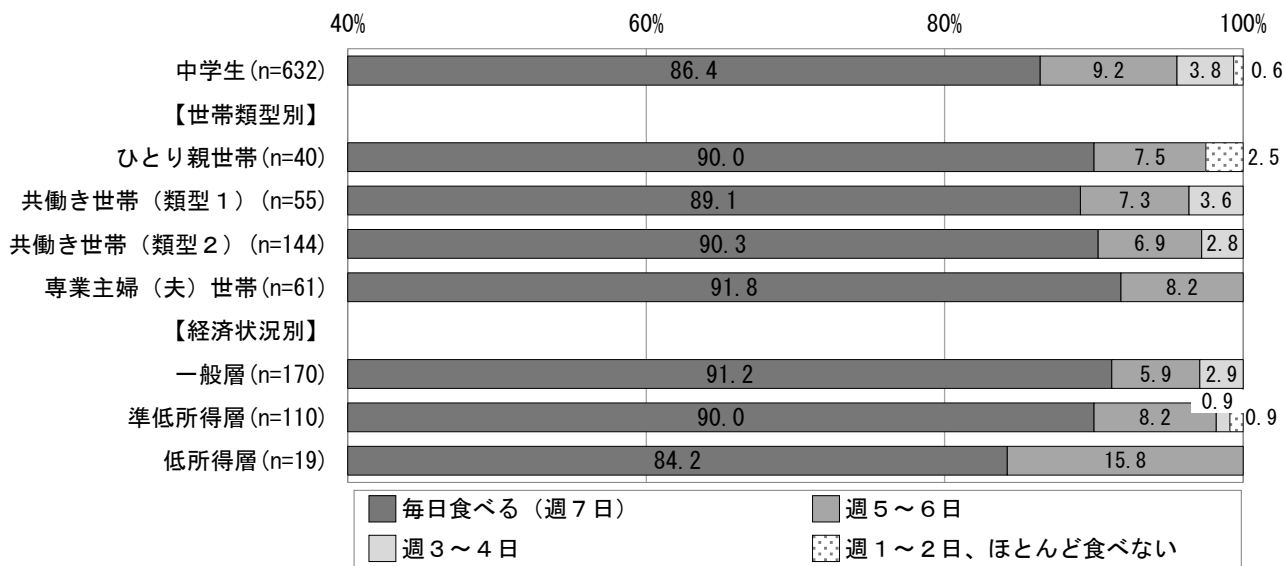
世帯類型別では、共働き世帯(類型1)の「毎日食べる(週7日)」割合が他の類型よりも低くなっている。



③夏休みや冬休みなどの期間の昼食

「毎日食べる(週7日)」が86.4%となっている。

経済状況別では、低所得層が一般層・準低所得層に比べて「毎日食べる(週7日)」割合が低くなっている。



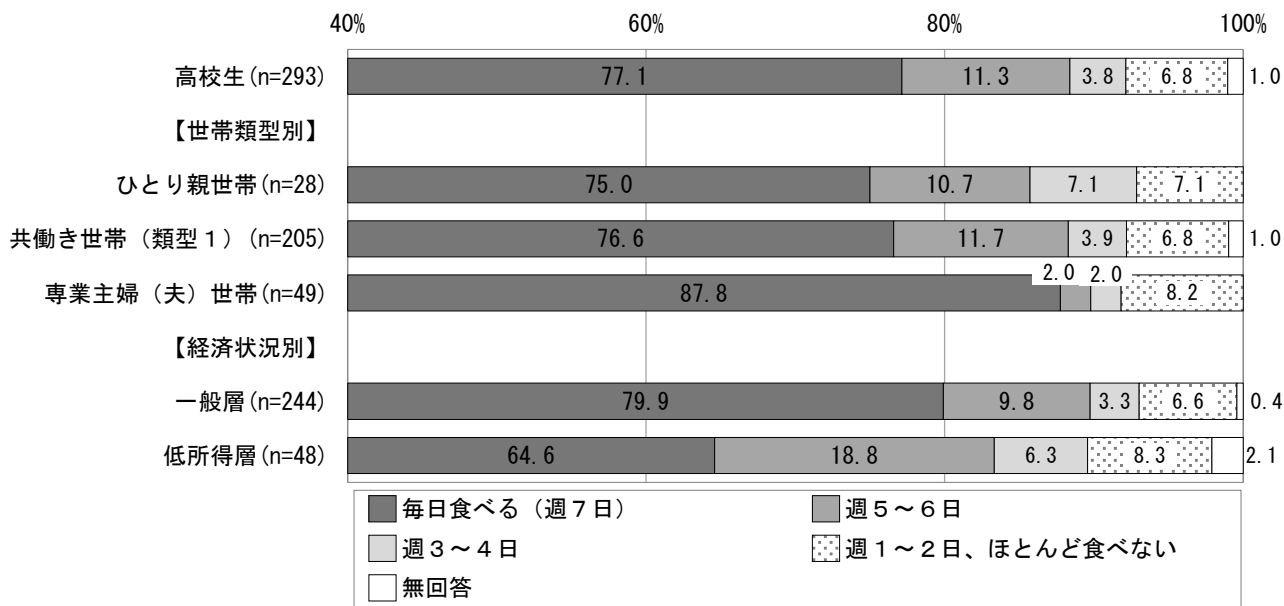
高校生

①朝食

「毎日食べる(週7日)」が77.1%となっている。

世帯類型別では、専業主婦(夫)世帯の「毎日食べる(週7日)」割合が他の類型よりも高くなっている。

経済状況別では、低所得層が一般層に比べて「毎日食べる(週7日)」割合が低くなっている。

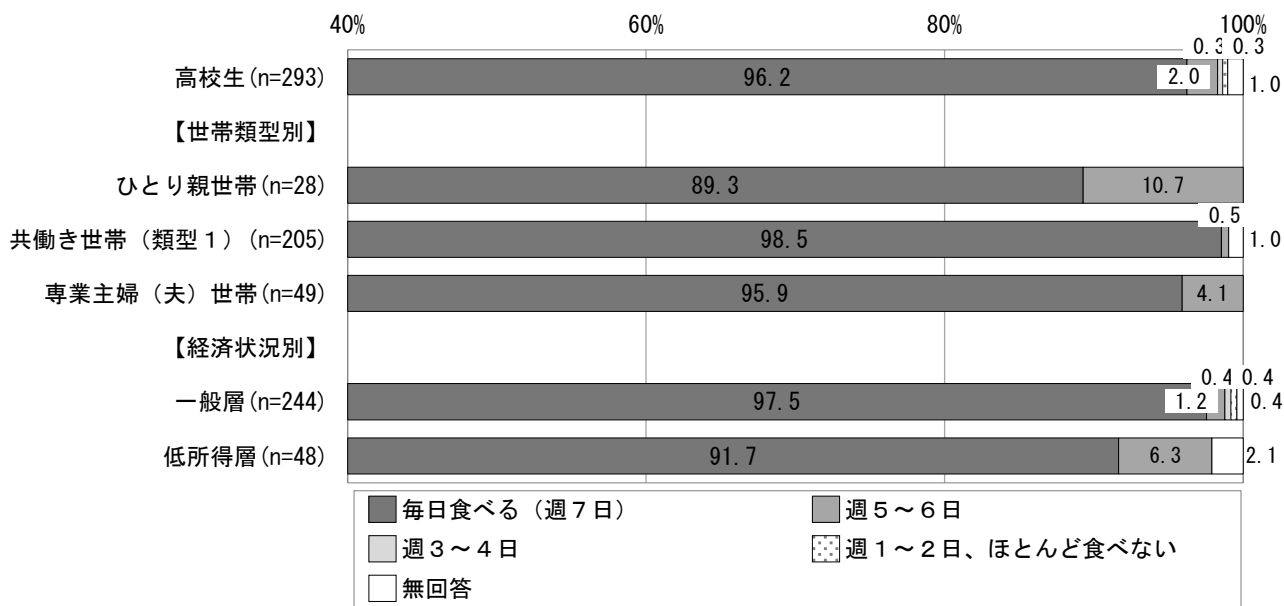


②夕食

「毎日食べる(週7日)」が96.2%となっている。

世帯類型別では、ひとり親世帯の「毎日食べる(週7日)」割合が他の類型よりも低くなっている。

経済状況別では、低所得層が一般層に比べて「毎日食べる(週7日)」割合が低くなっている。

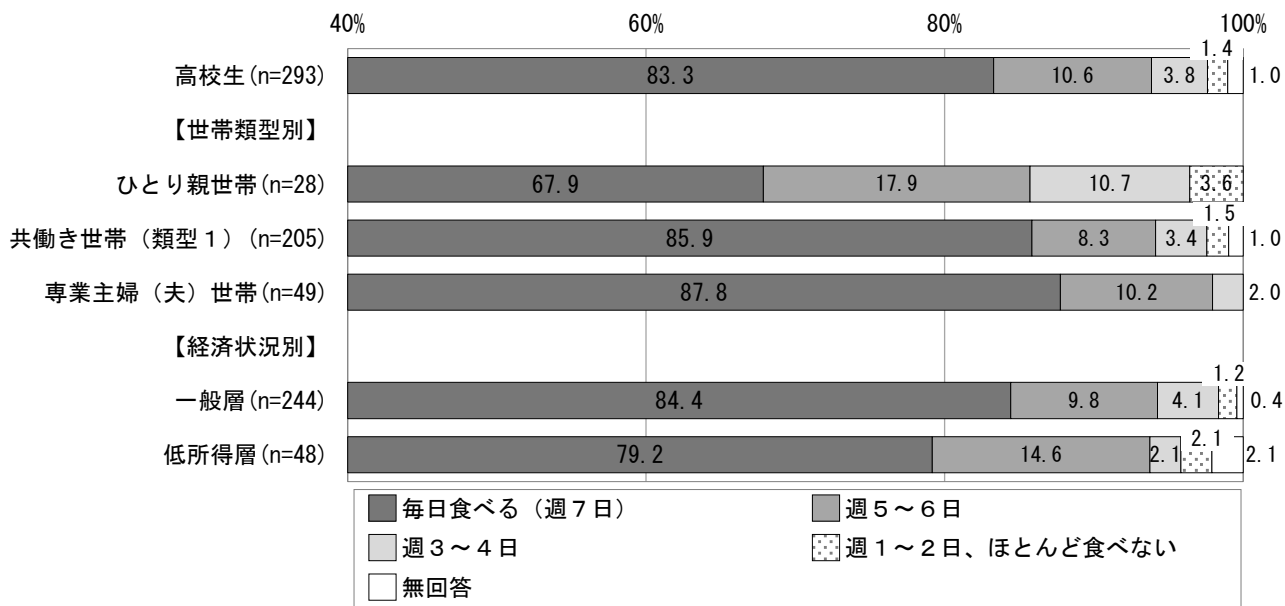


③夏休みや冬休みなどの期間の昼食

「毎日食べる(週7日)」が83.3%となっている。

世帯類型別では、ひとり親世帯の「毎日食べる(週7日)」割合が他の類型よりも低くなっている。

経済状況別では、低所得層が一般層に比べて「毎日食べる(週7日)」割合が低くなっている。

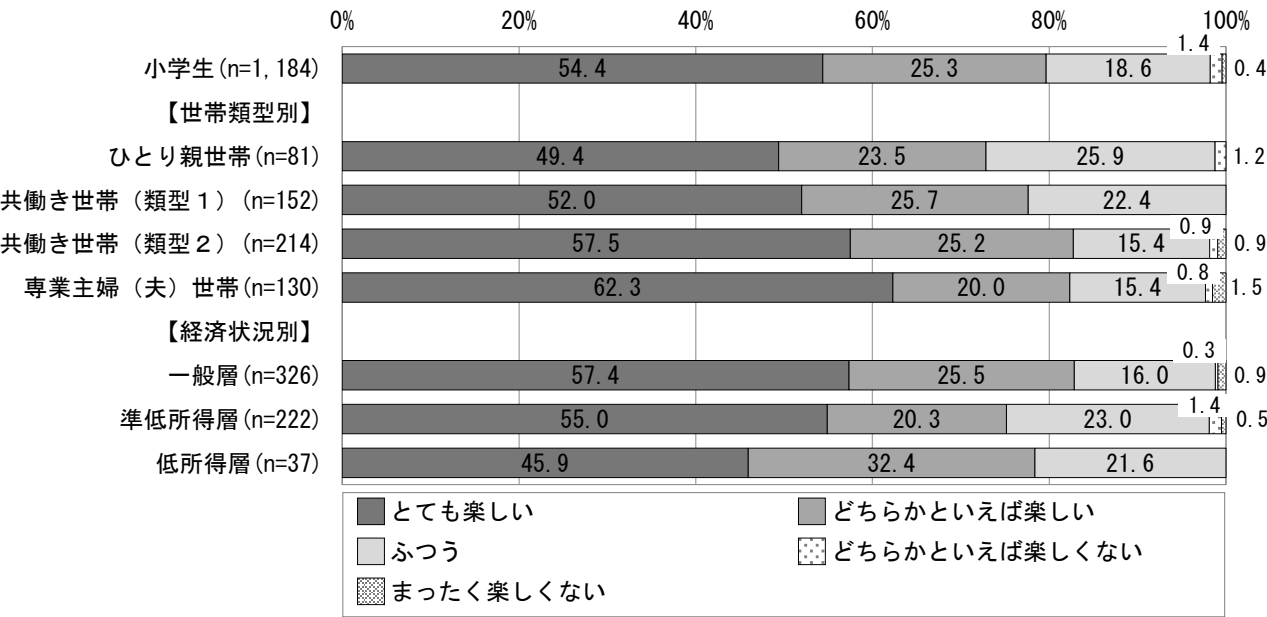


(4)食事は楽しいか

小学生 問 8 、 中学生 問 8 、 高校生 問 8
あなたは毎日の食事が楽しいですか。(単数回答)

小学生

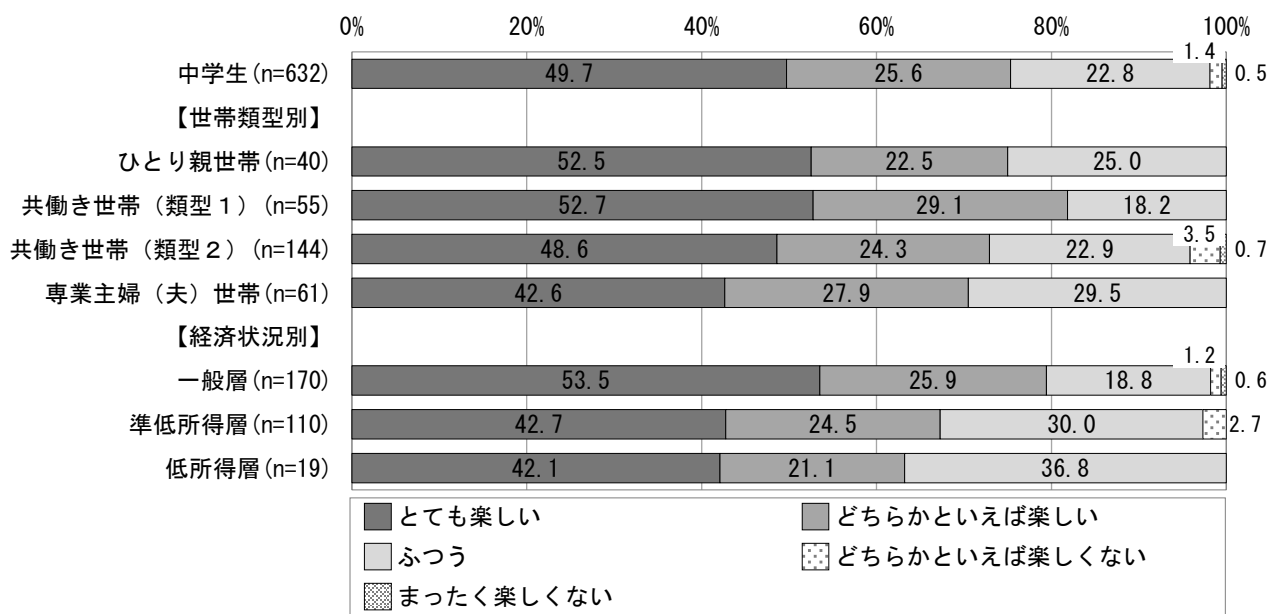
「とても楽しい」が 54.4%と最も高く、「どちらかといえば楽しい」が 25.3%と続いている。
世帯類型別では、ひとり親世帯において楽しいと感じる割合(「とても楽しい」と「どちらかといえば楽しい」の合計)が低くなっている。
経済状況別では、所得が低くなるにつれ「とても楽しい」の割合が低くなっている。



中学生

「とても楽しい」が49.7%と最も高く、「どちらかといえば楽しい」が25.6%と続いている。

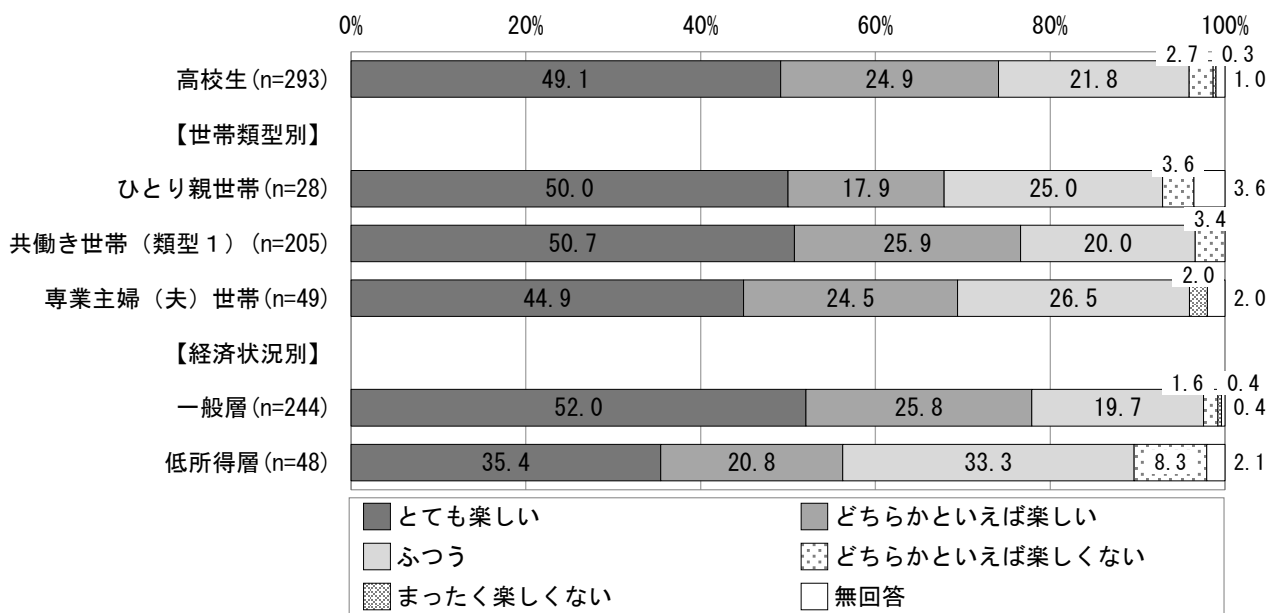
世帯類型別では、共働き世帯(類型1)において楽しいと感じる割合(「とても楽しい」と「どちらかといえば楽しい」の合計)が高くなっている。経済状況別では、一般層は準低所得層・低所得層と比べて楽しいと感じる割合が高くなっている。



高校生

「とても楽しい」が49.1%と最も高く、「どちらかといえば楽しい」が24.9%と続いている。

世帯類型別では、共働き世帯(類型1)において楽しいと感じる割合が高くなっている。経済状況別では、低所得層が一般層に比べて楽しいと感じる割合が低くなっている。



(5)就寝時間

小学生 問9、中学生 問9、高校生 問9

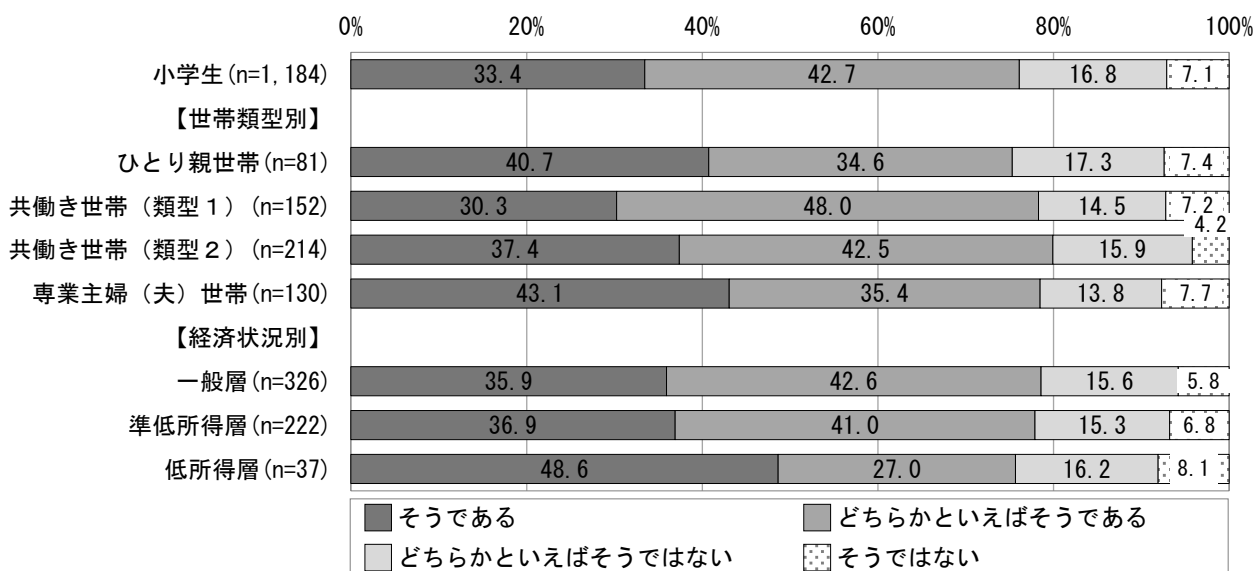
あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時間に寝ていますか。(単数回答)

小学生

ほぼ同じ時間に寝ている割合(「そうである」と「どちらかといえばそうである」の合計)が76.1%となっている。

世帯類型別では、共働き世帯(類型1)において「そうである」割合が低くなっている。

経済状況別では、低所得層が一般層・準低所得層と比べて「そうである」割合が高くなっている。

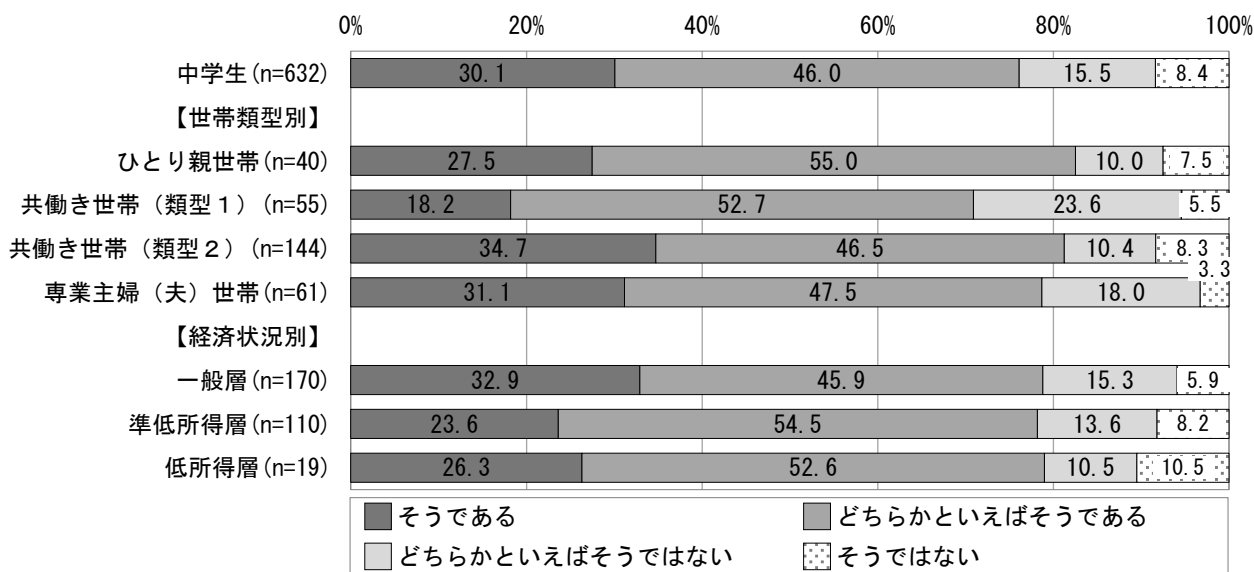


中学生

ほぼ同じ時間に寝ている割合(「そうである」と「どちらかといえばそうである」の合計)が76.1%となっている。

世帯類型別では、共働き世帯(類型1)においてほぼ同じ時間に寝ている割合が低くなっている。

経済状況別では、一般層が準低所得層・低所得層と比べて「そうである」割合が高くなっている。

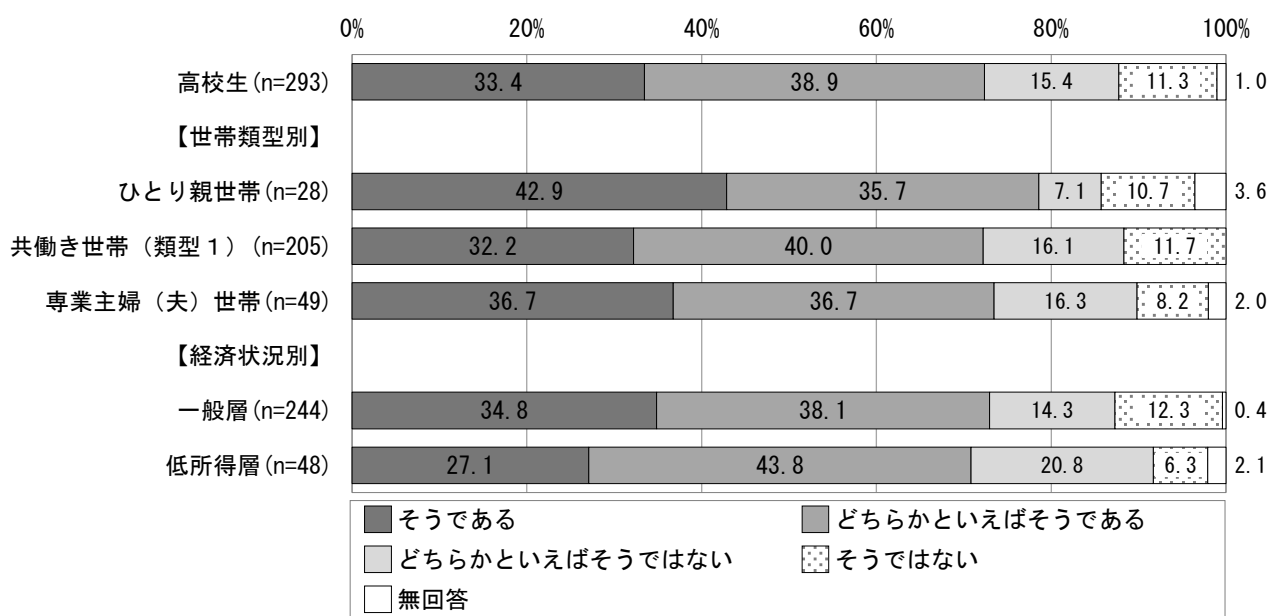


高校生

ほぼ同じ時間に寝ている割合(「そうである」と「どちらかといえばそうである」の合計)が72.3%となっている。

世帯類型別では、ひとり親世帯においてほぼ同じ時間に寝ている割合が高くなっている。

経済状況別では、低所得層が一般層に比べて「そうである」割合が低くなっている。



(6)相談できると思う相手

小学生 問10、中学生 問10、高校生 問10、若者 問13

あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。(複数回答)

小学生

「親」が78.4%と最も高く、「学校の友だち」が57.7%、「学校の先生」が34.1%と続いている。「だれにも相談できない、相談したくない」が7.9%となっている。

(%)	親	学校の友だち	学校の先生	兄弟・姉妹	学校外の友だち	祖父母など親せき	スクールソーシャルワーカーなど	その他の大人	インターネットで知り合った人	だれにも相談できない、相談したくない	無回答
小学生 (n=1,184)	78.4	57.7	34.1	20.4	15.8	15.6	7.0	3.5	1.9	7.9	0.0
【世帯類型別】											
ひとり親世帯 (n=81)	81.5	61.7	34.6	19.8	11.1	17.3	4.9	2.5	2.5	4.9	0.0
共働き世帯（類型1） (n=152)	75.7	57.2	29.6	19.1	17.8	17.1	9.9	5.9	0.7	6.6	0.0
共働き世帯（類型2） (n=214)	86.0	56.5	33.2	16.4	15.4	13.1	6.1	3.7	1.4	6.1	0.0
専業主婦（夫）世帯 (n=130)	89.2	63.8	43.8	23.8	21.5	13.8	10.0	3.1	1.5	4.6	0.0
【経済状況別】											
一般層 (n=326)	84.7	61.0	36.5	17.5	18.7	16.0	8.9	4.3	1.5	5.2	0.0
準低所得層 (n=222)	80.2	56.8	32.4	21.2	14.9	12.6	6.3	3.2	0.9	6.8	0.0
低所得層 (n=37)	81.1	64.9	35.1	16.2	13.5	18.9	5.4	2.7	2.7	2.7	0.0

中学生

「学校の友達」が 70.9%と最も高く、「親」が 66.5%、「学校の先生」が 34.8%と続いている。「だれにも相談できない、相談したくない」が8.4%となっている。

(%)	学校の友達	親	学校の先生	学校外の友達	兄弟・姉妹	祖父母、親せきなど	インターネットで知り合った人	スクールソーシャルワーカーなど	その他の大人	だれにも相談できない、相談したくない	無回答
中学生 (n=632)	70.9	66.5	34.8	21.5	20.9	11.2	5.5	5.2	3.3	8.4	0.0
【世帯類型別】											
ひとり親世帯 (n=40)	75.0	62.5	37.5	27.5	10.0	12.5	7.5	2.5	0.0	10.0	0.0
共働き世帯（類型1） (n=55)	65.5	70.9	38.2	29.1	20.0	3.6	3.6	3.6	1.8	12.7	0.0
共働き世帯（類型2） (n=144)	71.5	66.0	34.7	17.4	16.7	8.3	6.3	2.8	2.1	7.6	0.0
専業主婦（夫）世帯 (n=61)	68.9	83.6	34.4	14.8	26.2	16.4	3.3	11.5	3.3	6.6	0.0
【経済状況別】											
一般層 (n=170)	68.8	74.7	36.5	22.4	19.4	13.5	6.5	5.9	1.8	8.8	0.0
準低所得層 (n=110)	73.6	61.8	35.5	20.0	16.4	4.5	4.5	4.5	3.6	8.2	0.0
低所得層 (n=19)	73.7	78.9	42.1	15.8	15.8	5.3	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0

高校生

「学校の友達」が 66.6%と最も高く、「親」が 66.2%、「学校外の友達」が 30.0%と続いている。「だれにも相談できない、相談したくない」が7.8%となっている。ひとり親世帯、低所得層において、「だれにも相談できない、相談したくない」割合が高くなっている。

(%)	学校の友達	親	学校外の友達	兄弟・姉妹	学校の先生	祖父母など親せき	インターネットで知り合った人	スクールソーシャルワーカーなど	その他の大人	だれにも相談できない、相談したくない	無回答
高校生 (n=293)	66.6	66.2	30.0	19.8	18.4	6.8	5.1	3.1	2.4	7.8	1.0
【世帯類型別】											
ひとり親世帯 (n=28)	46.4	53.6	25.0	17.9	21.4	10.7	3.6	14.3	7.1	14.3	3.6
共働き世帯（類型1） (n=205)	70.2	66.8	33.7	20.0	17.6	5.9	3.4	2.0	2.0	8.3	0.0
専業主婦（夫）世帯 (n=49)	63.3	71.4	22.4	24.5	20.4	8.2	10.2	0.0	2.0	4.1	2.0
【経済状況別】											
一般層 (n=244)	68.9	70.5	30.7	21.3	20.5	7.0	3.7	2.5	2.5	6.6	0.4
低所得層 (n=48)	56.3	45.8	27.1	12.5	8.3	6.3	12.5	6.3	2.1	14.6	2.1

若者

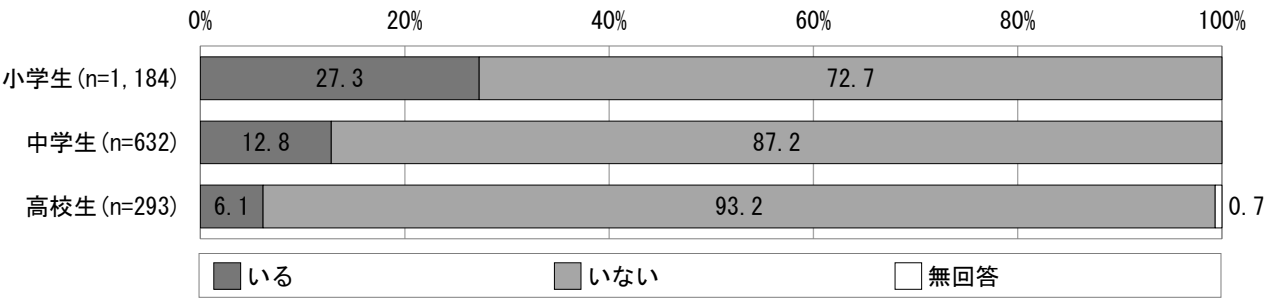
「親」が80.8%と最も高く、「友人」が65.3%、「兄弟・姉妹」が25.7%と続いている。「だれにも相談できない、相談したくない」が4.2%となっている。

(%)	親	友人	兄弟・姉妹	配偶者・パートナー	職場の同僚	祖父母など親せき	インターネットで知り合った人	学校の先生	地域の人	その他	だれにも相談したくない、相談できない	無回答
若者 (n=167)	80.8	65.3	25.7	18.0	12.0	7.8	6.6	4.8	0.6	3.0	4.2	0.6
【世帯類型別】												
ひとり親世帯 (n=14)	64.3	64.3	0.0	14.3	7.1	14.3	0.0	7.1	0.0	0.0	7.1	0.0
共働き世帯（類型1） (n=38)	86.8	76.3	23.7	7.9	7.9	5.3	10.5	5.3	0.0	5.3	5.3	0.0
専業主婦（夫）世帯 (n=71)	84.5	62.0	35.2	15.5	12.7	5.6	5.6	7.0	0.0	1.4	4.2	0.0
【経済状況別】												
一般層 (n=112)	83.0	67.9	28.6	17.9	9.8	8.9	5.4	7.1	0.9	0.9	3.6	0.9
低所得層 (n=55)	76.4	60.0	20.0	18.2	16.4	5.5	9.1	0.0	0.0	7.3	5.5	0.0

(7)お世話をしている家族の有無

小学生 問 11、中学生 問 11、高校生 問 11
家族の中に、あなたがお世話をしている人はいいますか。(単数回答)

小学生では、「いる」が27.3%、「いない」が72.7%となっている。
中学生では、「いる」が12.8%、「いない」が87.2%となっている。
高校生では、「いる」が6.1%、「いない」が93.2%となっている。



(8)お世話をしていることで、やりたくてもできないこと

小学生 問 11-1、中学生 問 11-1、高校生 問 11-1

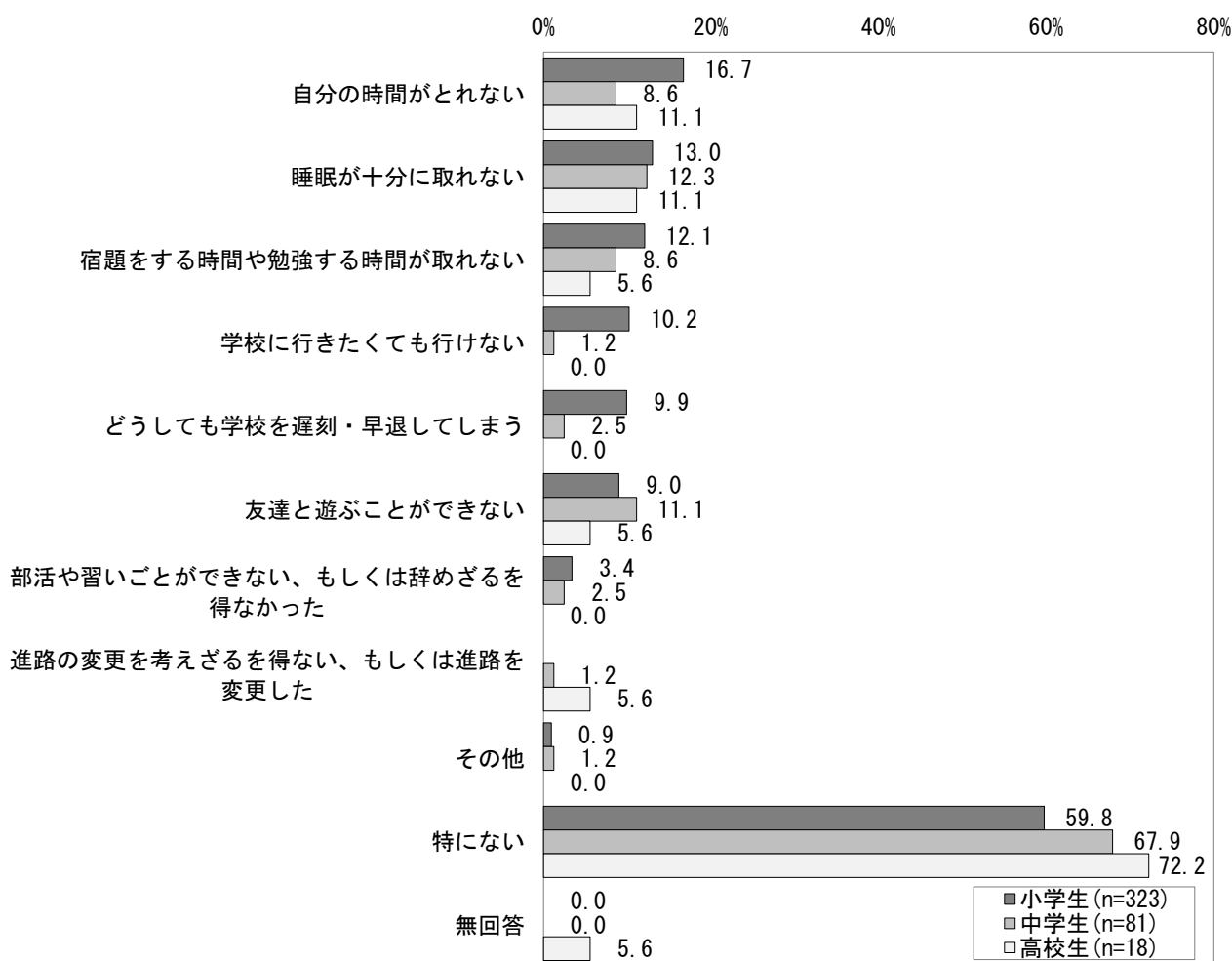
【「お世話をしている家族の有無」で「いる」を選択した方のみ】

お世話をしていることで、やりたくてもできていないことはありますか。(複数回答)

小学生では、「自分の時間がとれない」が16.7%と最も高くなっている。

中学生では、「睡眠が十分に取れない」が12.3%と最も高くなっている。

高校生では、「自分の時間がとれない」と「睡眠が十分に取れない」が、それぞれ11.1%と最も高くなっている。



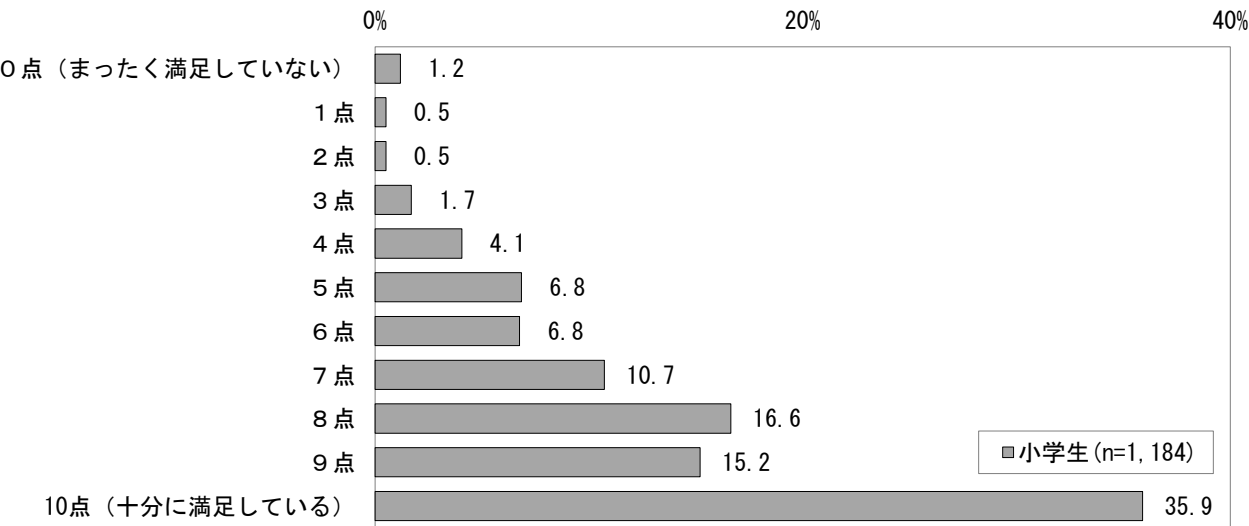
(9)生活への満足度

小学生 問 12、中学生 問 12、高校生 問 12、若者 問 10

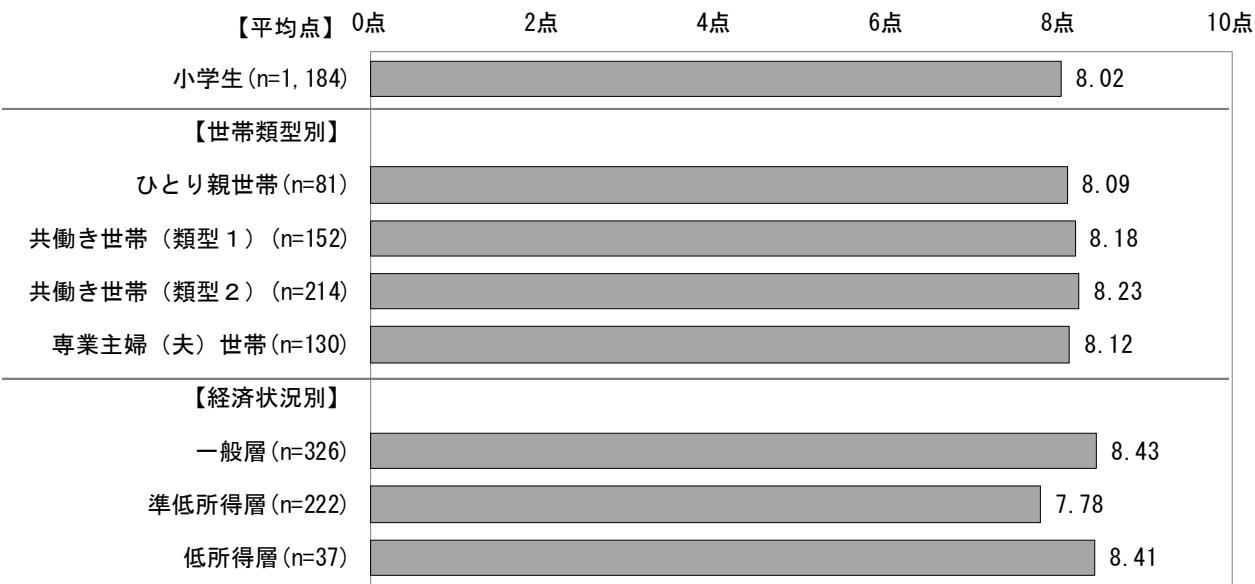
全体として、あなたは最近の生活にどのくらい満足していますか。「0」(まったく満足していない)から「10」(十分に満足している)の数字で教えてください。(単数回答)

小学生

「10点(十分に満足している)」が35.9%と最も高く、「8点」が16.6%、「9点」が15.2%と続いている。

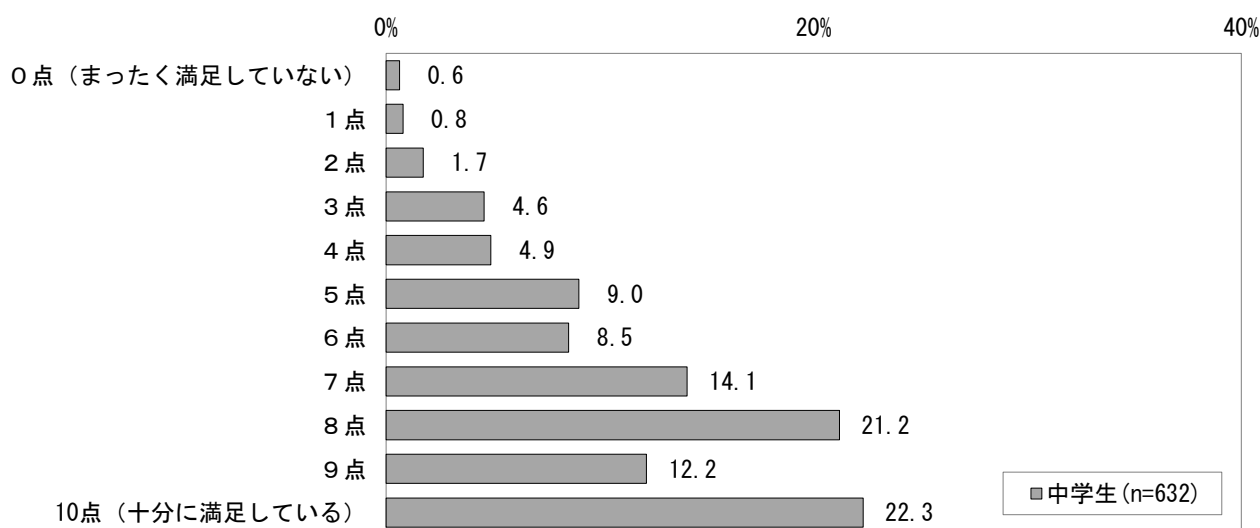


経済状況別に平均点をみると、準低所得層が一般層・低所得層と比べて低くなっている。

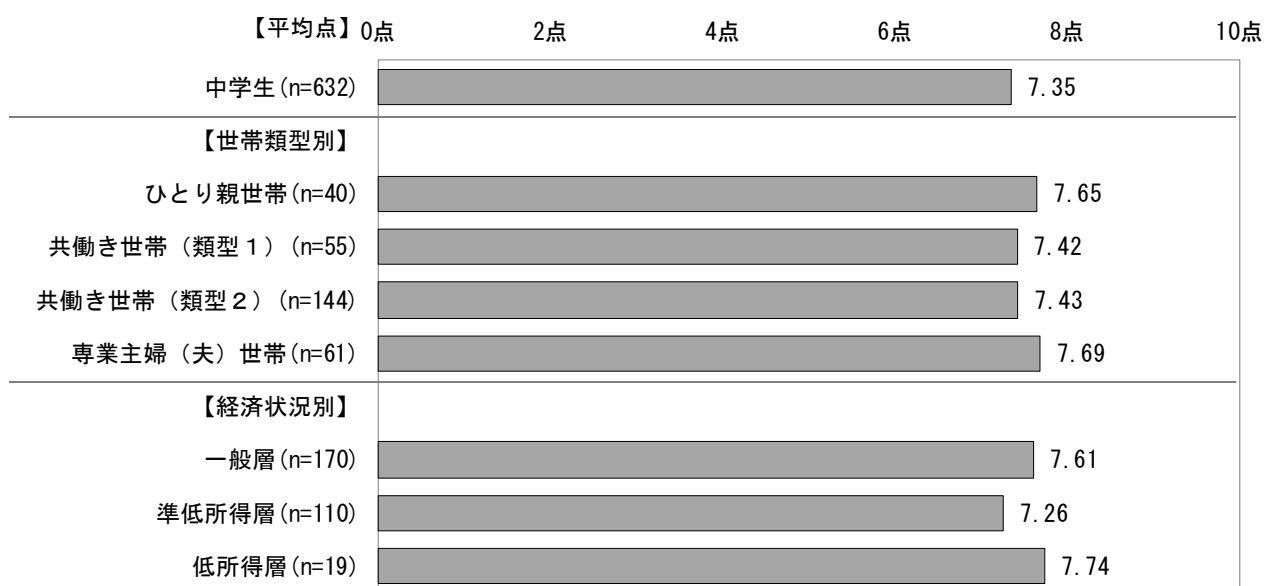


中学生

「10点(十分に満足している)」が22.3%と最も高く、「8点」が21.2%、「7点」が14.1%と続いている。

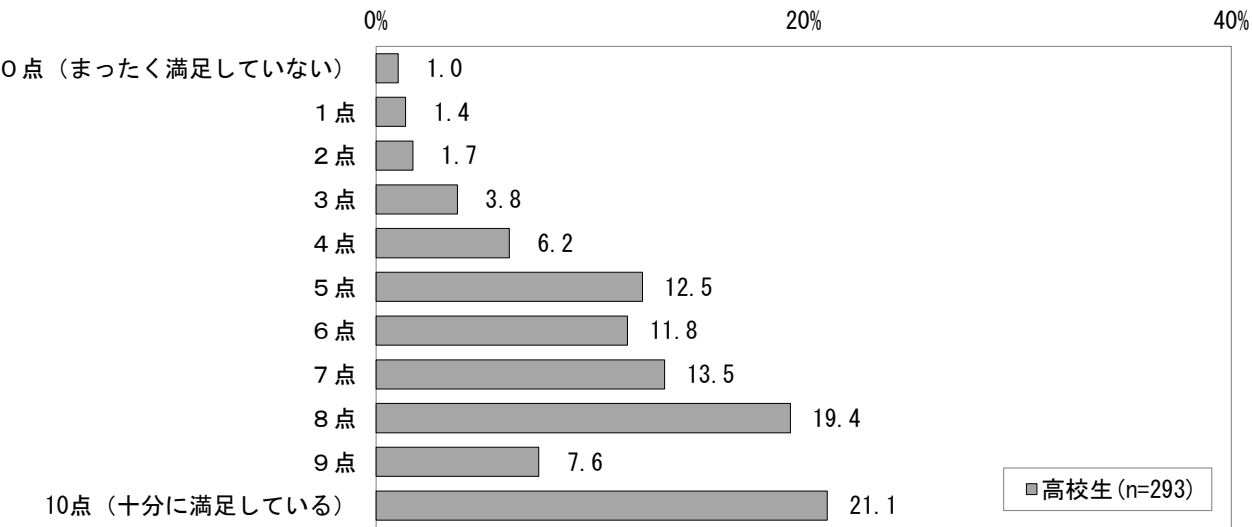


経済状況別に平均点をみると、準低所得層が一般層・低所得層と比べて低くなっている。全体的に、小学生よりも平均点は低くなっている。

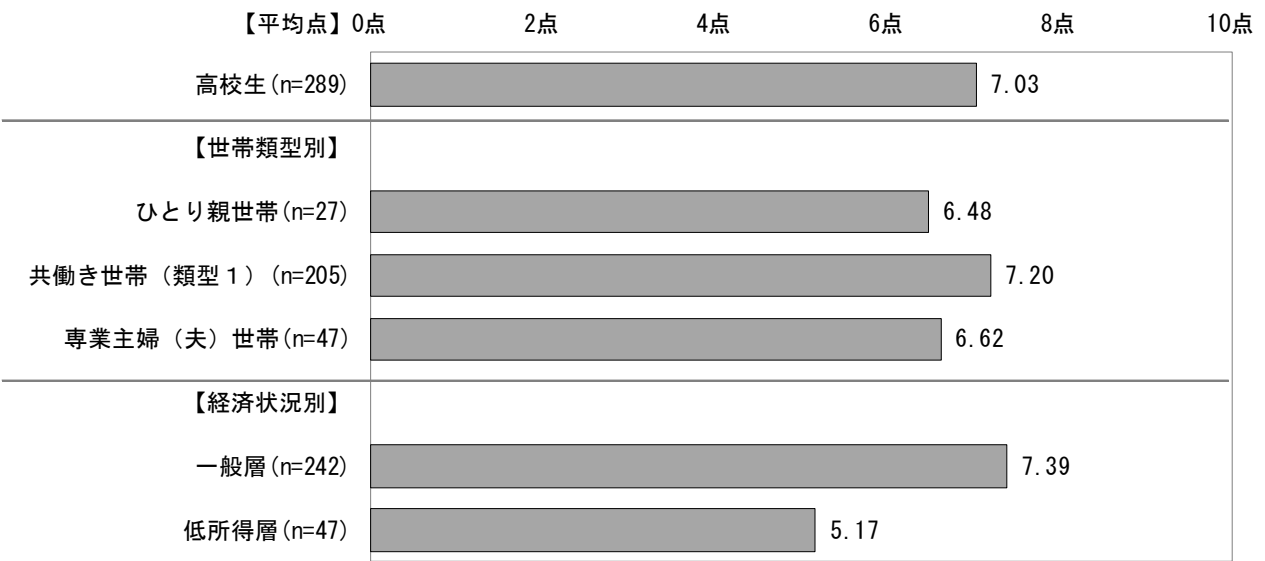


高校生

「10点(十分に満足している)」が21.1%と最も高く、「8点」が19.4%、「7点」が13.5%と続いている。

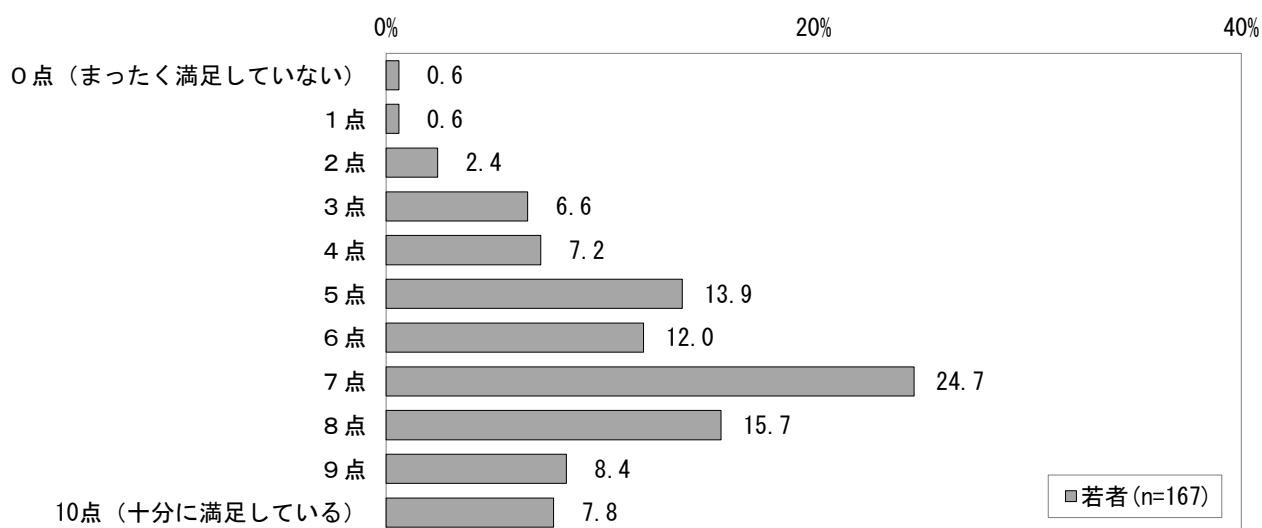


経済状況別に平均点をみると、低所得層が一般層と比べて低くなっている。



若者

「7点」が24.7%と最も高く、「8点」が15.7%、「5点」が13.9%と続いている。



経済状況別に平均点をみると、低所得層が一般層と比べて低くなっている。全体的に、高校生までと比べて平均点は低くなっている。

【平均点】	0点	2点	4点	6点	8点	10点
若者 (n=166)						6.48
【世帯類型別】						
ひとり親世帯 (n=14)						6.79
共働き世帯（類型1） (n=38)						6.61
専業主婦（夫）世帯 (n=71)						6.90
【経済状況別】						
一般層 (n=111)						6.87
低所得層 (n=55)						5.69

第4節 子どもの意識

■結果の概要

【自己肯定感等】

- ・「自分のことが好き」と思う割合は、小学生が 60.6%、中学生が 55.1%、高校生が 53.6%、若者が 64.1%となっている。中学生・高校生になると自己肯定感が減少し、進路選択を経ると(若者になると)自己肯定感が増加しているものと考えられる。
- ・高校生の低所得層において、「自分のことが好き」と思う割合が特に低く、29.2%となっている。家庭の経済状態や学力から、進路選択に制限があるように感じる事が原因のひとつと考えられる。
- ・将来の夢がある割合は、小学生が8割を超えているのに対し、中学生以上は約6割となっている。

【居場所】

- ・最も安心できる居場所は、小学生においては「家庭」となっているが、中学生・高校生・若者では「自分の部屋」となっている。
- ・「インターネット空間」を安心できる居場所と感じる割合(「そう思う」の割合)は、小学生が18.6%、中学生が 26.7%、高校生が 21.8%、若者が 29.9%となっている。若者が最も高く、「学校・職場」や「地域」よりも安心できる居場所と感じる割合は高くなっている。

(1)自己肯定感・非認知能力

小学生 問 13、中学生 問 13、高校生 問 13、若者 問 9

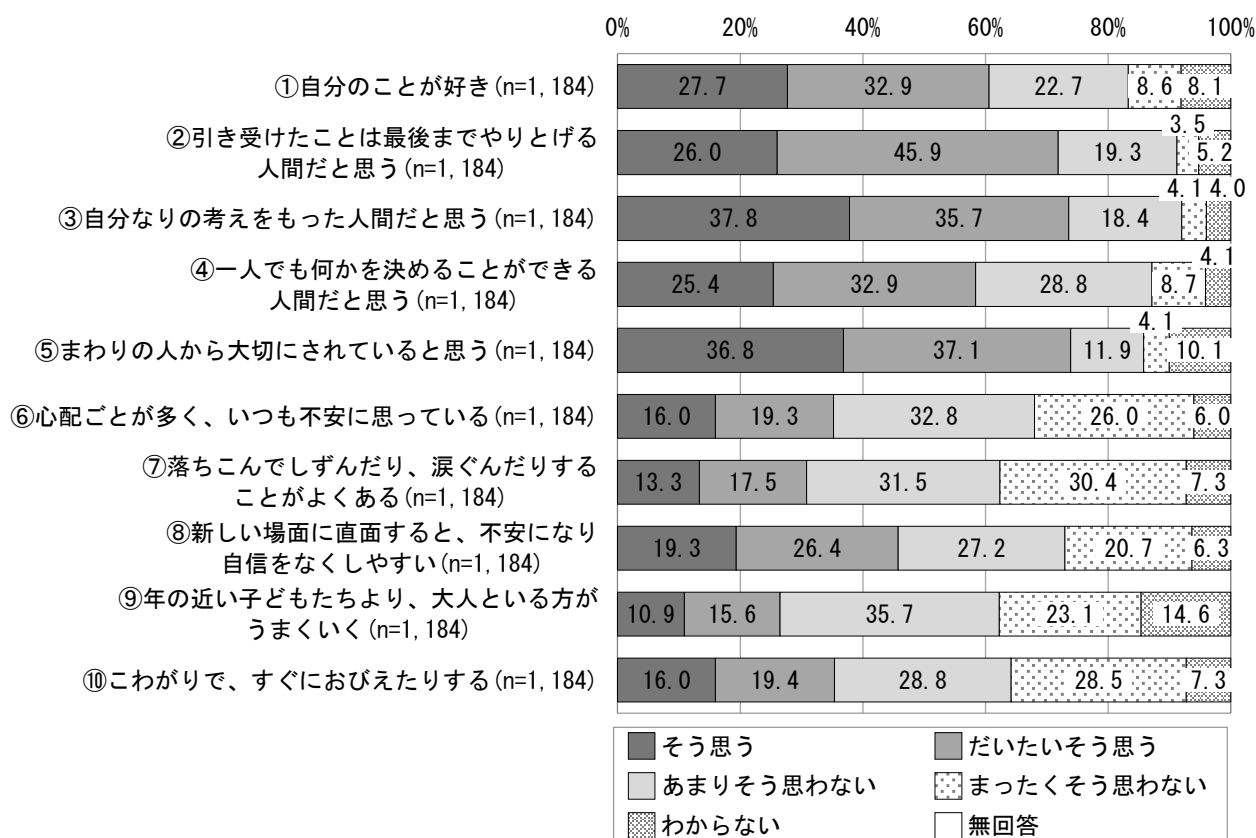
あなたが自分自身について思っていることを、次の①から⑩のそれぞれの項目について答えてください。
(単数回答)

小学生

①全体

「自分のことが好き」と思う割合(「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計)が、60.6%となっている。

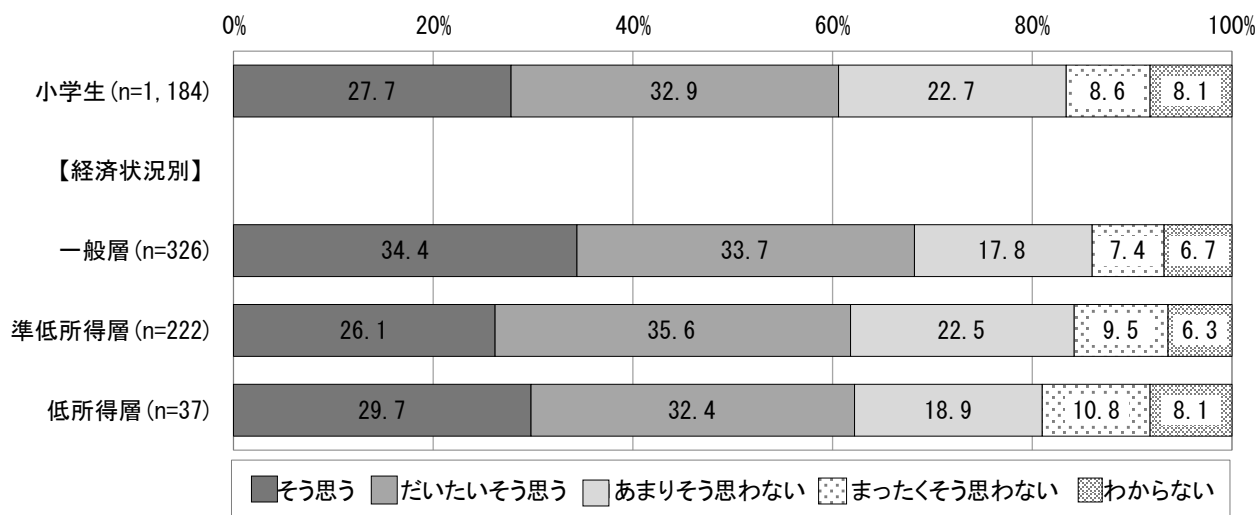
項目別で「そう思う」の割合をみると、「自分なりの考えをもった人間だと思う」が 37.8%と最も高くなっている。また、「まったくそう思わない」の割合をみると、「落ちこんでしずんだり、涙ぐんだりすることがよくある」が 30.4%と最も高くなっている。



②項目別

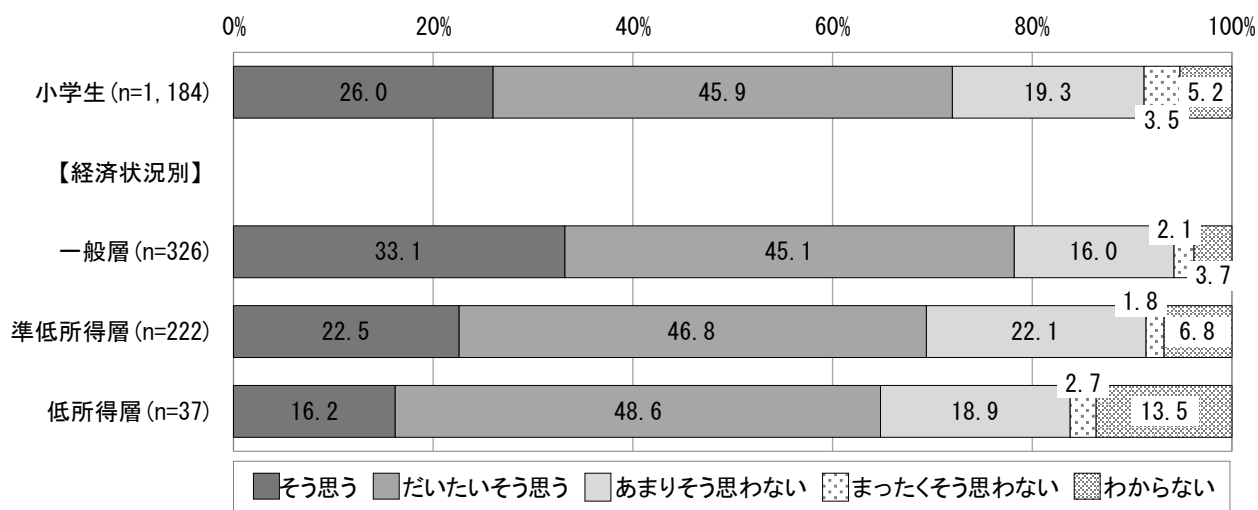
(i) 自分のことが好き

一般層は「自分のことが好き」と思う割合(「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計)が68.1%と、準低所得層・低所得層に比べて高くなっている。



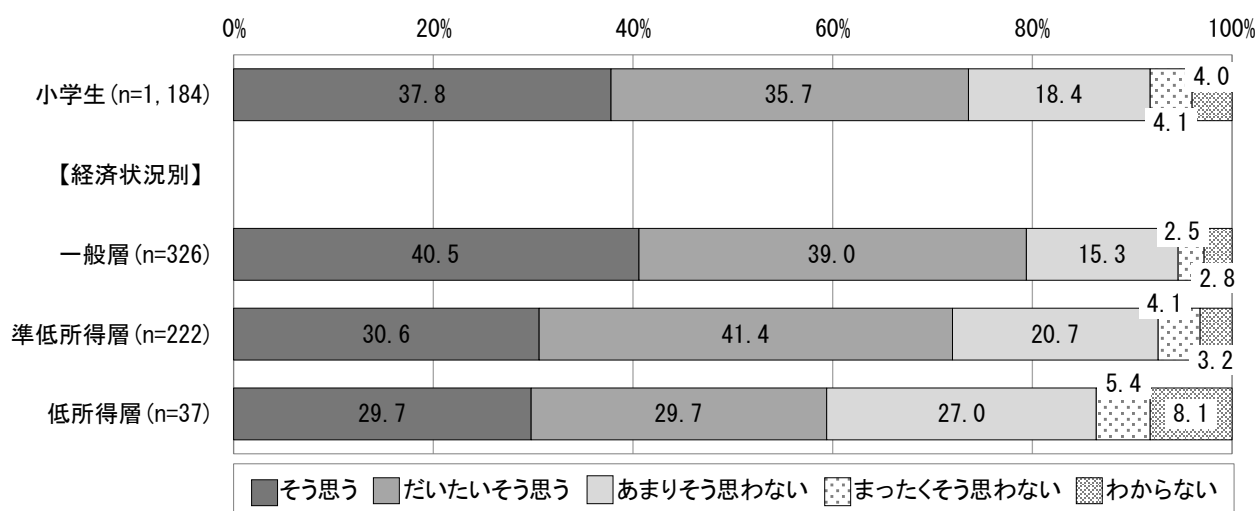
(ii) 引き受けたことは最後までやりとげる人間だと思う

所得が低くなるにつれ、「引き受けたことは最後までやりとげる人間だと思う」割合(「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計)が低くなっている。



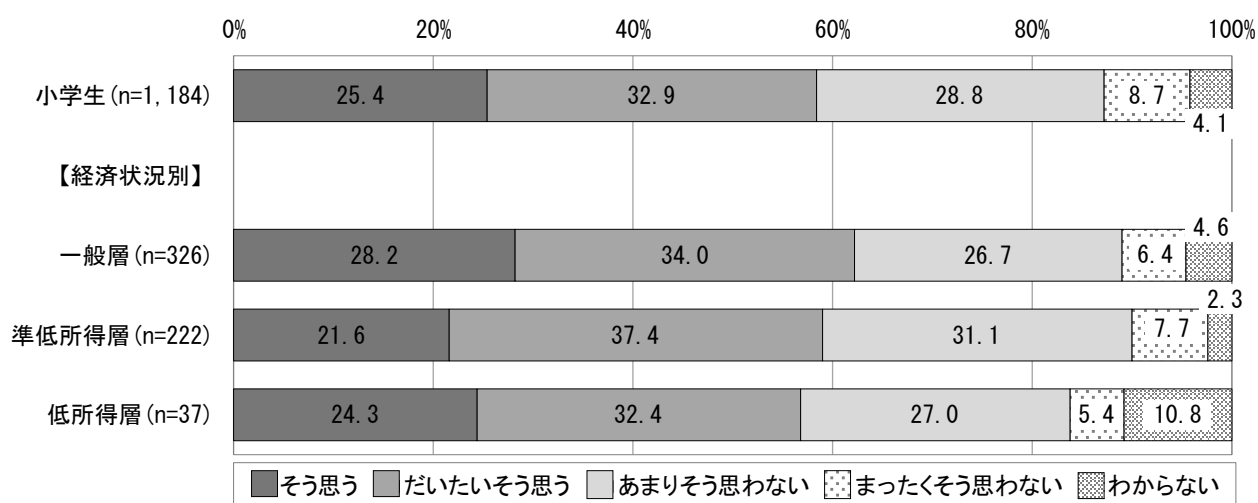
(iii) 自分なりの考えをもった人間だと思う

所得が低くなるにつれ、「自分なりの考えをもった人間だと思う」割合(「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計)が低くなっている。



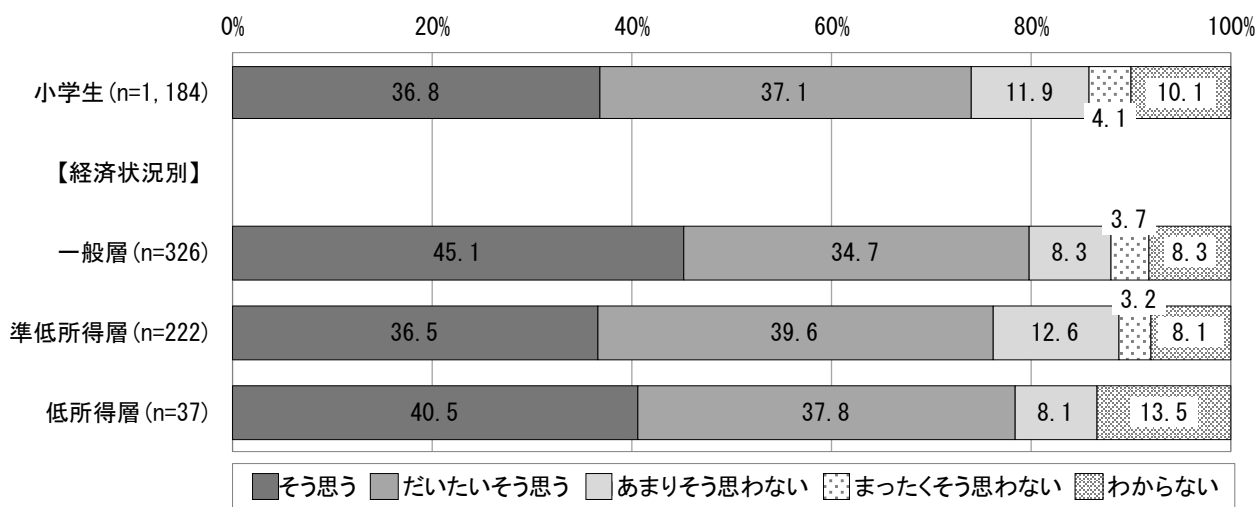
(iv) 一人でも何かを決めることができる人間だと思う

所得が低くなるにつれ、「一人でも何かを決めることができる人間だと思う」割合(「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計)が低くなっている。



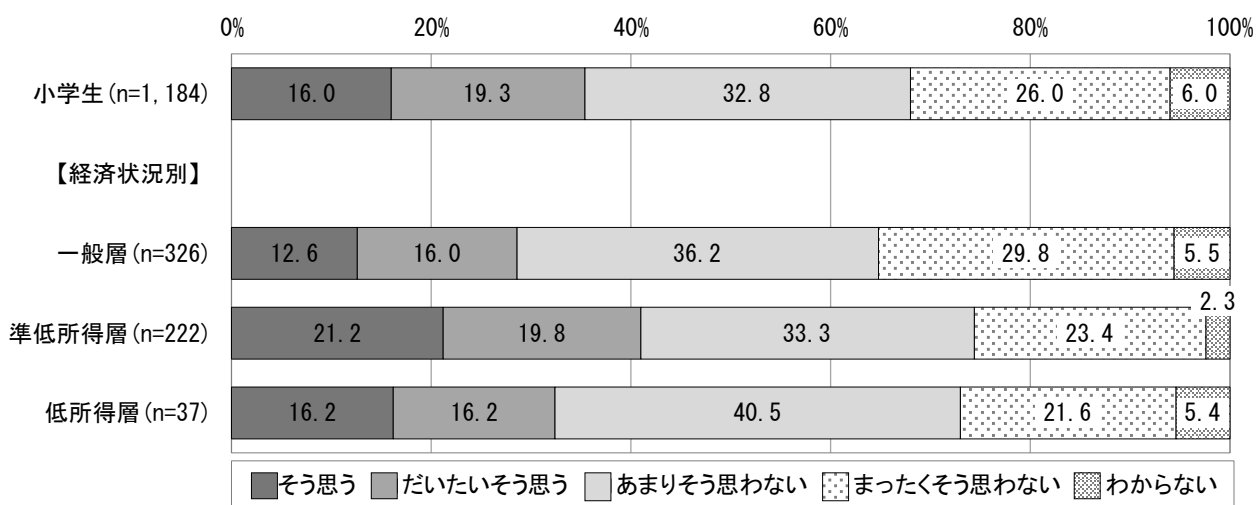
(v) まわりの人から大切にされていると思う

「まわりの人から大切にされていると思う」割合(「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計)については、経済状況による大きな違いはみられない。



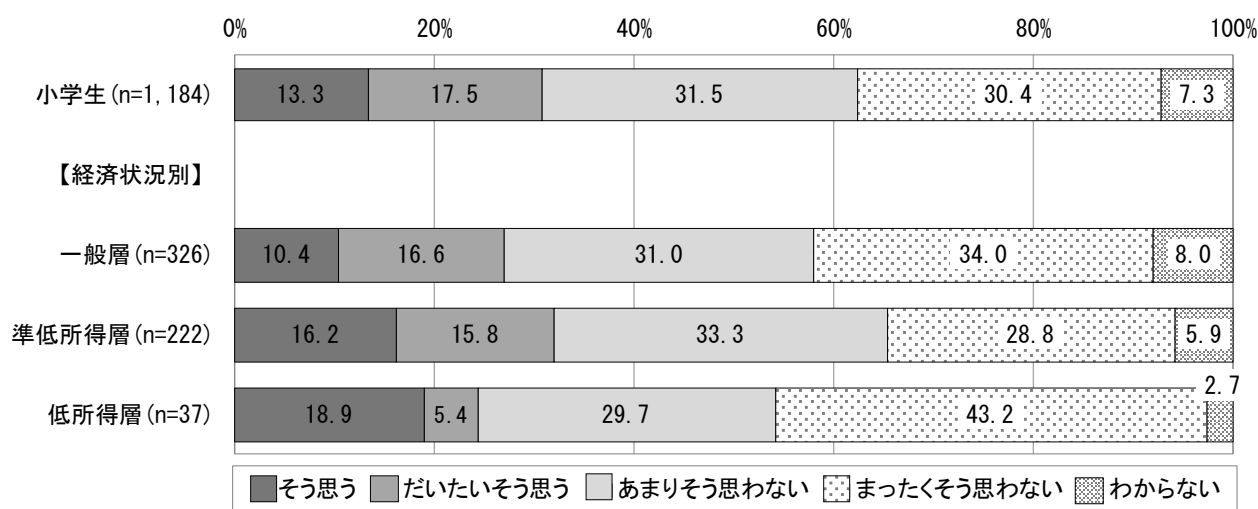
(vi) 心配ごとが多く、いつも不安に思っている

「心配ごとが多く、いつも不安に思っている」割合(「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計)については、準低所得層において41.0%と最も高くなっている。



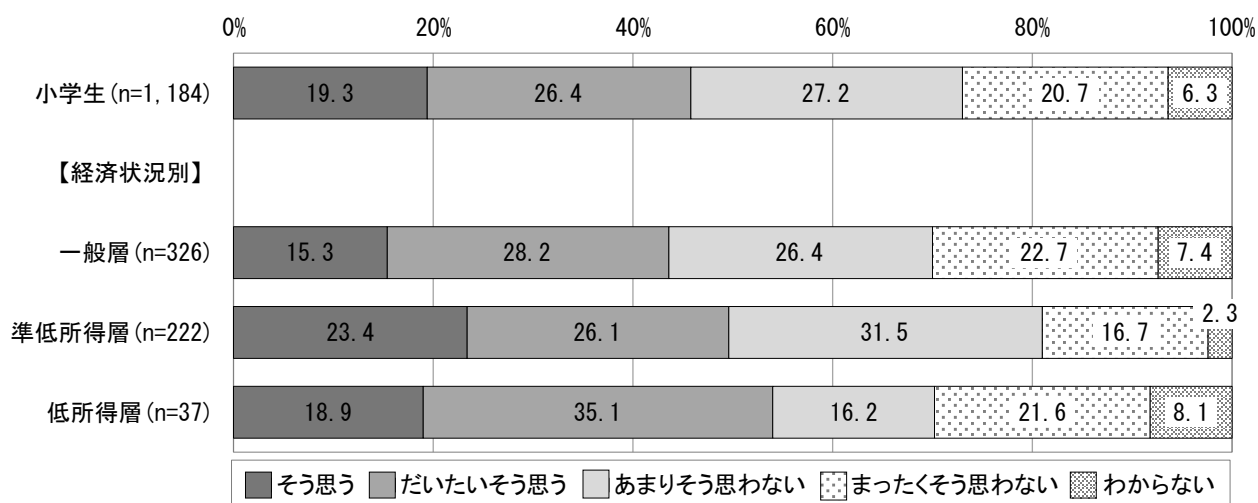
(vii) 落ちこんでしずんだり、涙ぐんだりすることがよくある

「落ちこんでしずんだり、涙ぐんだりすることがよくある」割合(「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計)については、準低所得層において 32.0%と最も高くなっている。



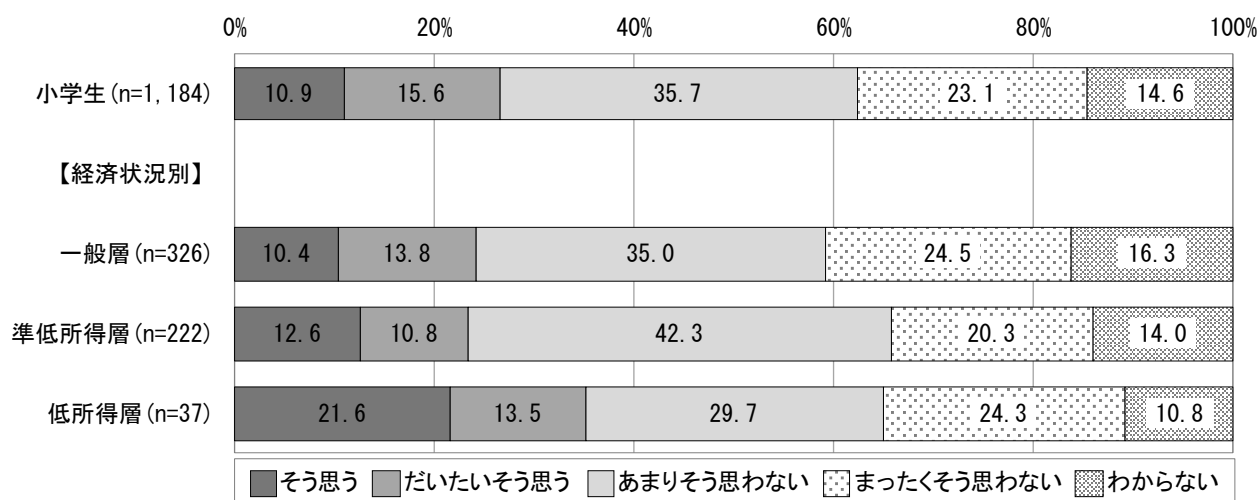
(viii) 新しい場面に直面すると、不安になり自信をなくしやすい

所得が低くなるにつれ、「新しい場面に直面すると、不安になり自信をなくしやすい」割合(「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計)が高くなっている。



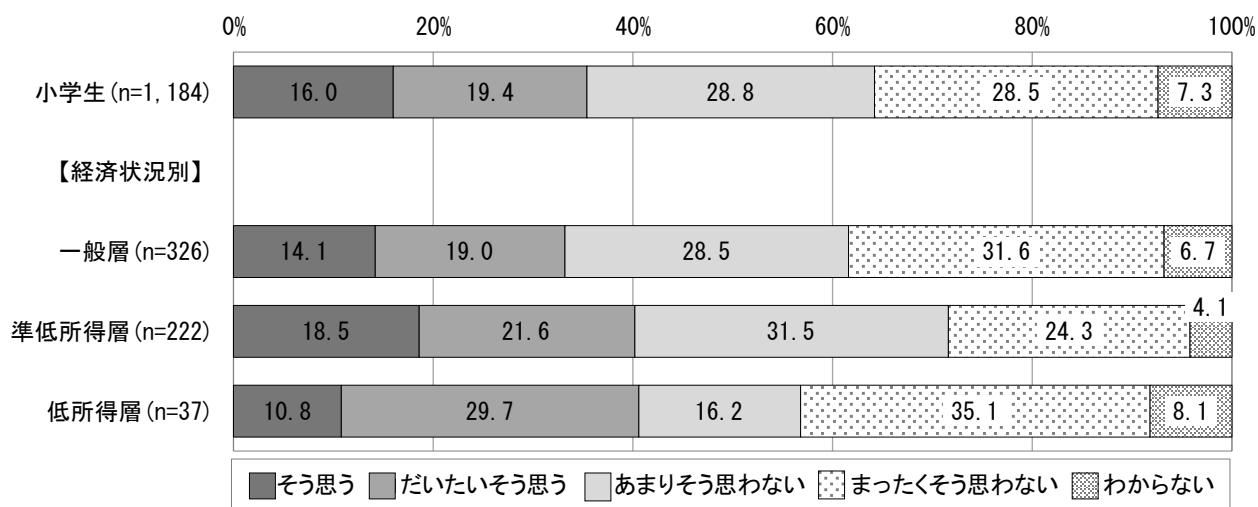
(ix) 年の近い子どもたちより、大人という方がうまくいく

「年の近い子どもたちより、大人という方がうまくいく」割合(「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計)については、低所得層において 35.1%と、一般層・準低所得層と比べて高くなっている。



(x) こわがりで、すぐにおびえたりする

一般層は「こわがりで、すぐにおびえたりする」と思う割合(「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計)が 33.1%と、準低所得層・低所得層に比べて低くなっている。

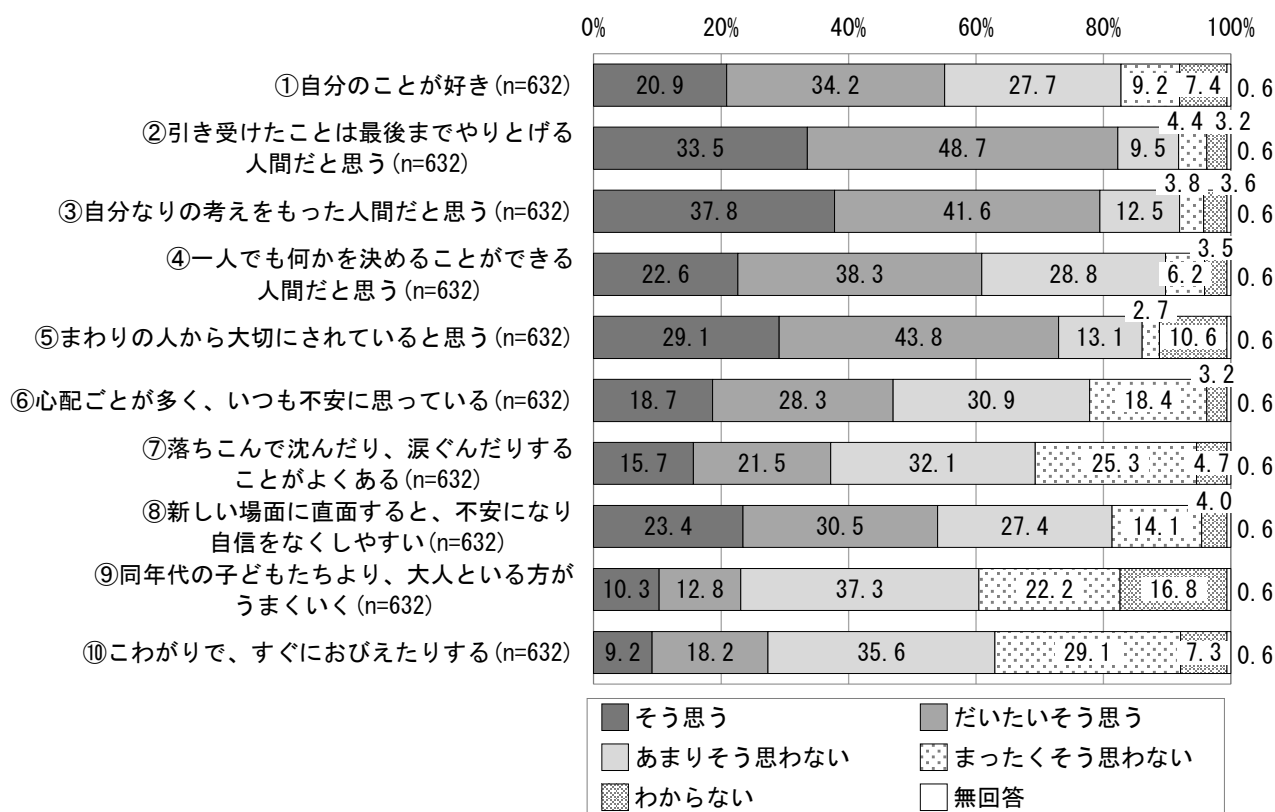


中学生

①全体

「自分のことが好き」と思う割合(「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計)が、55.1%となっている。

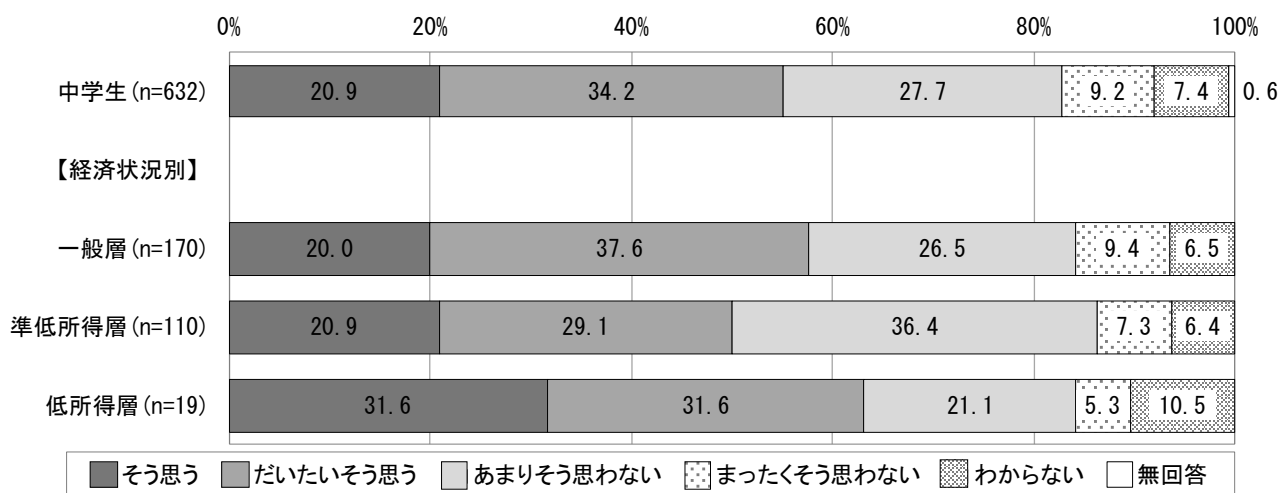
項目別で「そう思う」の割合をみると、「自分なりの考えをもった人間だと思う」が 37.8%と最も高くなっている。また、「まったくそう思わない」の割合をみると、「こわがりで、すぐにおびえたりする」が 29.1%と最も高くなっている。



②項目別

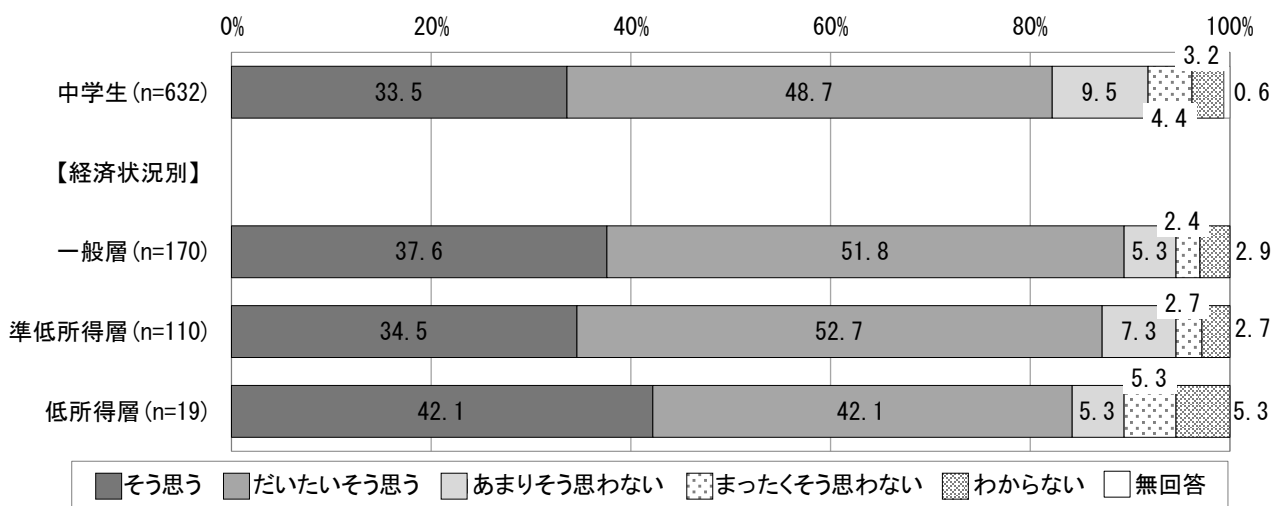
(i) 自分のことが好き

「自分のことが好き」だと思う割合(「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計)については、準低所得層において 50.0%と最も低くなっている。



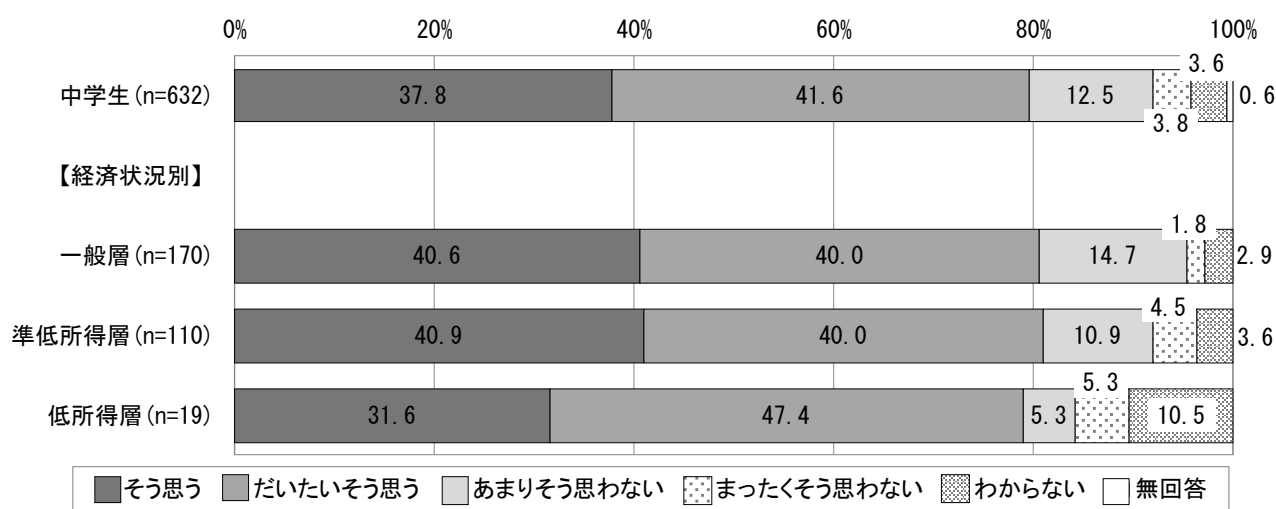
(ii) 引き受けたことは最後までやりとげる人間だと思う

所得が低くなるにつれ、「引き受けたことは最後までやりとげる人間だと思う」割合(「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計)が低くなっている。



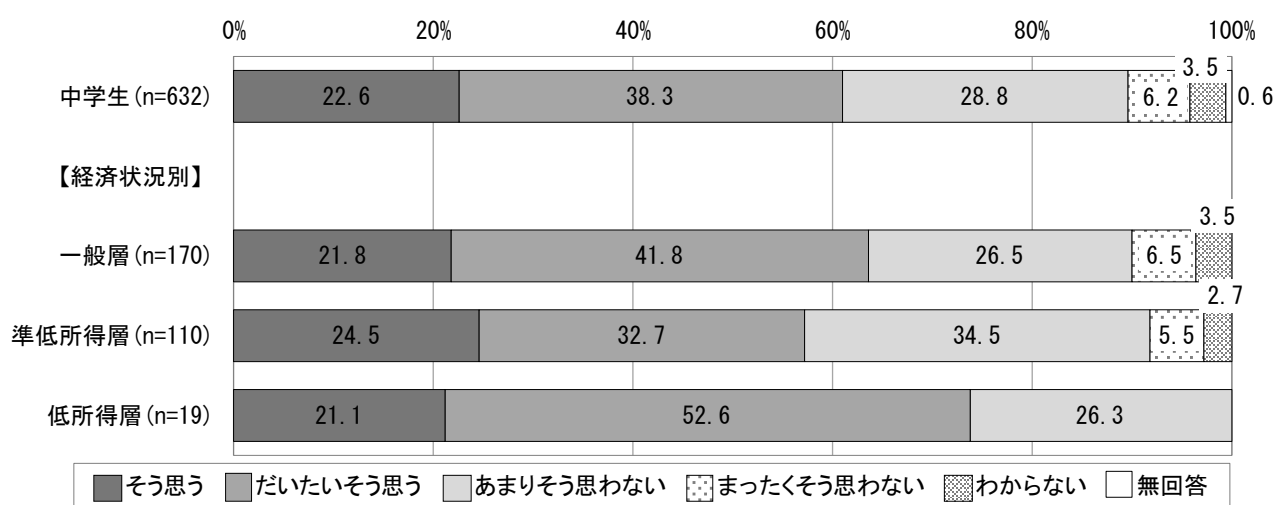
(iii) 自分なりの考えをもった人間だと思う

低所得層において「自分なりの考えをもった人間だと思う」割合(「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計)が低くなっている。



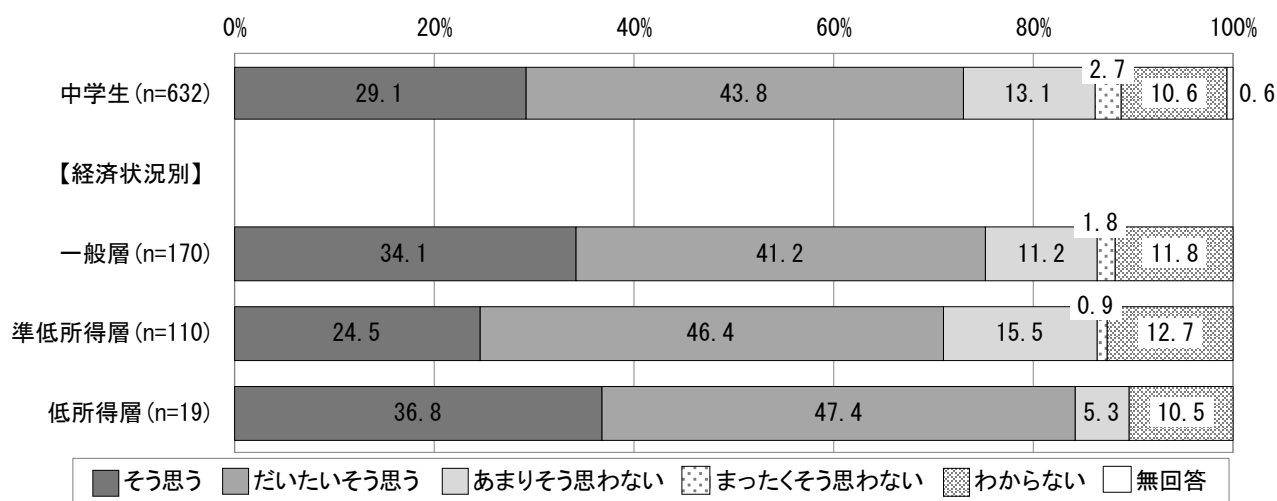
(iv) 一人でも何かを決めることができる人間だと思う

「一人でも何かを決めることができる人間だと思う」割合(「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計)については、準低所得層において 57.2%と最も低くなっている。



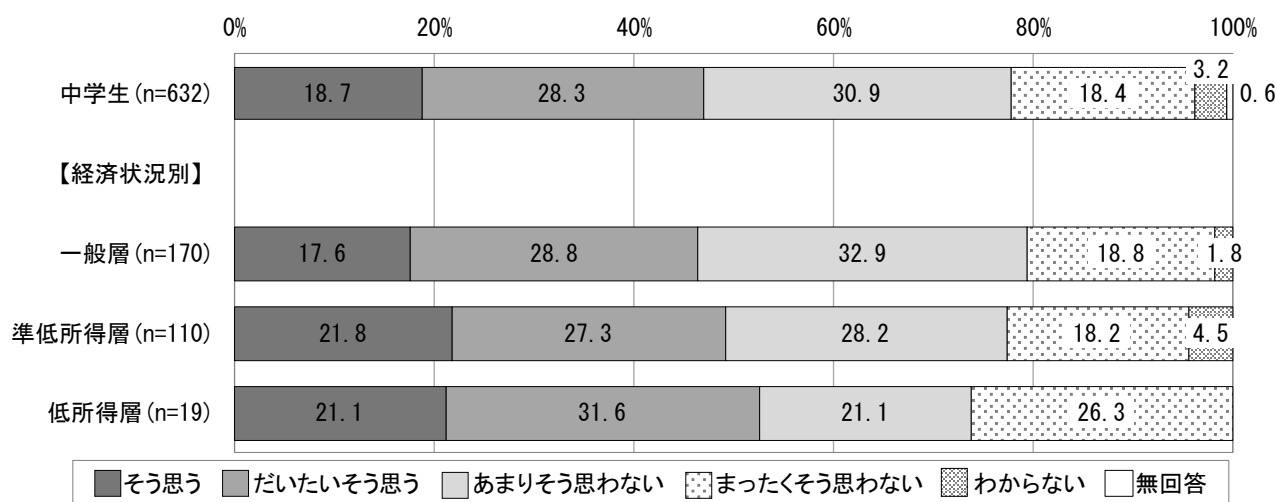
(v) まわりの人から大切にされていると思う

「まわりの人から大切にされていると思う」割合(「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計)については、準低所得層が70.9%と最も低くなっている。



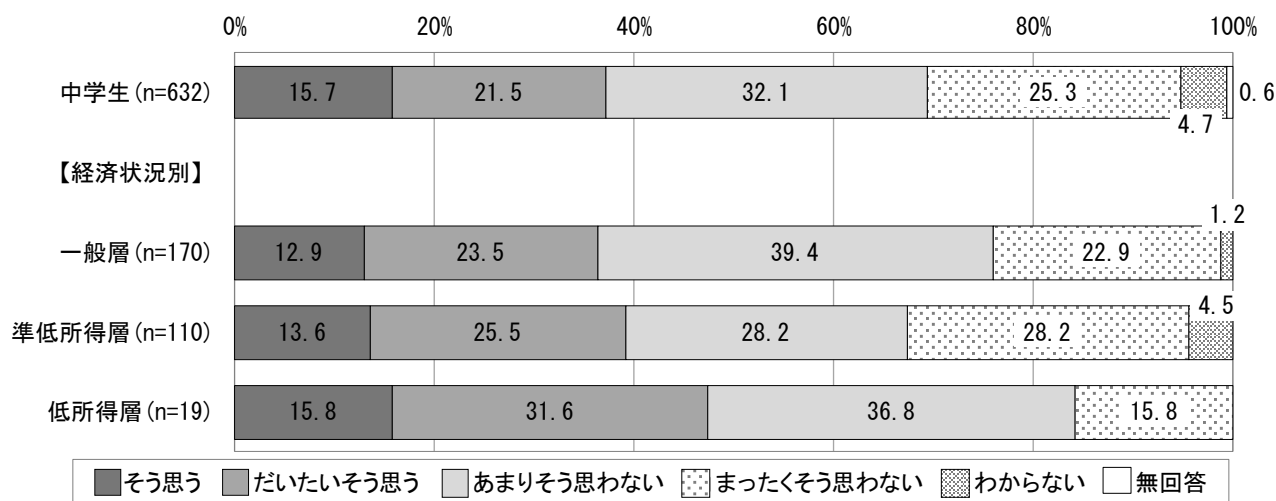
(vi) 心配ごとが多く、いつも不安に思っている

所得が低くなるにつれ、「心配ごとが多く、いつも不安に思っている」割合(「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計)が高くなっている。



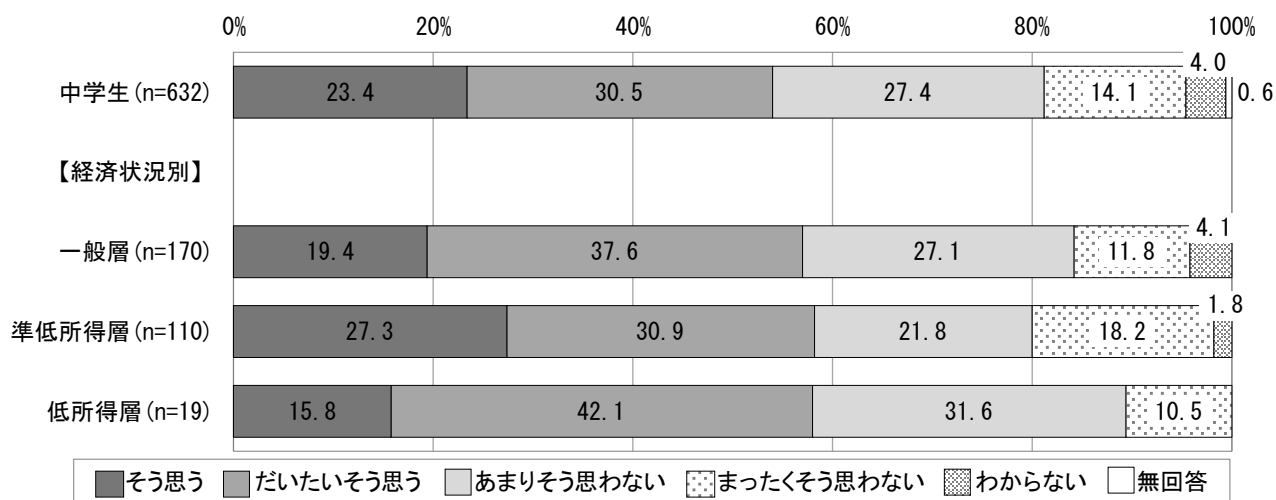
(vii) 落ちこんで沈んだり、涙ぐんだりすることがよくある

所得が低くなるにつれ、「落ちこんで沈んだり、涙ぐんだりすることがよくある」割合(「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計)が高くなっている。



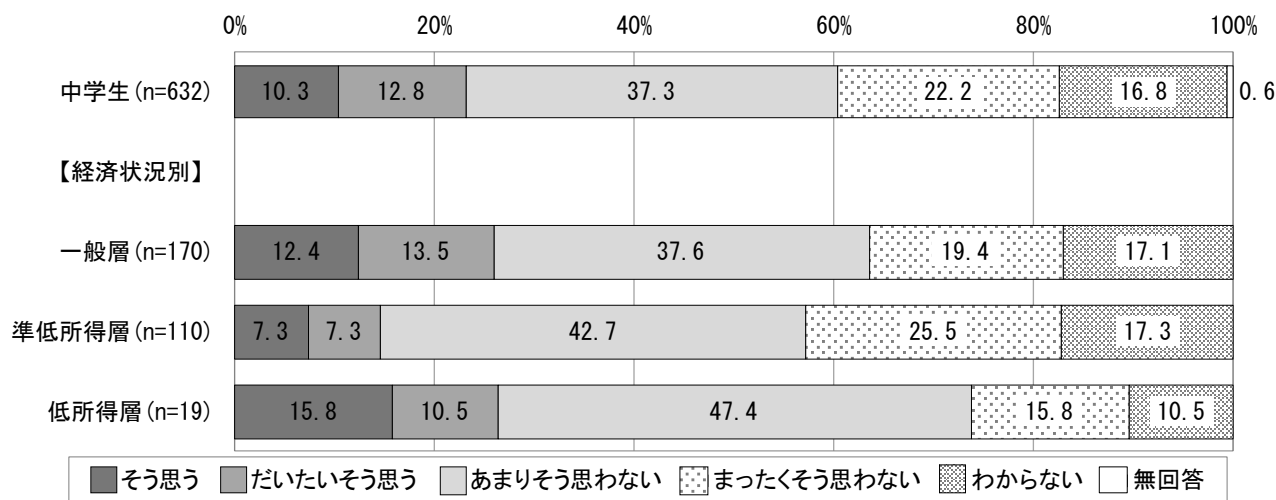
(viii) 新しい場面に直面すると、不安になり自信をなくしやすい

「新しい場面に直面すると、不安になり自信をなくしやすい」割合については、準低所得層において「そう思う」割合が特に高くなっている。



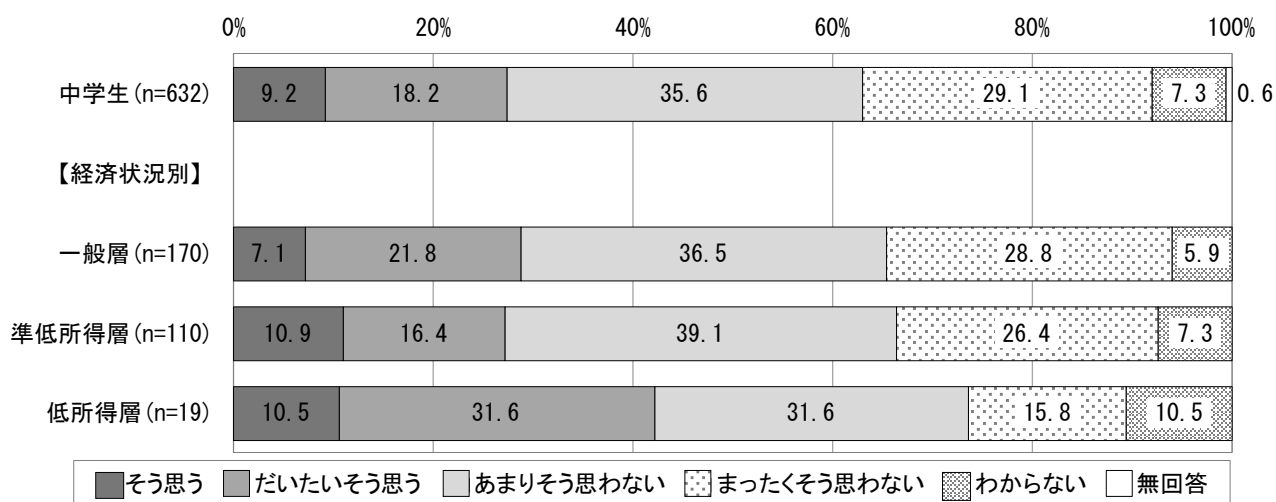
(ix) 同年代の子どもたちより、大人という方がうまいいく

「同年代の子どもたちより、大人という方がうまいいく」割合(「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計)については、準低所得層において14.6%と最も低くなっている。



(x) こわがりで、すぐにおびえたりする

「こわがりで、すぐにおびえたりする」割合(「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計)については、低所得層が42.1%と最も高くなっている。

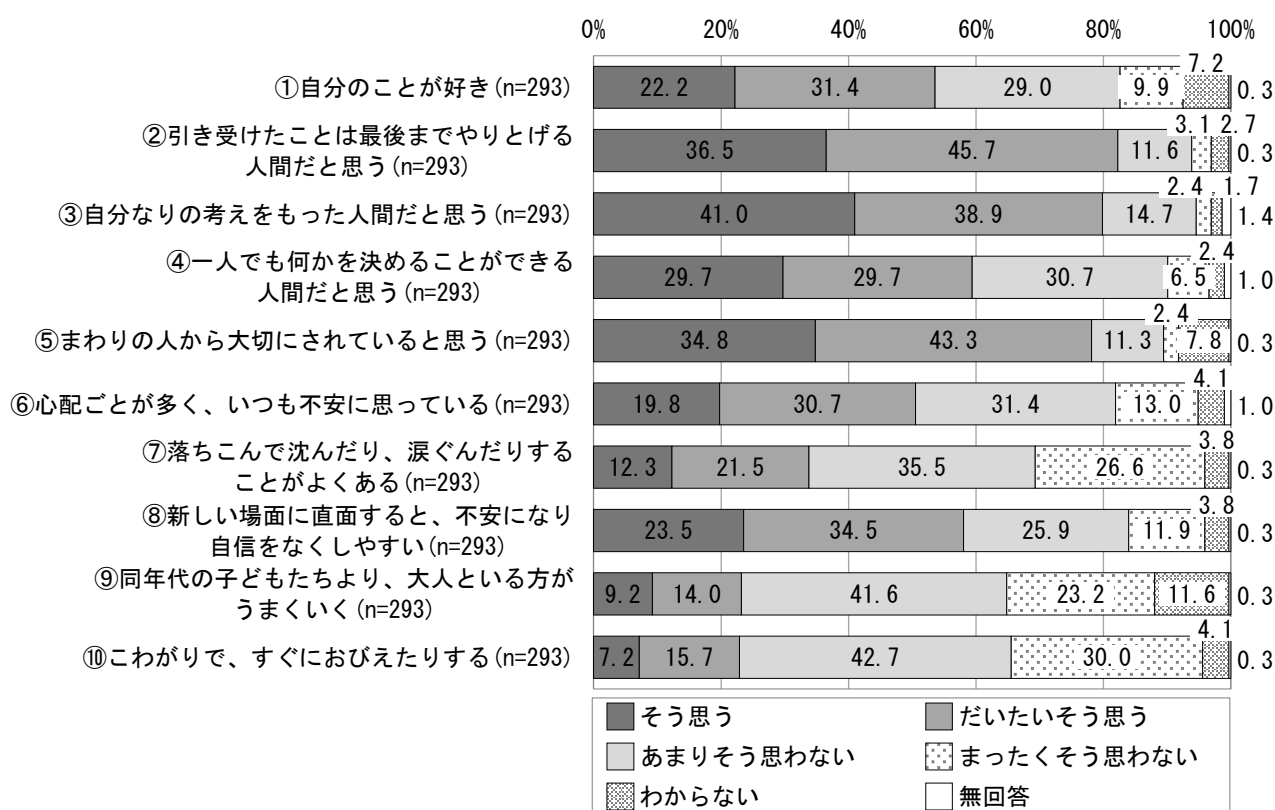


高校生

①全体

「自分のことが好き」と思う割合(「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計)が、53.6%となっている。

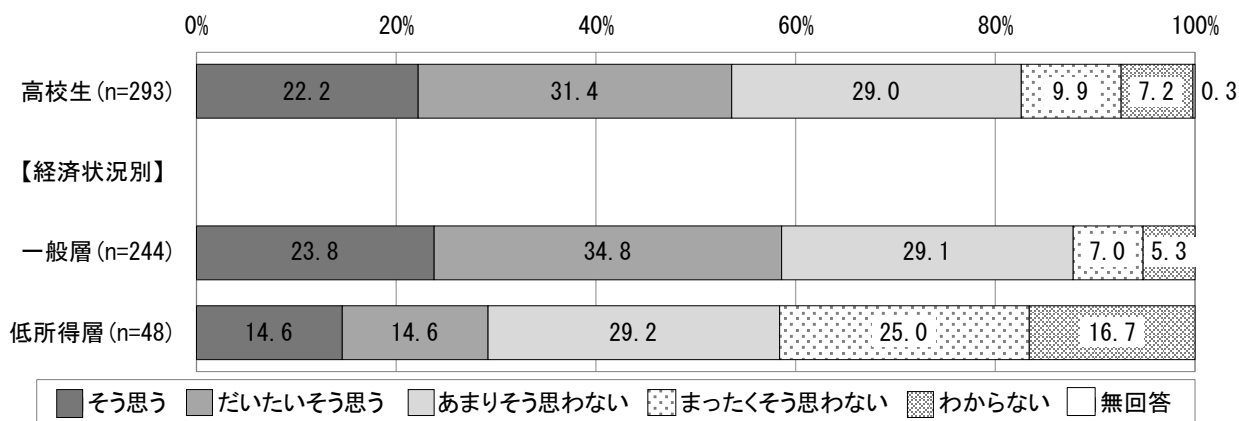
項目別で「そう思う」の割合をみると、「自分なりの考えをもった人間だと思う」が 41.0%と最も高くなっている。また、「まったくそう思わない」の割合をみると、「こわがりで、すぐにおびえたりする」が 30.0%と最も高くなっている。



②項目別

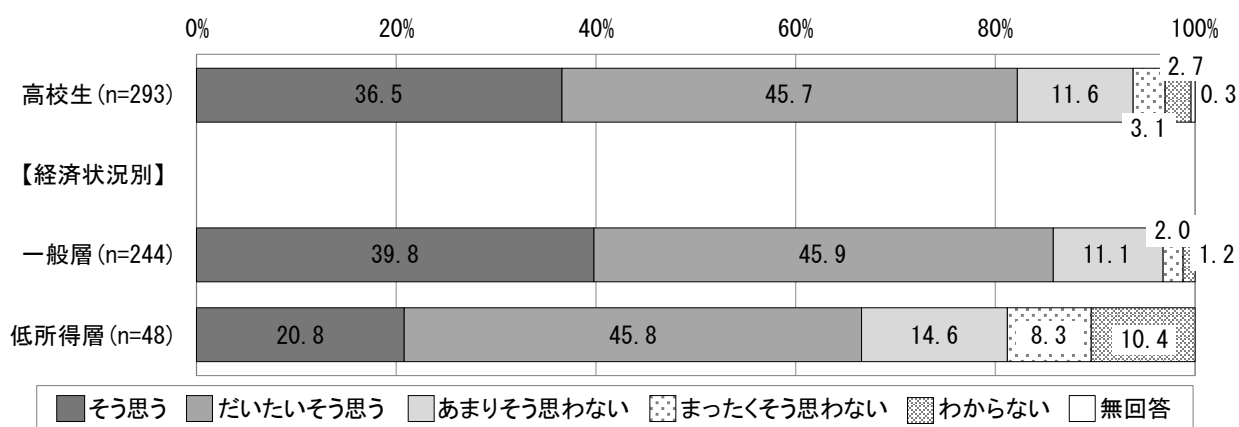
(i) 自分のことが好き

「自分のことが好き」だと思う割合(「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計)については、低所得層が一般層に比べて低く、29.2%となっている。



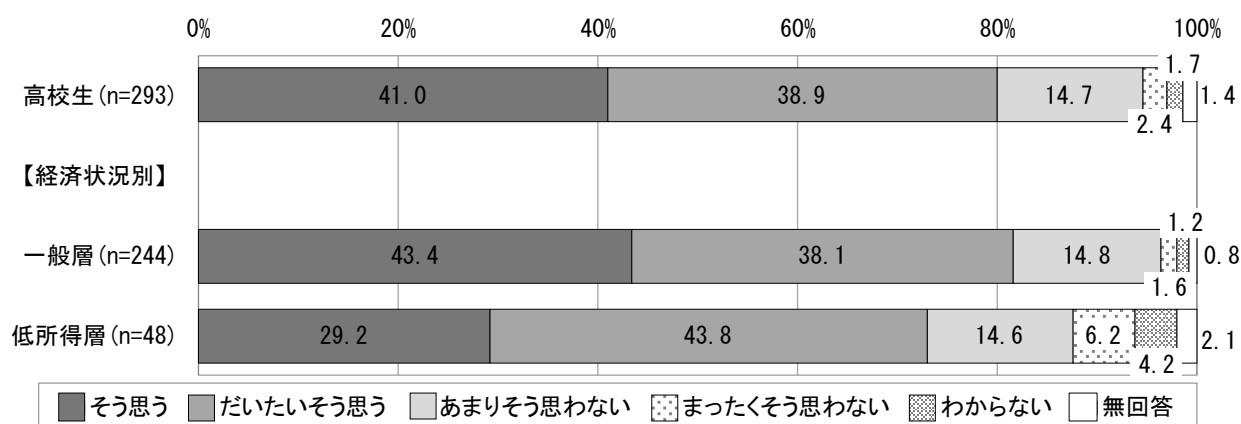
(ii) 引き受けたことは最後までやりとげる人間だと思う

「引き受けたことは最後までやりとげる人間だと思う」割合(「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計)については、低所得層が一般層に比べて低く、66.6%となっている。



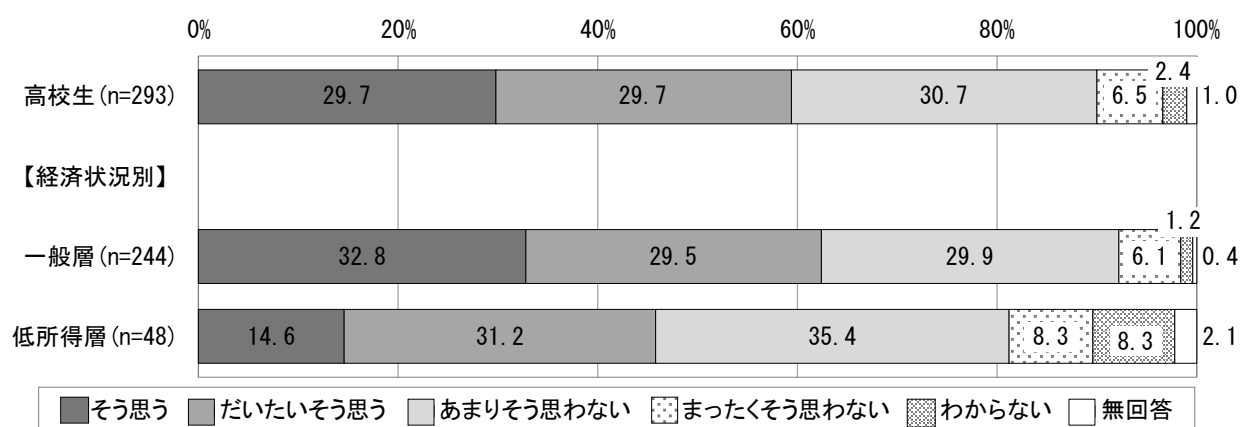
(iii) 自分なりの考えをもった人間だと思う

「自分なりの考えをもった人間だと思う」割合(「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計)については、低所得層が一般層に比べて低く、73.0%となっている。



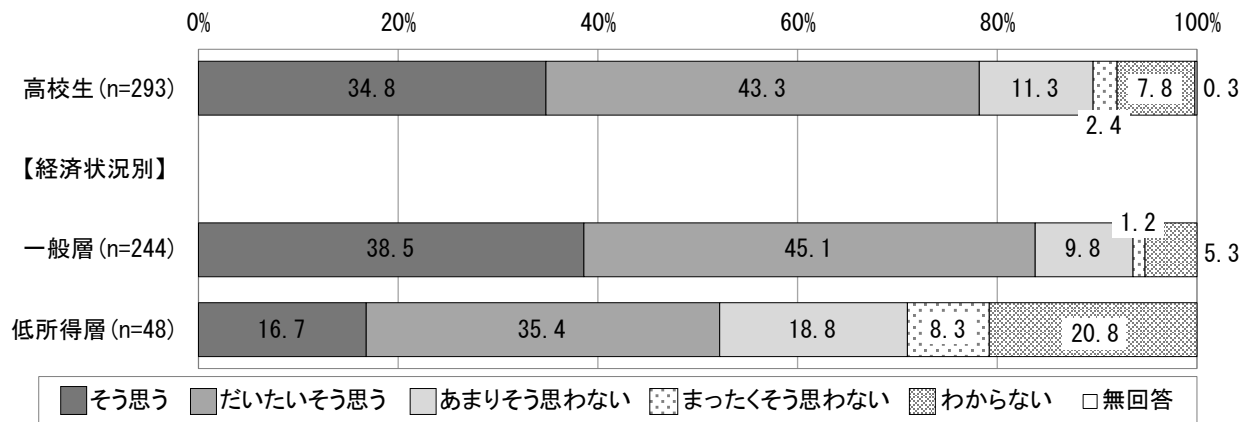
(iv) 一人でも何かを決めることができる人間だと思う

「一人でも何かを決めることができる人間だと思う」割合(「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計)については、低所得層が一般層に比べて低く、45.8%となっている。



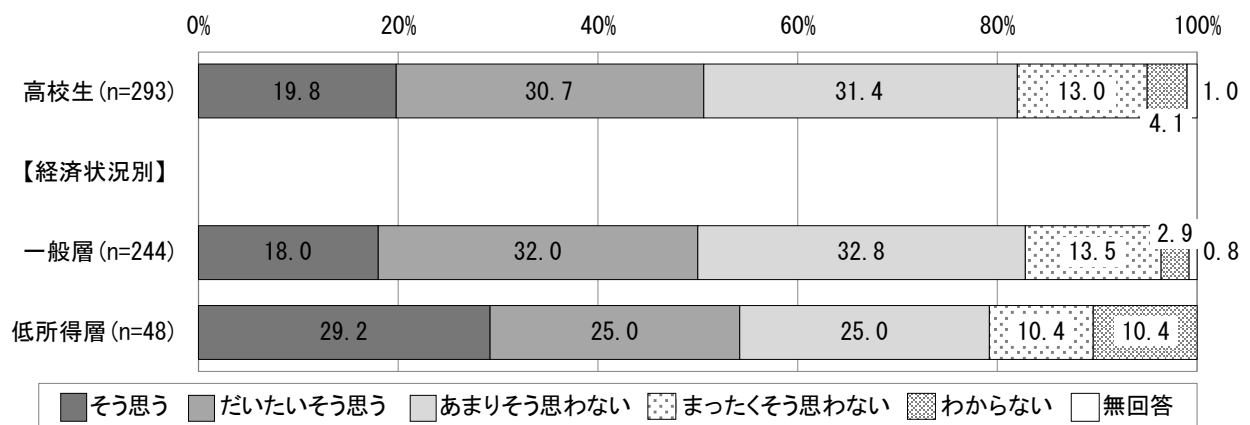
(v) まわりの人から大切にされていると思う

「まわりの人から大切にされていると思う」割合(「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計)については、低所得層が一般層に比べて低く、52.1%となっている。



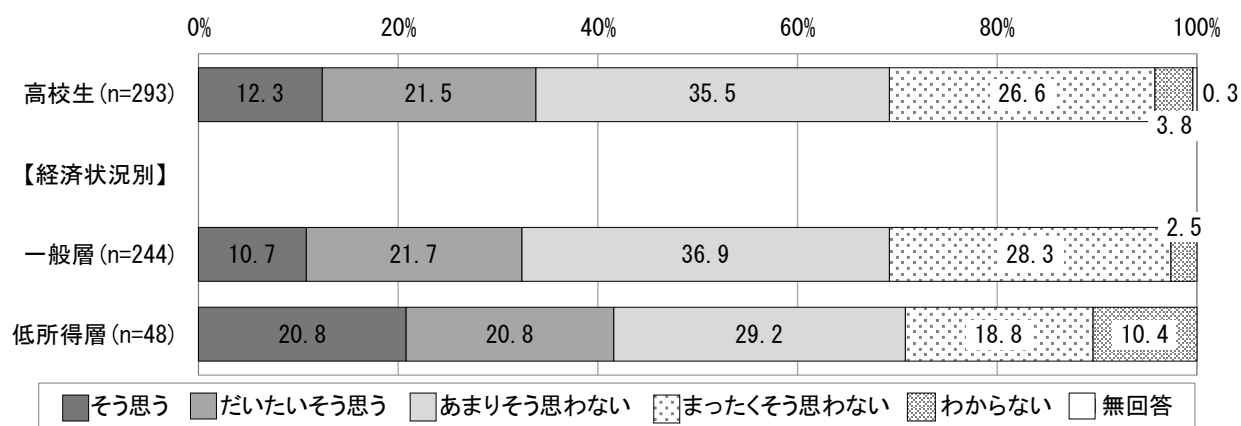
(vi) 心配ごとが多く、いつも不安に思っている

「心配ごとが多く、いつも不安に思っている」割合については、低所得層が一般層に比べて「そう思う」割合が高く、29.2%となっている。



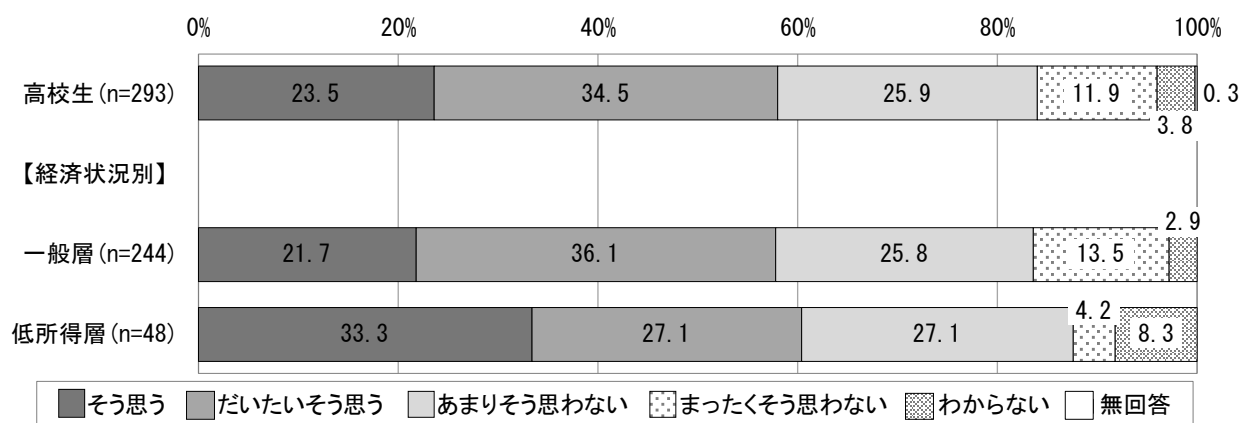
(vii) 落ちこんで沈んだり、涙ぐんだりすることがよくある

「落ちこんで沈んだり、涙ぐんだりすることがよくある」割合(「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計)については、低所得層が一般層に比べて高く、41.6%となっている。



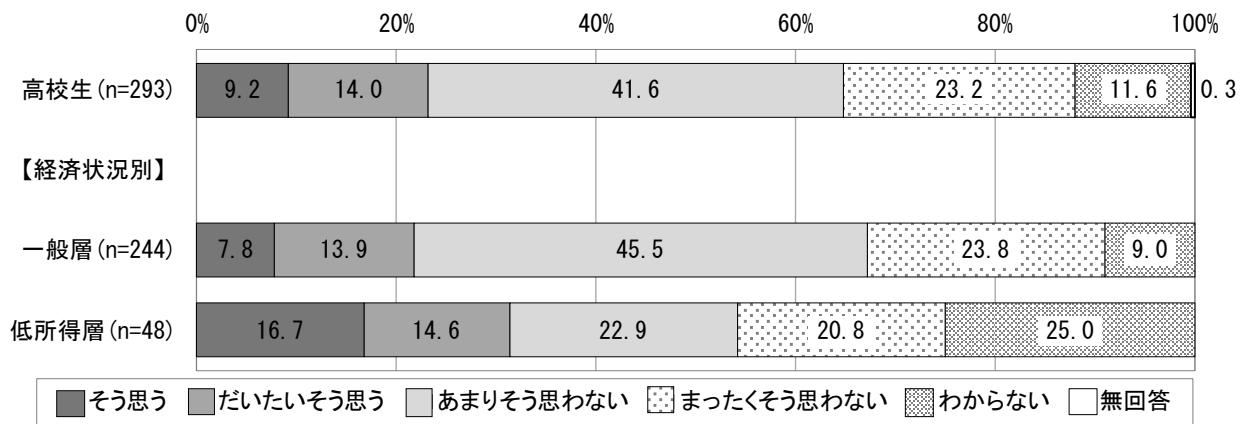
(viii) 新しい場面に直面すると、不安になり自信をなくしやすい

「新しい場面に直面すると、不安になり自信をなくしやすい」割合については、低所得層が一般層に比べて「そう思う」割合が高く、33.3%となっている。



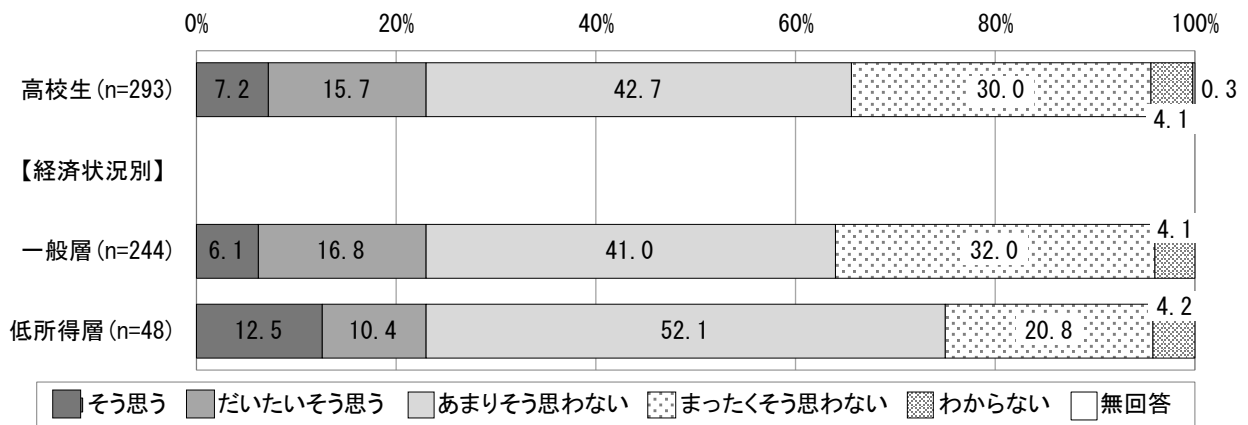
(ix) 同年代の子どもたちより、大人という方がうまいく

「同年代の子どもたちより、大人という方がうまいく」割合(「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計)については、低所得層が一般層に比べて高く、31.3%となっている。



(x) こわがりで、すぐにおびえたりする

「こわがりで、すぐにおびえたりする」割合については、低所得層が一般層に比べて「そう思う」割合が高く、12.5%となっている。

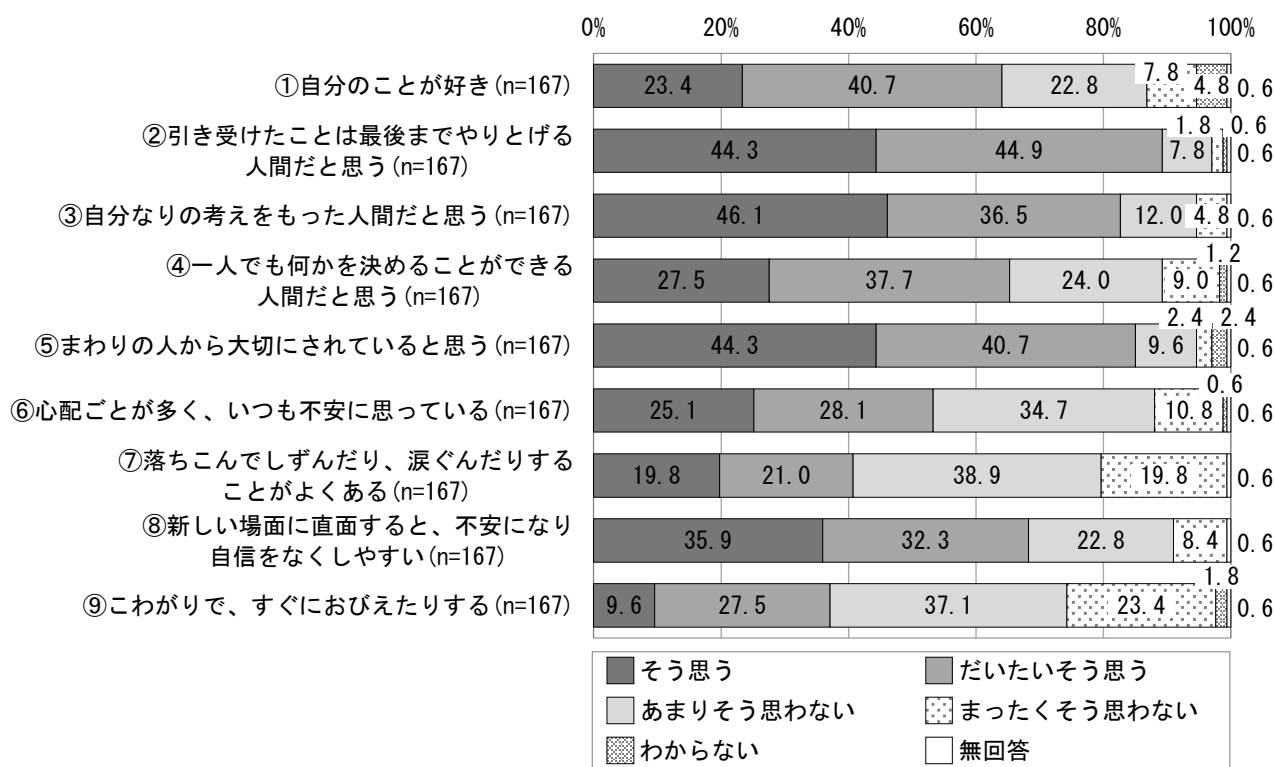


若者

①全体

「自分のことが好き」と思う割合(「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計)が、64.1%となっている。

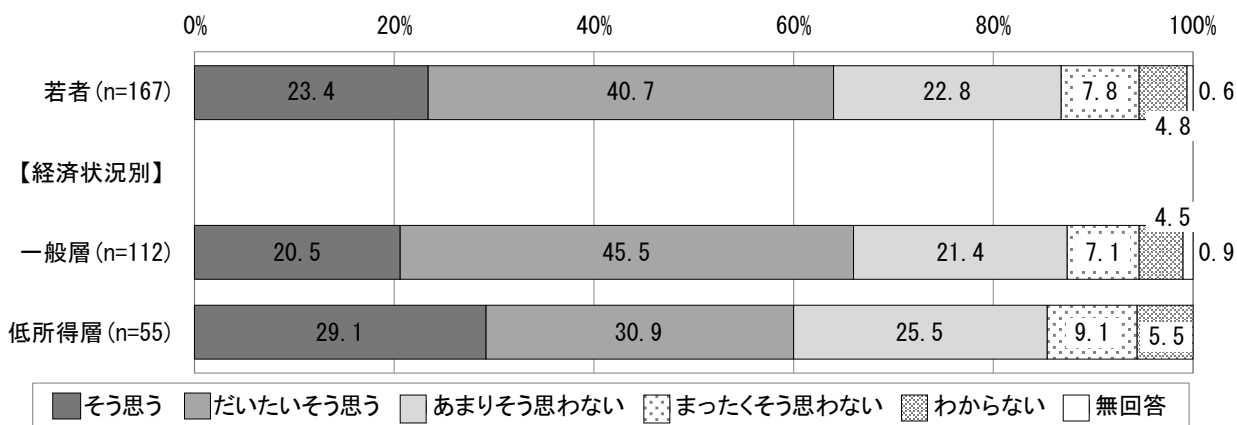
項目別で「そう思う」の割合をみると、「自分なりの考えをもった人間だと思う」が 46.1%と最も高くなっている。また、「まったくそう思わない」の割合をみると、「こわがりで、すぐにおびえたりする」が 23.4%と最も高くなっている。



②項目別

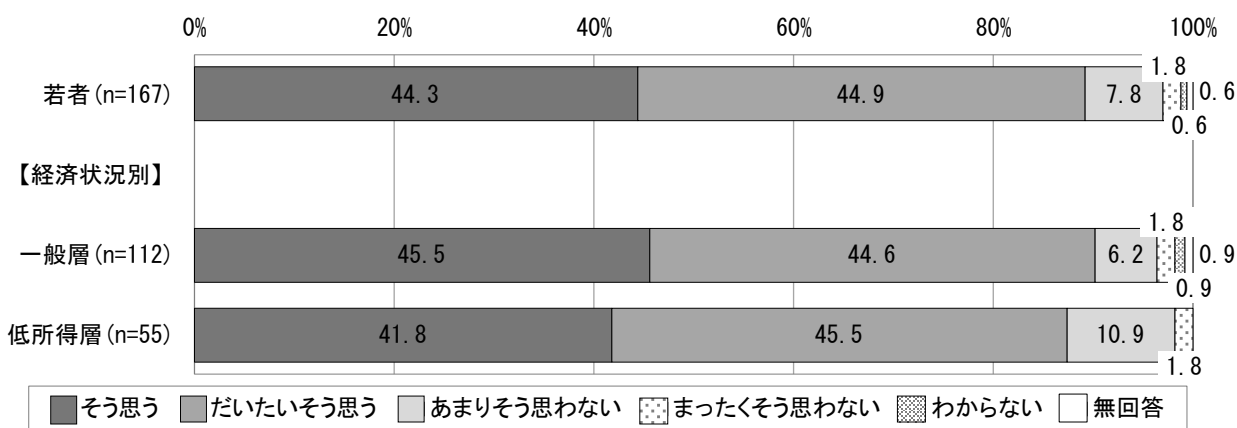
(i) 自分のことが好き

「自分のことが好き」だと思う割合(「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計)については、低所得層が一般層に比べて低く、60.0%となっている。



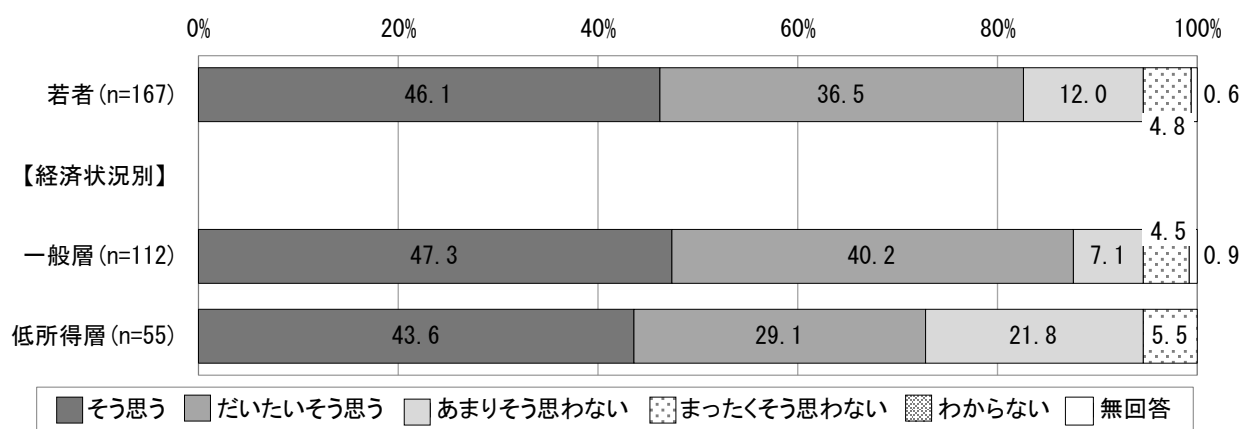
(ii) 引き受けたことは最後までやりとげる人間だと思う

「引き受けたことは最後までやりとげる人間だと思う」割合(「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計)については、低所得層が一般層に比べて低く、87.3%となっている。



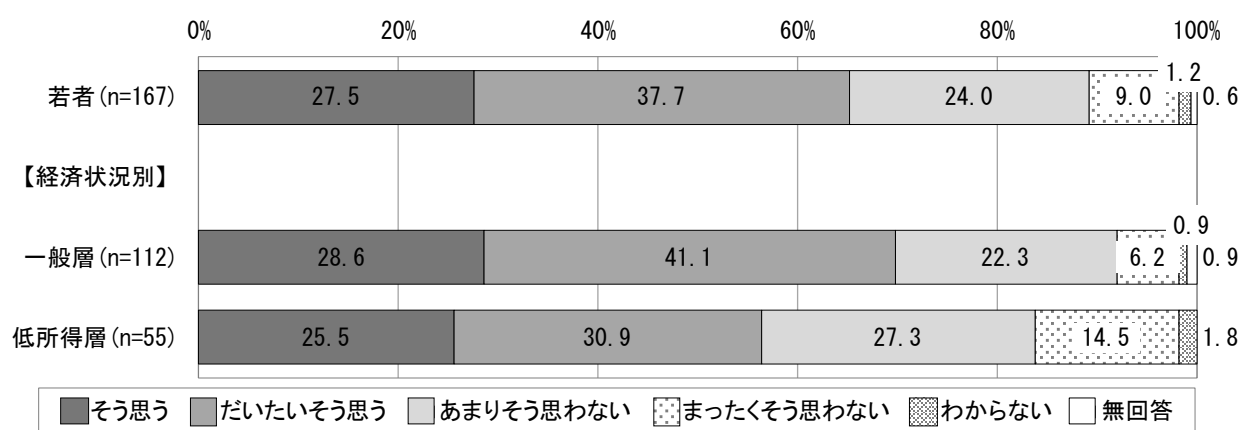
(iii) 自分なりの考えをもった人間だと思う

「自分なりの考えをもった人間だと思う」割合(「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計)については、低所得層が一般層に比べて低く、72.7%となっている。



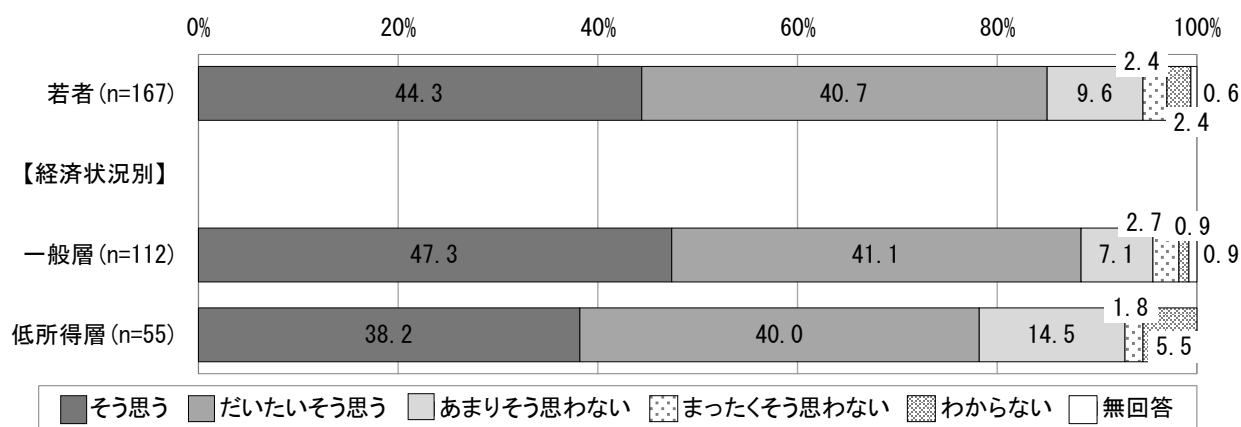
(iv) 一人でも何かを決めることができる人間だと思う

「一人でも何かを決めることができる人間だと思う」割合(「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計)については、低所得層が一般層に比べて低く、56.4%となっている。



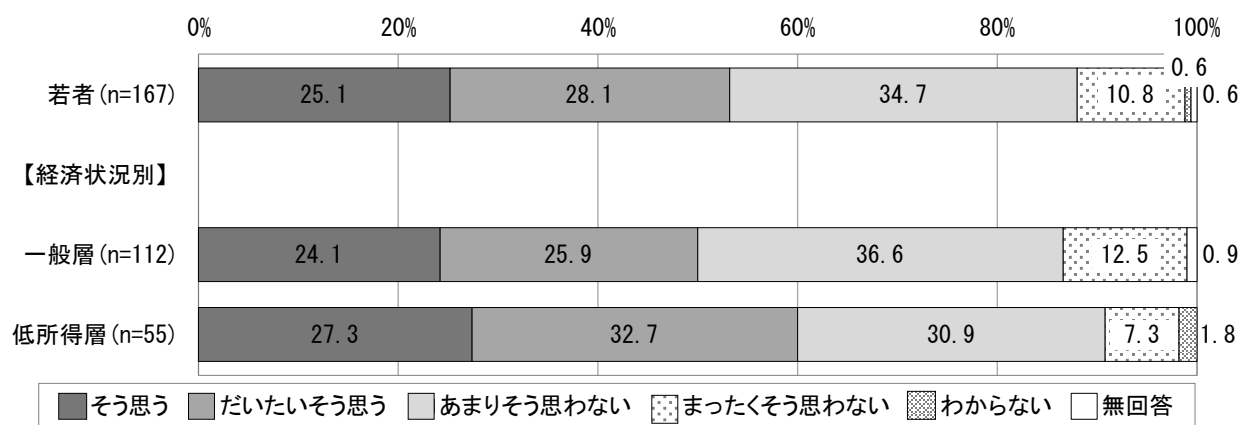
(v) まわりの人から大切にされていると思う

「まわりの人から大切にされていると思う」割合(「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計)については、低所得層が一般層に比べて低く、78.2%となっている。



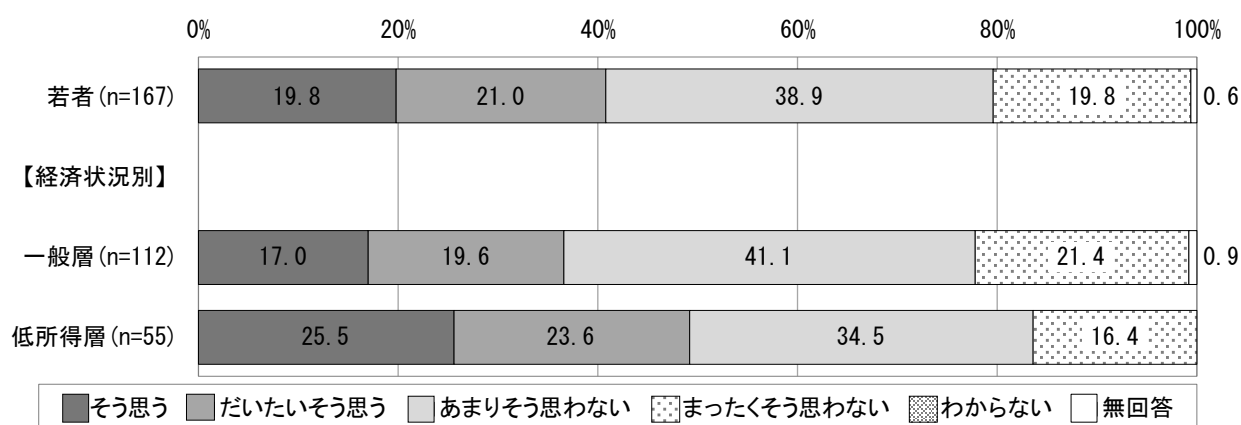
(vi) 心配ごとが多く、いつも不安に思っている

「心配ごとが多く、いつも不安に思っている」割合(「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計)については、低所得層が一般層に比べて高く、60.0%となっている。



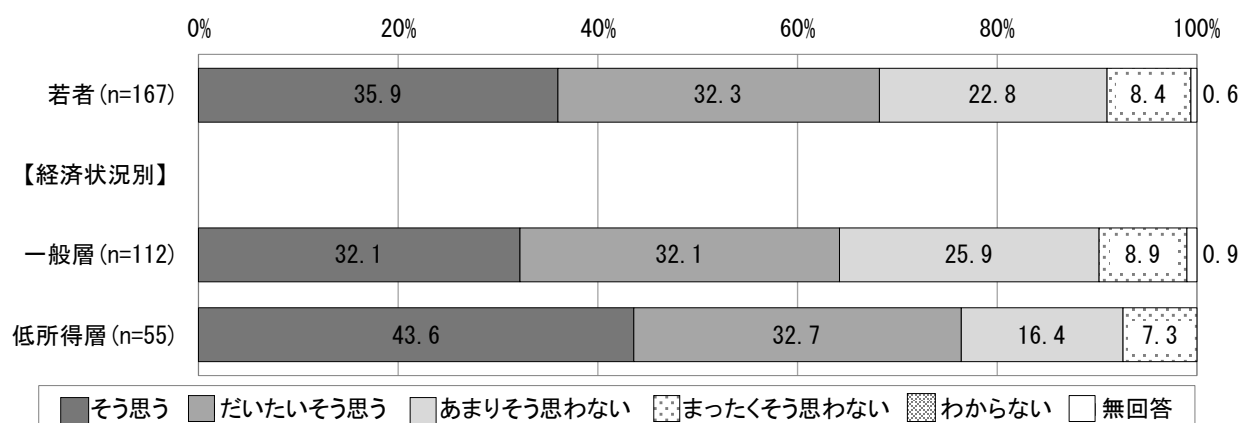
(vii) 落ちこんでしずんだり、涙ぐんだりすることがよくある

「落ちこんでしずんだり、涙ぐんだりすることがよくある」割合(「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計)については、低所得層が一般層に比べて高く、49.1%となっている。



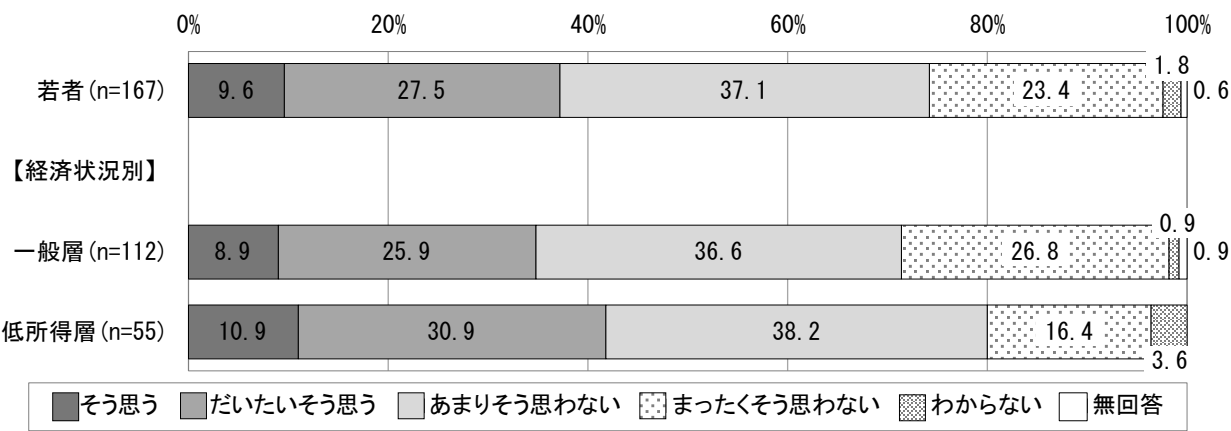
(viii) 新しい場面に直面すると、不安になり自信をなくしやすい

「新しい場面に直面すると、不安になり自信をなくしやすい」割合(「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計)については、低所得層が一般層に比べて高く、76.3%となっている。



(ix) こわがりで、すぐにおびえたりする

「こわがりで、すぐにおびえたりする」割合(「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計)については、低所得層が一般層に比べて高く、41.8%となっている。



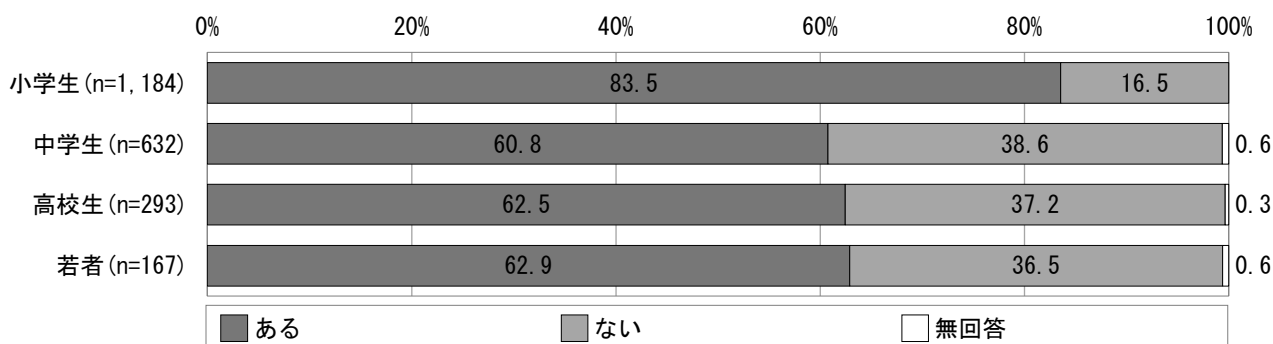
(2)将来の夢

小学生 問 14、中学生 問 14、高校生 問 14、若者 問 15

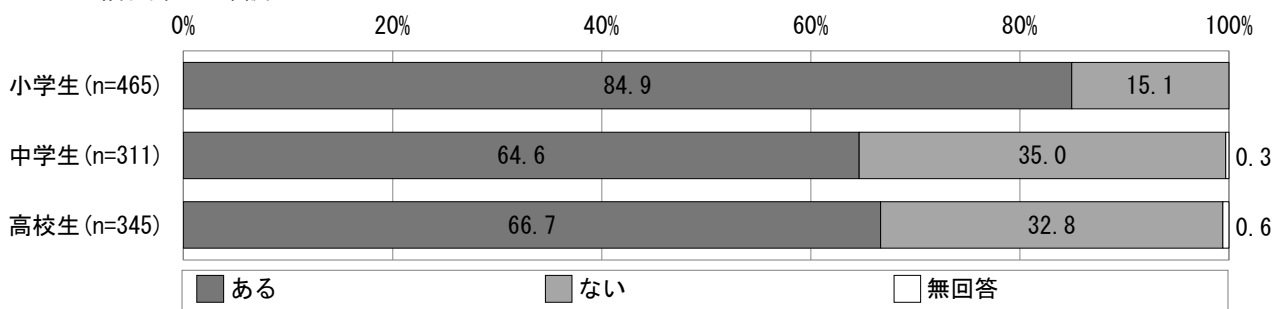
あなたは、将来の夢がありますか。(単数回答)

「ある」の割合をみると、小学生が 83.5%と最も高くなっている。経年比較では、前回調査と大きな違いはみられない。

<今回(R5)調査>

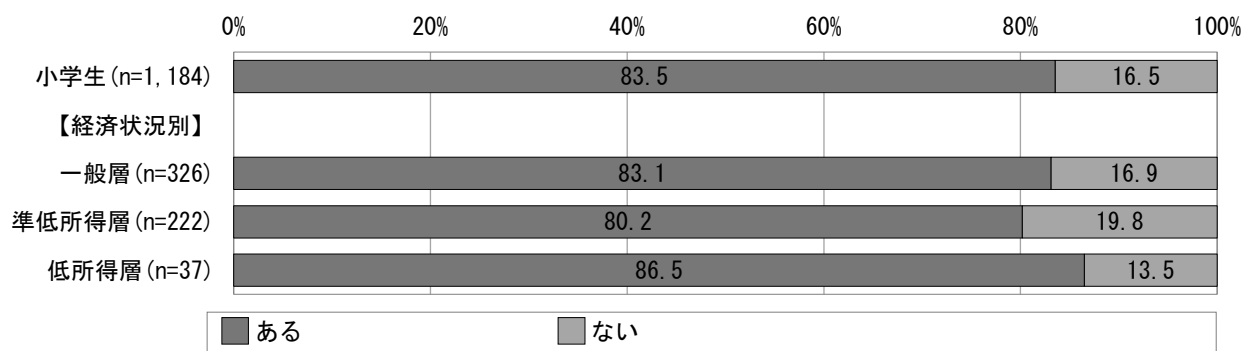


<前回(H30)調査>



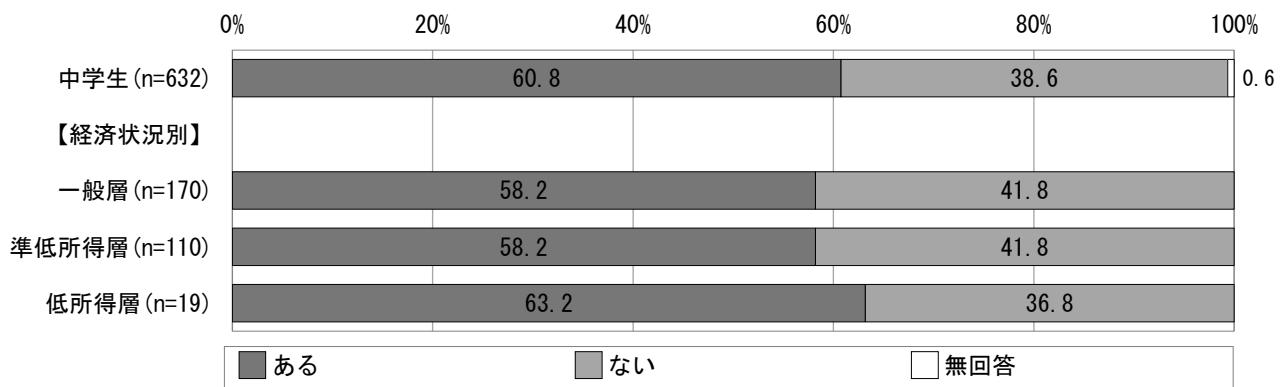
小学生

「ある」が 83.5%となっている。



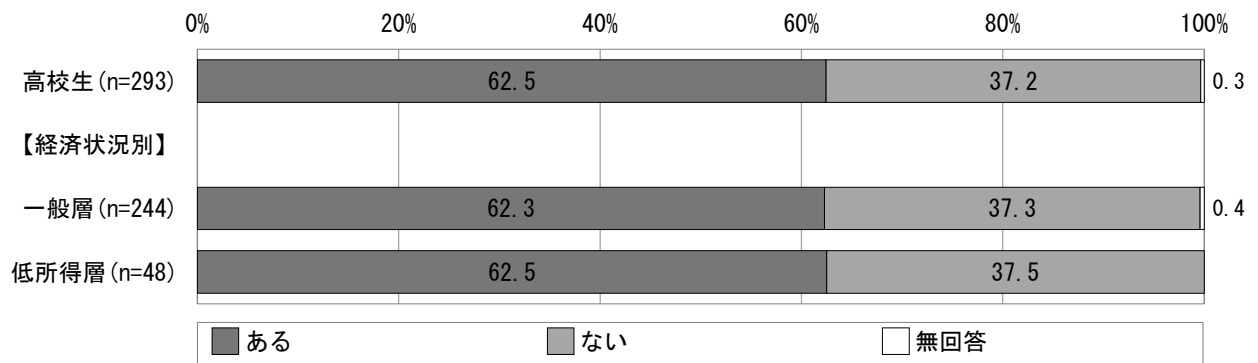
中学生

「ある」が60.8%となっている。小学生よりも「ある」の割合は低くなっている。



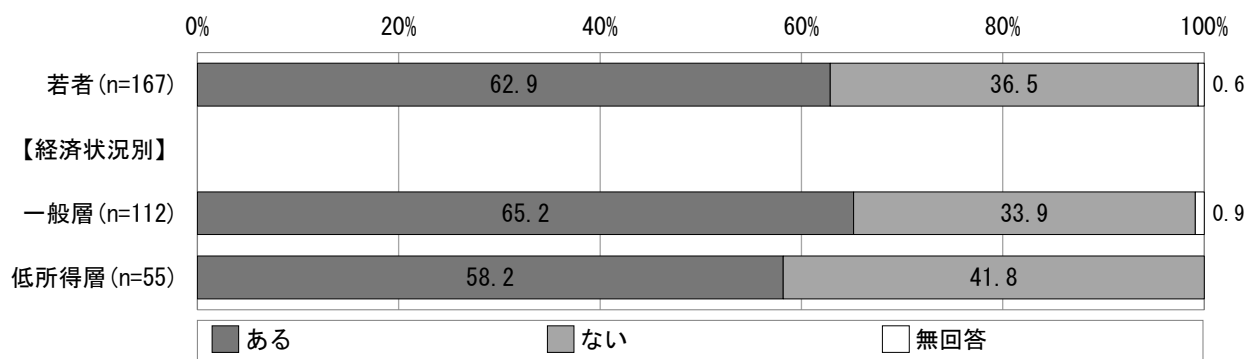
高校生

「ある」が62.5%となっている。



若者

「ある」が62.9%となっている。

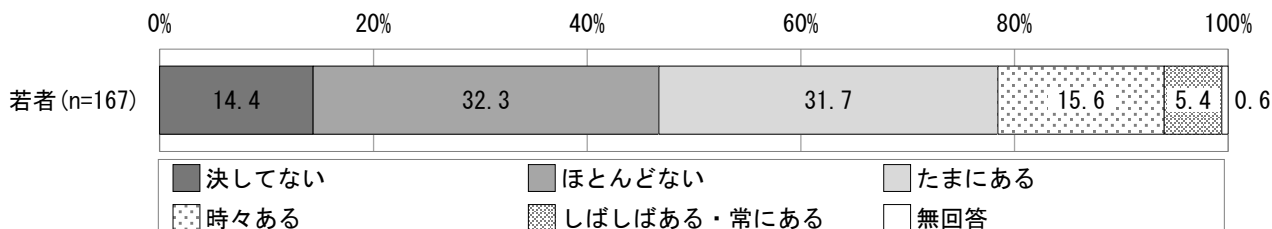


(3) 孤独を感じること

若者 問12

あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。(単数回答)

「ほとんどない」が32.3%と最も高く、「たまにある」が31.7%、「時々ある」が15.6%と続いている。

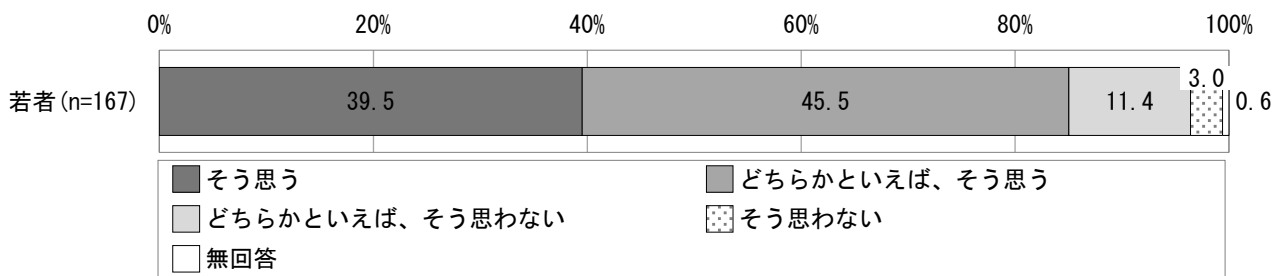


(4) 社会貢献への意識

若者 問14

あなたは、「社会のために役立つことをしたい」と思いますか。(単数回答)

社会貢献をしたいと思う割合(「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の合計)は、85.0%となっている。



(5)安心できる居場所

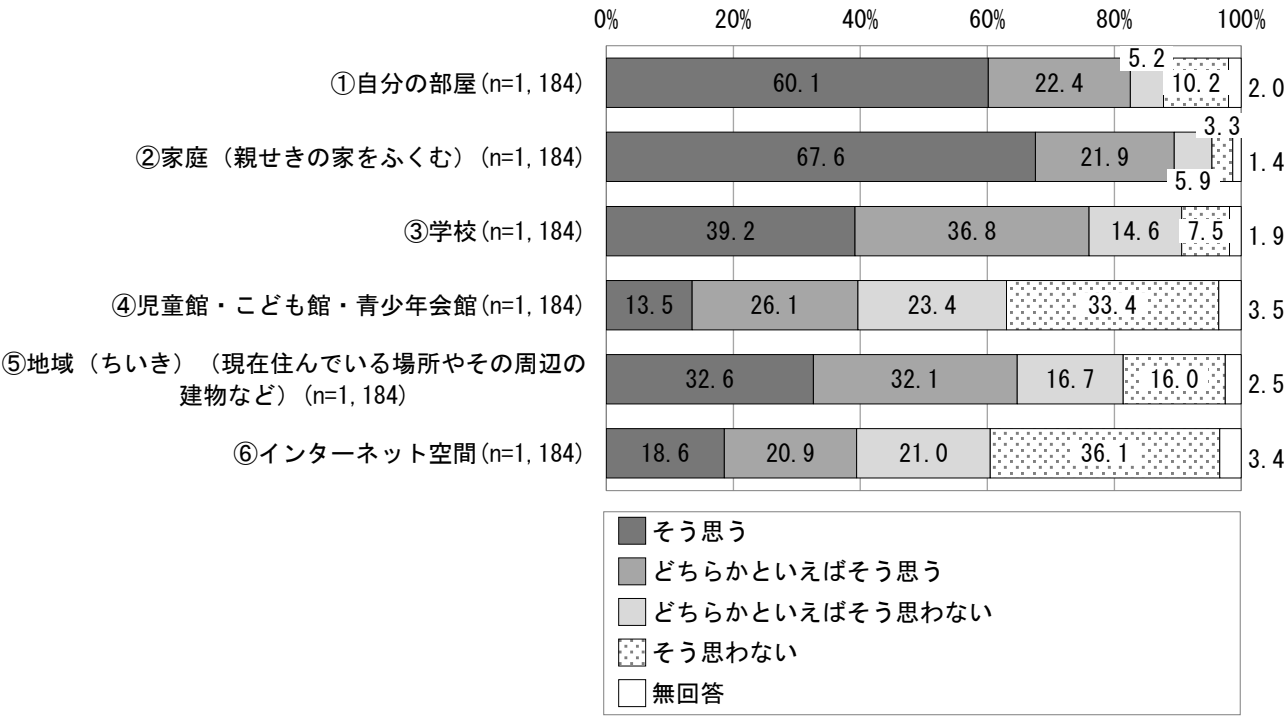
小学生 問 16 、 中学生 問 16 、 高校生 問 16 、 若者 問 11

次の場所は、今のあなたにとっての居場所(ほっとできる場所、居心地のいい場所など)になっていますか。次の①から⑥のそれぞれの項目について答えてください。(単数回答)

小学生

①全体

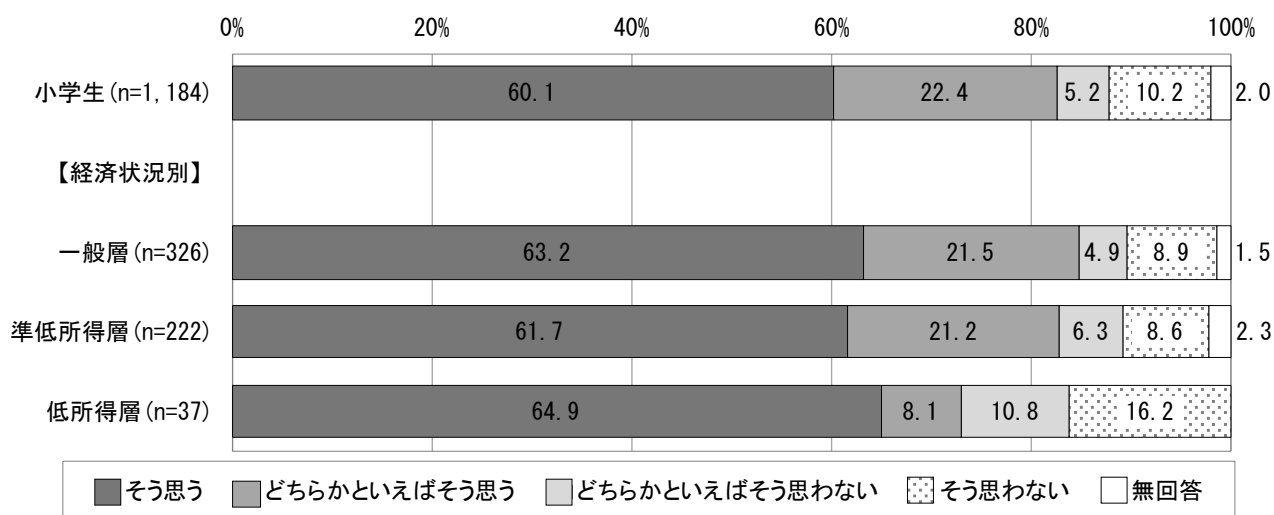
項目別で「そう思う」の割合をみると、「家庭(親せきの家をふくむ)」が 67.6%と最も高くなっている。また、「そう思わない」の割合をみると、「インターネット空間」が 36.1%と最も高くなっている。



②項目別

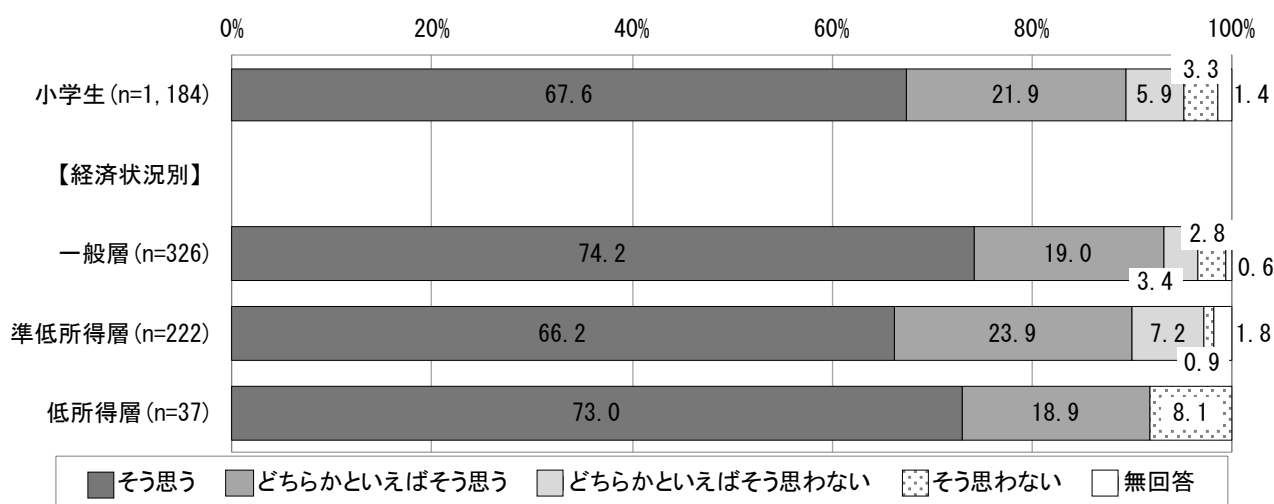
(i) 自分の部屋

一般層の安心できる割合(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)が、準低所得層・低所得層に比べて高く、84.7%となっている。



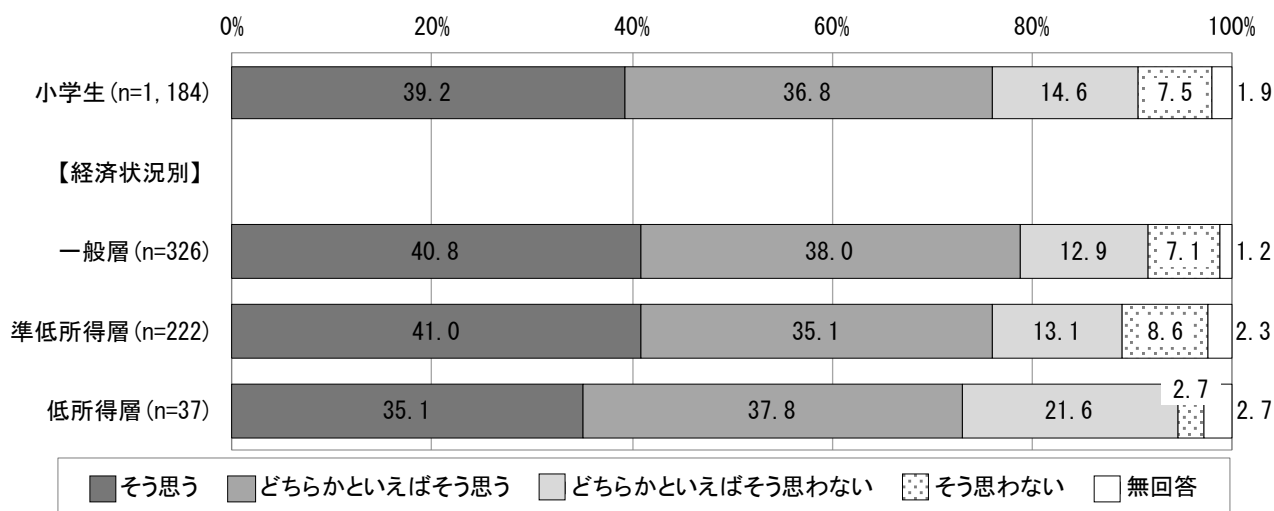
(ii) 家庭

準低所得層の安心できる割合(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)が、一般層・低所得層に比べて低く、90.1%となっている。



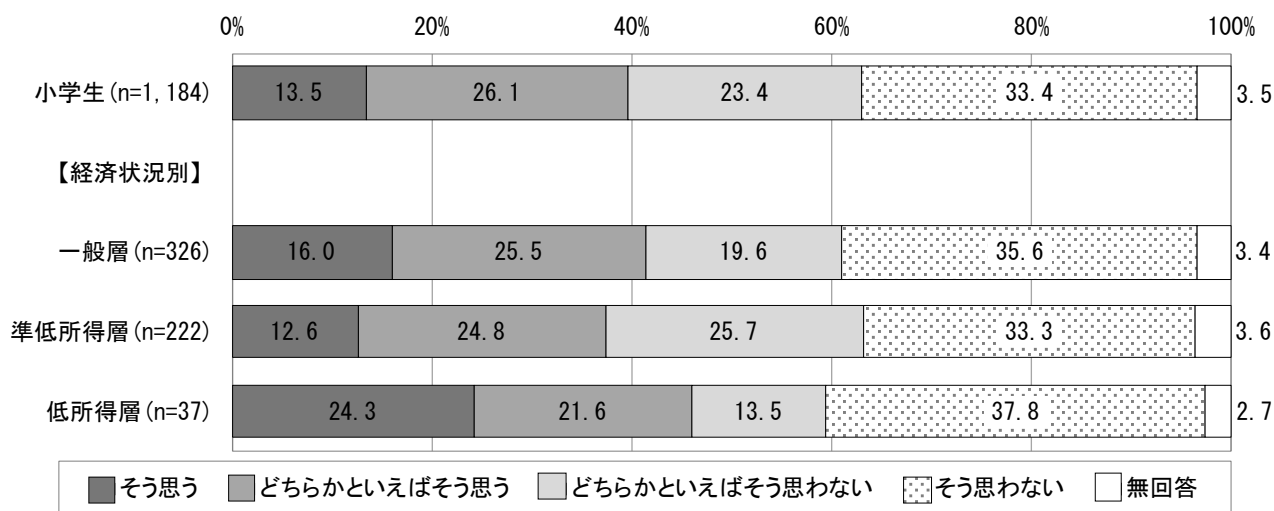
(iii) 学校

所得が低くなるにつれ、安心できる割合(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)が低くなっている。



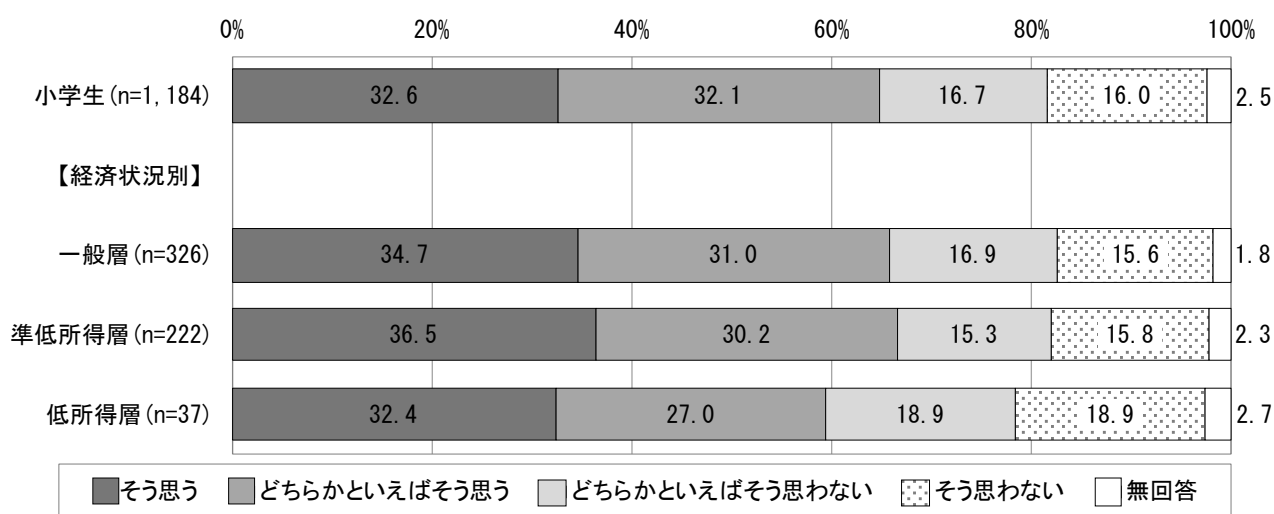
(iv) 児童館・こども館・青少年会館

低所得層の安心できる割合(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)が、一般層・準低所得層に比べて高く、45.9%となっている。



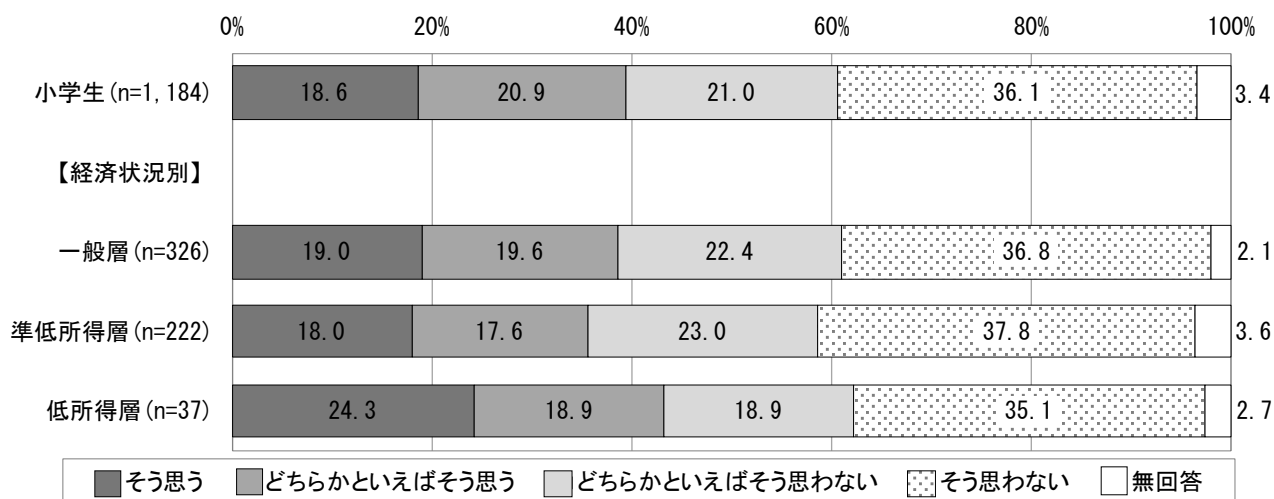
(v) 地域

低所得層の安心できる割合(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)が、一般層・準低所得層に比べて低く、59.4%となっている。



(vi) インターネット空間

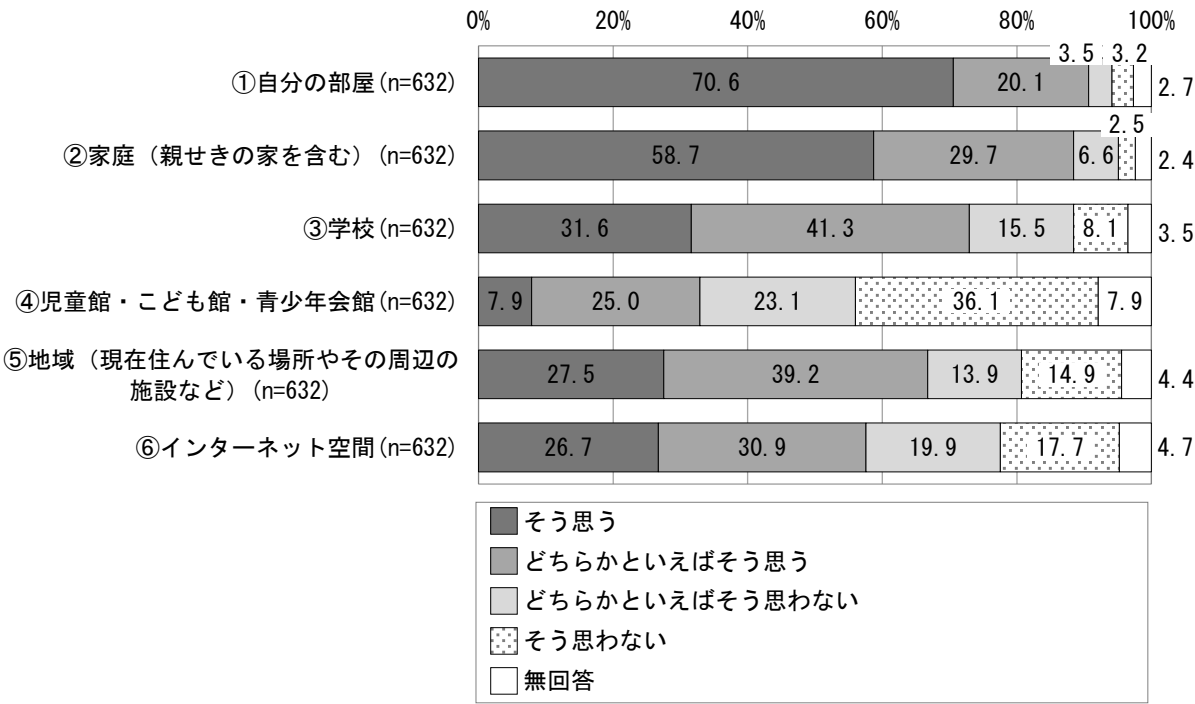
低所得層の安心できる割合(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)が、一般層・準低所得層に比べて高く、43.2%となっている。



中学生

①全体

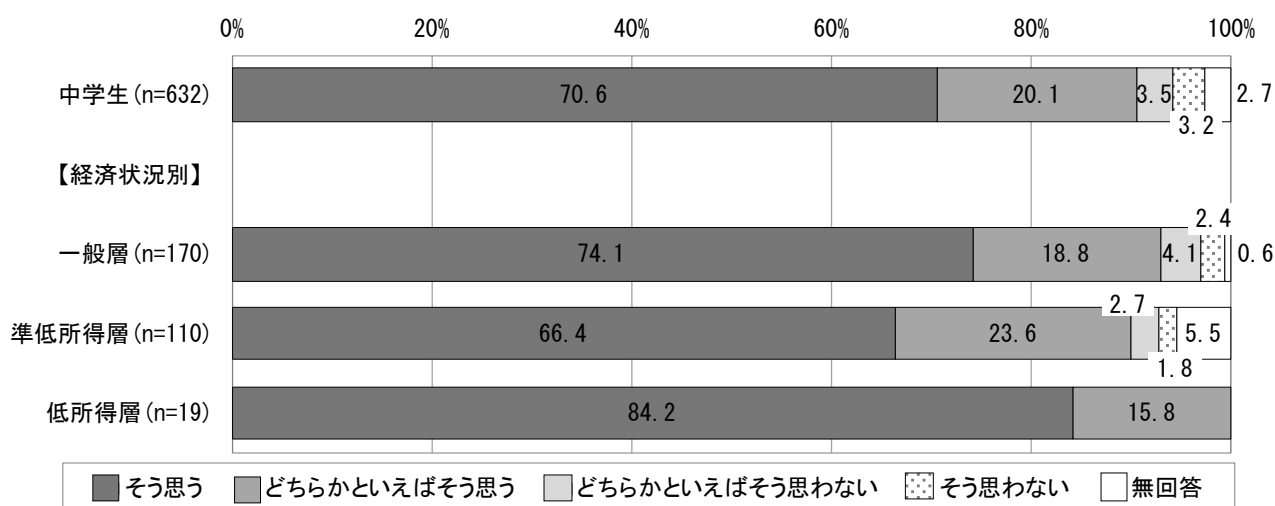
項目別で「そう思う」の割合をみると、「自分の部屋」が 70.6%と最も高くなっている。また、「そう思わない」の割合をみると、「児童館・こども館・青少年会館」が 36.1%と最も高くなっている。
「インターネット空間」を「そう思う」割合は26.7%となっており、小学生と比べて増加している。



②項目別

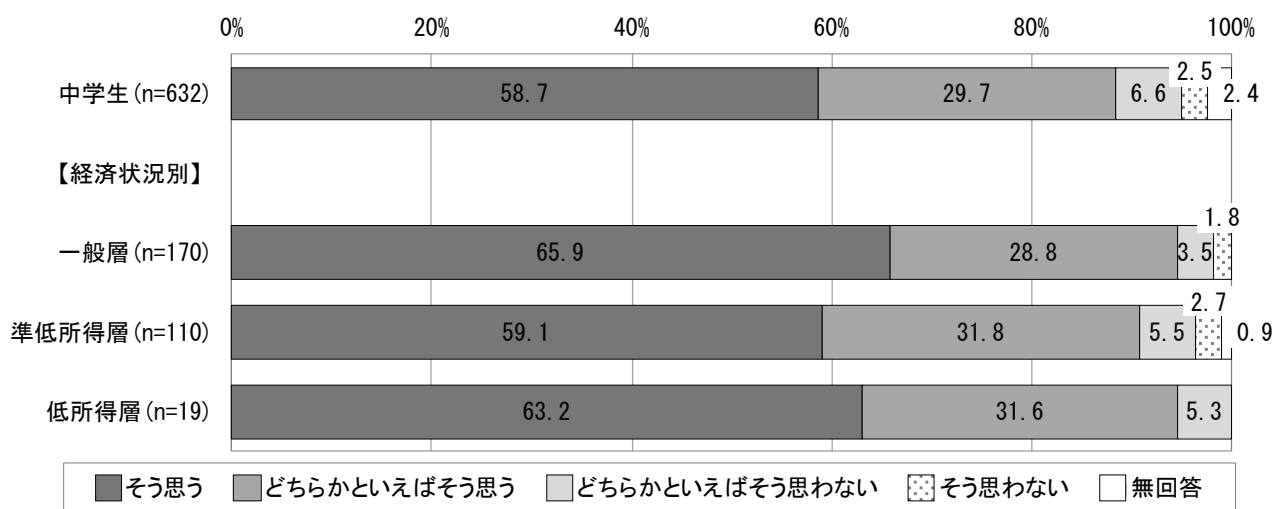
(i) 自分の部屋

準低所得層の安心できる割合(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)が、一般層・低所得層に比べて低く、90.0%となっている。



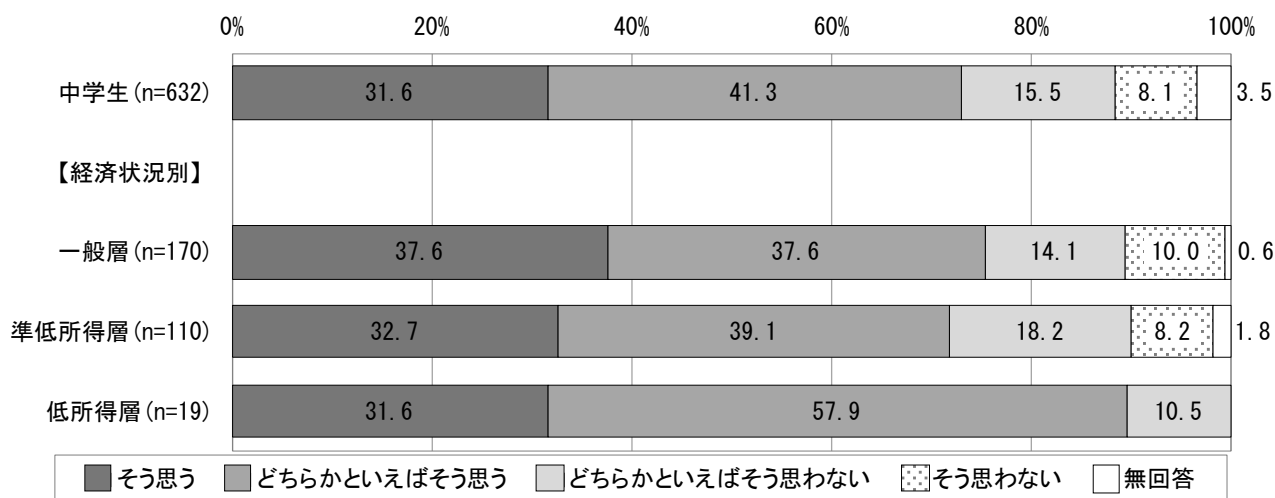
(ii) 家庭

準低所得層の安心できる割合(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)が、一般層・低所得層に比べて低く、90.9%となっている。



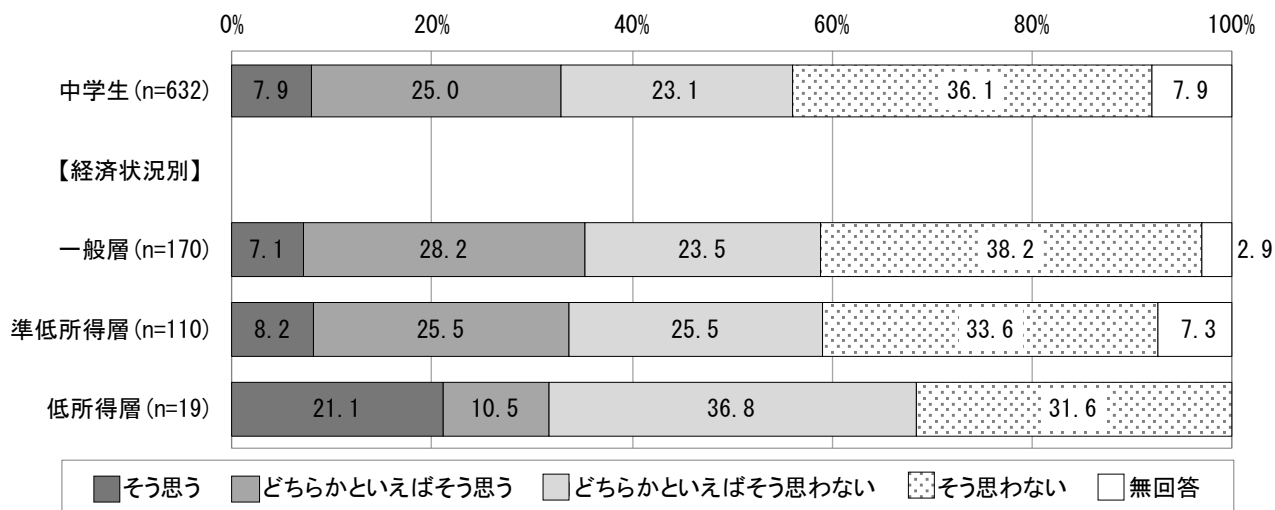
(iii) 学校

低所得層の安心できる割合(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)が、一般層・準低所得層に比べて高く、89.5%となっている。



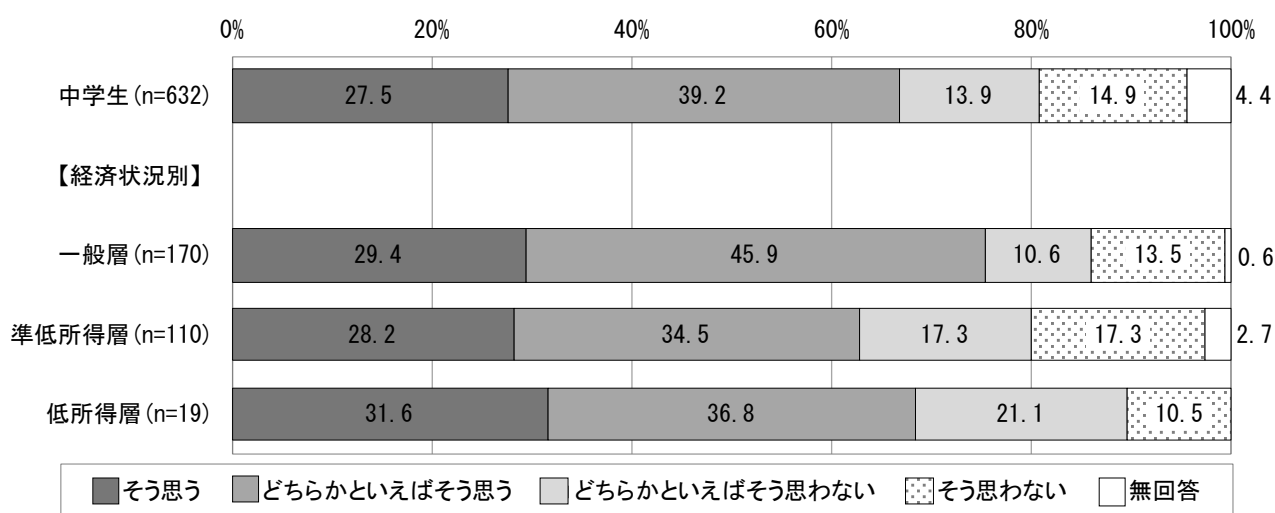
(iv) 児童館・こども館・青少年会館

所得が低くなるにつれ、安心できる割合(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)が低くなっている。低所得層において「そう思う」割合が特に高くなっている。



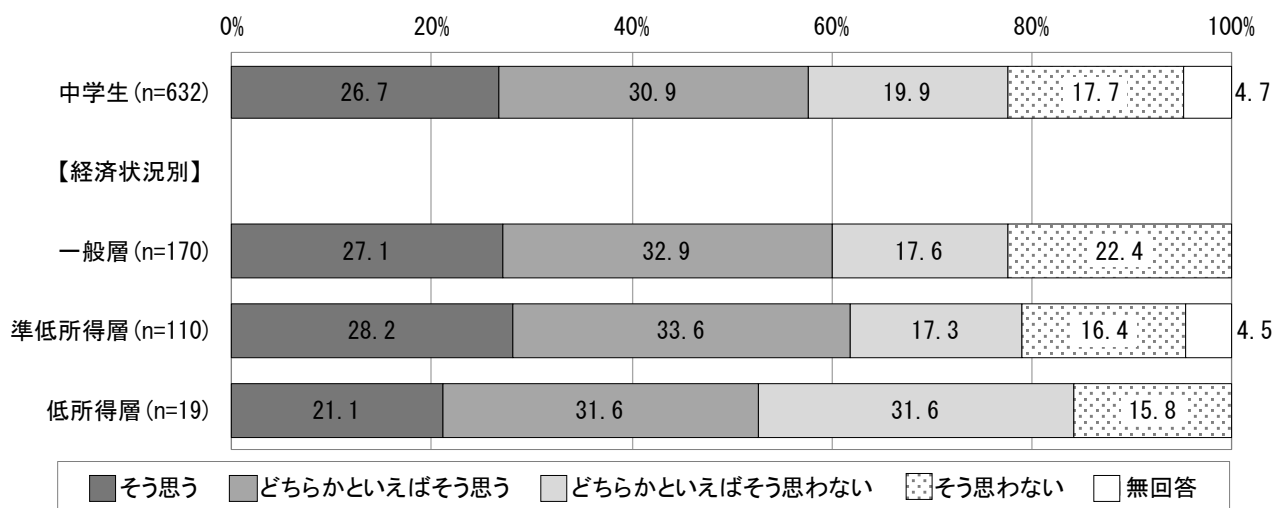
(v) 地域

一般層の安心できる割合(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)が、準低所得層・低所得層に比べて高く、75.3%となっている。



(vi) インターネット空間

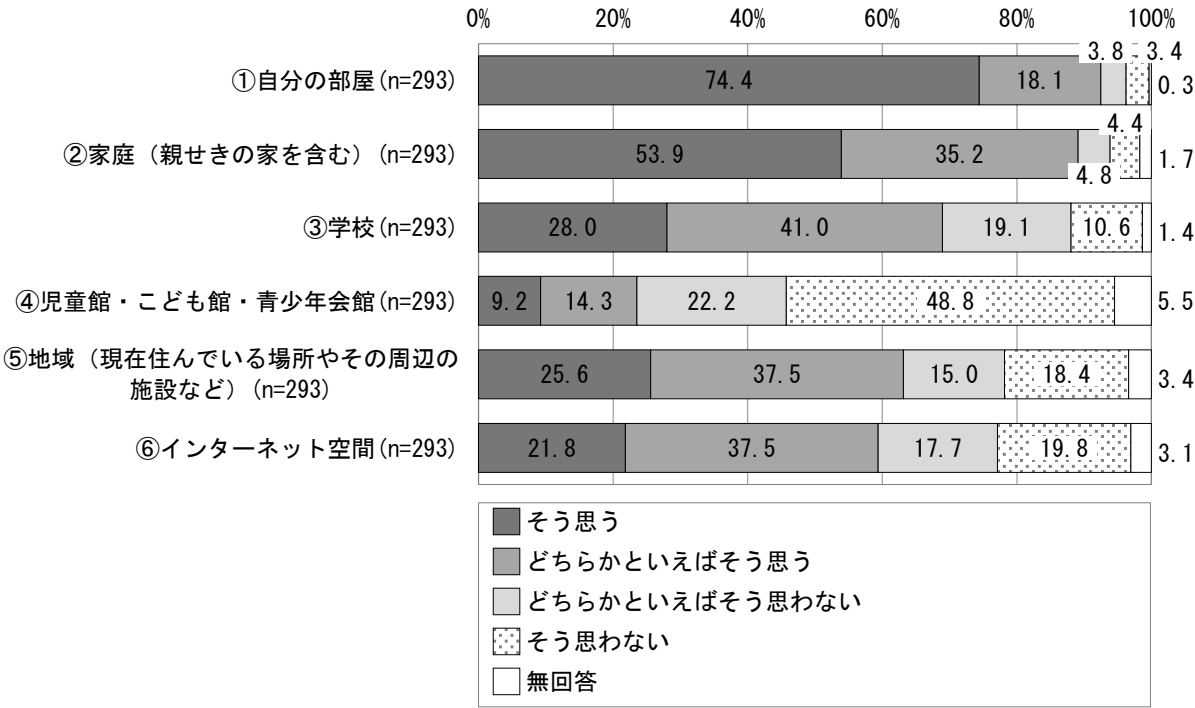
低所得層の安心できる割合(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)が、一般層・準低所得層に比べて低く、52.7%となっている。



高校生

①全体

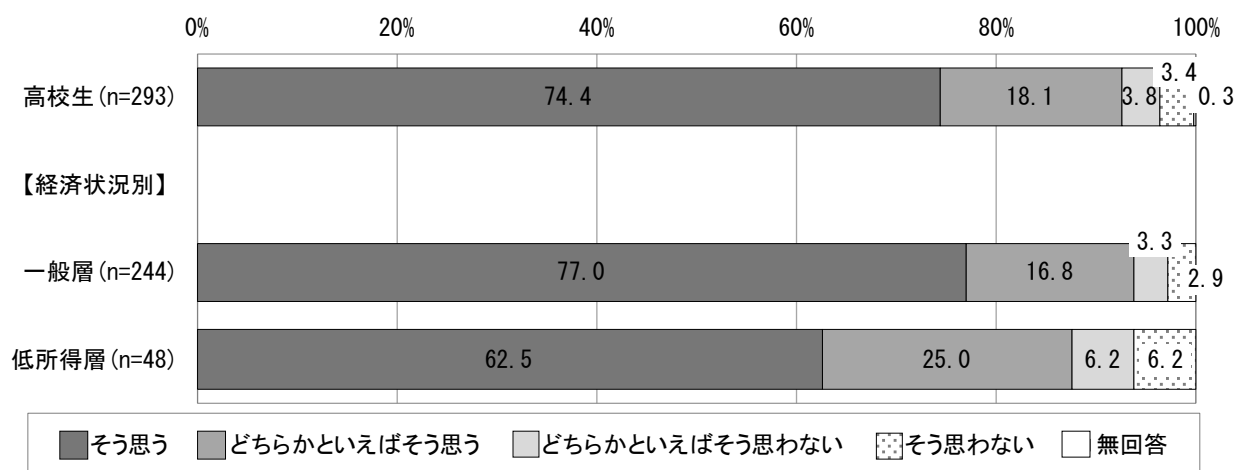
項目別で「そう思う」の割合をみると、「自分の部屋」が 74.4%と最も高くなっている。また、「そう思わない」の割合をみると、「児童館・こども館・青少年会館」が 48.8%と最も高くなっている。
「インターネット空間」を「そう思う」割合は 21.8%となっている。



②項目別

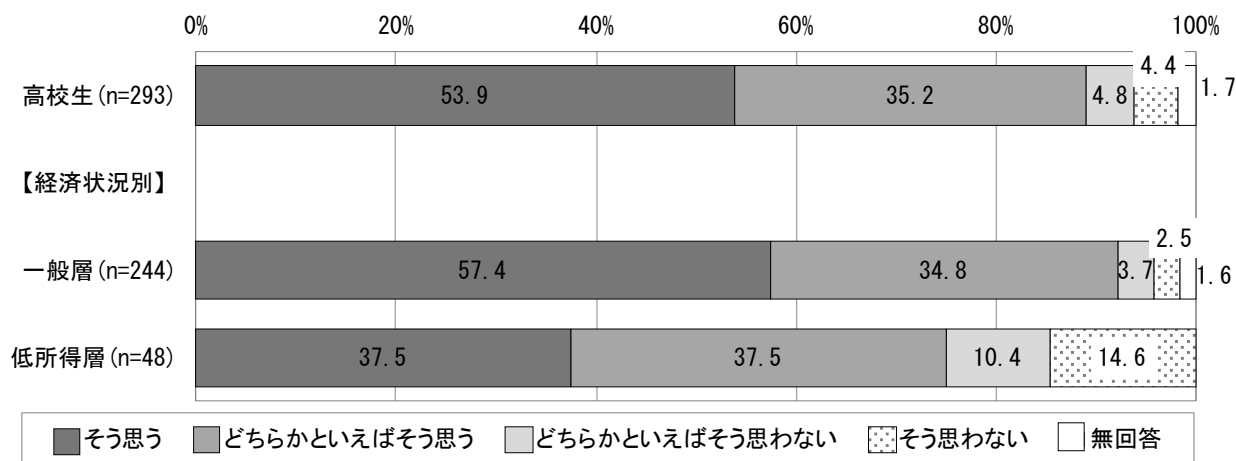
(i) 自分の部屋

低所得層の安心できる割合(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)が、一般層に比べて低く、87.5%となっている。



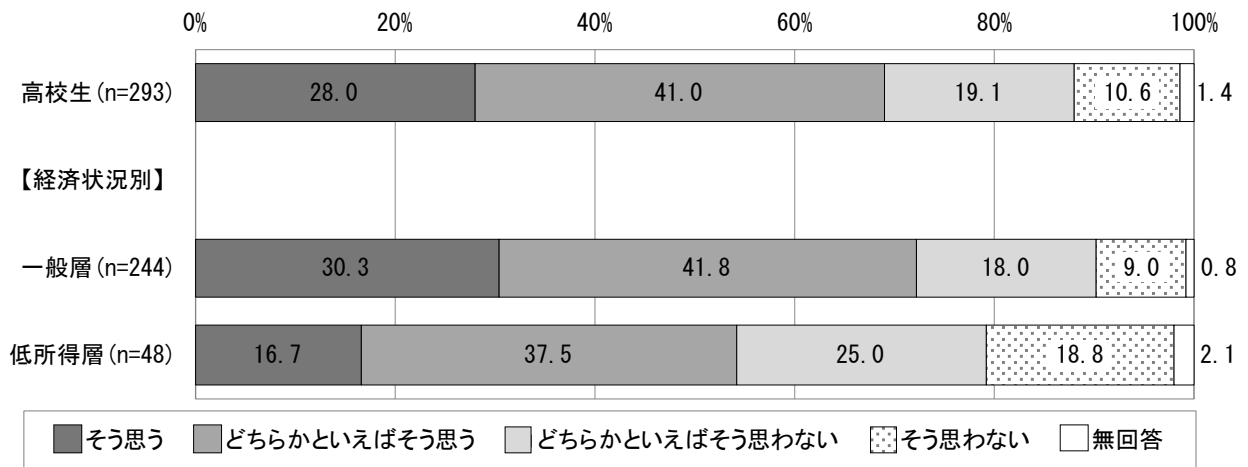
(ii) 家庭

低所得層の安心できる割合(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)が、一般層に比べて低く、75.0%となっている。



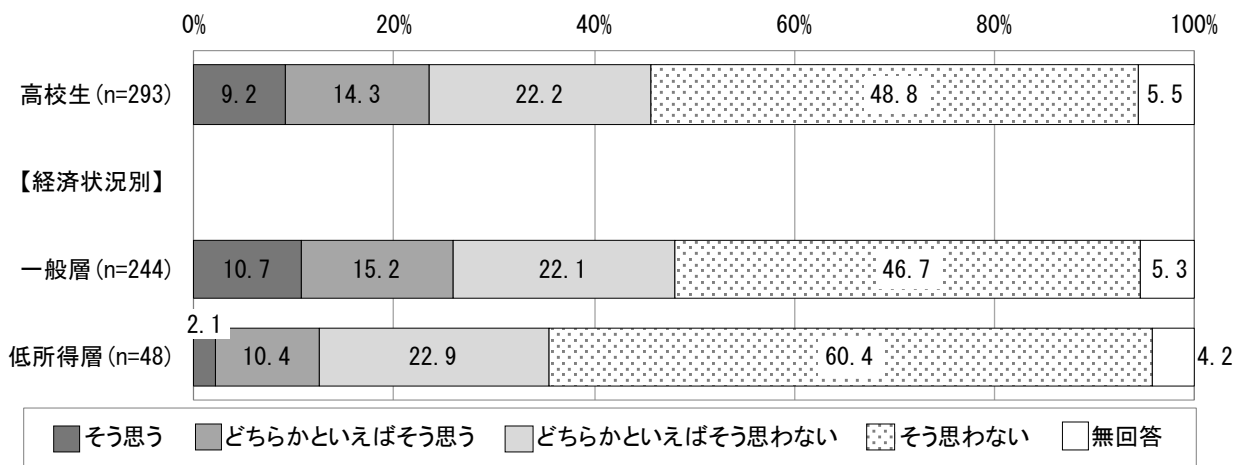
(iii) 学校

低所得層の安心できる割合(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)が、一般層に比べて低く、54.2%となっている。



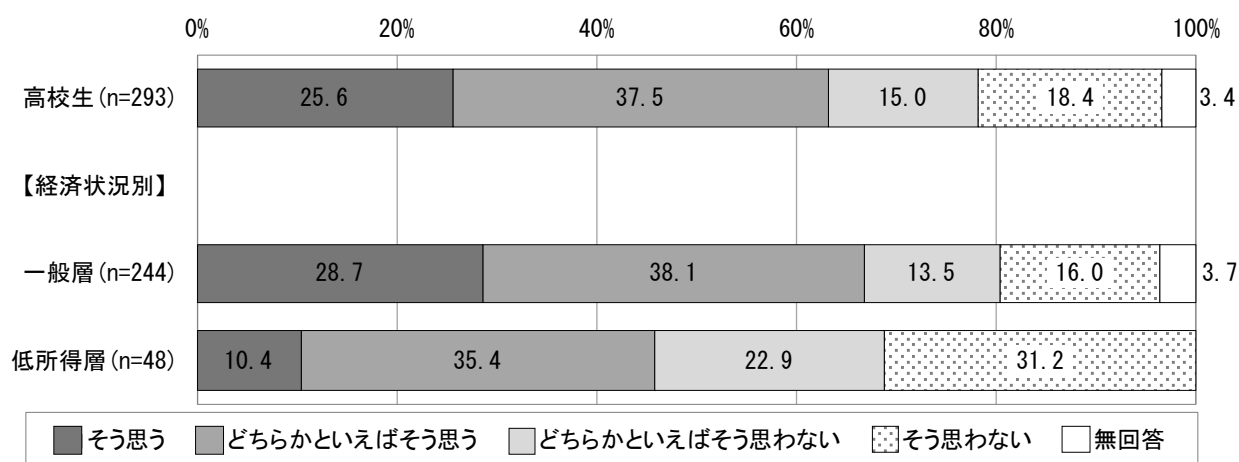
(iv) 児童館・こども館・青少年会館

低所得層の安心できる割合(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)が、一般層に比べて低く、12.5%となっている。



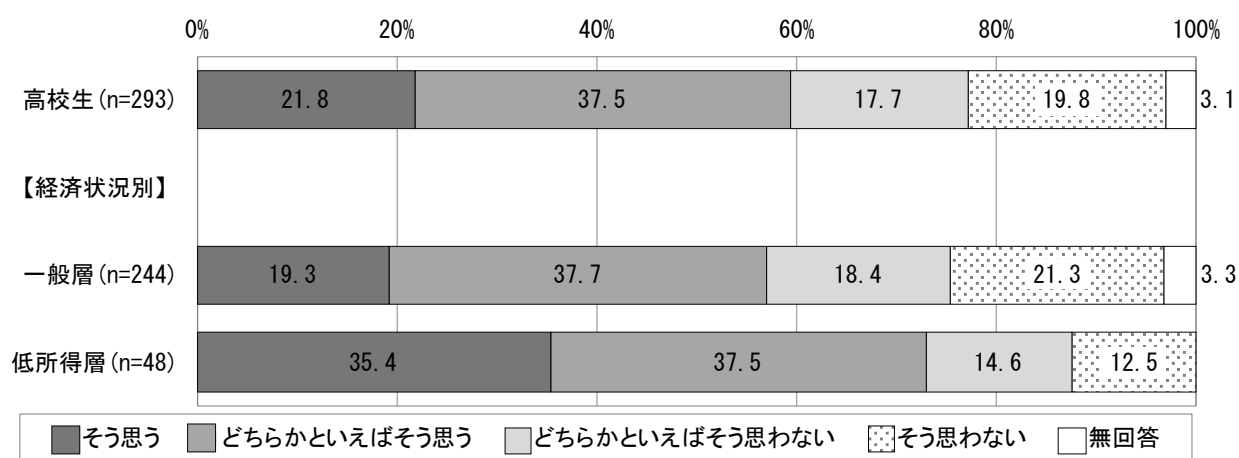
(v) 地域

低所得層の安心できる割合(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)が、一般層に比べて低く45.8%となっている。



(vi) インターネット空間

低所得層の安心できる割合(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)が、一般層に比べて高く、72.9%となっている。

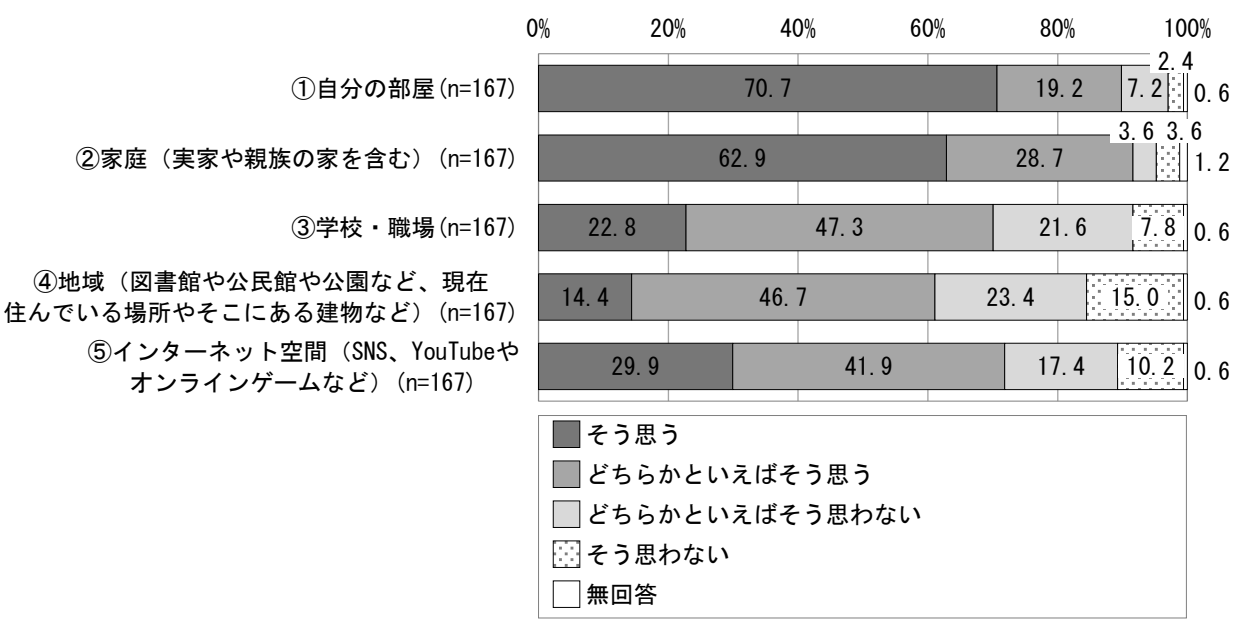


若者

①全体

項目別で「そう思う」の割合をみると、「自分の部屋」が 70.7%と最も高くなっている。また、「そう思わない」の割合をみると、「地域」が 15.0%と最も高くなっている。

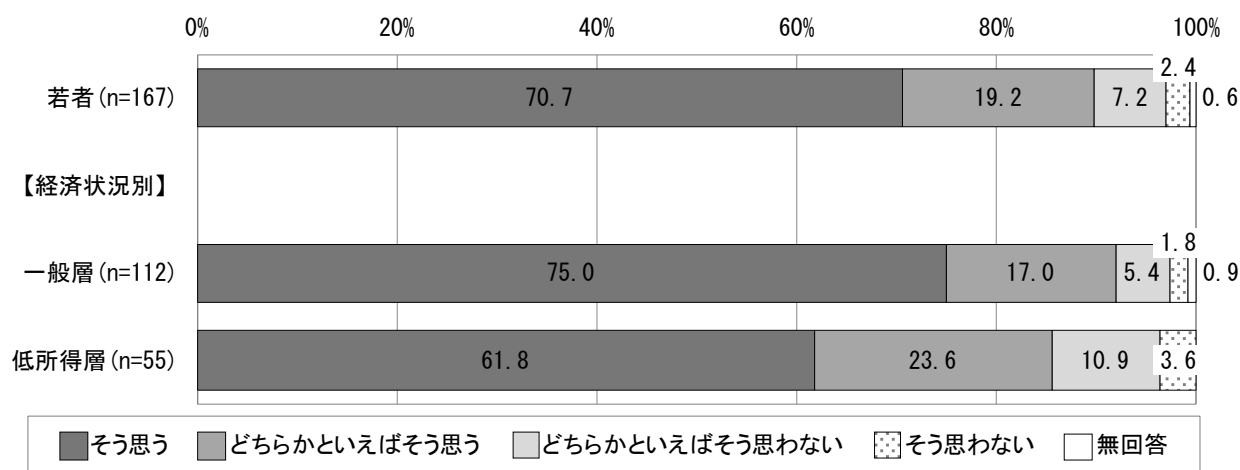
「インターネット空間」を「そう思う」割合は 29.9%となっており、高校生までの結果と比較して最も高くなっている。



②項目別

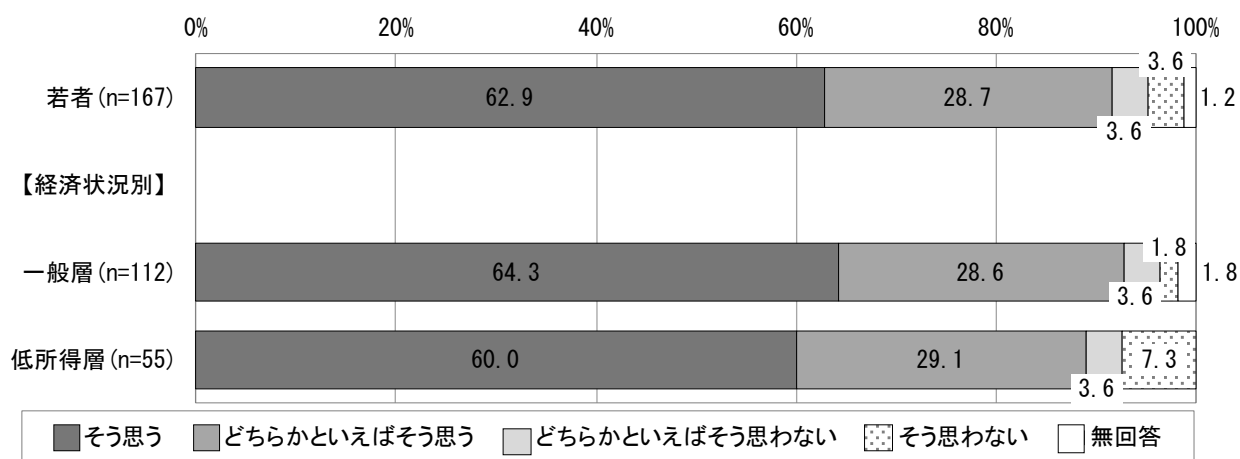
(i) 自分の部屋

低所得層の安心できる割合(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)が、一般層に比べて低く、85.4%となっている。



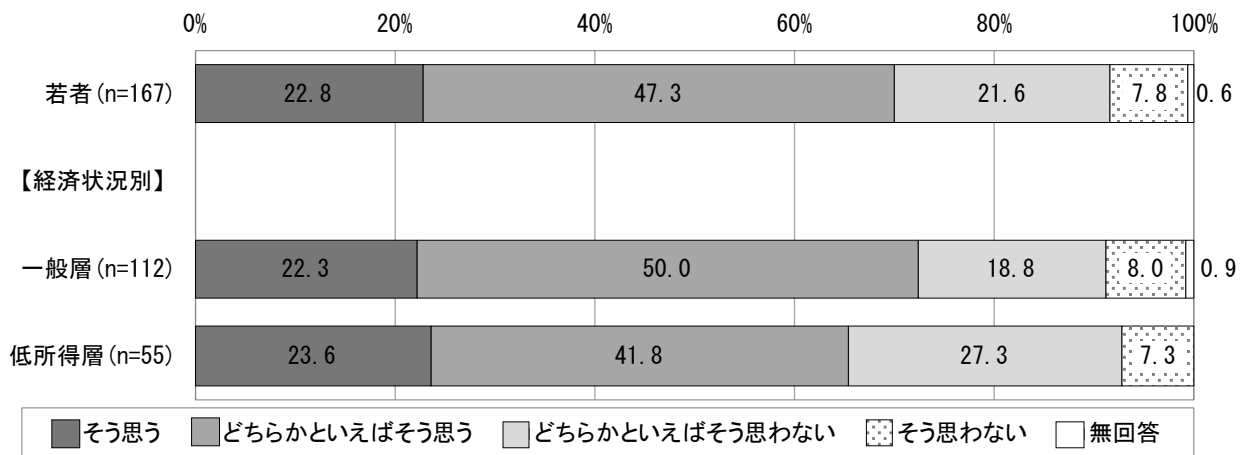
(ii) 家庭

低所得層の安心できる割合(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)が、一般層に比べて低く、89.1%となっている。



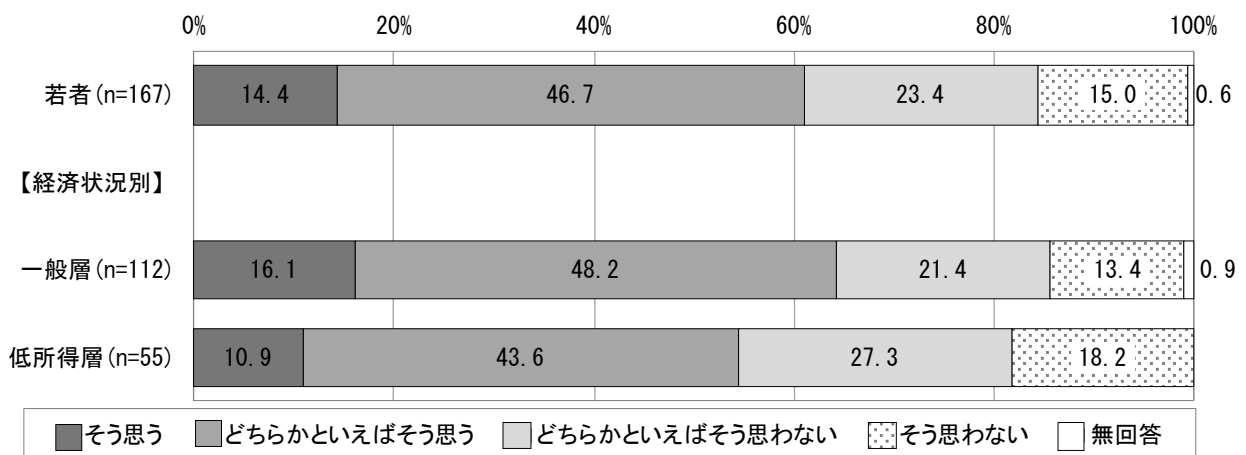
(iii) 学校・職場

低所得層の安心できる割合(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)が、一般層に比べて低く、65.4%となっている。



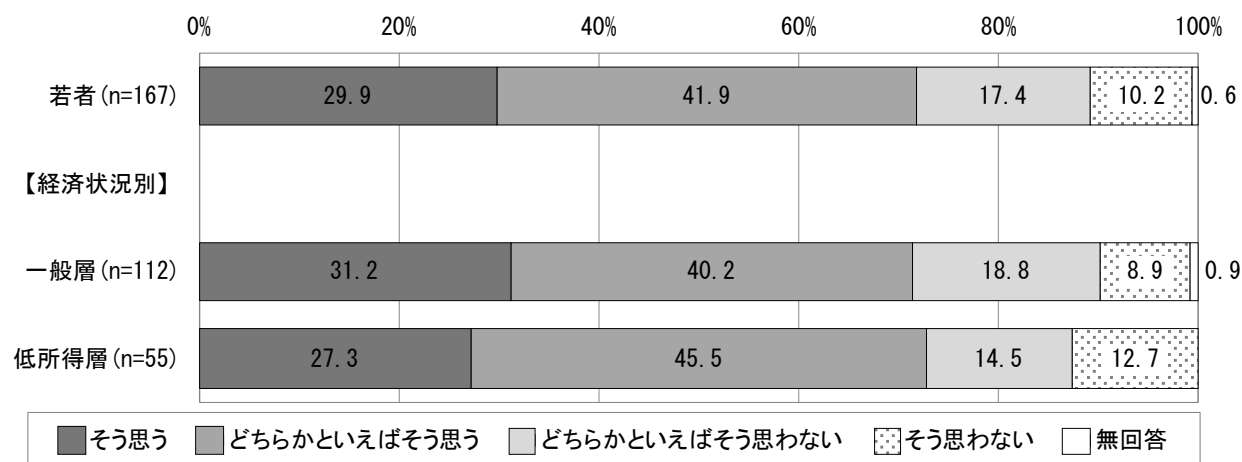
(iv) 地域

低所得層の安心できる割合(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)が、一般層に比べて低く 54.5%となっている。



(v) インターネット空間

経済状況による大きな違いはみられない。



第5節 インターネットの利用状況

■結果の概要

- ・インターネットの利用時間は、経年比較では前回調査よりも全体的に長くなっている。
- ・インターネットの利用目的は、動画閲覧・オンラインゲーム・音楽鑑賞・SNS の割合が高くなっている。小学生において、低所得層のほうが動画閲覧・オンラインゲーム・音楽鑑賞をしている割合が高くなっている。

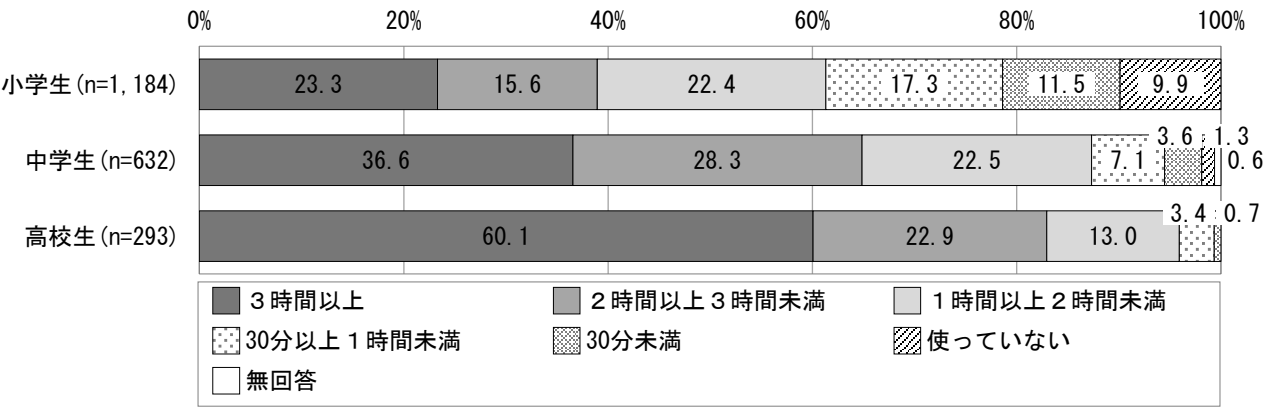
(1)インターネットの利用時間

小学生 問 15、中学生 問 15、高校生 問 15

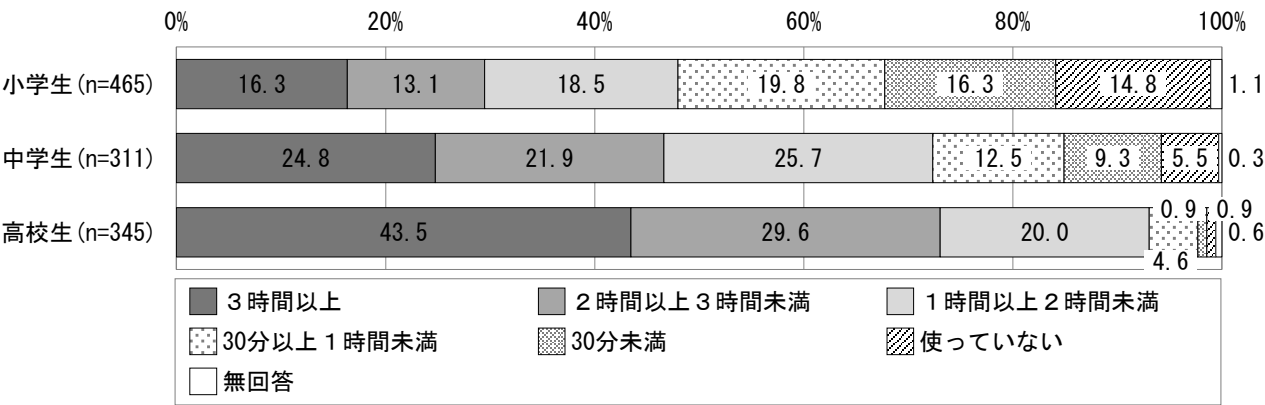
あなたは、平日1日あたりどのくらいインターネット(スマートフォンを含む)を使っていますか。(単数回答)

年齢が上がるほど、利用時間が長くなっている。
経年比較では、すべての年代で前回調査よりも利用時間が長くなっている。

<今回(R5)調査>

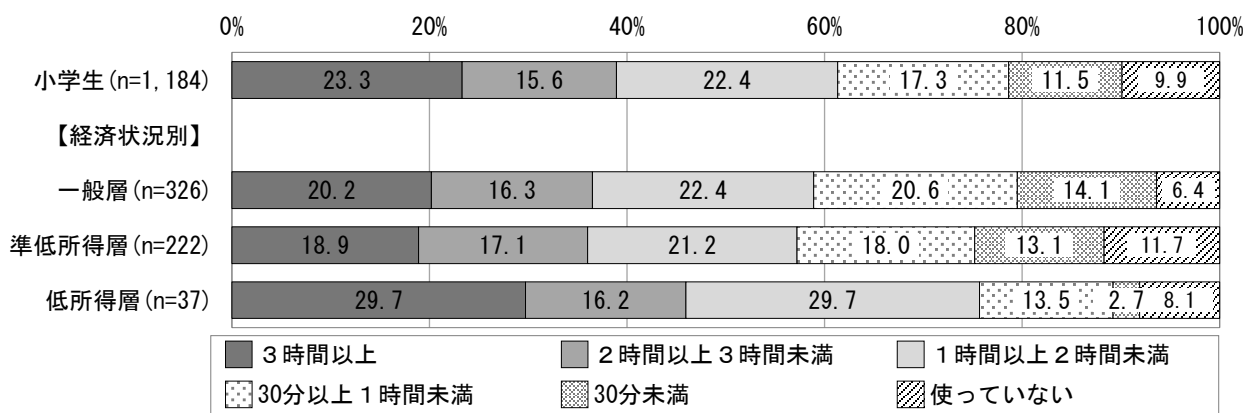


<前回(H30)調査>



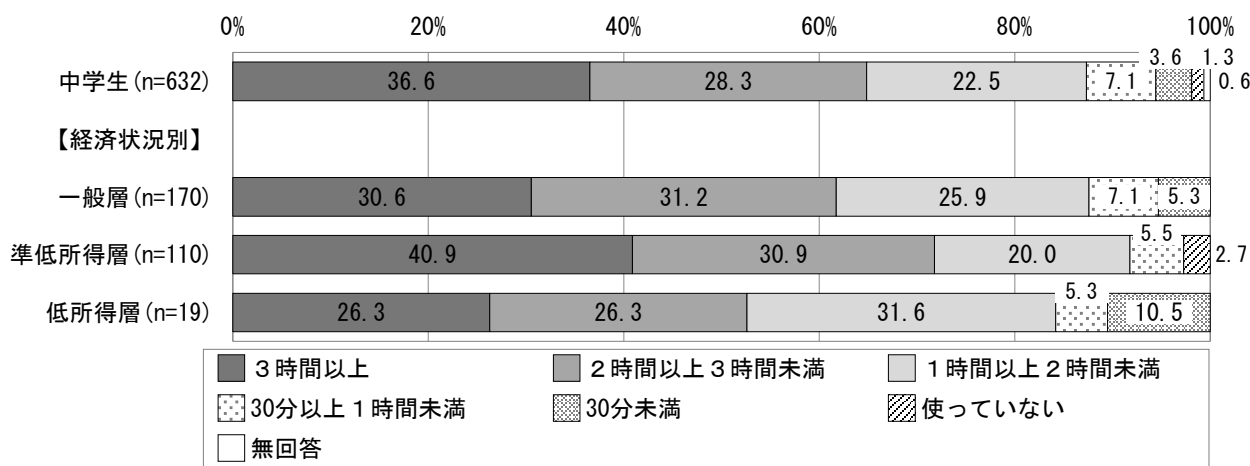
小学生

「3時間以上」が23.3%と最も高く、「1時間以上2時間未満」が22.4%と続いている。
経済状況別では、低所得層の利用時間が長くなっている。



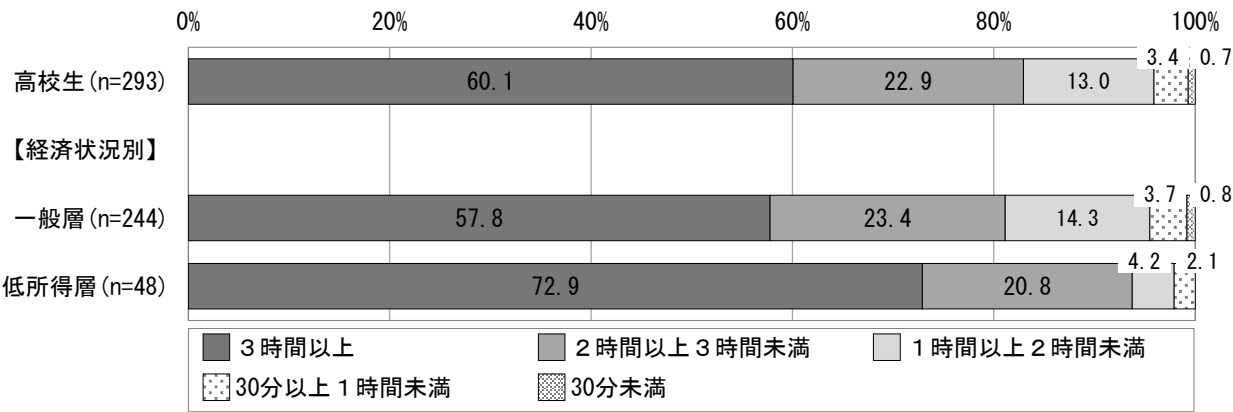
中学生

「3時間以上」が36.6%と最も高く、「2時間以上3時間未満」が28.3%と続いている。
経済状況別では、準低所得層の利用時間が長くなっている。



高校生

高校生では、「3時間以上」が60.1%と最も高く、「2時間以上3時間未満」が22.9%が続いている。
経済状況別では、低所得層のほうが利用時間が長くなっている。



(2)インターネットの利用目的

小学生 問 15-1、中学生 問 15-1、高校生 問 15-1

【「インターネットの利用時間」で「3時間以上」～「30分未満」を選択した方のみ】

具体的にどのような目的でインターネットを利用していますか。(複数回答)

小学生

「動画をみる(Youtube、Tiktok など)」が 75.4%と最も高く、「オンラインゲーム」が 49.8%、「音楽をきく」が 45.9%と続いている。

経済状況別では、低所得層が一般層・準低所得層に比べて、動画閲覧・オンラインゲーム・音楽鑑賞の割合が高くなっている。

(%)	動画をみる (Youtube、 Tiktok など)	オンラインゲーム	音楽をきく	メール	SNS(LINEやInstagram、 フェイスブック、X(旧ツイッター)など)	HP(ホームページ)、 ブログをみる	チャット、 掲示板(けいじばん)	ネットショッピング、 チケットを買う	HP(ホームページ)、 ブログを書く	その他	無回答
小学生(n=1,067)	75.4	49.8	45.9	30.2	20.6	8.5	2.8	1.6	0.5	13.1	0.0
【世帯類型別】											
ひとり親世帯(n=70)	75.7	57.1	45.7	24.3	11.4	8.6	5.7	2.9	0.0	11.4	0.0
共働き世帯(類型1)(n=141)	75.9	45.4	45.4	32.6	21.3	7.1	2.8	0.7	0.0	13.5	0.0
共働き世帯(類型2)(n=196)	77.0	46.9	42.3	25.0	21.9	6.1	1.5	0.5	0.0	17.9	0.0
専業主婦(夫)世帯(n=119)	73.1	43.7	40.3	24.4	14.3	8.4	2.5	0.8	0.0	16.0	0.0
【経済状況別】											
一般層(n=305)	74.8	44.6	40.7	28.5	19.3	7.5	2.6	1.0	0.0	15.1	0.0
準低所得層(n=196)	75.5	48.5	44.4	25.0	17.9	7.1	2.0	0.5	0.0	15.3	0.0
低所得層(n=34)	91.2	55.9	70.6	23.5	17.6	5.9	8.8	2.9	0.0	14.7	0.0

中学生

「動画の閲覧(Youtube、Tiktok など)」が 87.3%と最も高く、「SNS(LINE やインスタグラム、フェイスブック、X(旧ツイッター)など)」が 69.4%、「音楽の視聴」が 66.1%と続いている。

(%)	動画の閲覧 (YouTube、 Tiktok など)	SNS (LINE、X (旧ツイッター) など)	音楽の 視聴	オン ライ ン ゲ ー ム	メ ー ル	H P (ホ ー ム ペ ー ジ)、 ブ ロ グ の 閲 覧	ネ ッ ト シ ョ ッ ピ ン グ、 チ ケ ッ ト の 予 約・ 購 入	チャ ット、 掲 示 板	H P (ホ ー ム ペ ー ジ)、 ブ ロ グ の 更 新	そ の 他	無 回 答
中学生 (n=620)	87.3	69.4	66.1	46.6	27.1	20.2	7.3	5.0	1.9	4.8	0.0
【世帯類型別】											
ひとり親世帯 (n=40)	82.5	65.0	72.5	50.0	17.5	25.0	5.0	5.0	2.5	2.5	0.0
共働き世帯（類型1） (n=55)	90.9	85.5	65.5	43.6	25.5	21.8	5.5	5.5	1.8	3.6	0.0
共働き世帯（類型2） (n=142)	89.4	70.4	63.4	43.7	26.1	22.5	8.5	4.2	1.4	7.0	0.0
専業主婦（夫）世帯 (n=60)	95.0	60.0	53.3	50.0	35.0	18.3	10.0	5.0	0.0	5.0	0.0
【経済状況別】											
一般層 (n=170)	90.0	71.8	61.2	47.1	25.9	24.1	7.1	5.3	1.2	5.9	0.0
準低所得層 (n=107)	89.7	68.2	67.3	45.8	29.0	16.8	8.4	3.7	1.9	5.6	0.0
低所得層 (n=19)	84.2	63.2	57.9	52.6	21.1	21.1	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0

高校生

「SNS(LINE やインスタグラム、フェイスブック、X(旧ツイッター)など)」が 82.3%と最も高く、「動画の閲覧」が 78.8%、「音楽の視聴」が 68.9%と続いている。

(%)	フ ェ イ ス ブ ッ ク 、 X (旧 ツ イ ッ タ ー) な ど	動 画 の 閲 覧	音 楽 の 視 聴	オ ン ラ イ ン ゲ ー ム	メ ー ル	H P (ホ ー ム ペ ー ジ) 、 ブ ロ グ の 閲 覧	ネ ッ ト シ ョ ッ ピ ン グ 、 チ ケ ッ ト の 予 約 ・ 購 入	チャット、 掲示板	H P (ホ ー ム ペ ー ジ) 、 ブ ロ グ の 更 新	その他	無 回 答
高校生 (n=293)	82.3	78.8	68.9	39.9	14.7	14.3	14.0	3.4	0.7	1.0	3.4
【世帯類型別】											
ひとり親世帯 (n=28)	78.6	85.7	64.3	39.3	3.6	10.7	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0
共働き世帯（類型1） (n=205)	82.4	78.5	68.8	36.6	14.1	12.2	12.2	2.9	0.0	1.0	4.4
専業主婦（夫）世帯 (n=49)	81.6	79.6	73.5	46.9	20.4	28.6	18.4	6.1	4.1	0.0	0.0
【経済状況別】											
一般層 (n=244)	83.6	78.3	69.7	38.9	13.9	14.3	14.3	3.3	0.8	0.4	3.3
低所得層 (n=48)	77.1	83.3	66.7	45.8	18.8	14.6	12.5	4.2	0.0	4.2	2.1

第6節 ひきこもり等に関する状況

■結果の概要

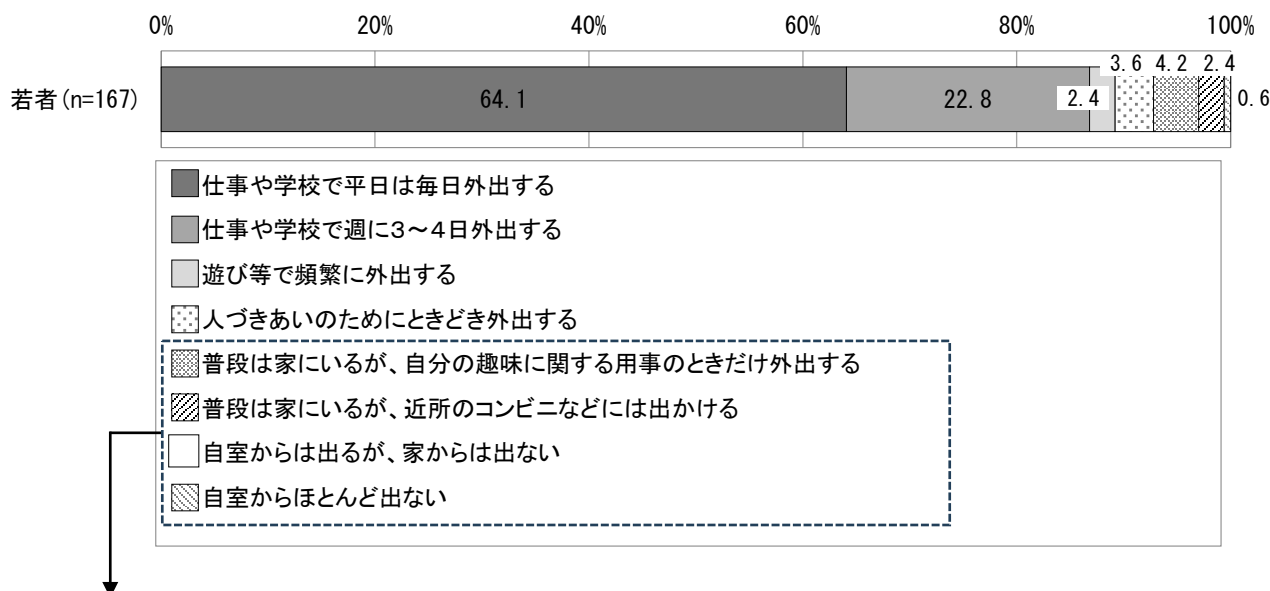
- ・ひきこもりに該当すると思われる人が、若者のうち4.8%となっている。主な要因は、「学校になじめなかったこと」と「人間関係がうまくいかなかったこと」、「病気」となっている。
- ・若者の約半数にあたる45.5%が、社会生活が円滑にいかない状態を改善した経験がある。改善した主なきっかけは、家族や親せき、友人の助けとなっており、人とのつながりで状態が改善したと考えられる。
- ・社会生活が円滑にいかない状態になっても、家族や知り合い以外には相談したくない割合が13.2%となっている。相談したくない主な理由は、「相談しても解決できないと思うから」と「相手がどんな人かわからないから」となっている。

(1)外出頻度

若者 問16

あなたは普段どのくらい外出しますか。現在のことについてお答えください。(単数回答)

「仕事や学校で平日は毎日外出する」が 64.1%と最も高く、「仕事や学校で週に3～4日外出する」が 22.8%、「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する」が 4.2%と続いている。



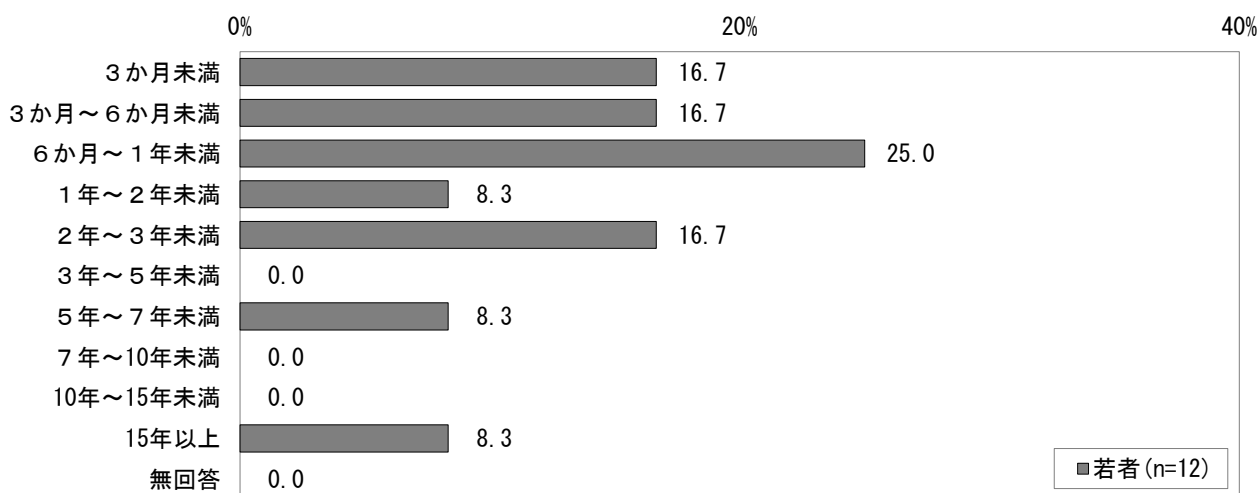
(2)現在の外出頻度になってからの期間

若者 問17

【「外出頻度」で「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する」～「自室からほとんど出ない」を選択した方のみ】

あなたの外出状況が現在の状態となって、どのくらい経ちますか。(単数回答)

「6か月～1年未満」が 25.0%と最も高く、「3か月未満」と「3か月～6か月未満」、「2年～3年未満」が、それぞれ 16.7%と続いている。

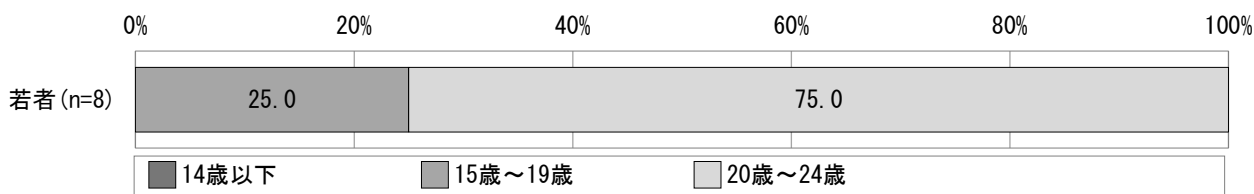


(3)現在の外出頻度になった年齢

若者 問18

【「現在の外出頻度になってからの期間」で6か月以上を選択した方のみ】
あなたの外出状況が現在の状態になったのは、何歳の頃ですか。(単数回答)

「20歳～24歳」が75.0%となっている。

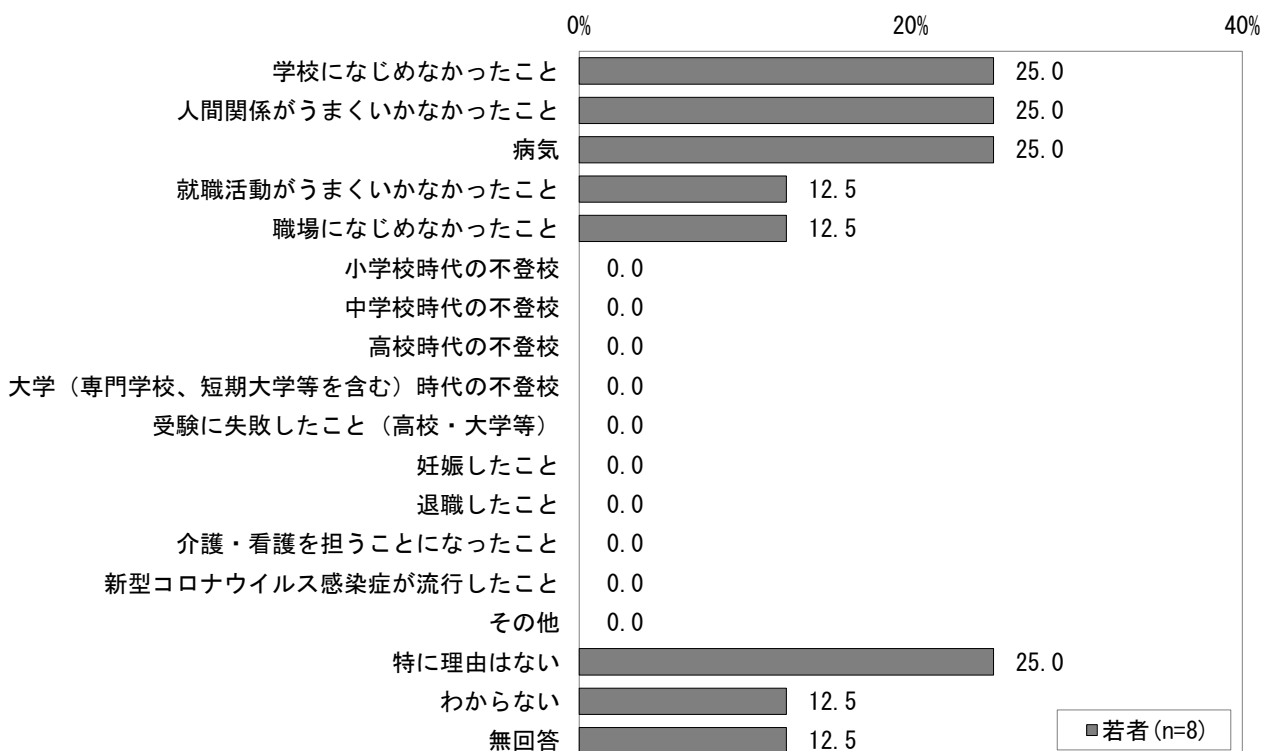


(4)現在の外出頻度になった要因

若者 問18-1

【「現在の外出頻度になってからの期間」で6か月以上を選択した方のみ】
あなたの外出状況が現在の状態になった主な理由は何ですか。(複数回答)

「学校になじめなかったこと」と「人間関係がうまくいかなかったこと」、「病気」、「特に理由はない」が、それぞれ25.0%と最も高くなっている。



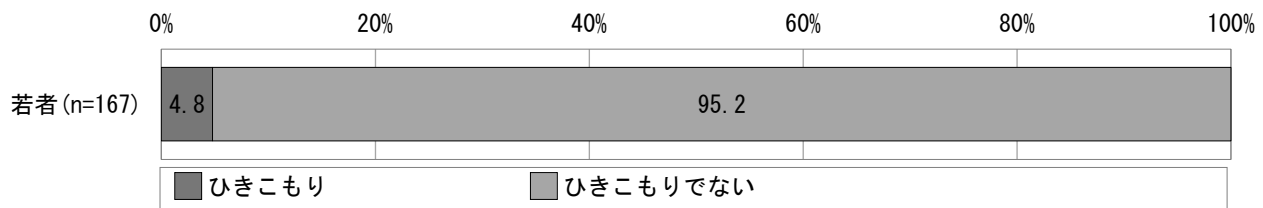
(5) ひきこもり該当者の推計

若者 問16・問17 から試算

あなたは普段どのくらい外出しますか。現在のことについてお答えください。(単数回答)

あなたの外出状況が現在の状態となって、どのくらい経ちますか。(単数回答)

外出の状況などから、若者のうち 4.8% がひきこもりに該当しているものと考えられる。



用語の定義

ひきこもりとは「様々な要因の結果として、就学や就労、交遊などの社会的参加を避けて、原則的には6か月以上にわたって概ね家庭にとどまり続けている状態のこと」を指す※。

本推計においてはこの定義をもとに、自室からほとんど出ない、または趣味やコンビニ以外の外出をしていない状態(若者 問16)が、6か月以上継続している人(若者 問17)を、ひきこもりとしている。

※「ひきこもりの評価・支援に関するガイドライン」(平成22年5月)

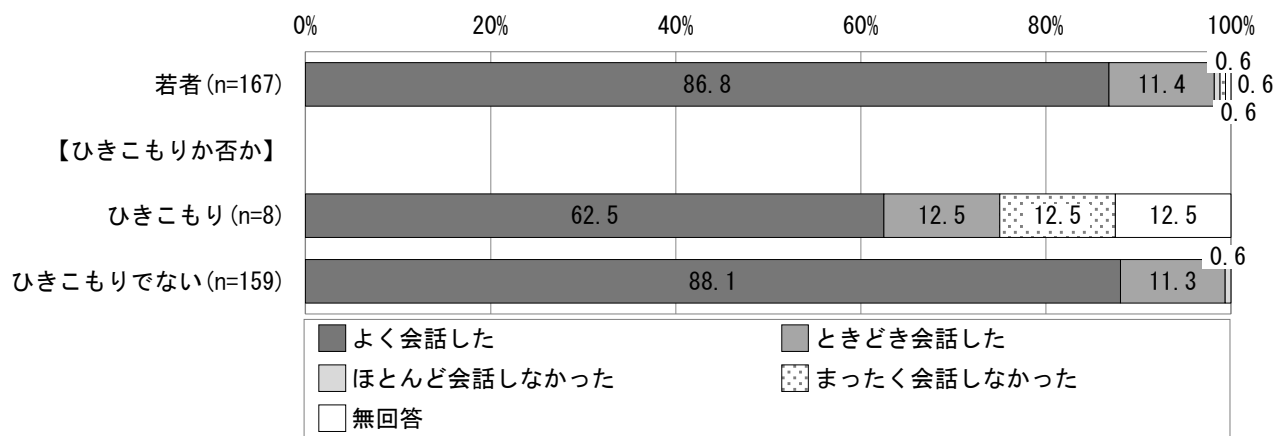
(厚生労働科学研究でとりまとめ、主任研究者: 齊藤万比古氏 国立国際医療研究センター国府台病院)

(6) 家族以外の人との会話

若者 問19

最近6か月間に、家族以外の人と会話しましたか。(単数回答)

「よく会話した」が 86.8% と最も高く、「ときどき会話した」が 11.4% と続いている。

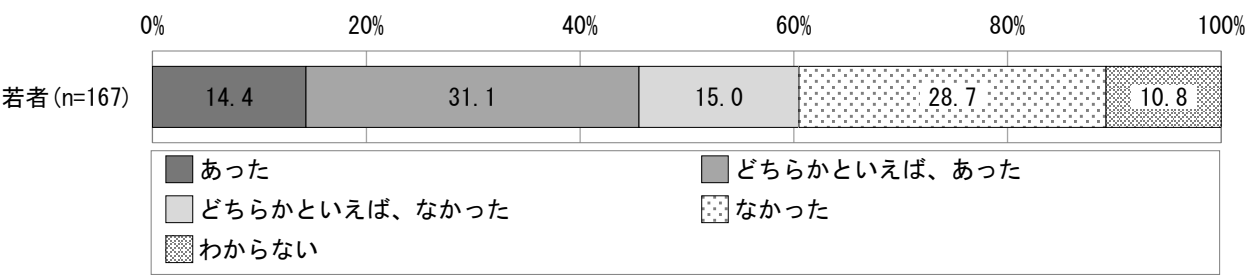


(7)困難な状態から改善した経験

若者 問 20

あなたは今までに、社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった状態が改善した経験がありましたか。(単数回答)

社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった状態が改善した経験があった割合(「あった」と「どちらかといえば、あった」の合計)は、45.5%となっている。



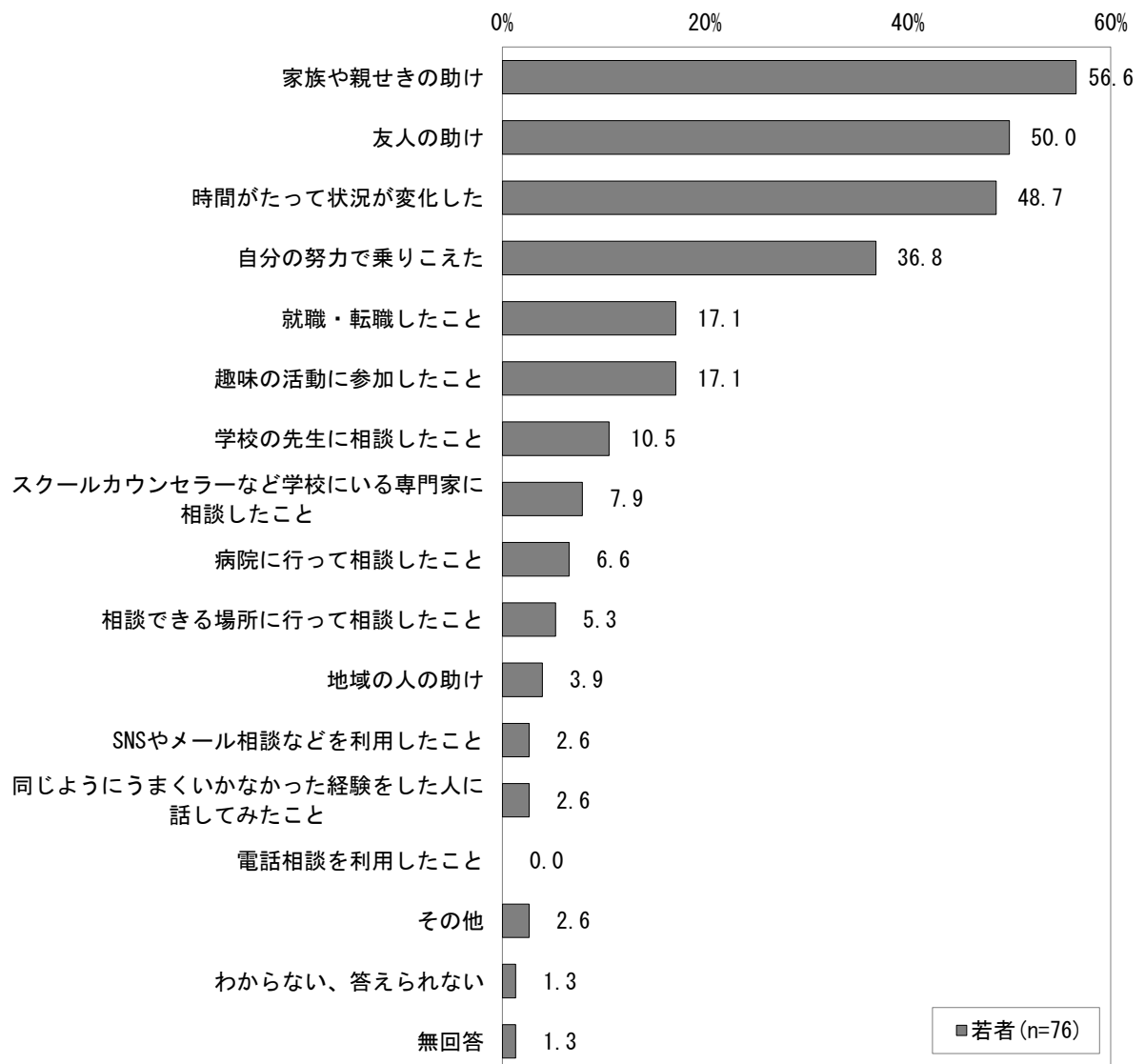
(8) 困難な状態から改善したきっかけ

若者 問 21

【「社会生活を円滑に送ることができなかった状態からの改善経験」で「あった」または「どちらかといえば、あった」を選択した方のみ】

状態が改善したきっかけや改善に役立ったことは何だと思いますか。(複数回答)

「家族や親せきの助け」が 56.6%と最も高く、「友人の助け」が 50.0%、「時間がたって状況が変化した」が 48.7%と続いている。

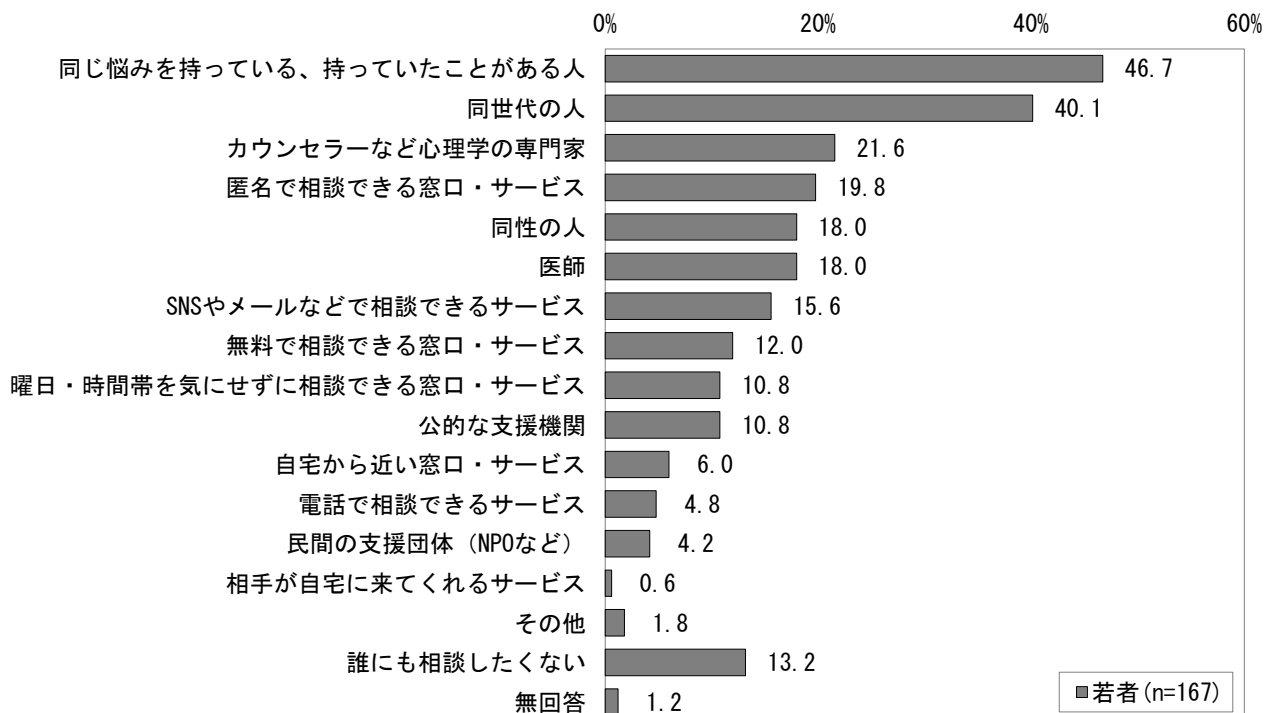


(9)家族・知り合い以外の相談相手

若者 問 22

あなたが、社会生活や日常生活を円滑に送ることができない状態になったときに、家族や知り合い以外に相談するとすれば、どのような人や場所に相談したいと思いますか。(複数回答)

「同じ悩みを持っている、持っていたことがある人」が 46.7%と最も高く、「同世代の人」が 40.1%、「カウンセラーなど心理学の専門家」が 21.6%と続いている。

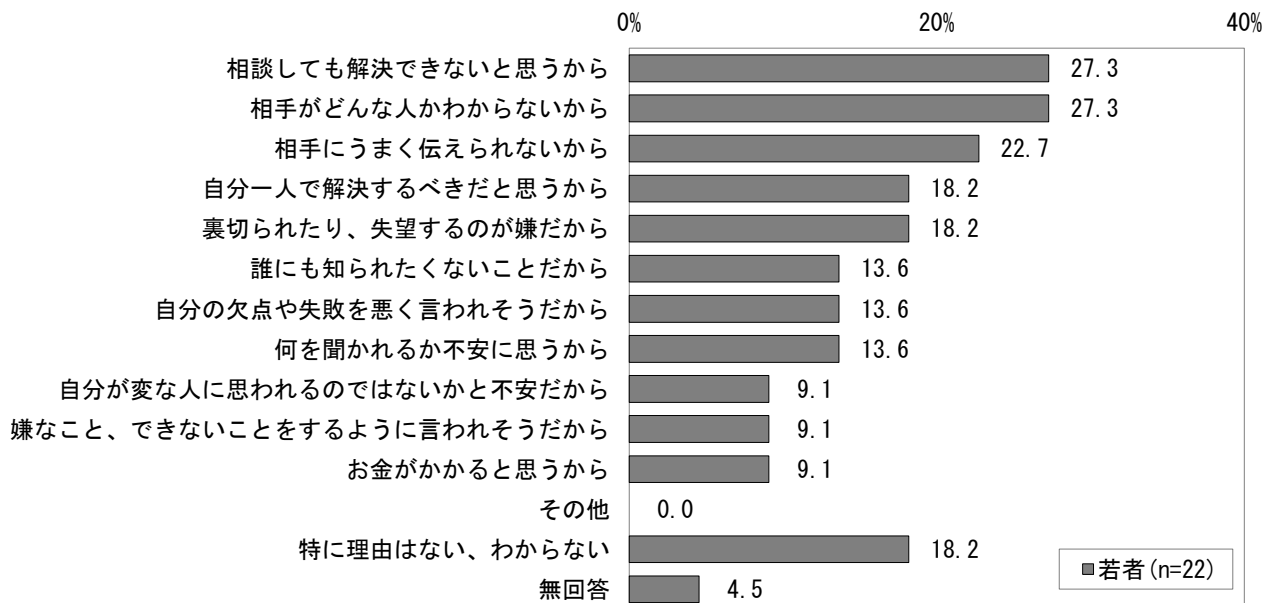


(10) 誰にも相談したくない理由

若者 問 23

【「家族・知り合い以外の相談相手」で「誰にも相談したくない」を選択した方のみ】
相談したくないと思う理由は何ですか。(複数回答)

「相談しても解決できないと思うから」と「相手がどんな人かわからないから」が、それぞれ 27.3%と最も高く、「相手にうまく伝えられないから」が 22.7%と続いている。



第7節 子どもの虐待に関する認識

■結果の概要

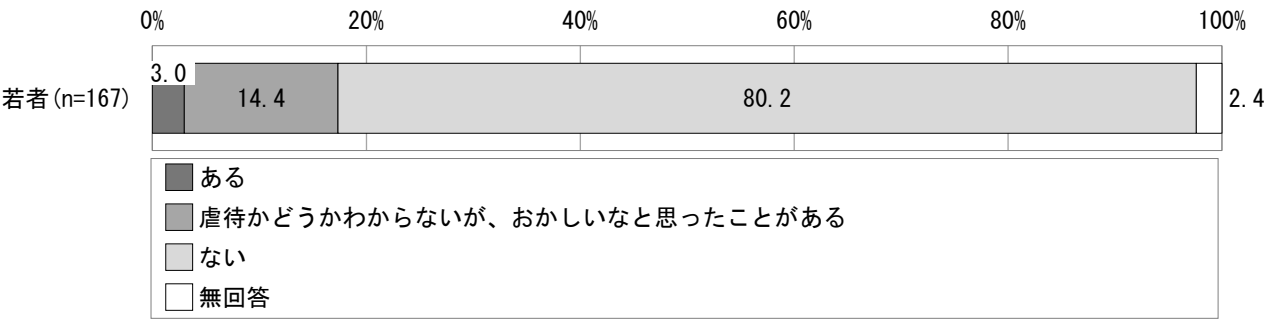
- ・約2割の人が、身近なところで虐待かもしれないと思った経験をしている。
- ・虐待を疑っても、様子をみたり、どうしていいかわからないなど、直接的な対応をしなかった割合が高くなっている。

(1)虐待かもしれないと思った経験

若者 問 24

あなたは、身近なところで子どもの虐待かもしれないと思ったことはありますか。(単数回答)

「ある」が 3.0%、「虐待かどうかかわからないが、おかしいなと思ったことがある」が 14.4%となっている。



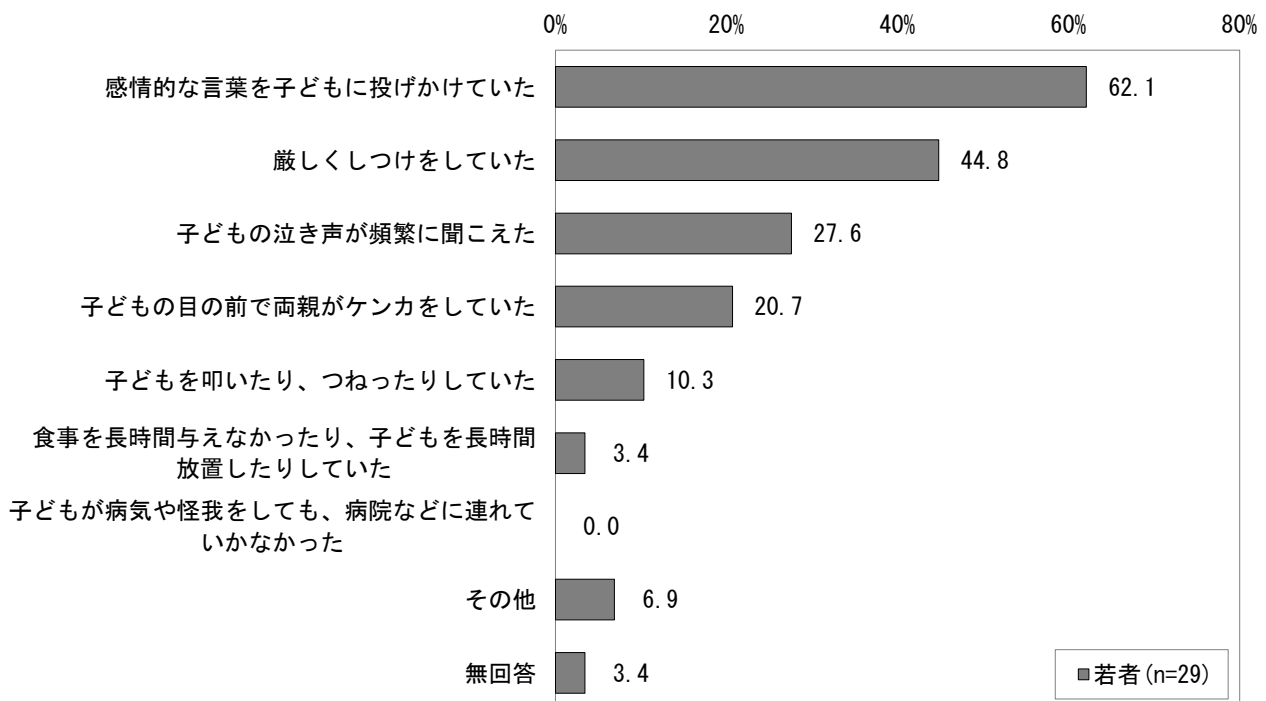
(2)虐待かもしれないと思った状況

若者 問 24-1

【「虐待かもしれないと思った経験」で「ある」または「虐待かどうかわからないが、おかしいなと思ったことがある」を選択した方のみ】

その時の状況は、どのようなものですか。(複数回答)

「感情的な言葉を子どもに投げかけていた」が62.1%と最も高く、「厳しくしつけをしていた」が44.8%、「子どもの泣き声が頻繁に聞こえた」が27.6%と続いている。



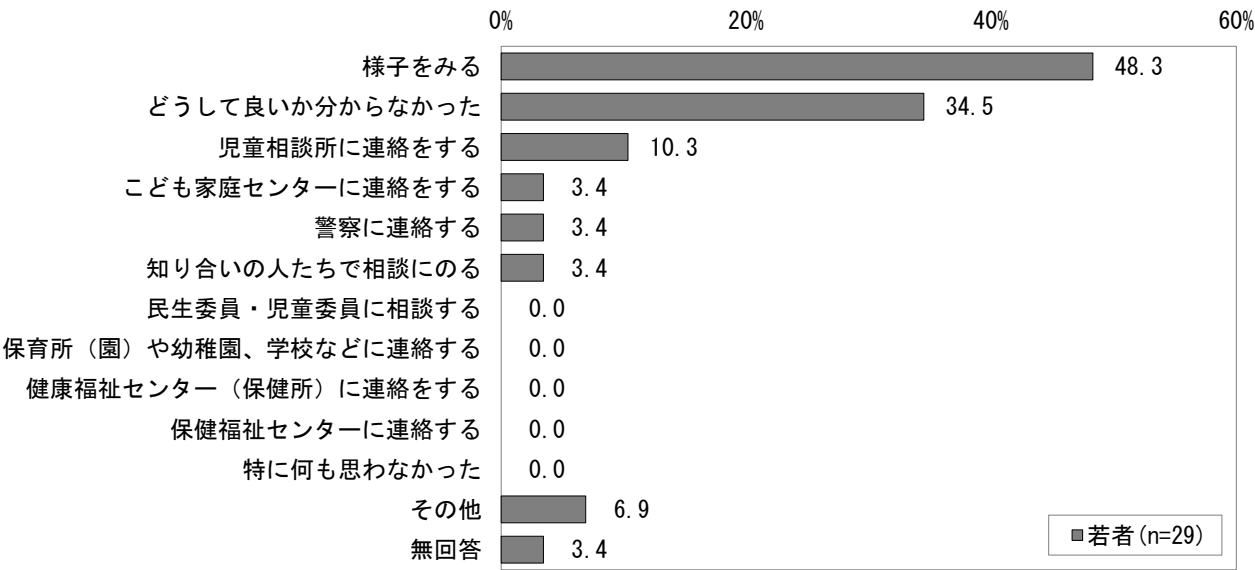
(3)虐待を疑ったときの対応

若者 問 24-2

【「虐待かもしれないと思った経験」で「ある」または「虐待かどうか分からないが、おかしいなと思ったことがある」を選択した方のみ】

その時どのように対応しようと思いましたか。（複数回答）

「様子を見る」が 48.3%と最も高く、「どうして良いか分からなかった」が 34.5%、「児童相談所に連絡をする」が 10.3%と続いている。



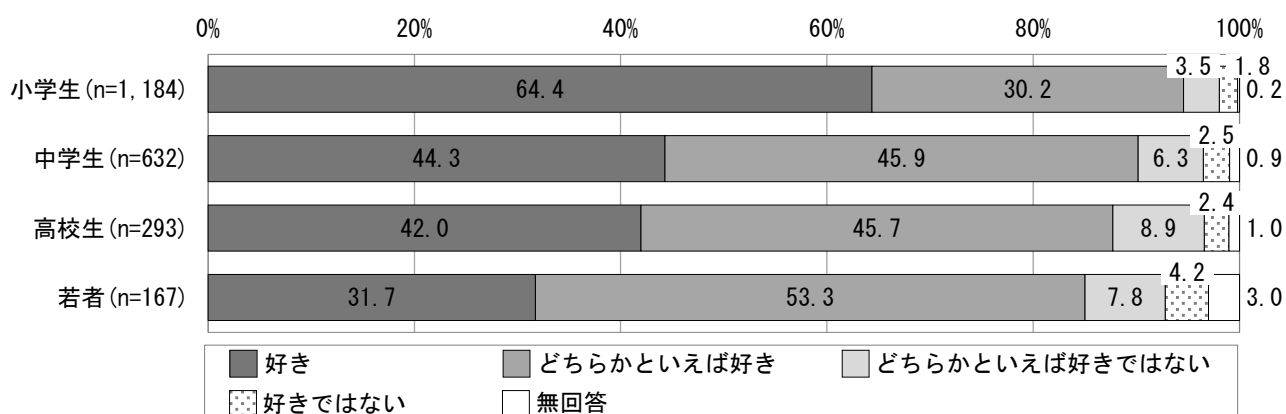
第8節 松戸市への好感度

小学生 問 17、中学生 問 17、高校生 問 17、若者 問 26
あなたは松戸市が好きですか。(単数回答)

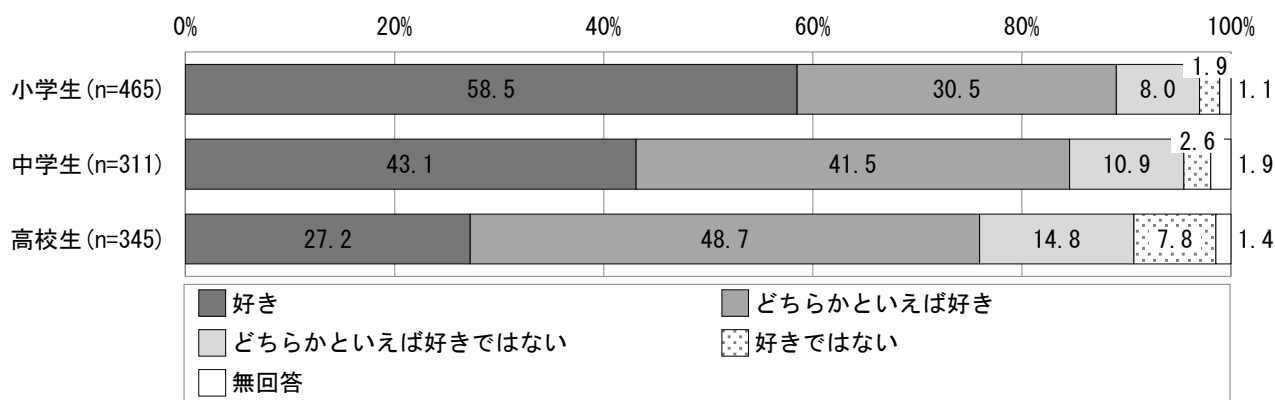
松戸市を好きと回答した割合(「好き」と「どちらかといえば好き」の合計)は、小学生が 94.6%と最も高くなっている。年齢が上がるにつれ、松戸市を好きと回答した割合は減少し、若者においては 85.0%となっている。

経年比較では、(前回なかった若者を除き)すべての年代で前回調査よりも、松戸市を好きと回答した割合が増加している。

<今回(R5)調査>

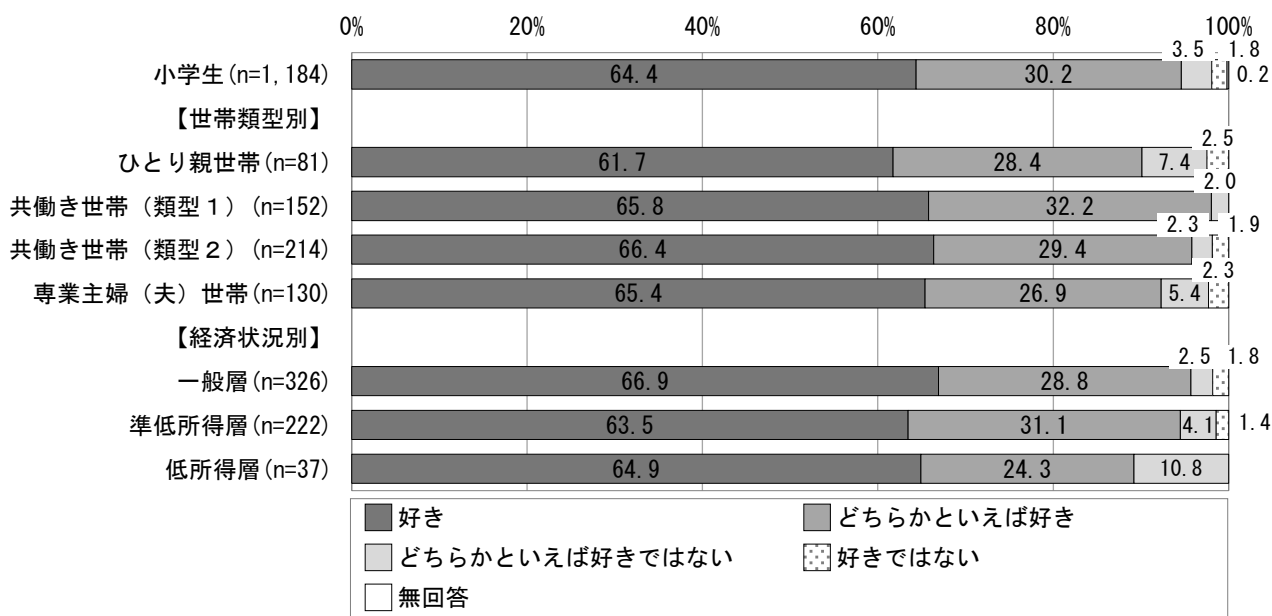


<前回(H30)調査>



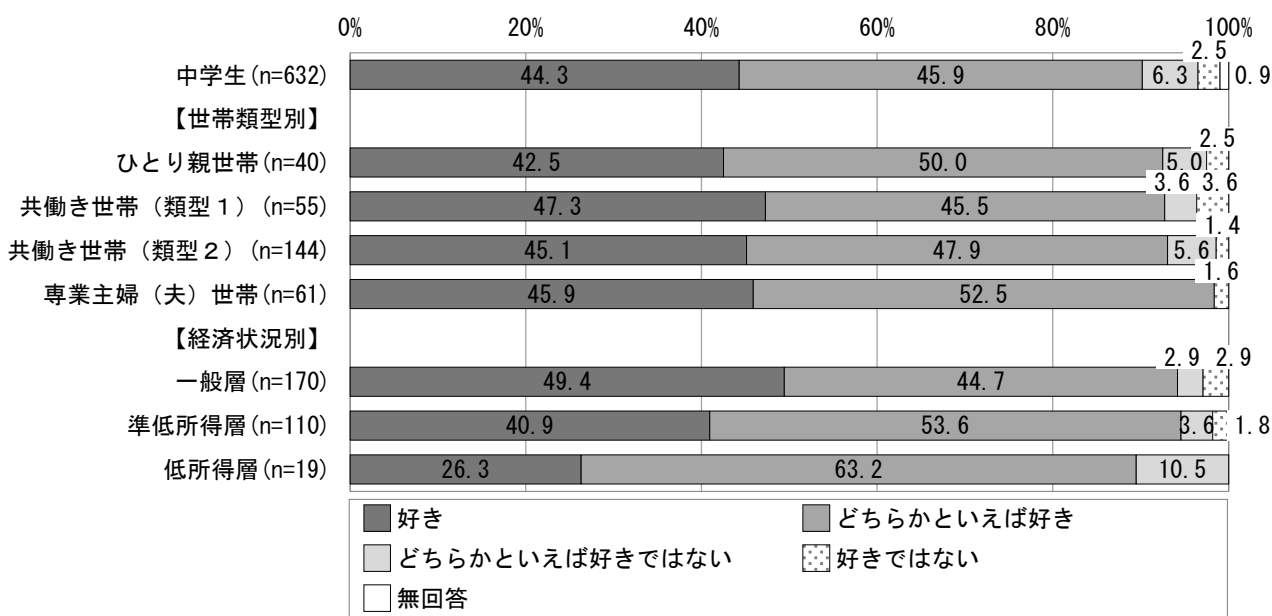
小学生

世帯類型別では、ひとり親世帯において松戸市を好きと回答した割合が低くなっている。経済状況別では、低所得層が一般層よりも、松戸市を好きと回答した割合が低くなっている。



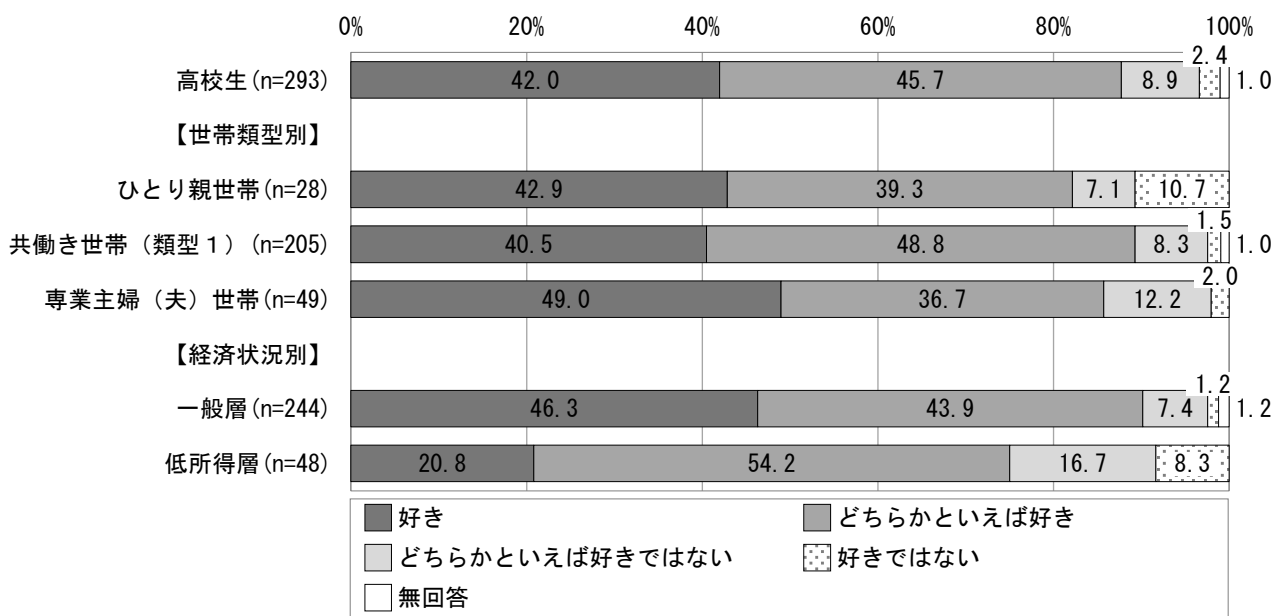
中学生

世帯類型別では、大きな違いはみられない。経済状況別では、所得が低くなるにつれ「好き」と回答した割合が低くなっている。



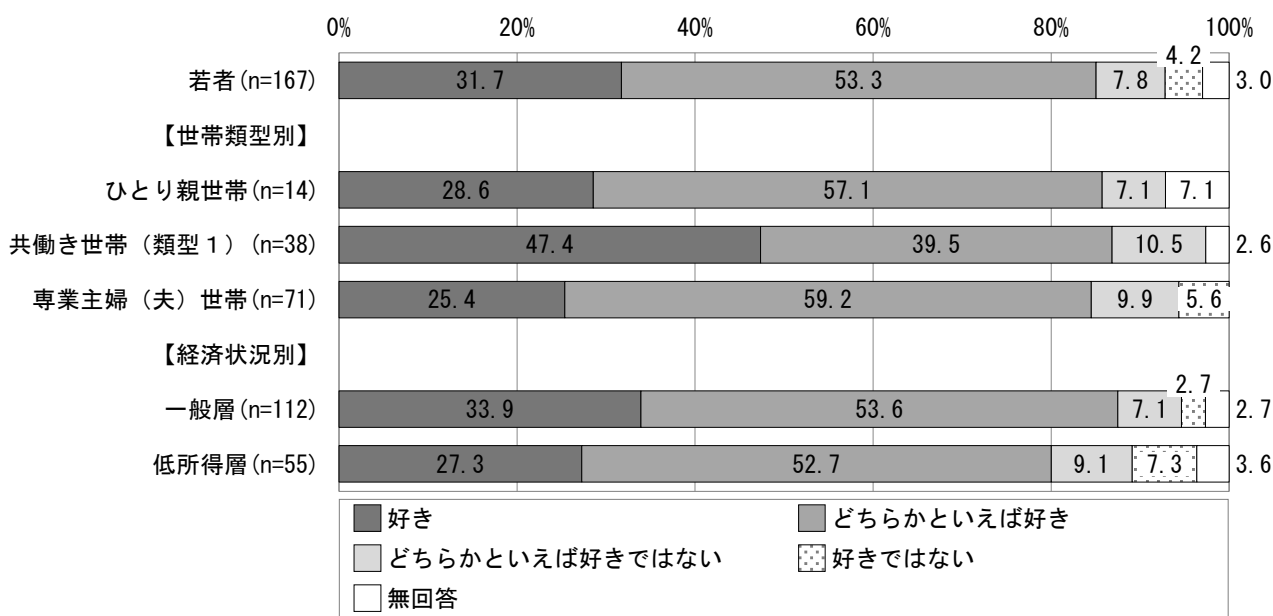
高校生

世帯類型別では、共働き世帯(類型1)において松戸市を好きと回答した割合が高くなっている。経済状況別では、低所得層が一般層よりも、松戸市を好きと回答した割合が低くなっている。



若者

世帯類型別では、共働き世帯(類型1)において「好き」と回答した割合が高くなっている。経済状況別では、低所得層が一般層よりも、松戸市を好きと回答した割合が低くなっている。



第9節 体験活動等の状況

■結果の概要

- ・全体として、娯楽・レジャーなどについては中学生以上になると経済状況に関わらず友人等と体験する機会があるものと考えられるが、その他の体験活動等では経済状況による格差がみられる。
- ・運動やスポーツに関する習い事では、小学生・中学生の準低所得層・低所得層、高校生の低所得層において、一般層よりも「何もしていない」の割合が高くみられ、経済状況による格差があらわれている。
- ・文化芸術に関する習い事では、高校生の低所得層において、一般層よりも「何もしていない」の割合が高くみられ、経済状況による格差があらわれている。
- ・娯楽・レジャーでは、小学生の低所得層において、一般層よりも「どこにも行ったことがない」の割合が高くみられるが、中学生・高校生においては経済状況による「どこにも行ったことがない」の割合の差はみられない。「遊園地やテーマパーク」の割合が、小学生においては経済状況による格差があらわれているが、中学生・高校生になると経済状況による格差がみられないことから、中学生以上になると友人等と娯楽・レジャーに行く機会ができ、体験の機会が得られるものと考えられる。
- ・学校等での体験活動では、小学生の低所得層、中学生の準低所得層・低所得層、高校生の低所得層において、一般層よりも「特にしていない」の割合が高くみられ、経済状況による格差があらわれている。

(1)運動やスポーツに関する習い事

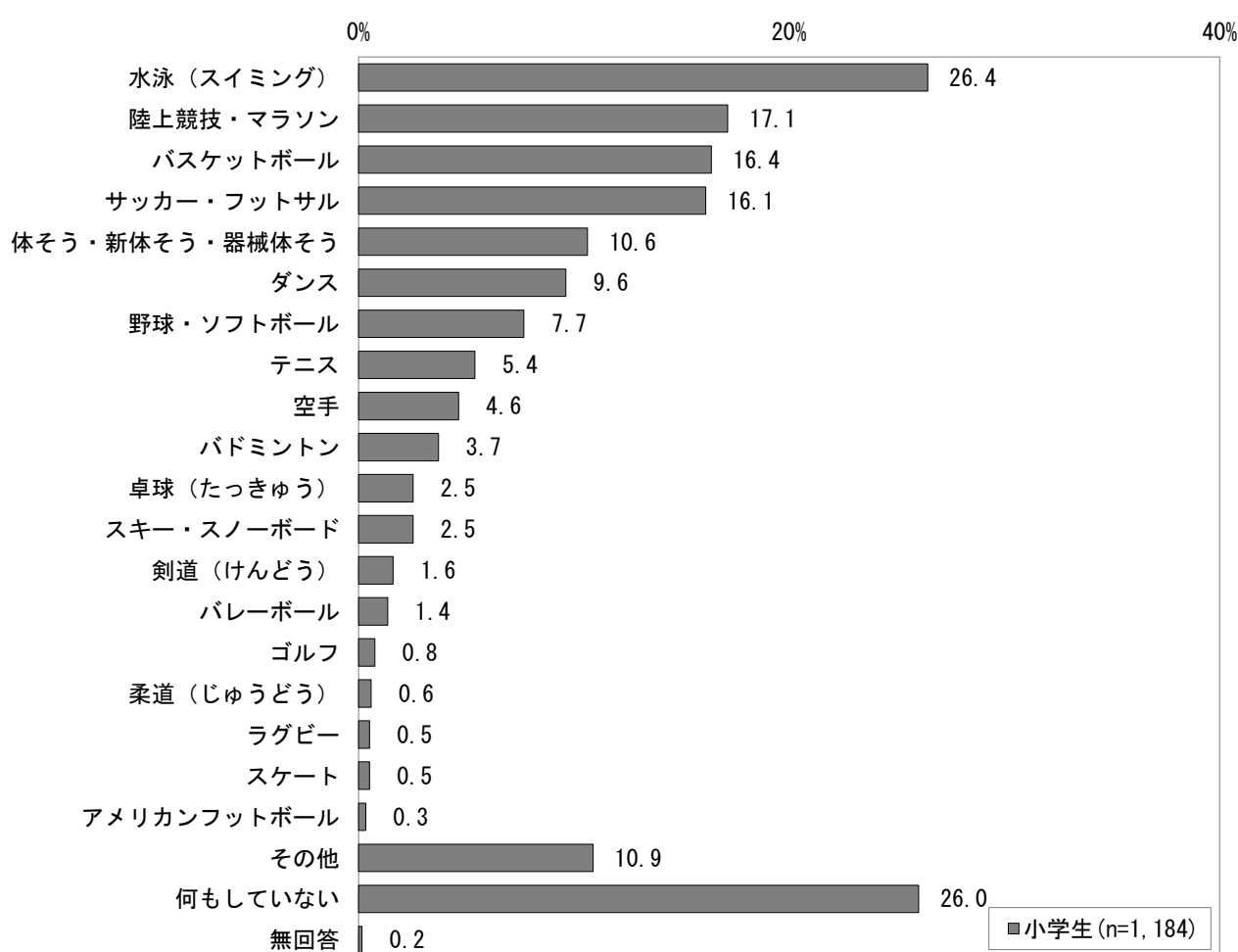
小学生 問 19、中学生 問 19、高校生 問 19

あなたは、運動やスポーツに関する習い事(部活動を含む)をしていますか。(複数回答)

小学生

「水泳(スイミング)」が 26.4%と最も高く、「陸上競技・マラソン」が 17.1%、「バスケットボール」が 16.4%と続いている。

経済状況別にみると、準低所得層・低所得層において一般層と比べて「何もしていない」割合が高くなっている。

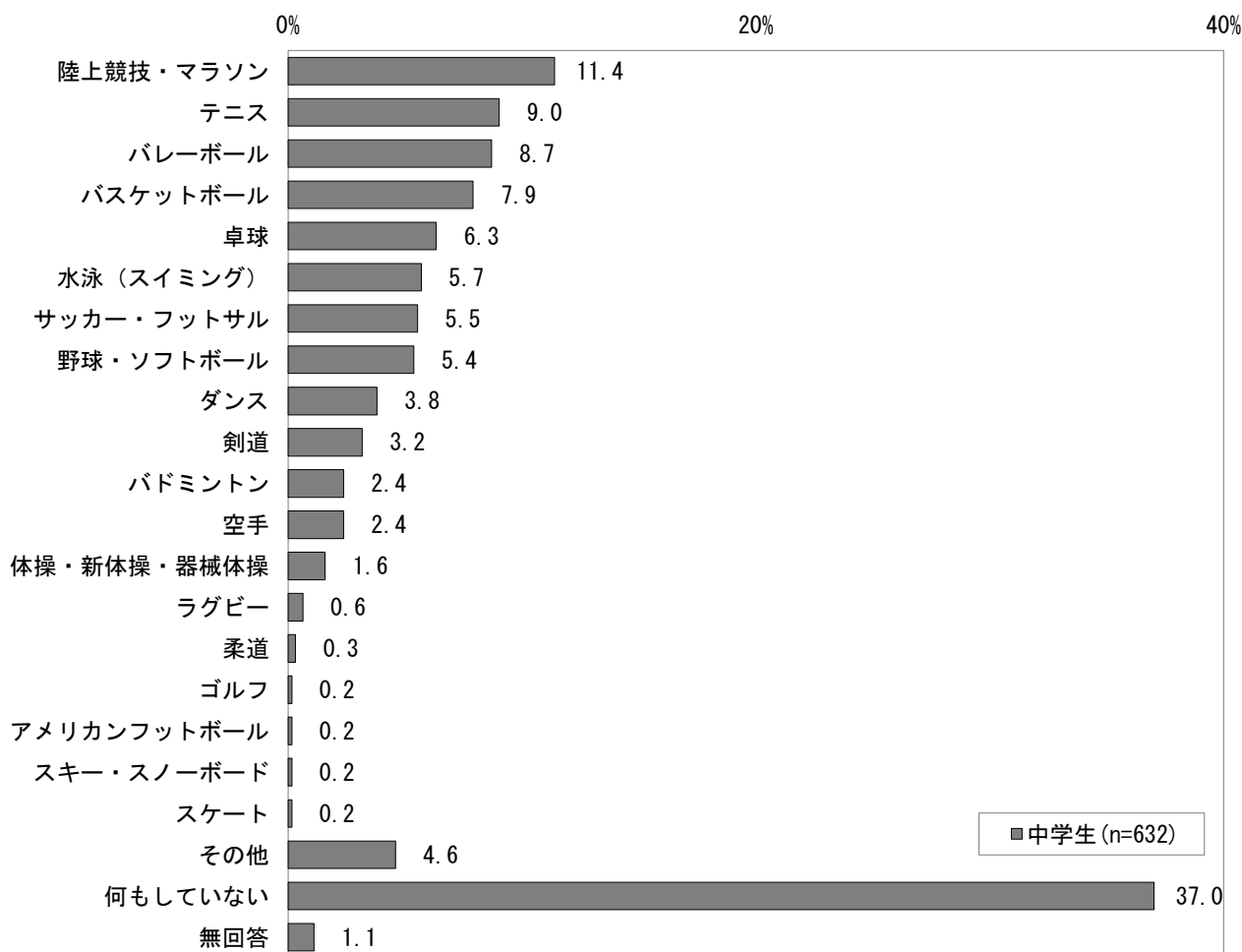


<上位9位及び「何もしていない」>

(%)	水泳 (スイミング)	陸上競技・マラソン	バスケットボール	サッカー・フットサル	体そう・新体そう・器械体そう	ダンス	野球・ソフトボール	テニス	空手	何もしていない
小学生 (n=1,184)	26.4	17.1	16.4	16.1	10.6	9.6	7.7	5.4	4.6	26.0
【世帯類型別】										
ひとり親世帯 (n=81)	19.8	14.8	14.8	14.8	9.9	7.4	4.9	0.0	3.7	27.2
共働き世帯 (類型1) (n=152)	34.2	13.8	17.8	19.1	9.2	8.6	7.2	6.6	3.3	23.0
共働き世帯 (類型2) (n=214)	29.0	18.2	18.2	14.5	12.6	7.5	5.6	6.5	4.7	26.6
専業主婦 (夫) 世帯 (n=130)	23.1	14.6	13.8	13.1	10.0	8.5	6.2	5.4	6.2	30.8
【経済状況別】										
一般層 (n=326)	30.7	15.6	18.1	15.6	11.3	7.1	5.2	6.4	4.6	24.8
準低所得層 (n=222)	24.8	14.9	13.1	15.8	10.4	9.5	7.2	4.5	4.5	31.5
低所得層 (n=37)	21.6	18.9	18.9	8.1	8.1	8.1	5.4	0.0	2.7	29.7

中学生

「陸上競技・マラソン」が11.4%と最も高く、「テニス」が9.0%、「バレーボール」が8.7%と続いている。
経済状況別にみると、所得が低くなるにつれ「何もしていない」割合が高くなっている。



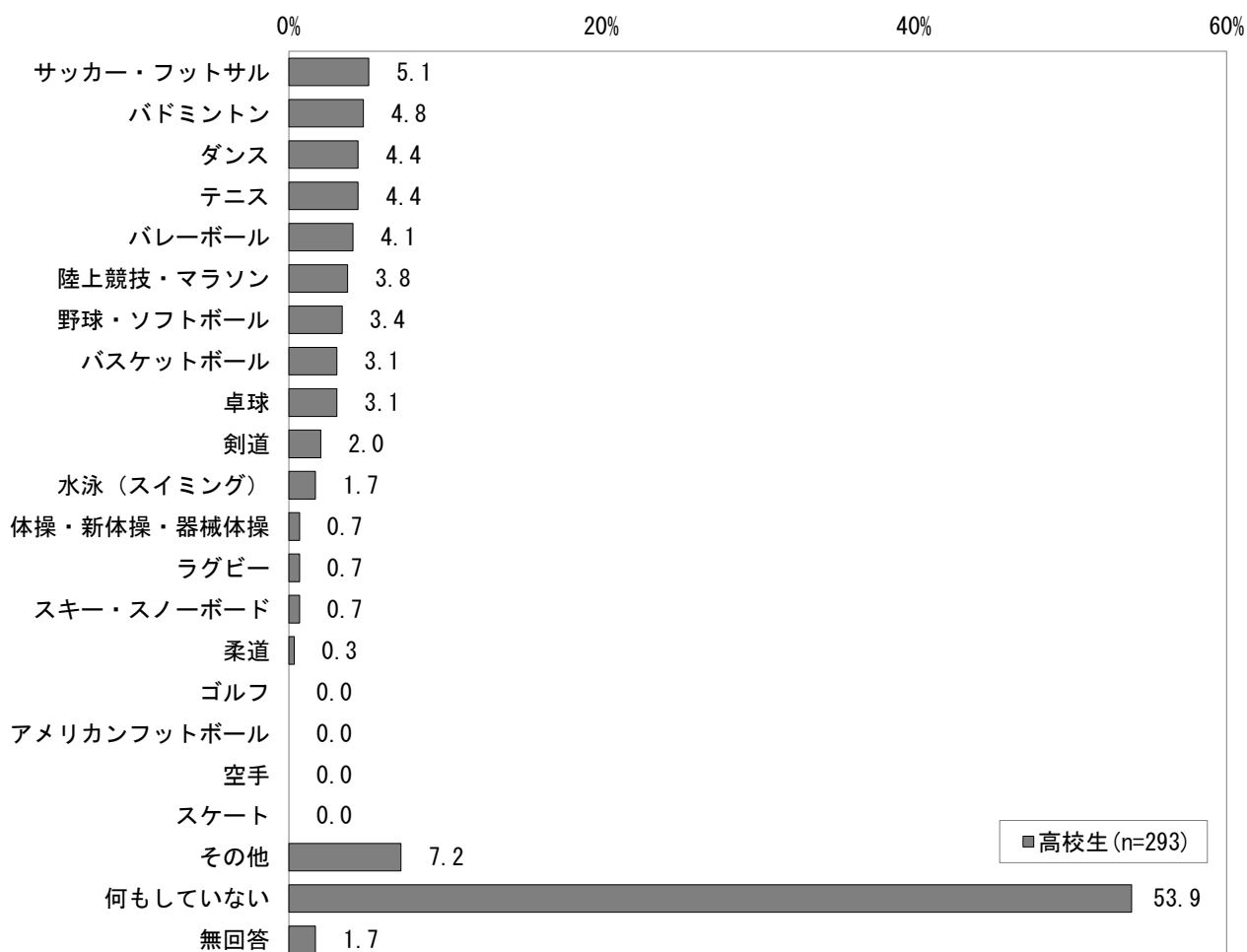
＜上位9位及び「何もしていない」＞

(%)	陸上競技・マラソン	テニス	バレーボール	バスケットボール	卓球	水泳（スイミング）	サッカー・フットサル	野球・ソフトボール	ダンス	何もしていない
中学生 (n=632)	11.4	9.0	8.7	7.9	6.3	5.7	5.5	5.4	3.8	37.0
【世帯類型別】										
ひとり親世帯 (n=40)	12.5	7.5	10.0	10.0	17.5	7.5	0.0	12.5	0.0	35.0
共働き世帯（類型1） (n=55)	14.5	5.5	7.3	10.9	10.9	5.5	9.1	5.5	1.8	34.5
共働き世帯（類型2） (n=144)	12.5	10.4	7.6	6.3	2.8	4.2	5.6	5.6	5.6	37.5
専業主婦（夫）世帯 (n=61)	8.2	8.2	3.3	8.2	6.6	8.2	1.6	0.0	0.0	52.5
【経済状況別】										
一般層 (n=170)	12.4	8.8	7.6	5.9	7.1	7.1	7.1	4.7	3.5	35.9
準低所得層 (n=110)	10.0	10.0	5.5	12.7	6.4	4.5	1.8	6.4	1.8	45.5
低所得層 (n=19)	10.5	5.3	15.8	5.3	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0	57.9

高校生

「サッカー・フットサル」が 5.1%と最も高く、「バドミントン」が 4.8%、「ダンス」と「テニス」が、それぞれ 4.4%と続いている。

経済状況別にみると、低所得層が一般層に比べて「何もしていない」割合が高くなっている。



＜上位9位及び「何もしていない」＞

(%)	サッカー・フットサル	バドミントン	ダンス	テニス	バレーボール	陸上競技・マラソン	野球・ソフトボール	バスケットボール	卓球	何もしていない
高校生 (n=293)	5.1	4.8	4.4	4.4	4.1	3.8	3.4	3.1	3.1	53.9
【世帯類型別】										
ひとり親世帯 (n=28)	0.0	7.1	0.0	0.0	7.1	10.7	0.0	0.0	0.0	60.7
共働き世帯（類型1） (n=205)	5.9	4.9	4.9	4.9	4.4	3.4	4.4	4.4	3.9	50.2
専業主婦（夫）世帯 (n=49)	4.1	4.1	6.1	6.1	2.0	2.0	0.0	0.0	0.0	63.3
【経済状況別】										
一般層 (n=244)	6.1	5.7	4.9	3.7	4.9	3.7	3.3	3.3	3.3	52.0
低所得層 (n=48)	0.0	0.0	2.1	8.3	0.0	4.2	4.2	2.1	2.1	64.6

(2)文化芸術に関する習い事

小学生 問 20、中学生 問 20、高校生 問 20

あなたは、音楽や芸術に関する習い事(部活動を含む)をしていますか。(複数回答)

小学生

「ピアノ・バイオリン等の楽器」が 23.8%と最も高く、「英会話・外国語」が 20.3%、「書道(習字)」が 13.0%と続いている。

経済状況別にみると、低所得層において「何もしていない」割合が高くなっている。

(%)	ピアノ・バイオリン等の楽器	英会話・外国語	書道(習字)	合唱・声楽	絵画・造形	バレエ	茶道・華道(生け花)	囲碁・将棋	演げき・ミュージカル	その他	何もしていない	無回答
小学生 (n=1,184)	23.8	20.3	13.0	4.9	3.4	1.8	1.4	0.7	0.2	8.8	46.3	0.2
【世帯類型別】												
ひとり親世帯 (n=81)	28.4	19.8	18.5	1.2	2.5	1.2	2.5	1.2	0.0	16.0	39.5	0.0
共働き世帯(類型1) (n=152)	28.9	23.0	14.5	3.3	3.3	3.9	2.6	0.7	0.0	8.6	42.1	0.0
共働き世帯(類型2) (n=214)	23.4	20.1	13.1	3.7	1.9	0.9	0.5	1.4	0.5	9.3	46.7	0.0
専業主婦(夫)世帯 (n=130)	31.5	23.8	13.1	6.9	5.4	1.5	1.5	0.0	0.0	7.7	41.5	0.0
【経済状況別】												
一般層 (n=326)	32.8	24.2	12.0	4.3	2.5	2.5	2.5	0.6	0.3	7.7	42.9	0.0
準低所得層 (n=222)	20.7	19.8	17.1	3.6	5.0	1.4	0.5	1.4	0.0	11.7	43.7	0.0
低所得層 (n=37)	16.2	10.8	16.2	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13.5	48.6	0.0

中学生

「ピアノ・バイオリン等の楽器」が 14.9%と最も高く、「英会話・外国語」が 11.2%、「絵画・造形」と「書道（習字）」が、それぞれ 5.7%と続いている。

経済状況別にみると、一般層において「何もしていない」割合が高くなっている。

	ピアノ・バイオリン等の楽器	英会話・外国語	絵画・造形	書道（習字）	合唱・声楽	演劇・ミュージカル	バレエ	茶道・華道（生け花）	囲碁・将棋	その他	何もしていない	無回答
(%)												
中学生 (n=632)	14.9	11.2	5.7	5.7	2.2	1.6	0.9	0.6	0.6	5.2	59.8	1.1
【世帯類型別】												
ひとり親世帯 (n=40)	17.5	5.0	5.0	2.5	2.5	2.5	0.0	5.0	0.0	7.5	57.5	0.0
共働き世帯（類型1） (n=55)	18.2	12.7	3.6	3.6	0.0	0.0	5.5	0.0	0.0	3.6	60.0	0.0
共働き世帯（類型2） (n=144)	15.3	11.8	3.5	8.3	2.8	2.1	0.0	0.7	0.0	6.3	59.0	0.0
専業主婦（夫）世帯 (n=61)	11.5	16.4	4.9	6.6	4.9	4.9	0.0	0.0	0.0	8.2	54.1	0.0
【経済状況別】												
一般層 (n=170)	13.5	12.4	2.4	8.8	1.8	2.4	0.6	1.2	0.0	4.7	59.4	0.0
準低所得層 (n=107)	19.1	10.9	4.5	1.8	5.5	1.8	0.9	0.9	0.0	7.3	58.2	0.0
低所得層 (n=19)	15.8	10.5	5.3	10.5	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	10.5	52.6	0.0

高校生

「ピアノ・バイオリン等の楽器」が 12.3%と最も高く、「書道(習字)」が 4.4%、「合唱・声楽」と「絵画・造形」、「英会話・外国語」が、それぞれ 2.7%と続いている。

経済状況別にみると、低所得層において「何もしていない」割合が高くなっている。

(%)	ピアノ・バイオリン等の楽器	書道(習字)	合唱・声楽	絵画・造形	英会話・外国語	茶道・華道(生け花)	演劇・ミュージカル	囲碁・将棋	バレエ	その他	何もしていない	無回答
高校生 (n=293)	12.3	4.4	2.7	2.7	2.7	2.0	1.4	1.0	0.7	6.1	66.2	2.7
【世帯類型別】												
ひとり親世帯 (n=28)	17.9	7.1	3.6	3.6	0.0	0.0	3.6	0.0	0.0	3.6	64.3	0.0
共働き世帯(類型1) (n=205)	12.2	3.4	2.9	2.4	2.9	2.0	1.5	0.5	0.5	5.4	68.3	2.9
専業主婦(夫)世帯 (n=49)	12.2	6.1	2.0	4.1	4.1	4.1	0.0	4.1	2.0	10.2	57.1	2.0
【経済状況別】												
一般層 (n=244)	13.5	5.3	2.9	2.0	3.3	1.6	1.2	1.2	0.8	6.1	64.8	2.9
低所得層 (n=48)	6.3	0.0	2.1	6.3	0.0	4.2	2.1	0.0	0.0	6.3	75.0	0.0

(3) 娯楽・レジャー

小学生 問 21、中学生 問 21、高校生 問 21
あなたはご家族や友達と一緒に、次のようなところに行ったことがありますか。(複数回答)

小学生

「遊園地やテーマパーク」が 87.2%と最も高く、「家族旅行」が 82.9%、「博物館・科学館・美術館」が 70.4%と続いている。
経済状況別にみると、低所得層において「どこにも行ったことがない」割合が高くなっている。

(%)	遊園地やテーマパーク	家族旅行	博物館・科学館・美術館	海水浴	キャンプ、バーベキュー	スポーツ観戦	山登り、ハイキング	サイクリング	音楽のコンサート	演げき・ミュージカル	どこにも行ったことがない	無回答
小学生 (n=1, 184)	87.2	82.9	70.4	66.0	61.1	39.7	34.7	26.6	25.8	22.0	2.6	0.2
【世帯類型別】												
ひとり親世帯 (n=81)	85.2	77.8	66.7	56.8	56.8	38.3	38.3	23.5	27.2	18.5	6.2	0.0
共働き世帯（類型 1） (n=152)	87.5	90.8	75.0	67.8	67.8	46.7	44.1	31.6	30.3	31.6	1.3	0.0
共働き世帯（類型 2） (n=214)	90.2	86.9	75.7	66.8	66.4	37.4	40.2	31.3	27.6	19.6	1.9	0.0
専業主婦（夫）世帯 (n=130)	89.2	83.8	77.7	64.6	50.0	36.9	32.3	23.1	27.7	26.9	2.3	0.0
【経済状況別】												
一般層 (n=326)	92.9	90.5	79.4	70.9	65.0	42.0	42.6	32.5	28.8	27.9	1.5	0.0
準低所得層 (n=222)	84.2	82.9	68.0	60.4	59.5	37.4	36.0	23.9	27.0	19.8	2.3	0.0
低所得層 (n=37)	81.1	67.6	64.9	43.2	37.8	35.1	24.3	16.2	21.6	18.9	10.8	0.0

中学生

「遊園地やテーマパーク」が 89.6%と最も高く、「家族旅行」が 88.4%、「博物館・科学館・美術館」が 71.5%と続いている。

(%)	遊園地やテーマパーク	家族旅行	博物館・科学館・美術館	海水浴	キャンプ、バーベキュー	スポーツ観戦	山登り、ハイキング	音楽のコンサート	サイクリング	演劇・ミュージカル	どこにも行ったことがない	無回答
中学生 (n=632)	89.6	88.4	71.5	69.6	64.4	43.8	40.0	30.9	29.0	28.0	1.7	1.1
【世帯類型別】												
ひとり親世帯 (n=40)	87.5	87.5	75.0	47.5	57.5	37.5	27.5	30.0	40.0	12.5	2.5	0.0
共働き世帯（類型1） (n=55)	90.9	89.1	70.9	69.1	63.6	50.9	38.2	29.1	20.0	27.3	3.6	0.0
共働き世帯（類型2） (n=144)	92.4	94.4	80.6	80.6	75.7	45.8	46.5	36.8	29.2	28.5	0.7	0.0
専業主婦（夫）世帯 (n=61)	90.2	86.9	78.7	60.7	55.7	37.7	29.5	23.0	29.5	21.3	3.3	0.0
【経済状況別】												
一般層 (n=170)	92.9	91.8	80.0	71.8	71.2	51.8	45.9	35.9	34.7	29.4	2.4	0.0
準低所得層 (n=107)	87.3	92.7	72.7	70.9	64.5	37.3	32.7	30.0	19.1	20.9	1.8	0.0
低所得層 (n=19)	94.7	78.9	84.2	73.7	36.8	26.3	15.8	31.6	36.8	21.1	0.0	0.0

高校生

「遊園地やテーマパーク」が 91.1%と最も高く、「家族旅行」が 89.4%、「博物館・科学館・美術館」が 73.7%と続いている。

(%)	遊園地やテーマパーク	家族旅行	博物館・科学館・美術館	海水浴	キャンプ、バーベキュー	スポーツ観戦	山登り、ハイキング	音楽のライブ・コンサート鑑賞	演劇鑑賞	サイクリング	その他	どこにも行ったことがない	無回答
高校生 (n=293)	91.1	89.4	73.7	71.7	65.2	51.9	46.8	40.3	34.1	32.1	2.4	0.3	0.7
【世帯類型別】													
ひとり親世帯 (n=28)	82.1	78.6	67.9	39.3	50.0	39.3	17.9	35.7	25.0	7.1	0.0	0.0	3.6
共働き世帯（類型1） (n=205)	94.1	93.2	76.1	76.1	69.8	56.6	54.1	40.0	38.5	36.1	2.9	0.0	0.0
専業主婦（夫）世帯 (n=49)	87.8	87.8	75.5	75.5	57.1	42.9	38.8	46.9	24.5	32.7	2.0	0.0	0.0
【経済状況別】													
一般層 (n=244)	91.0	91.0	76.2	73.8	65.6	57.0	49.2	41.0	36.1	33.6	2.5	0.4	0.0
低所得層 (n=48)	93.8	83.3	62.5	62.5	64.6	27.1	35.4	37.5	25.0	25.0	2.1	0.0	2.1

(4) 学校等での体験活動

小学生 問 22、中学生 問 22、高校生 問 22

あなたは、総合的な学習の時間や放課後・休日に、次のような体験活動をしたことがありますか。

(複数回答)

小学生

「農業体験(野菜を育てたり、育てた野菜を食べる活動)」が 31.5%と最も高く、「そうじなどのボランティア活動」が 15.8%、「地元の会社や工場で仕事体験」が 10.8%と続いている。

経済状況別にみると、低所得層において「特にしていない」割合が高くなっている。

(%)	農業体験(野菜を育てたり、育てた野菜を食べる活動)	そうじなどのボランティア活動	地元の会社や工場で仕事体験	赤ちゃんとのふれあい、子育て体験	外国人との交流	お年寄りや体が不自由な人のお手伝い	その他	特にしていない	無回答
小学生 (n=1,184)	31.5	15.8	10.8	10.6	10.4	6.6	3.0	49.7	0.2
【世帯類型別】									
ひとり親世帯 (n=81)	28.4	14.8	6.2	11.1	14.8	8.6	7.4	49.4	0.0
共働き世帯(類型1) (n=152)	36.8	18.4	13.2	10.5	10.5	3.9	3.9	45.4	0.0
共働き世帯(類型2) (n=214)	29.0	15.9	9.3	7.5	9.8	4.2	3.7	52.3	0.0
専業主婦(夫)世帯 (n=130)	38.5	11.5	8.5	12.3	13.1	7.7	1.5	49.2	0.0
【経済状況別】									
一般層 (n=326)	32.5	13.5	11.3	10.1	11.3	5.5	4.0	48.5	0.0
準低所得層 (n=222)	35.6	18.9	9.0	9.0	12.2	5.0	3.2	50.0	0.0
低所得層 (n=37)	21.6	13.5	0.0	8.1	10.8	5.4	5.4	56.8	0.0

中学生

「農業体験」が 29.1%と最も高く、「掃除や環境美化などのボランティア活動」が 23.6%、「外国人との交流(学校の授業以外)」が 14.1%と続いている。

経済状況別にみると、準低所得層・低所得層において一般層よりも「特にしていない」割合が高くなっている。

(%)	農業体験	掃除や環境美化などのボランティア活動	外国人との交流（学校の授業以外）	地元企業での職場体験	赤ちゃんとのふれあい、子育て体験	高齢者や障害者への福祉活動体験	その他	特にしていない	無回答
中学生 (n=632)	29.1	23.6	14.1	13.3	9.8	5.2	2.2	46.4	1.1
【世帯類型別】									
ひとり親世帯 (n=40)	25.0	20.0	5.0	15.0	12.5	2.5	7.5	50.0	0.0
共働き世帯（類型1） (n=55)	27.3	27.3	12.7	14.5	16.4	5.5	0.0	52.7	0.0
共働き世帯（類型2） (n=144)	32.6	26.4	13.2	14.6	7.6	6.3	4.2	38.9	0.0
専業主婦（夫）世帯 (n=61)	24.6	19.7	9.8	14.8	3.3	0.0	0.0	55.7	0.0
【経済状況別】									
一般層 (n=170)	32.9	27.6	11.2	17.1	9.4	5.3	2.9	41.2	0.0
準低所得層 (n=107)	22.7	21.8	11.8	11.8	10.0	3.6	2.7	52.7	0.0
低所得層 (n=19)	21.1	15.8	10.5	10.5	5.3	0.0	5.3	47.4	0.0

高校生

「掃除や環境美化などのボランティア活動」が 30.7%と最も高く、「農業体験」が 22.9%、「地元企業での職場体験、インターンシップ」が 20.1%と続いている。

経済状況別にみると、低所得層において一般層よりも「特にしていない」割合が高くなっている。

(%)	掃除や環境美化などのボランティア活動	農業体験	地元企業での職場体験、インターンシップ	外国人との交流（学校の授業以外）	高齢者や障害者への福祉活動体験	赤ちゃんとのふれあい、子育て・保育体験	その他	特にしていない	無回答
高校生 (n=293)	30.7	22.9	20.1	15.7	13.7	12.3	1.4	42.0	0.3
【世帯類型別】									
ひとり親世帯 (n=28)	14.3	17.9	10.7	7.1	7.1	10.7	3.6	50.0	3.6
共働き世帯（類型1） (n=205)	36.1	25.4	23.9	17.6	15.6	13.2	1.0	38.0	0.0
専業主婦（夫）世帯 (n=49)	20.4	20.4	10.2	16.3	12.2	10.2	2.0	51.0	0.0
【経済状況別】									
一般層 (n=244)	34.0	23.8	22.5	16.4	13.1	13.5	1.2	39.3	0.0
低所得層 (n=48)	14.6	18.8	6.3	12.5	16.7	6.3	2.1	56.3	2.1

第10節 支援制度の利用状況や効果等

■結果の概要

【支援制度の利用状況】

- ・利用意向については、全体的に、小・中学生では準低所得層に、高校生では低所得層に利用意向が高くみられた。
- ・子ども食堂については、小学生の利用している割合が14.3%と最も高くなっている。
- ・勉強を無料でみてくれる場所については、いずれの調査も利用経験がある人は1割未満であった。
- ・(家や学校以外で)何でも相談できる場所については、いずれの調査も利用経験がある人は1割未満であった。

【これから期待する事業やサービス】

- ・いずれの調査においても「放課後に友だちとおしゃべりをしたり、遊びや勉強、読書など自由に過ごしたりできる場所や施設を増やすこと」が最も高くなっており、気軽に立ち寄れる居場所づくりが求められていると考えられる。

(1)支援制度の利用状況・利用希望

小学生 問 18 、 中学生 問 18 、 高校生 問 18

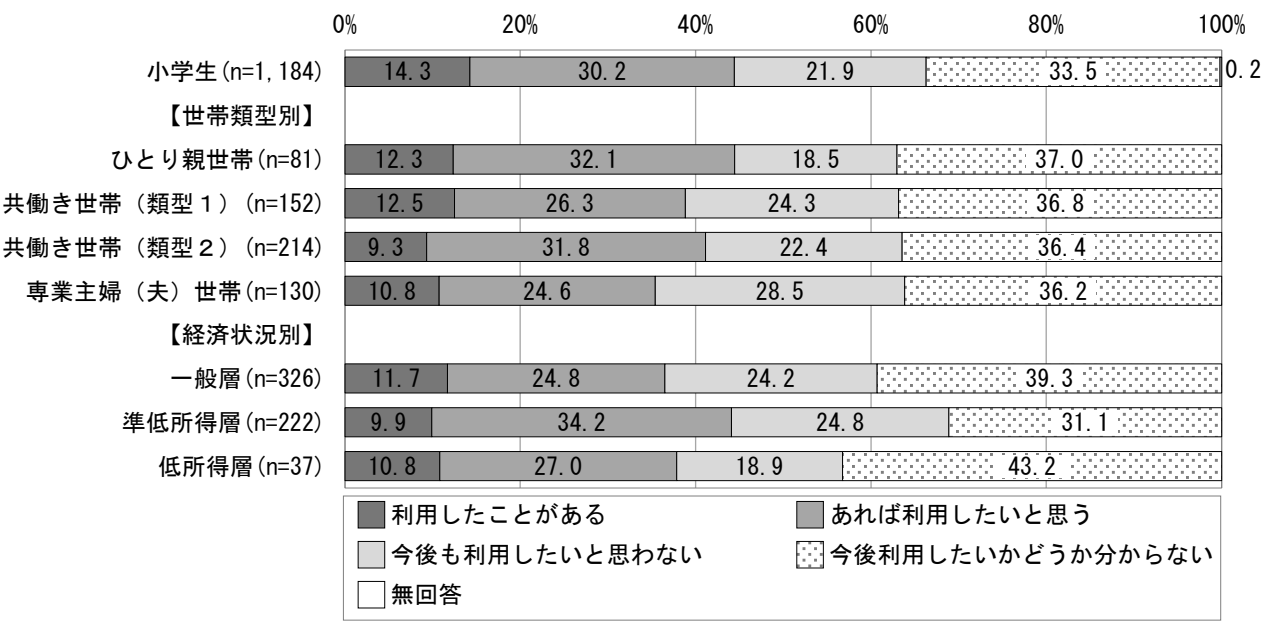
あなたは、次の①～③のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。(単数回答)

小学生

①子ども食堂

「利用したことがある」が 14.3%、「あれば利用したいと思う」が 30.2%となっている。

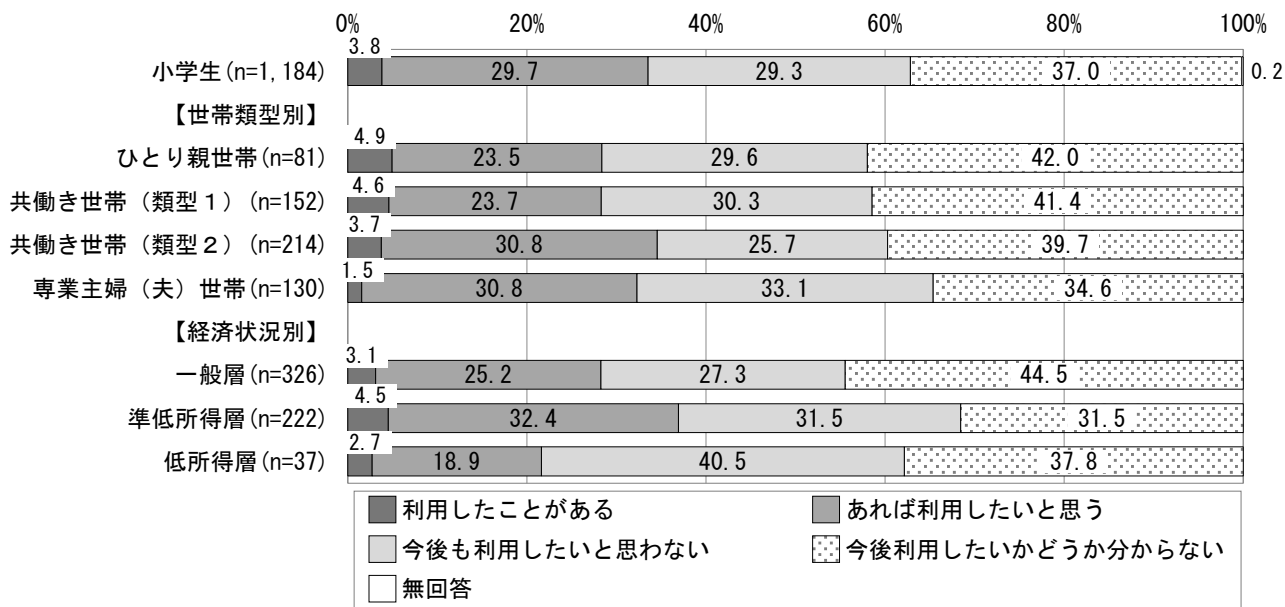
世帯類型別では、専業主婦(夫)世帯において「あれば利用したいと思う」の割合が低くなっている。経済状況別では、準低所得層の「あれば利用したいと思う」の割合が高くなっている。



②勉強を無料でみてる場所

「利用したことがある」が3.8%、「あれば利用したいと思う」が29.7%となっている。

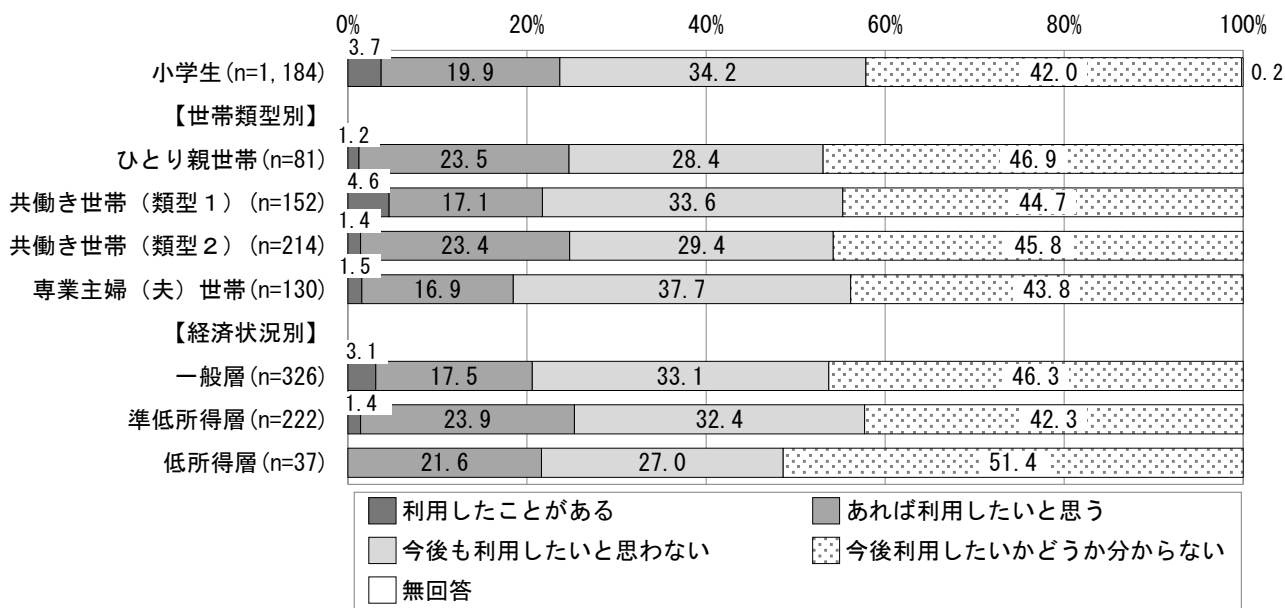
世帯類型別では、共働き世帯（類型2）及び専業主婦（夫）世帯において「あれば利用したいと思う」の割合が高くなっている。経済状況別では、準低所得層の「あれば利用したいと思う」の割合が高くなっている。



③何でも相談できる場所

「利用したことがある」が3.7%、「あれば利用したいと思う」が19.9%となっている。

世帯類型別では、ひとり親世帯及び共働き世帯（類型2）において「あれば利用したいと思う」の割合が高くなっている。経済状況別では、準低所得層の「あれば利用したいと思う」の割合が高くなっている。

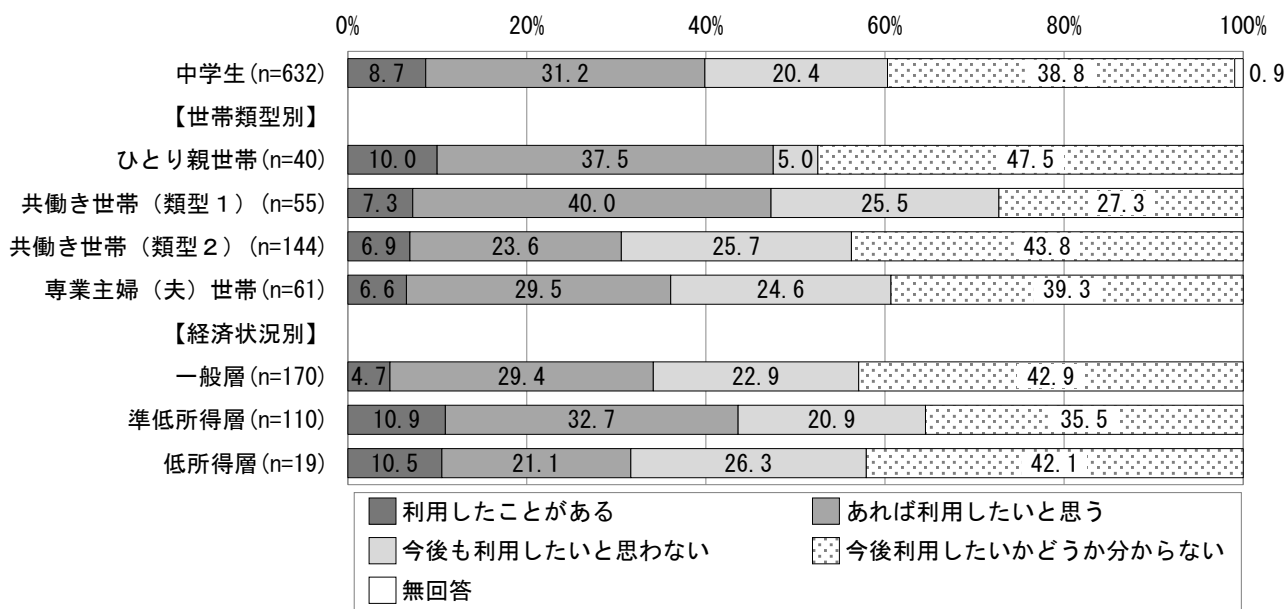


中学生

①子ども食堂

「利用したことがある」が8.7%、「あれば利用したいと思う」が31.2%となっている。

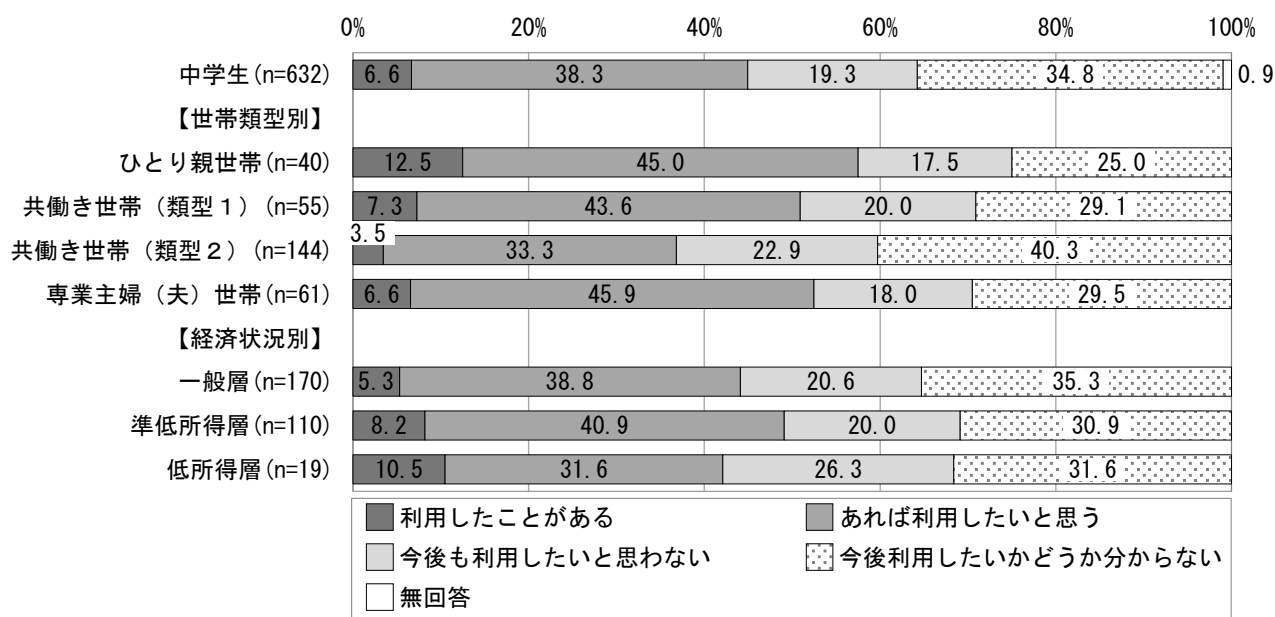
世帯類型別では、ひとり親世帯及び共働き世帯(類型1)において「あれば利用したいと思う」の割合が高くなっている。経済状況別では、準低所得層の「あれば利用したいと思う」の割合が高くなっている。



②勉強を無料でみてくれる場所

「利用したことがある」が6.6%、「あれば利用したいと思う」が38.3%となっている。

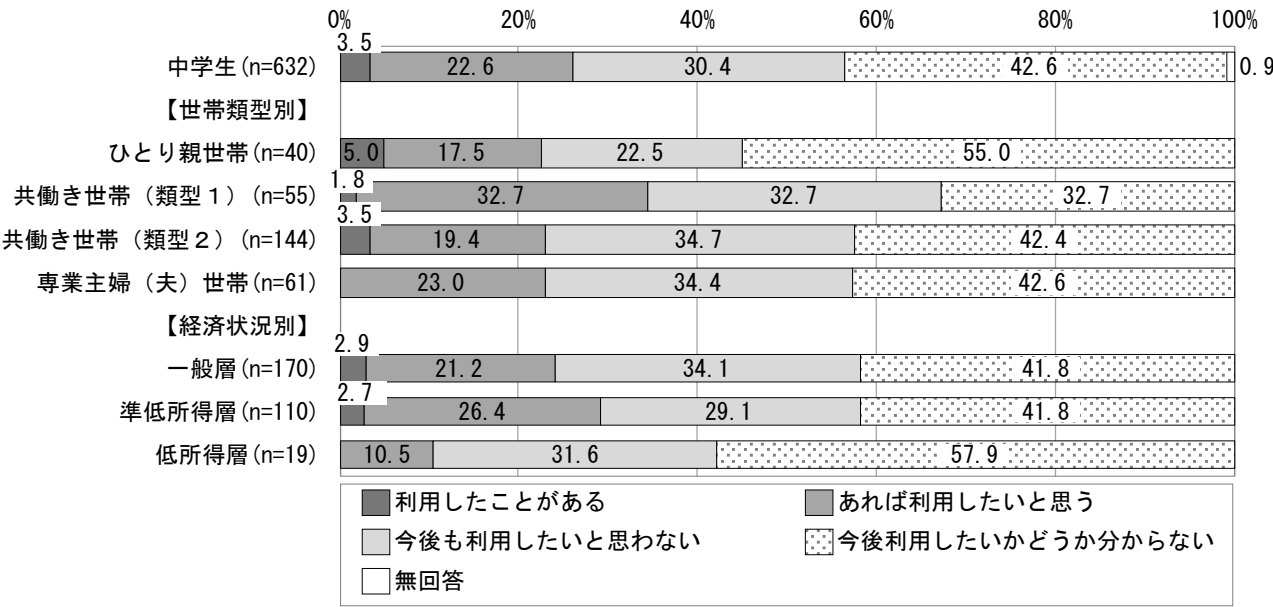
世帯類型別では、共働き世帯(類型2)において「あれば利用したいと思う」の割合が低くなっている。経済状況別では、準低所得層の「あれば利用したいと思う」の割合が高くなっている。



③何でも相談できる場所

「利用したことがある」が3.5%、「あれば利用したいと思う」が22.6%となっている。

世帯類型別では、共働き世帯（類型1）において「あれば利用したいと思う」の割合が高くなっている。経済状況別では、準低所得層の「あれば利用したいと思う」が高くなっている。

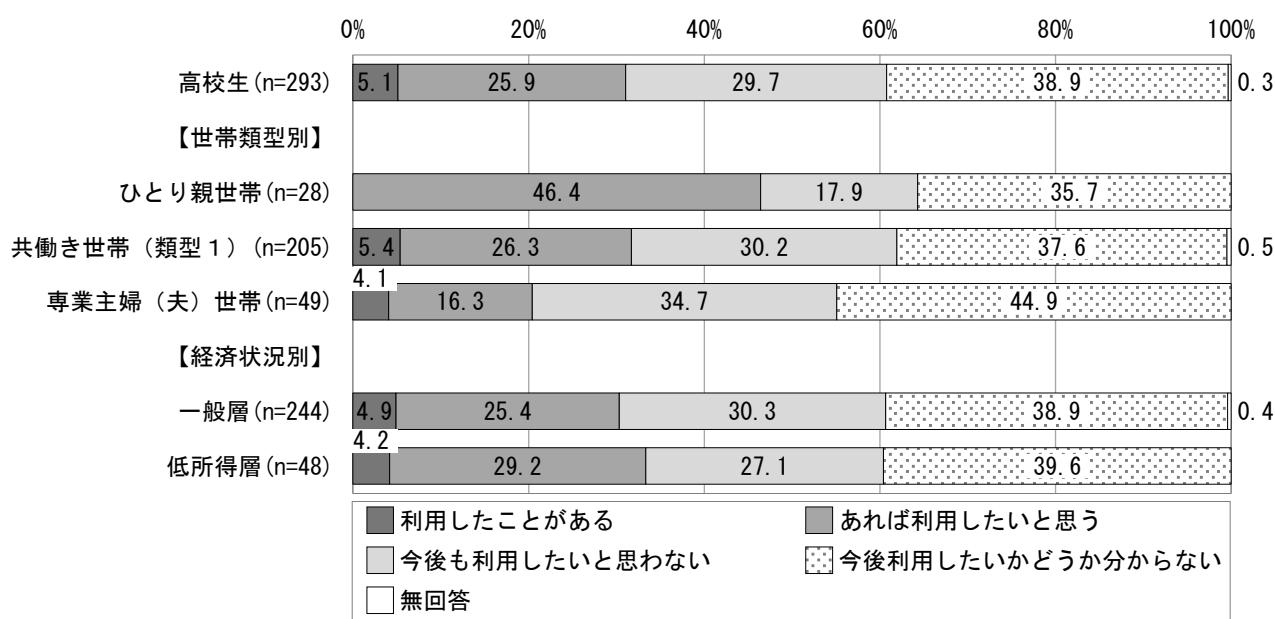


高校生

①子ども食堂

「利用したことがある」が5.1%、「あれば利用したいと思う」が25.9%となっている。

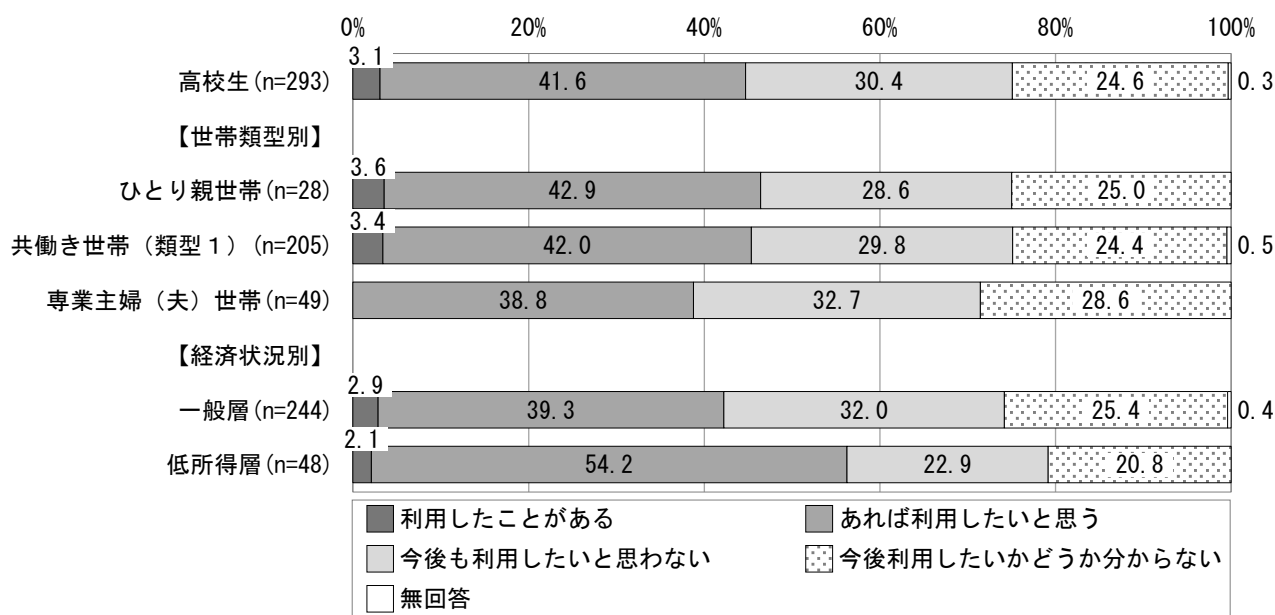
世帯類型別では、ひとり親世帯において「あれば利用したいと思う」の割合が高くなっている。経済状況別では、一般層と低所得層の「利用したことがある」と「あれば利用したいと思う」の割合に大きな違いはみられない。



②勉強を無料でみてる場所

「利用したことがある」が3.1%、「あれば利用したいと思う」が41.6%となっている。

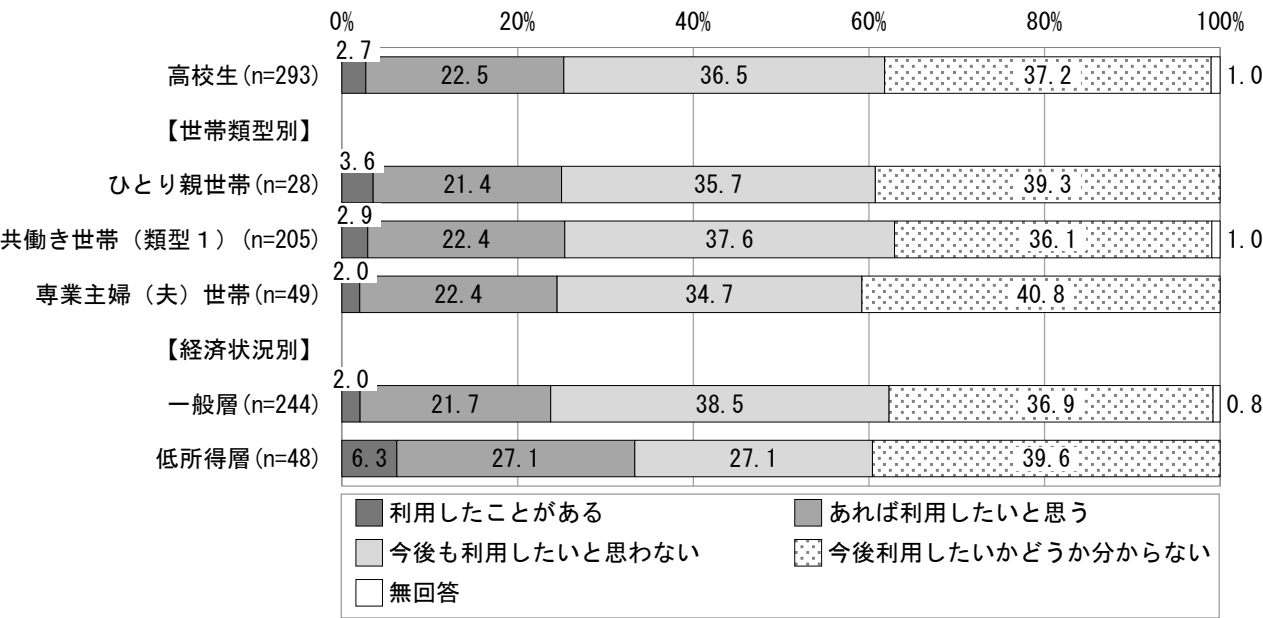
世帯類型別では、大きな違いはみられない。経済状況別では、低所得層において「あれば利用したいと思う」割合が高くなっている。



③何でも相談できる場所

「利用したことがある」が 2.7%、「あれば利用したいと思う」が 22.5%となっている。

世帯類型別では、大きな違いはみられない。経済状況別では、低所得層において「あれば利用したいと思う」割合が高くなっている。



(2)支援制度利用の効果

小学生 問 18-1、中学生 問 18-1、高校生 問 18-1

【「支援制度の利用状況・利用希望」で1つでも「利用したことがある」を選択した方のみ】

そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。(複数回答)

小学生

「友だちが増えた」が44.2%と最も高く、「生活の中で楽しみなことが増えた」が40.9%と続いている。

(%)	友だちが増えた	生活の中で楽しみなことが増えた	ほっとできる時間が増えた	気軽に話せる大人が増えた	勉強がわかるようになった	栄養のある食事をとれることが増えた	勉強する時間が増えた	その他	特に変化はない	無回答
小学生 (n=215)	44.2	40.9	36.3	30.7	23.3	22.3	15.3	4.2	31.6	0.0
【世帯類型別】										
ひとり親世帯 (n=13)	30.8	23.1	23.1	23.1	7.7	15.4	7.7	15.4	46.2	0.0
共働き世帯 (類型1) (n=29)	34.5	27.6	27.6	44.8	24.1	17.2	13.8	3.4	41.4	0.0
共働き世帯 (類型2) (n=28)	53.6	35.7	25.0	28.6	17.9	14.3	10.7	0.0	28.6	0.0
専業主婦 (夫) 世帯 (n=16)	25.0	37.5	37.5	6.3	18.8	25.0	18.8	12.5	37.5	0.0
【経済状況別】										
一般層 (n=51)	43.1	39.2	33.3	37.3	21.6	23.5	11.8	5.9	31.4	0.0
準低所得層 (n=31)	35.5	19.4	19.4	19.4	12.9	12.9	12.9	3.2	41.9	0.0
低所得層 (n=5)	0.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	20.0	20.0	60.0	0.0

中学生

「友達が増えた」が 34.1%と最も高く、「ほっとできる時間が増えた」が 23.9%、「勉強がわかるようになった」が 19.3%と続いている。

(%)	友達が増えた	ほっとできる時間が増えた	勉強がわかるようになった	生活の中で楽しみなことが増えた	気軽に話せる大人が増えた	栄養のある食事をとれることが増えた	勉強する時間が増えた	その他	特に変化はない	無回答
中学生 (n=88)	34.1	23.9	19.3	18.2	14.8	14.8	13.6	1.1	42.0	0.0
【世帯類型別】										
ひとり親世帯 (n=9)	22.2	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	22.2	0.0	66.7	0.0
共働き世帯（類型1） (n=6)	33.3	16.7	50.0	0.0	16.7	0.0	33.3	0.0	16.7	0.0
共働き世帯（類型2） (n=15)	33.3	33.3	13.3	13.3	20.0	20.0	13.3	0.0	40.0	0.0
専業主婦（夫）世帯 (n=7)	0.0	14.3	14.3	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	71.4	0.0
【経済状況別】										
一般層 (n=18)	27.8	5.6	16.7	22.2	11.1	22.2	11.1	0.0	44.4	0.0
準低所得層 (n=17)	29.4	17.6	17.6	23.5	5.9	17.6	17.6	0.0	47.1	0.0
低所得層 (n=4)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	75.0	0.0

高校生

「気軽に話せる大人が増えた」が 13.8%と最も高く、「生活の中で楽しみが増えた」と「ほっとできる時間が増えた」、「勉強する時間が増えた」が、それぞれ 10.3%と続いている。

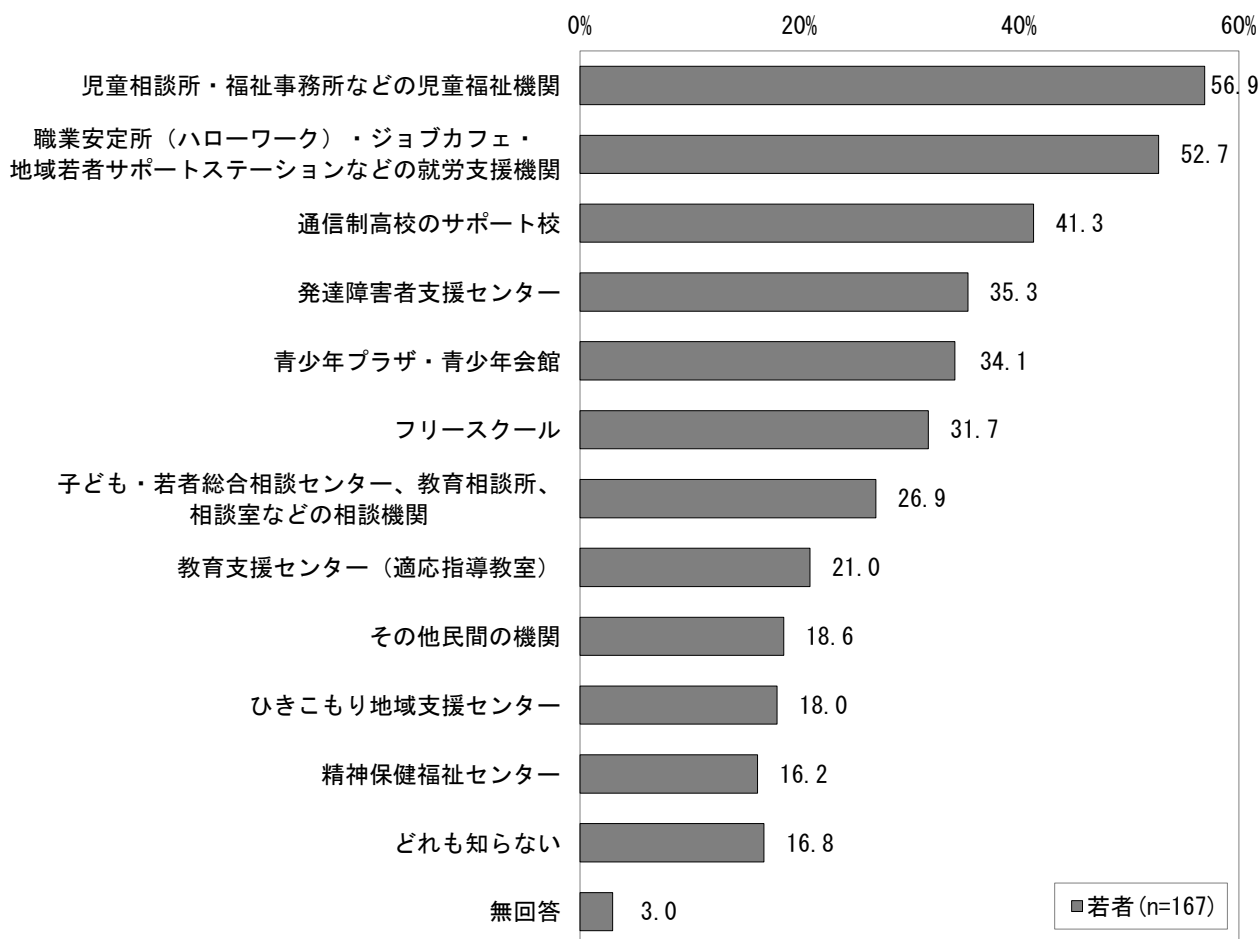
(%)	気軽に話せる大人が増えた	生活の中で楽しみが増えた	ほっとできる時間が増えた	勉強する時間が増えた	友達が増えた	栄養のある食事をとれることが増えた	勉強がわかるようになった	その他	特に変化はない	無回答
高校生 (n=29)	13.8	10.3	10.3	10.3	6.9	6.9	0.0	3.4	55.2	6.9
【世帯類型別】										
ひとり親世帯 (n=2)	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
共働き世帯（類型1） (n=22)	13.6	9.1	13.6	9.1	4.5	9.1	0.0	4.5	59.1	4.5
専業主婦（夫）世帯 (n=3)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
【経済状況別】										
一般層 (n=22)	13.6	9.1	9.1	13.6	9.1	9.1	0.0	0.0	59.1	4.5
低所得層 (n=6)	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	50.0	0.0

(3)子ども・若者支援機関の認知度

若者 問25

あなたは、子ども・若者を対象とした、次の育成支援機関等を知っていますか。(複数回答)

「児童相談所・福祉事務所などの児童福祉機関」が 56.9%と最も高く、「職業安定所(ハローワーク)・ジョブカフェ・地域若者サポートステーションなどの就労支援機関」が 52.7%、「通信制高校のサポート校」が 41.3%と続いている。

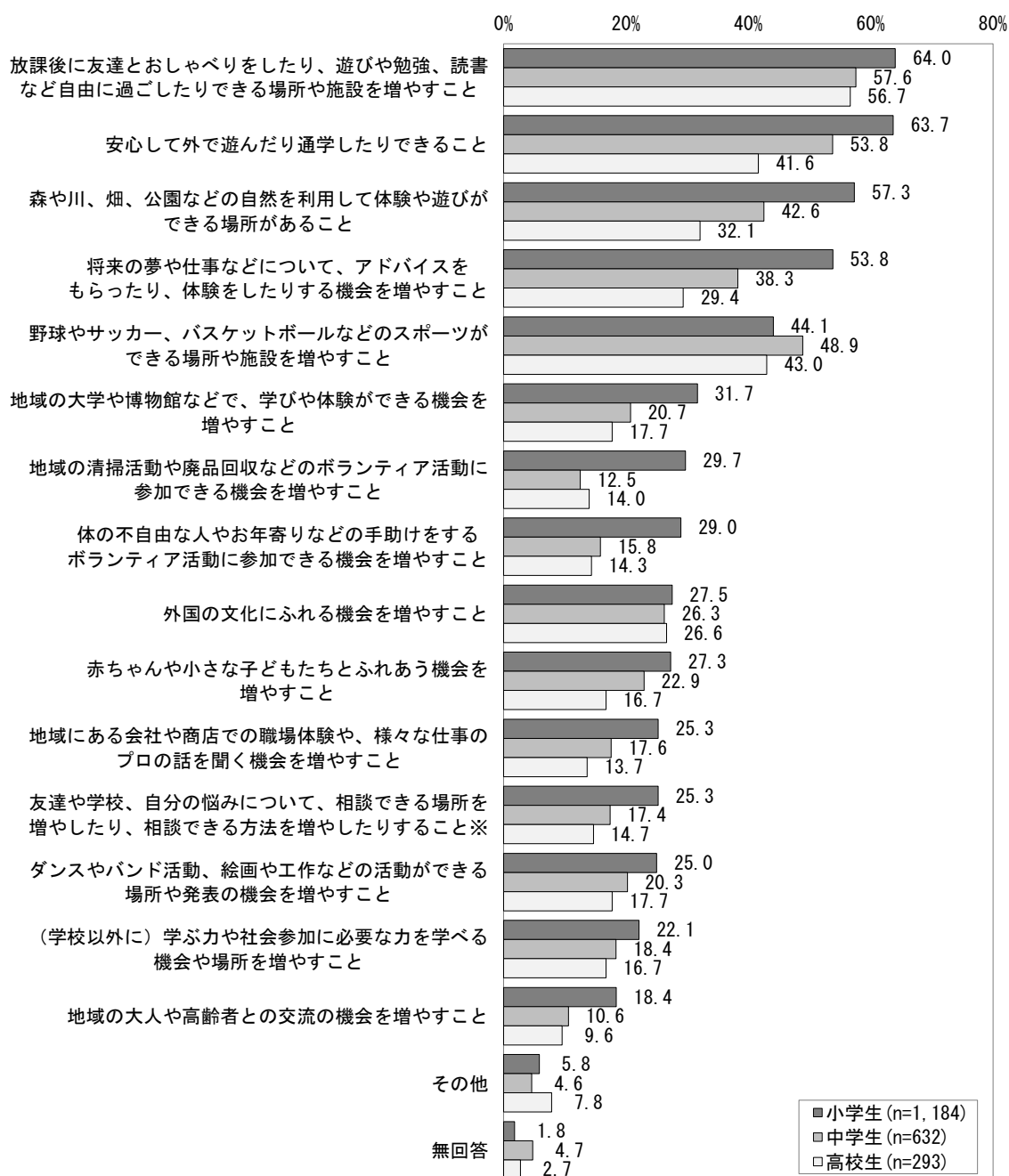


(4)これから期待する事業やサービス

小学生 問 23、中学生 問 23、高校生 問 23

あなたが松戸市にあったらいいと思うものやこれから力を入れてもらいたいことにはどのようなものがありますか。(複数回答)

すべての年代で、「放課後に友達とおしゃべりをしたり、遊びや勉強、読書など自由に過ごしたりできる場所や施設を増やすこと」が最も高くなっている。



※「友達や学校、自分の悩みについて、相談できる場所を増やしたり、相談できる方法を増やしたりすること」は、「友達や学校、自分の悩みについて、相談できる場所を増やしたり、メールや電話、SNS など、相談できる方法を増やしたりすること」の略

